

邑楽町国民健康保険 ポテンシャル分析

令和7年7月
株式会社データホライゾン

第1章	医療費分析及び提案の骨子	
	1. 取り組みの背景	5
	2. 具体的な取り組みが必要な医療費適正化事業・保健事業	6
	(1) 特定保健指導事業	6
	(2) 健診異常値放置者受診勧奨事業	6
	(3) 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	6
	(4) 糖尿病性腎症重症化予防事業	7
	(5) 高血圧重症化予防事業	7
	(6) 脳梗塞の発症予防・再発予防事業	7
	(7) メンタル疾患の発症予防事業	8
	(8) 受診行動適正化指導事業	8
	(9) ジェネリック医薬品差額通知事業	8
	(10) COPD早期発見を目的とする啓発事業	9
	(11) 薬剤併用禁忌防止事業	9
	(12) 服薬情報通知事業	9
	(13) ロコモティブシンドローム対策事業	9
	3. 医療費等統計の分析結果まとめ	10
	4. 分析方法	13
第2章	医療費等分析及び医療費適正化事業・保健事業に向けて	
	1. 特定保健指導事業	15
	(1) 指導対象者のグループ化	15
	(2) 特定保健指導対象者集団の特定	16
	(3) 指導実施方法	17
	(4) 成果の確認方法	17
	2. 健診異常値放置者受診勧奨事業	18
	(1) 受診勧奨対象者のグループ化	18
	(2) 健診異常値放置者集団の特定	19
	(3) 受診勧奨実施方法	21
	(4) 成果の確認方法	21
	3. 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	22
	(1) 受診勧奨対象者のグループ化	22
	(2) 生活習慣病治療中断者集団の特定	23
	(3) 受診勧奨実施方法	25
	(4) 成果の確認方法	25
	4. 糖尿病性腎症重症化予防事業	26
	(1) 人工透析患者の実態	26
	(2) 指導対象者集団の特定	29
	(3) 適切な指導実施方法の確立	33
	(4) 成果の確認方法	33
	5. 高血圧重症化予防事業	34
	(1) レセプト及び健康診査データによる高血圧症に係る分析	34
	① 高血圧症及び関連疾病の医療費等分析	34

②健康診査データによる高血圧該当状況分析	36
(2) 指導対象者集団の特定	38
(3) 適切な指導実施方法の確立	42
(4) 成果の確認方法	42
6. 脳梗塞の発症予防・再発予防事業	43
(1) 脳卒中・心筋梗塞の疾病別医療費及び患者数	43
(2) 脳梗塞の発症予防・再発予防対象者集団の特定	44
(3) 適切な指導実施方法の確立	45
(4) 成果の確認方法	45
7. メンタル疾患の発症予防事業	46
(1) 医療費全体におけるメンタル疾患の割合	46
(2) 年齢階層別の医療費と有病率	47
(3) 適切な対策実施方法の確立	47
8. 受診行動適正化指導事業	48
(1) 多受診(重複受診・頻回受診・重複服薬)患者数とその傾向	48
(2) 指導対象者集団の特定	51
(3) 適切な指導実施方法の確立	53
(4) 成果の確認方法	53
9. ジェネリック医薬品差額通知事業	54
(1) ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル	54
(2) ジェネリック医薬品差額通知事業の実施方法と成果の確認方法	56
10. COPD早期発見を目的とする啓発事業	57
(1) COPDの認知度及びCOPD患者の実態	57
(2) COPD患者の医療費と医療機関の現状	58
(3) 早期発見に向けた啓発事業	60
(4) 成果の確認方法	60
11. 薬剤併用禁忌の防止に向けて	61
(1) 薬剤併用禁忌分析	61
(2) 活用方法	62
12. 服薬情報通知事業	63
(1) 服薬に係る分析	63
(2) 服薬情報通知事業の実施方法と成果の確認方法	65
13. ロコモティブシンドローム対策事業	66
(1) ロコモティブシンドロームの現状	66
(2) ロコモティブシンドロームの原因疾患と患者の実態	67
(3) 適切な指導実施方法の確立	68
(4) 成果の確認方法	68
第3章 保健事業の費用対効果	
1. 糖尿病性腎症重症化予防事業	69
2. 受診行動適正化指導事業	71
第4章 医療費等統計	
1. 基礎統計	73

2. 高額レセプトの件数及び医療費	78
(1) 高額レセプトの件数及び割合	78
(2) 高額レセプトの年齢階層別統計	79
(3) 高額レセプト発生患者の疾病傾向	81
3. 大分類による疾病別医療費統計	83
(1) 邑楽町国民健康保険全体	83
(2) 入院・入院外比較	85
(3) 男性・女性比較	86
(4) 年齢階層別比較	87
(5) 地区比較	96
4. 中分類による疾病別医療費統計	108
(1) 邑楽町国民健康保険全体	108
(2) 地区比較	115
5. 生活習慣病に係る医療費等の状況	127
(1) 生活習慣病と生活習慣病以外の医療費と患者数	127
(2) 生活習慣病疾病別医療費等の状況	130
6. ジェネリック医薬品普及率	132
(1) ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)	132
(2) ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)	133
(3) 年齢階層別普及率	134
7. 特定健康診査結果分析	135
(1) 有所見者割合	135
(2) 質問別回答状況	136
8. 健康診査データによるメタボリックシンドローム該当状況	137
9. 健康診査データによるCKD重症度分類	138
10. 健康診査データによる糖尿病診断	139
11. 生活習慣病患者の健康診査受診状況別罹患状況と医療費	140
12. 特定健診の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況	141
13. 特定保健指導対象者・非対象者の生活習慣病医療費比較	142
14. 骨折予防・骨粗鬆症重症化予防に係る分析	143
(1) 骨折及び骨粗鬆症医療費の状況	143
(2) 骨粗鬆症患者の治療継続状況	148
その他(参考資料)	
大分類要素別集計	149
巻末資料	
1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	168
2. 疾病分類表(2013年版)	169

第1章 医療費分析及び提案の骨子

1. 取り組みの背景

医療保険者は、レセプトや健診等のデータ分析に基づき、被保険者の健康保持増進のためPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業を実施することが求められている。

近年、レセプトの電子化や国保データベース(KDB)システムの整備により、医療保険者が健康・医療情報を活用して被保険者の健康課題の分析、保健事業の評価等を行うための基盤整備が進んでいる。これらの俯瞰的な分析に加え、細部を観察し事業に直結する分析をする必要がある。

具体的には、特定健診受診率の向上や糖尿病性腎症重症化予防の推進等に向けて、被保険者の個々の状況に応じた対策や対応が求められる。

本分析は事業毎に対象範囲や人数等を明確にし、事業を迅速に支援することを目的としている。また本分析は独自のレセプト分析技術(医療費分解技術等)を用いている。

■データ分析期間

- ・入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
単年分析
令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)
- ・健康診査データ
単年分析
令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)

2. 具体的な取り組みが必要な医療費適正化事業・保健事業

(1) 特定保健指導事業…健康診査結果より、特定保健指導の対象者と特定された人を対象に指導を行う。

現状	必要な対策とその効果
●特定健診受診者数 2,021人 ●特定保健指導対象者 234人 積極的支援の対象者は55人 動機付け支援の対象者は179人	●特定保健指導 厚生労働省のガイドラインに沿って、指導を実施する。

(2) 健診異常値放置者受診勧奨事業…健康診査結果より、医療機関への受診が必要と思われる対象者を特定し、対象者が医療機関への受診を行っていない場合、適切な検査・治療を促し重症化予防を図る。

現状	必要な対策とその効果
●異常値放置者は389人 このうち、効率の良い候補者は295人	●異常値放置者への医療機関受診勧奨 健康診査検査値の推移並びに糖尿病や脳血管疾患の今後の発症予測を記載した医療機関受診勧奨通知を行う。 ●効果実績は平均10%であり、対象者のうち30人の医療機関受診が見込める。 ※効果実績…データ分析会社の実績から算出。

(3) 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業…生活習慣病の治療を行っていたにもかかわらず、現在治療を中断している患者に対し、医療機関への受診を促し、重症化の予防を図る。

現状	必要な対策とその効果
●治療中断者 25人 このうち、効率の良い候補者は24人 ※過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を治療中断者とする。	●治療中断者への医療機関受診勧奨 治療を中断することによる重篤な疾患の発症リスクを説明し、医療機関への受診を促す通知を行う。 ●効果実績は平均15%であり、対象者のうち4人の医療機関受診が見込める。 ※効果実績…データ分析会社の実績から算出。

(4) 糖尿病性腎症重症化予防事業…糖尿病の重症化を防ぐことで患者のQOLを維持するとともに、新規人工透析患者を抑制し、高額な医療費の発生を防ぐ。

現状	必要な対策とその効果						
●人工透析患者26人のうち、生活習慣を起因とする糖尿病から悪化し透析に至った患者は16人であった。 一人当たりの医療費は約474万円/12カ月間 ●腎症の治療が確認できる患者は221人 このうち、重症化予防に適した病期で指導が効果的な患者(※)は63人 ※糖尿病起因以外の腎臓病患者や生活習慣起因以外の糖尿病患者を除き、更に指導効果の高い患者に絞り込む。	●糖尿病性腎症の重症化予防指導事業 ・指導実施対象者:6人(指導同意率10%考慮) ・指導実施完了者:5人(脱落・指導中止者10%考慮) 透析移行阻止率別の10年間の医療費予想は、 <table> <tr> <td>0%阻止</td><td>約4,124万円</td></tr> <tr> <td>75%阻止</td><td>約2,048万円</td></tr> <tr> <td>94%阻止</td><td>約1,621万円</td></tr> </table> ●透析移行を75%阻止した場合、10年間で約2,076万円削減が期待できる。(4,124万円-2,048万円=2,076万円)	0%阻止	約4,124万円	75%阻止	約2,048万円	94%阻止	約1,621万円
0%阻止	約4,124万円						
75%阻止	約2,048万円						
94%阻止	約1,621万円						

(5) 高血圧重症化予防事業…血圧を良好にコントロールすることで、高血圧による脳心血管病及び腎疾患等の発症・再発の抑制及び重症化予防を図る。

現状	必要な対策とその効果
●高血圧症医療費 8,100万円 患者数 2,053人 ●特定健診受診者のうち、高血圧該当者 547人 ●指導候補者1,530人 このうち、効率のよい候補者は843人 ・うち、二次予防(※) 571人 ・うち、三次予防(※) 272人 ※二次予防…高血圧症及び関連疾病(脳心血管病及び腎疾患等)の発症予防対象者 ※三次予防…高血圧症及び関連疾病(脳心血管病及び腎疾患等)の重症化予防、再発予防対象者	●高血圧による脳心血管病及び腎疾患等の発症や重症化リスクを持つ対象者に対して、高血圧のリスクを説明し、服薬管理、食事療法等の保健指導を実施する。

(6) 脳梗塞の発症予防・再発予防事業…脳梗塞の発症・再発を防ぐことで、疾患によるまひ等のQOLの低下、死亡の抑制、医療費の削減を図る。

現状	必要な対策とその効果
●脳梗塞医療費 約2,268万円 患者数 255人 受診勧奨候補者 9人 発症予防候補者 10人 再発予防候補者 162人 ●脳内出血医療費 約506万円 患者数 81人 ●くも膜下出血医療費 約427万円 患者数 12人	●脳梗塞の発症予防・再発予防事業 ●脳梗塞を発症したにもかかわらず、定期的な医療機関受診を行っていない候補者に対する受診勧奨通知を行う。

(7)メンタル疾患の発症予防事業…メンタル疾患の発症状況を把握し、さらなる発症者を防ぐ。

現状	必要な対策とその効果
メンタル疾患として定義した疾患の医療費。	●メンタル疾患発症率の高い地域を特定し、原因を想定した上で対策を実施する。
●気分障害(うつ病等) 約3,185万円	※不眠症、アルコール使用障害は、気分障害(うつ病等)の発症と関連が深いと考えられる。
●神経症、ストレス関連等 約1,644万円	
●不眠症 約3,004万円	
●アルコール使用障害 約107万円	

(8) 受診行動適正化指導事業…受診回数が多すぎるとされる患者に指導を行い、医療費適正化を図る。

現状	必要な対策とその効果
●重複受診者 (同一疾患で複数の医療機関に受診している対象者) 38人	●重複受診、頻回受診、重複服薬と思われる患者に対して指導を実施する。
●頻回受診者 (医療機関の受診回数が多すぎるとされる対象者) 44人	・必要な医療の可能性がある場合は除外 ・効果、効率を重視した対象群を特定
●重複服薬対象者 (同一薬の処方が同一月に複数ある対象者) 91人	・受診行動適正化指導が効果的な候補者 4人
●行動変容率と「一人当たりひと月分の削減医療費」を用いて試算すると、全体で年間約10万円の医療費削減効果となる。	
実人数 169人 除外対象を除いた人数 49人	

(9) ジェネリック医薬品差額通知事業…ジェネリック医薬品の普及率を上げるとともに、医療費の削減を図る。

現状	必要な対策とその効果
●ジェネリック医薬品普及率 82.9%(数量ベース)	●ジェネリック医薬品の普及促進 個人宛のジェネリック医薬品促進通知書を本人自己負担額の軽減効果額が高い被保険者から順に通知する。 ジェネリック医薬品に切り替えた場合の削減可能額も記載する。 ●ジェネリック医薬品への切り替えにより削減できるポテンシャルは約563万円/12カ月間

(10)COPD早期発見を目的とする啓発事業…COPD早期発見のため、ハイリスク者へ医療機関受診を促す。

現状	必要な対策とその効果
●COPD投薬治療患者 57人 ●潜在患者数 1,140人	●COPDを発症している可能性のある対象者、将来発症する可能性の高い対象者に対し、啓発につながるリーフレット、医療機関での検査を勧める内容の通知を行う。

(11)薬剤併用禁忌防止事業…複数の医療機関または保険薬局で処方された薬剤の併用禁忌発生件数を削減する。

現状	必要な対策とその効果
●薬剤併用禁忌発生件数 170件 ●薬剤併用禁忌対象者 76人	●医療機関に対し、処方状況の情報提供を行う。 一人の患者に対し複数の医療機関で医薬品を処方された場合、その実態を医療機関側が全て把握するのは困難である。一人の患者の全てのレセプトが集まる保険者だからこそ把握できる情報といえる。保険者が医療機関・薬局へ情報提供することで、薬害防止に努める。

(12)服薬情報通知事業…多剤服薬等が発生している者に、適切な服薬を促す。

現状	必要な対策とその効果
●長期服薬者数 678人 ●多剤服薬者数全体 335人	●多剤服薬等が発生している者を特定し、服薬状況を記載した通知書を送付する。 薬剤の多剤服薬は、副作用が起こりやすく様々なリスクが伴う可能性がある。服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者を特定し、通知書を送付する。

(13)ロコモティブシンドローム対策事業…対象者へロコモティブシンドロームについて周知し、運動機能向上のための施策を実施して発症を防ぐ。

現状	必要な対策とその効果
●ロコモティブシンドローム原因疾患患者 1,149人	●対象者にロコモティブシンドロームについて周知し、運動機能改善を促す。 ロコモティブシンドローム原因疾患患者に対し、ロコモティブシンドロームになる可能性のあることを周知し、運動機能測定会を実施する。対象者が自宅にてロコモティブシンドローム対策の運動を実施するように促す。

3. 医療費等統計の分析結果まとめ

レセプトデータ及び健康診査データから算出した医療費等統計の主要な分析結果を示す。

【基礎統計】

医療費	1,967,098,640円
-----	----------------

【高額(5万点以上)レセプト分析】

高額レセプト件数	744件
高額レセプト件数割合	0.87%
高額レセプト医療費割合	36.9%

【大分類による疾病別医療費統計】

医療費が高額な疾病		医療費	構成比
1位	新生物＜腫瘍＞	400,393,222円	20.4%
2位	循環器系の疾患	255,201,625円	13.0%
3位	内分泌，栄養及び代謝疾患	187,387,442円	9.5%

患者数が多い疾病		患者数
1位	呼吸器系の疾患	2,751人
2位	内分泌，栄養及び代謝疾患	2,746人
3位	循環器系の疾患	2,651人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	新生物＜腫瘍＞	272,933円
2位	先天奇形，変形及び染色体異常	183,470円
3位	精神及び行動の障害	171,095円

【中分類による疾病別医療費統計】

医療費が高額な疾病		医療費	構成比
1位	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	157,969,530円	8.0%
2位	糖尿病	119,039,399円	6.1%
3位	腎不全	105,106,213円	5.3%

患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	2,053人
2位	糖尿病	2,020人
3位	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,735人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	白血病	1,086,626円
2位	悪性リンパ腫	526,790円
3位	腎不全	507,759円

【生活習慣病医療費の状況】

生活習慣病医療費	431,163,511円
----------	--------------

【特定健康診査結果分析】

有所見者割合が高い検査項目		有所見者割合
1位	HbA1c (NGSP)	55.9%
2位	LDLコレステロール	52.3%
3位	収縮期血圧	46.8%

メタボリックシンドローム該当状況		該当割合
基準該当		22.0%
予備群該当		12.8%

【骨折予防・骨粗鬆症重症化予防事業に係る分析】

	男女合計	男性	女性
骨折医療費	24,631,231円	8,749,380円	15,881,851円
骨折患者数	194人	83人	111人
患者一人当たりの骨折医療費	126,965円	105,414円	143,080円

	男女合計	男性	女性
骨粗鬆症患者数	511人	66人	445人
骨粗鬆症治療薬服用中患者数	395人	36人	359人
骨粗鬆症治療中断患者数	16人	2人	14人
治療薬服用中患者に占める 治療中断患者割合	4.1%	5.6%	3.9%

4. 分析方法

邑楽町国民健康保険におけるレセプト及び健康診査データを用いてデータベースを作成し、分析する。データベースの作成方法及び分析方法は、株式会社データホライゾンの独自技術及び特許技術を用いる。

●医療費分解技術

レセプトに記載された全ての傷病名と診療行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。

レセプトは傷病名毎に点数が振り分けられておらず、通常の統計資料は主傷病名で点数集計されており、また、治療中の傷病と治療済の傷病が併記されている。そのまま分析に使用すると「主傷病以外の傷病の医療費がゼロとなり、傷病名毎の医療費が正確には把握できない」「現在治療中の疾病が把握できない」等の問題がある。医療費分解技術を用いることで、これらの問題を解決し、疾病別に係る医療費を正確に把握できる。

●未コード化傷病名のコード化

傷病名マスターに収載されていない病名は、未コード化傷病名として扱われるが、その場合、集計対象外となる。この問題を解決するため、株式会社データホライゾン独自の辞書情報と突合検索処理を行い、可能な限りコード化を行うことで、集計漏れを極力減らす。

医科レセプト

傷病名	(1)	本態性高血圧(主)				
	(2)	狭心症				
	(3)	うつ病				
	(4)	高コレステロール血症				
	(5)	2型糖尿病				
	(6)	急性上気道炎				
	(7)	アレルギー性鼻炎				
12	再診					
摘要欄	時間外	調剤レセプト				
	明細外	No.	医薬品名・規格・用量・剤形・用法	単位 薬剤料点	調剤 数量	
	13 特	1	ブラビックス錠75mg	1錠	66	28
			カルネート錠2.5mg	1錠		
			カデュエット配合錠4番	1錠		
			トラゼンタ錠5mg	1錠		
			グリメピリド錠1mg「NP」	1錠		
	60 糖尿		【内服】1日1回朝食後服用			
	Hb					
	外					
B-尿						
外	2	ニコランマート錠5mg	3錠	2	28	
血		【内服】1日3回食後服用				
生	3	エチカーム錠0.5mg	2錠	1	28	
		【内服】1日1回就寝前服用				
80 処	4	スルピリド錠50mg「アメル」	2錠	27	28	
角		エバデールS900 900mg	2包			
長		安全性のため別包				
		【内服】1日2回朝夕食後服用				

①未コード化傷病名のコード化

未コード化傷病名を株式会社データホライゾン独自の辞書情報と突合検索処理しコード化する。

医科レセプトの記載		コード化
(1)	本態性高血圧(主)	未コード化傷病名 ⇒ 8840107 本態性高血圧症
(2)	狭心症	4139007 狭心症
(3)	うつ病	2961003 うつ病
(4)	高コレステロール血症	2720004 高コレステロール血症
(5)	2型糖尿病	2500015 2型糖尿病
(6)	急性上気道炎	4659007 急性上気道炎
(7)	アレルギー性鼻炎	4779004 アレルギー性鼻炎

②医療費分解後グルーピング

レセプトに記載された全傷病名に対し、適応のある医薬品や診療行為を関連付け、医療費を分解後、傷病毎にグルーピングする。

医科レセプトの記載		薬品	検査	診療行為	合計点数
(1)	本態性高血圧症(主)	184.3	25.2	266.5	476.0
(2)	狭心症	963.6	4.7	61.0	1,029.3
(3)	うつ病	63.7	0.3	11.0	75.0
(4)	高コレステロール血症	858.1	4.1	57.2	919.4
(5)	2型糖尿病	618.3	356.7	61.3	1,036.3
(6)	急性上気道炎	0.0	0.0	0.0	0.0
(7)	アレルギー性鼻炎	0.0	0.0	0.0	0.0
合計					3,536.0

●傷病管理システム(特許第5203481号)

レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。

例えば糖尿病の重症度を判定することで、将来の重症化予測や特定した対象患者の病期に合わせた的確な指導を行うことが可能となる。株式会社データホライゾンにおいて開発した傷病管理システムを用いて、糖尿病患者を階層化し特定する。

●レセプト分析システムおよび分析方法(特許第5992234号)

中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

レセプトに記載されている傷病名は、追記式のため、過去から現在までの傷病名が記載されており、そのうち、約4割が現在治療中でない傷病名といわれている。重症化予防や受診勧奨等、個別の保健事業の実施に当たっては、現在治療中の傷病名のみを取り出し、該当者を抽出する必要がある。前述の「医療費分解技術」では、当月の傷病名別にどのような医薬品や診療行為が使用されたのかは把握できた。しかし、傷病の種類によっては、中長期にわたる投薬や診療がなされるため、必ずしもその傷病名がアクティブかノンアクティブかを識別することが困難だったが、当特許技術で解決した。

●服薬情報提供装置、服薬情報提供方法、およびコンピュータプログラム (特許第6409113号)

多剤併用による薬物有害事象(ポリファーマシー)が大きな社会問題となるなか、お薬手帳が実現できなかった患者の全服薬情報を一元的に管理することが求められている。本特許を活用することで、今まで実現できなかった、医科・調剤レセプトから取得した患者毎の全服薬情報を一元的に把握し、患者本人への啓発を促し、かかりつけ医やかかりつけ薬剤師への服薬情報提供を通してポリファーマシー解消のための服薬指導を支援することが可能となる。

●マスタの整備

マスタ(傷病名、医薬品、診療行為等レセプトに記載される全てを網羅したデータベース)を定期的にメンテナンスし最新状態に保つ。

1. 特定保健指導事業

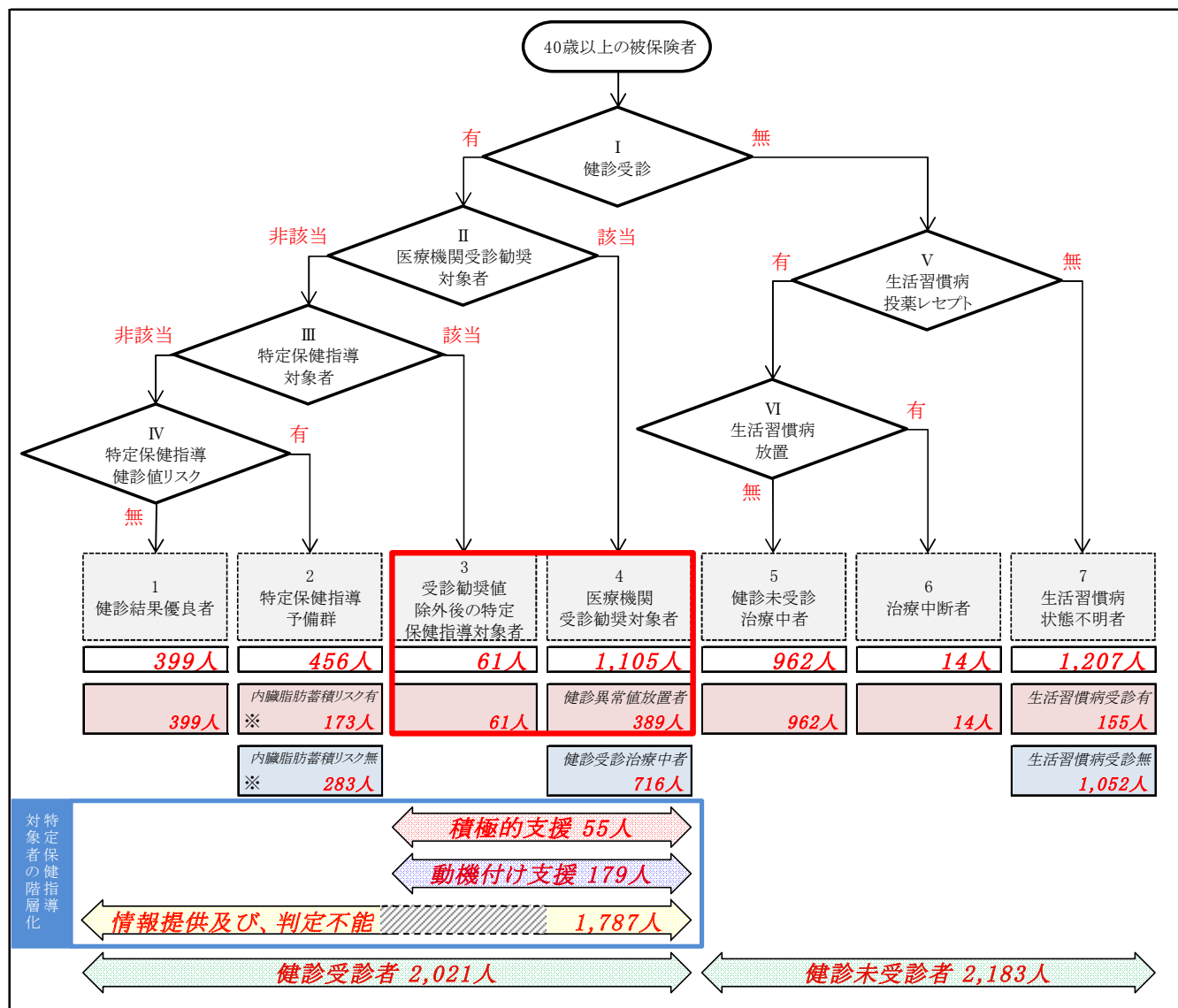
特定保健指導の対象者は、被保険者個々の診療実態をレセプトにより見極める必要がある。ここでは健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行い、「指導対象者のグループ化」「対象者集団の特定」「指導実施方法」「成果の確認方法」を明確にする。

(1) 指導対象者のグループ化

健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類する。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和7年3月31日時点。

各フローの詳細については巻末資料「指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。

※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 特定保健指導対象者集団の特定

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

前項の分析にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は234人である。このうち、積極的支援の対象者は55人、動機付け支援の対象者は179人である。

生活習慣病は、バランスの取れた食生活、適度な運動習慣を身に付けることにより予防可能な疾患である。特定保健指導の対象者に効果的な指導を実施することで、生活習慣病への移行を防ぐことを目指す。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			234人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙	1人	55人 24%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血圧＋脂質	10人	
	●	●	●	●		血糖＋血圧＋喫煙	1人	
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	1人	
		●	●	●		血圧＋脂質＋喫煙	4人	
	●	●			因子数2	血糖＋血圧	7人	
	●		●			血糖＋脂質	8人	
		●	●			血圧＋脂質	13人	
	●			●		血糖＋喫煙	1人	
		●		●		血圧＋喫煙	0人	
			●	●		脂質＋喫煙	6人	
	●				因子数1	血糖	1人	
		●				血圧	0人	
			●			脂質	1人	
				●		喫煙	0人	
					因子数0	なし	1人	
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙	8人	179人 76%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血圧＋脂質	13人	
	●	●	●	●		血糖＋血圧＋喫煙	2人	
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	5人	
		●	●	●		血圧＋脂質＋喫煙	5人	
	●	●			因子数2	血糖＋血圧	30人	
	●		●			血糖＋脂質	10人	
		●	●			血圧＋脂質	5人	
	●			●		血糖＋喫煙	2人	
		●		●		血圧＋喫煙	8人	
			●	●		脂質＋喫煙	3人	
	●				因子数1	血糖	18人	
		●				血圧	53人	
			●			脂質	17人	
				●		喫煙	0人	
					因子数0	なし	0人	

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和7年3月31日時点。
※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。また、医師の判断等により、リスク因子数が0であっても特定保健指導対象者に分類される場合がある。
リスク判定の詳細は以下のとおりとする。
①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c(NGSP)5.6%以上(空腹時血糖とHbA1c(NGSP)の両方を測定している場合は、空腹時血糖を優先し判定に用いる)
②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
③脂質…特定健康診査の検査値において、空腹時中性脂肪150mg/dl以上(やむを得ない場合は随時中性脂肪175mg/dl以上)またはHDLコレステロール40mg/dl未満
④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

(3) 指導実施方法

指導対象者集団の特定をした後は、その対象者に対して適切な指導を行う必要がある。特定保健指導では厚生労働省のガイドラインに沿った指導を行う。

(4) 成果の確認方法

特定保健指導の実施状況と実施率を定期的に確認する。また、指導実施前と実施後で、問診項目の回答状況や健康診査検査値を比較し、生活習慣の改善度を確認する。

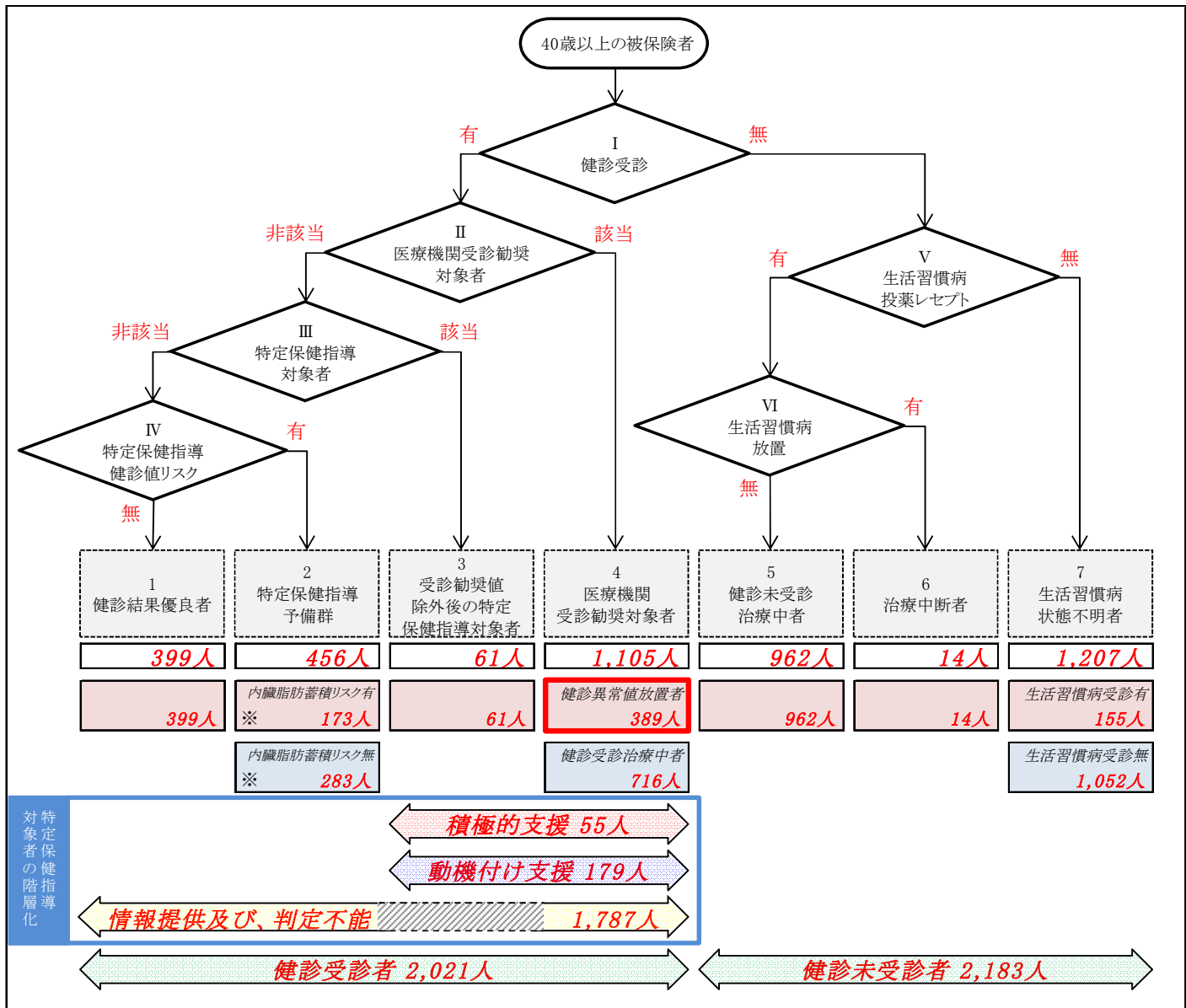
2. 健診異常値放置者受診勧奨事業

健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。その結果、生活習慣病が進行し、重症化してしまう可能性があるため、これらの対象者をレセプトにより見極める。ここでは健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行い、「受診勧奨対象者のグループ化」「対象者集団の特定」「受診勧奨実施方法」「成果の確認方法」を明確にする。

(1) 受診勧奨対象者のグループ化

健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類する。

健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和7年3月31日時点。

各フローの詳細については巻末資料「指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。

※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 健診異常値放置者集団の特定

前項の分析において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する389人が健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定

- ・健診異常値放置者 …健診受診後、医療機関へ受診していない人
厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする

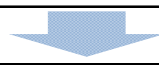
条件設定により対象となった候補者数	389 人
-------------------	-------

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和7年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」「人工透析患者」に関しては、治療を優先すべき疾病を有しており、医学的管理の下にあることが推察される。また、指導が困難な可能性も考えられる。以上の理由から、該当する患者について指導対象者から除外する。

除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定

		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	94 人
		
除外患者を除いた候補者数		295 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和7年3月31日時点。
※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者295人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を健診異常値放置受診勧奨対象者とする。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙は生活習慣病のリスクを高めることから、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者は全てが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ. 優先順位		
↑高 効果 低↓	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A 2 人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B 10 人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E 39 人
		喫煙
		候補者C 4 人
		候補者D 65 人
		候補者F 175 人
		非喫煙
←高 リスク 低→		
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数		295 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和7年3月31日時点。

健診異常値放置者の判定について

- 健康診査にて異常値があるとされた被保険者を対象とし、健康診査受診後に医療機関への受診がない被保険者を健診異常値放置者と判定する。

(3) 受診勧奨実施方法

データ分析会社への業者委託を前提とした、他保険者での実施例をひとつの方法として説明する。業者委託のメリットは、準備と人的資源を軽減できること、既に実績を有しており一定の効果が実証されていること等である。

医療機関への受診勧奨者に対する受診勧奨の作業実施フローは以下のとおりである。

保険者は健康診査データ・レセプトデータをデータ分析会社へ提供し、データ分析会社は様々な観点から階層化を行い、高い効果を見込むことのできる対象者を特定する。これら対象者に対し、医療機関への受診を促す通知を行う。実施後、これらの効果を測定する。

(4) 成果の確認方法

受診勧奨通知送付後のレセプトデータを確認し、医療機関受診の有無を確認する。通知後のレセプトをデータ化していることが前提となる。

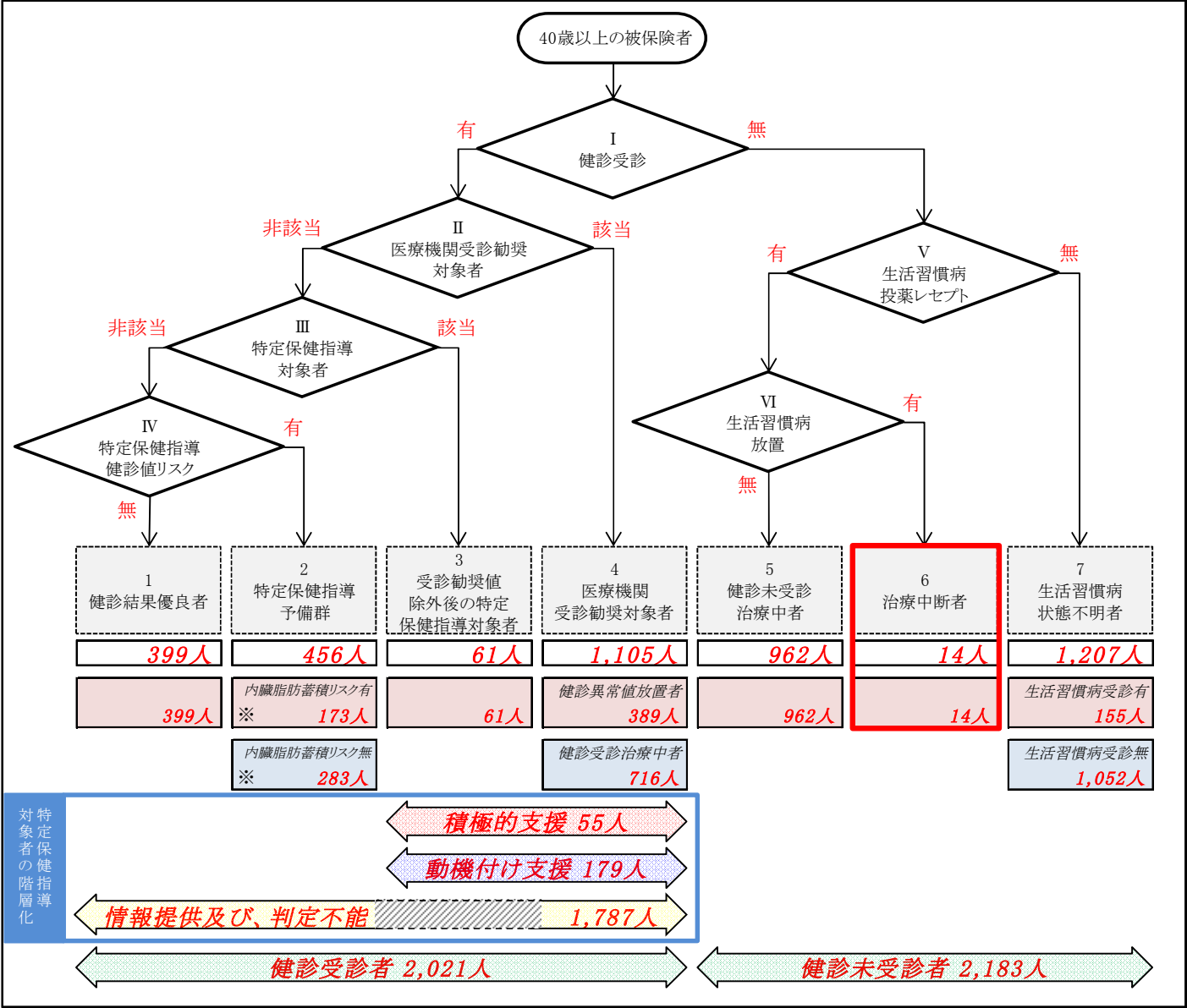
3. 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業

生活習慣病は一度発症すると治癒することは少ないため病状の維持が重要となる。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められる。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがある。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性がある。ここでは健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行い、「受診勧奨対象者のグループ化」「対象者集団の特定」「受診勧奨実施方法」「成果の確認方法」を明確にする。

(1) 受診勧奨対象者のグループ化

健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類する。

健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和7年3月31日時点。
各フローの詳細については巻末資料「指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。
※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 生活習慣病治療中断者集団の特定

前項の分析において治療中断が発生している患者25人が対象となる。かつて生活習慣病で治療を行っていたにもかかわらず、現在医療機関への受診を行っていないため、将来、生活習慣病が重篤化するおそれが強い。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

Ⅰ.条件設定による指導対象者の特定		
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
		候補者人数
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	14 人
	上記以外のグループ	11 人
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		25 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和7年3月31日時点。

上記以外のグループ…治療中断者は、健康診査受診の有無、生活習慣病投薬レセプト有無にかかわらず、生活習慣病での受診がある患者の中から抽出する。前項のフローにおいて、「Ⅰ 健診受診」で健康診査の受診の有無、「Ⅴ 生活習慣病投薬レセプト」で生活習慣病投薬レセプトの有無をみているため、「6 治療中断者」には健康診査未受診かつ生活習慣病投薬レセプト有の治療中断者のみ格納される。
「上記以外のグループ」には、「6 治療中断者」の抽出条件に該当しないが、次の①、②のいずれかに該当する治療中断者が格納される。

- ①「Ⅰ 健診結果優良者」～「4 医療機関受診勧奨対象者」(健診受診者)のうちの治療中断者
- ②「Ⅶ 生活習慣病状態不明者」生活習慣病受診有」(健診未受診かつ生活習慣病投薬無かつ生活習慣病受診有)のうちの治療中断者

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」「人工透析患者」に関しては、治療を優先すべき疾病を有しており、医学的管理の下にあることが推察される。また、指導が困難な可能性も考えられる。以上の理由から、該当する患者について指導対象者から除外する。

除外設定(生活習慣病治療中断者)

Ⅱ.除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	1 人
除外患者を除き、候補者となった患者数		24 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和7年3月31日時点。
※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者24人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を生活習慣病治療中断者とする。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先とした。

優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ.優先順位				
↑高 効果 低↓	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1 0人	候補者A2 0人	候補者A3 0人
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1 0人	候補者B2 1人	候補者B3 4人
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1 2人	候補者C2 14人	候補者C3 3人
		毎月受診	2～3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診
効果が高く効率の良い候補者A1～候補者C3の患者数				24人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和7年3月31日時点。

生活習慣病治療中断者の判定について

- 分析期間内において生活習慣病の治療を行っている人の生活習慣病での医療機関受診頻度を特定する。その後、毎月受診していた方が毎月受診せず中断している等、現在の受診状況と比較し、生活習慣病での医療機関受診中断の有無の判定を行う。

(3) 受診勧奨実施方法

ここでは、データ分析会社への業者委託を前提とした、他保険者での実施例をひとつの方法として説明する。業者委託のメリットは、準備と人的資源を軽減できること、既に実績を有しており一定の効果が実証されていること等である。

医療機関への受診勧奨者に対する受診勧奨の作業実施フローは以下のとおりである。

保険者はレセプトデータをデータ分析会社へ提供し、データ分析会社は様々な観点から階層化を行い、高い効果を見込むことのできる対象者を特定する。これら対象者に対し、医療機関への受診を促す通知を行う。実施後、これらの効果を測定する。

(4) 成果の確認方法

受診勧奨通知送付後のレセプトデータを確認し、医療機関での生活習慣病に関連する受診の有無を確認する。通知後のレセプトをデータ化していることが前提となる。

4. 糖尿病性腎症重症化予防事業

国は、健康日本21(第三次)において、糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数の減少等を数値目標として掲げ、全国的な取り組みの強化を進めている。生活習慣を起因とした糖尿病性腎症患者に対し、生活習慣の改善を促し重症化を予防することで人工透析への移行を防止し、患者のQOLの維持及び医療費の適正化を図ることが本事業の目的である。

(1) 人工透析患者の実態

邑楽町国民健康保険における人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」に当たる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

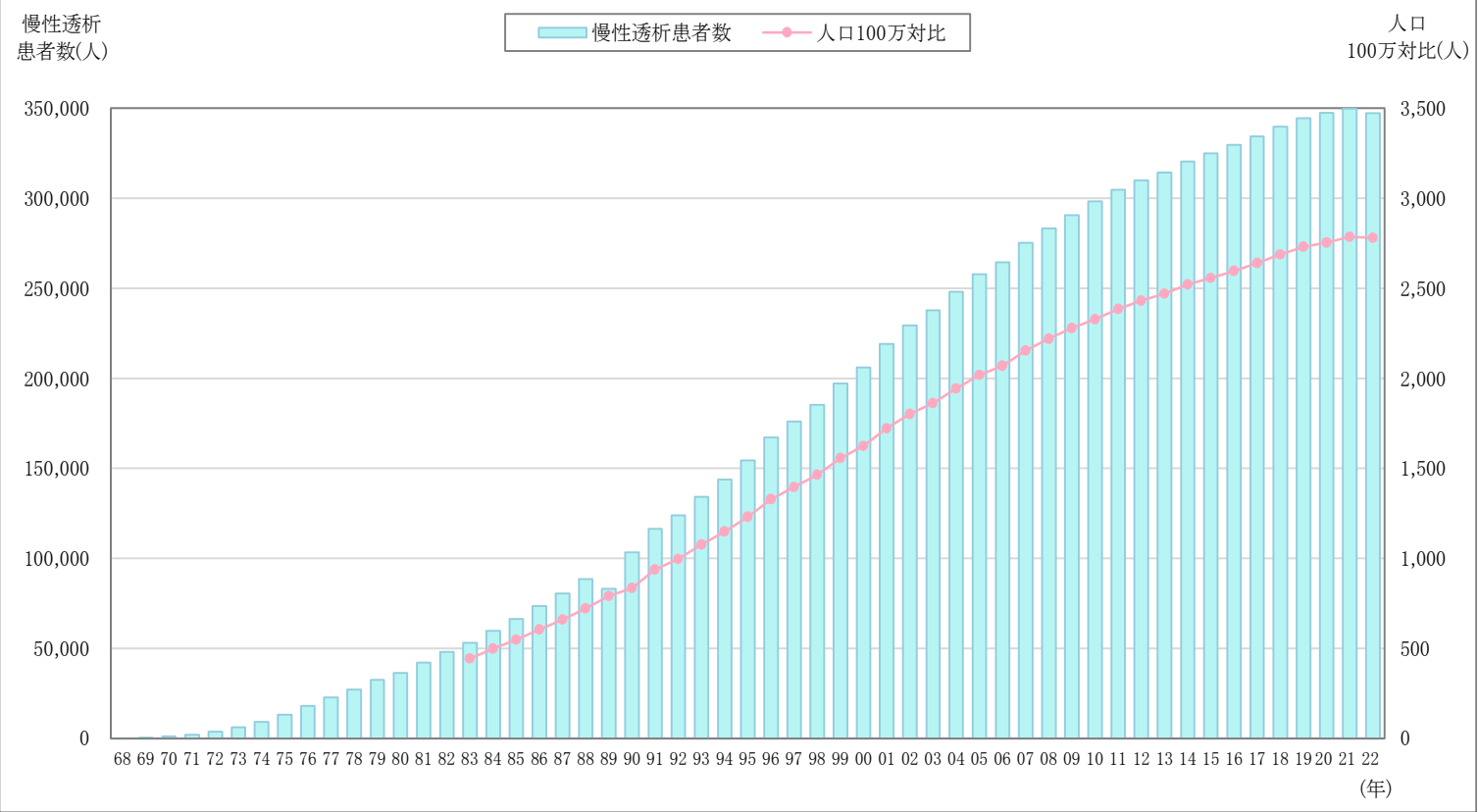
対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数は26人である。

対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	25
腹膜透析のみ	0
血液透析及び腹膜透析	1
透析患者合計	26

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。
現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

[参考資料] 日本の慢性透析患者数と有病率(人口100万対比)の推移



出典：日本透析医学会 統計調査委員会「わが国の慢性透析療法の現況(2022年12月31日現在)」 施設調査による集計
※1989年末の患者数の減少は、当該年度にアンケート回収率が86%と例外的に低かったことによる見掛け上の影響。人口100万対比は回収率86%で補正。

次に、人工透析に至った起因を、令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)のレセプトに記載されている傷病名から判定した。ただし、レセプトに「腎不全」や「慢性腎不全」のみの記載しかない場合は、起因が特定できない患者となる。

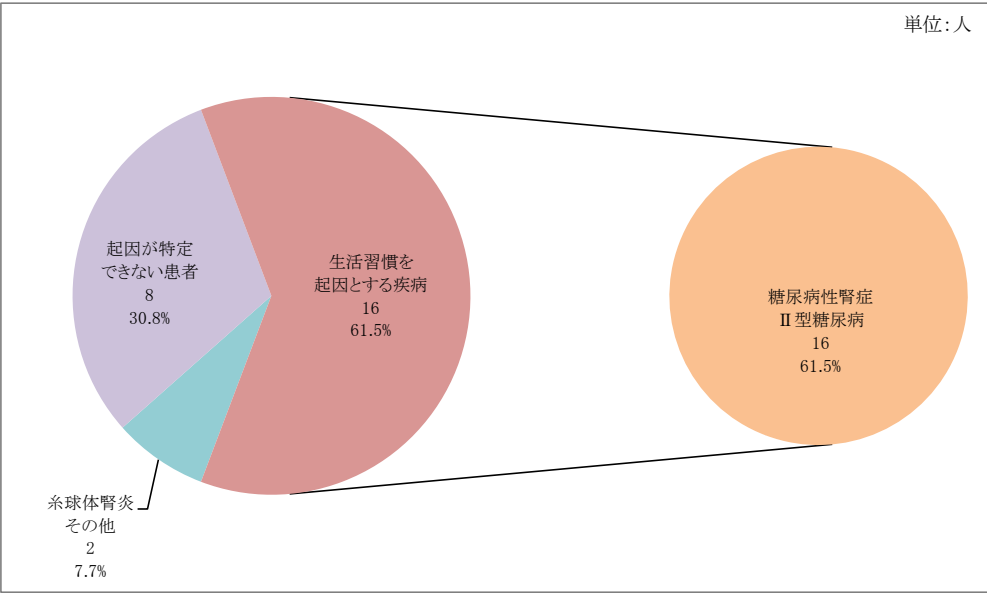
起因が明らかとなった患者のうち、61.5%が生活習慣を起因とするものであり、61.5%がⅡ型糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

透析患者の起因

透析に至った起因		透析患者数 (人)	割合 ※ (%)	生活習慣を 起因とする疾病	食事療法等指導することで 重症化を遅延できる 可能性が高い疾病
①	糖尿病性腎症 Ⅰ型糖尿病	0	0.0%	-	-
②	糖尿病性腎症 Ⅱ型糖尿病	16	61.5%	●	●
③	糸球体腎炎 IgA腎症	0	0.0%	-	-
④	糸球体腎炎 その他	2	7.7%	-	●
⑤	腎硬化症 本態性高血圧	0	0.0%	●	●
⑥	腎硬化症 その他	0	0.0%	-	-
⑦	痛風腎	0	0.0%	●	●
⑧	起因が特定できない患者 ※	8	30.8%	-	-
透析患者合計		26			

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。
現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。
※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
※⑧起因が特定できない患者…①～⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。
⑧起因が特定できない患者8人のうち高血圧症が確認できる患者は8人、高血圧性心疾患が確認できる患者は0人、痛風が確認できる患者は1人。高血圧症、高血圧性心疾患、痛風のいずれも確認できない患者は0人。複数の疾病を持つ患者がいるため、合計人数は一致しない。

透析患者の起因



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。
現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。
※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

次に、人工透析患者26人を対象に、以下のとおり医療費を分析した。令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)での患者一人当たりの医療費平均は474万円程度、このうち透析関連の医療費が448万円程度、透析関連以外の医療費が25万円程度である。

透析患者の医療費

透析患者の起因		透析患者数 (人)	割合 (%)	医療費(円)			医療費(円) 【一人当たり】			医療費(円) 【一人当たりひと月当たり】		
				透析関連	透析関連 以外	合計	透析関連	透析関連 以外	合計	透析関連	透析関連 以外	合計
①	糖尿病性腎症 I 型糖尿病	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
②	糖尿病性腎症 II 型糖尿病	16	61.5%	71,178,340	4,648,770	75,827,110	4,448,646	290,548	4,739,194	370,721	24,212	394,933
③	糸球体腎炎 IgA腎症	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④	糸球体腎炎 その他	2	7.7%	8,246,330	190,720	8,437,050	4,123,165	95,360	4,218,525	343,597	7,947	351,544
⑤	腎硬化症 本態性高血圧	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑥	腎硬化症 その他	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑦	痛風腎	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑧	起因が特定できない患者 ※	8	30.8%	37,166,670	1,709,360	38,876,030	4,645,834	213,670	4,859,504	387,153	17,806	404,959
透析患者全体		26		116,591,340	6,548,850	123,140,190						
患者一人当たり 医療費平均				4,484,282	251,879	4,736,161						
患者一人当たりひと月当たり 医療費平均				373,690	20,990	394,680						

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。
現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。
※⑧起因が特定できない患者…①～⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。

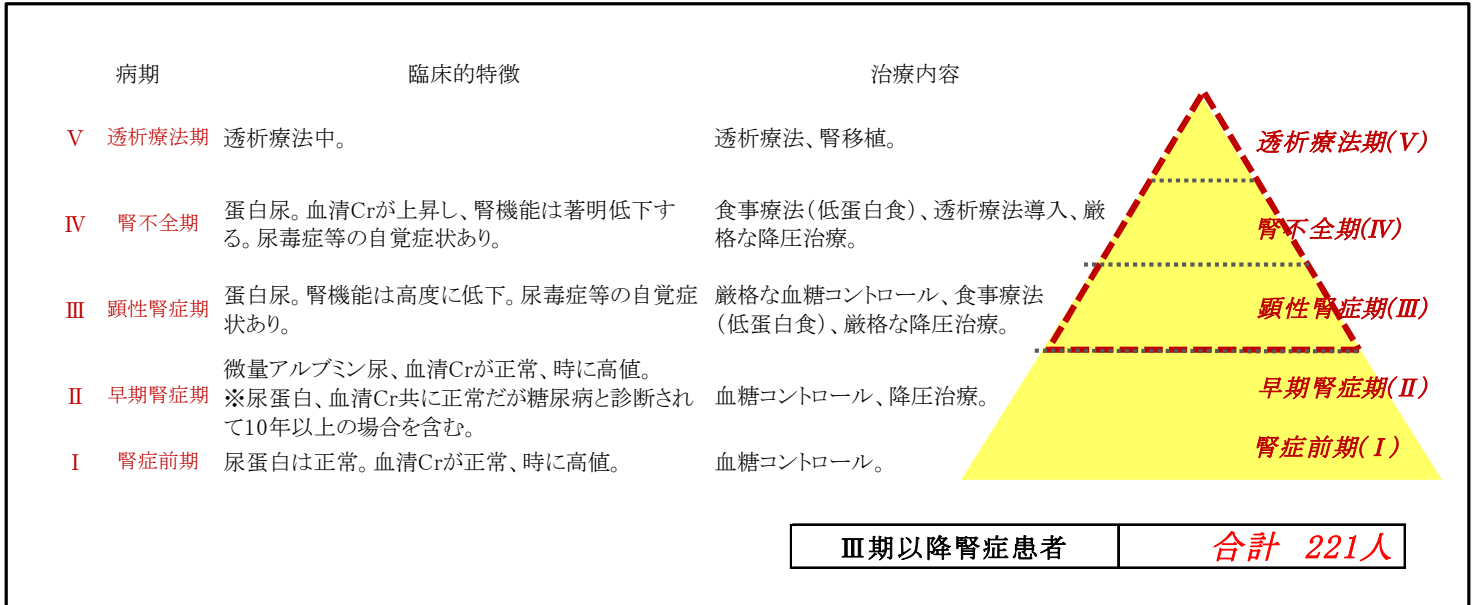
生活習慣を起因とする糖尿病患者に対し、腎症の悪化を遅延させるため、早期に保健指導を行い生活習慣の改善を目指す。

(2) 指導対象者集団の特定

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者221人中63人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

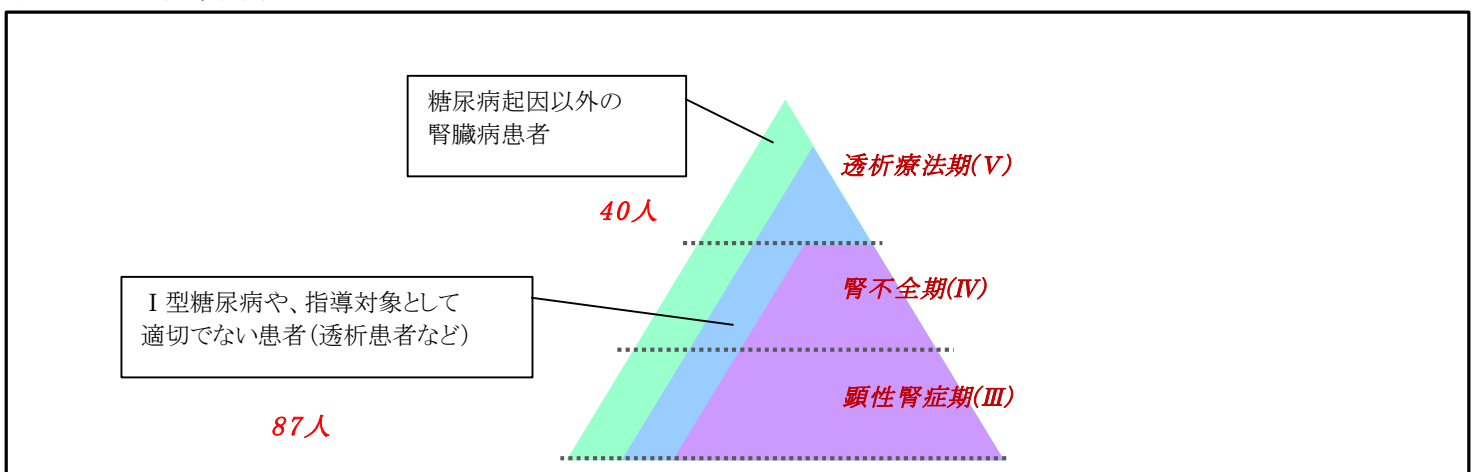
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和7年3月31日時点。

「腎症の起因分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、40人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、指導期間中に後期高齢者医療広域連合へ異動する可能性がある74歳以上の患者等)と考えられ、87人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

腎症の起因分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

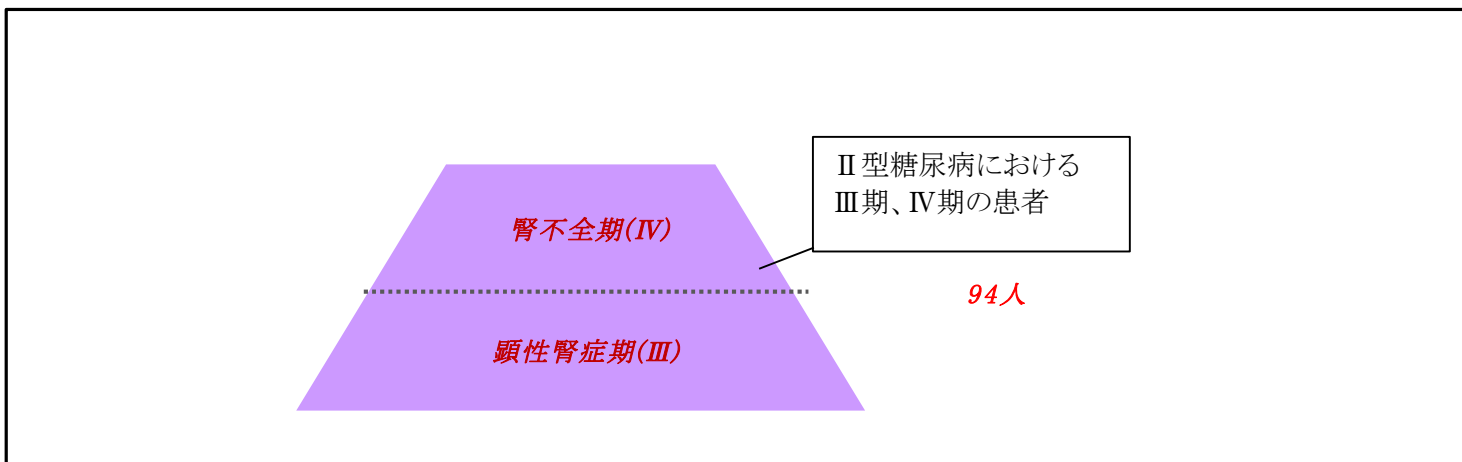
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和7年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下のとおり示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて94人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行に近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

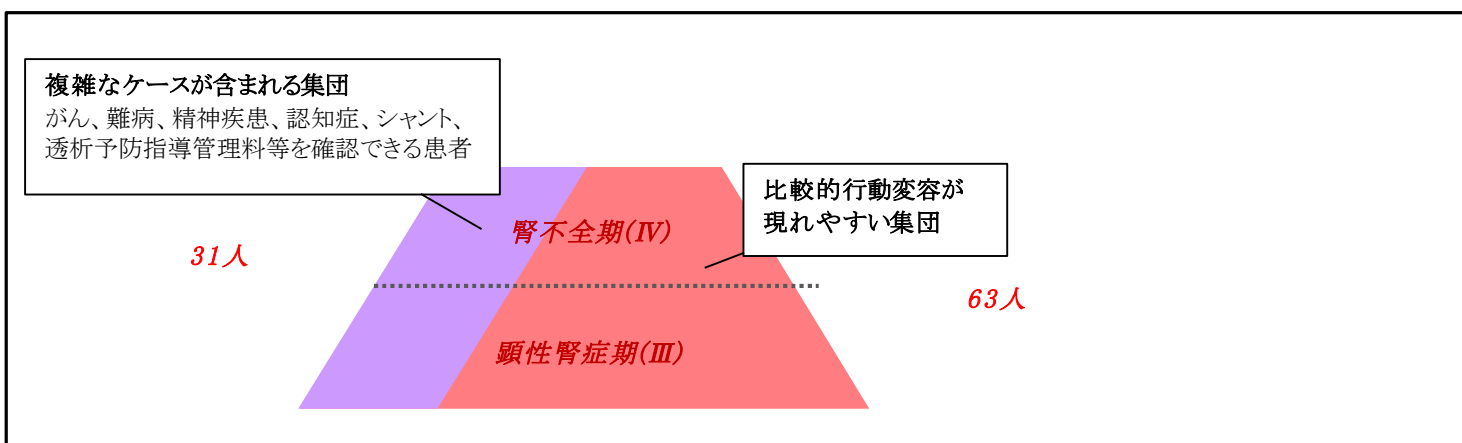
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和7年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。94人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、31人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、63人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

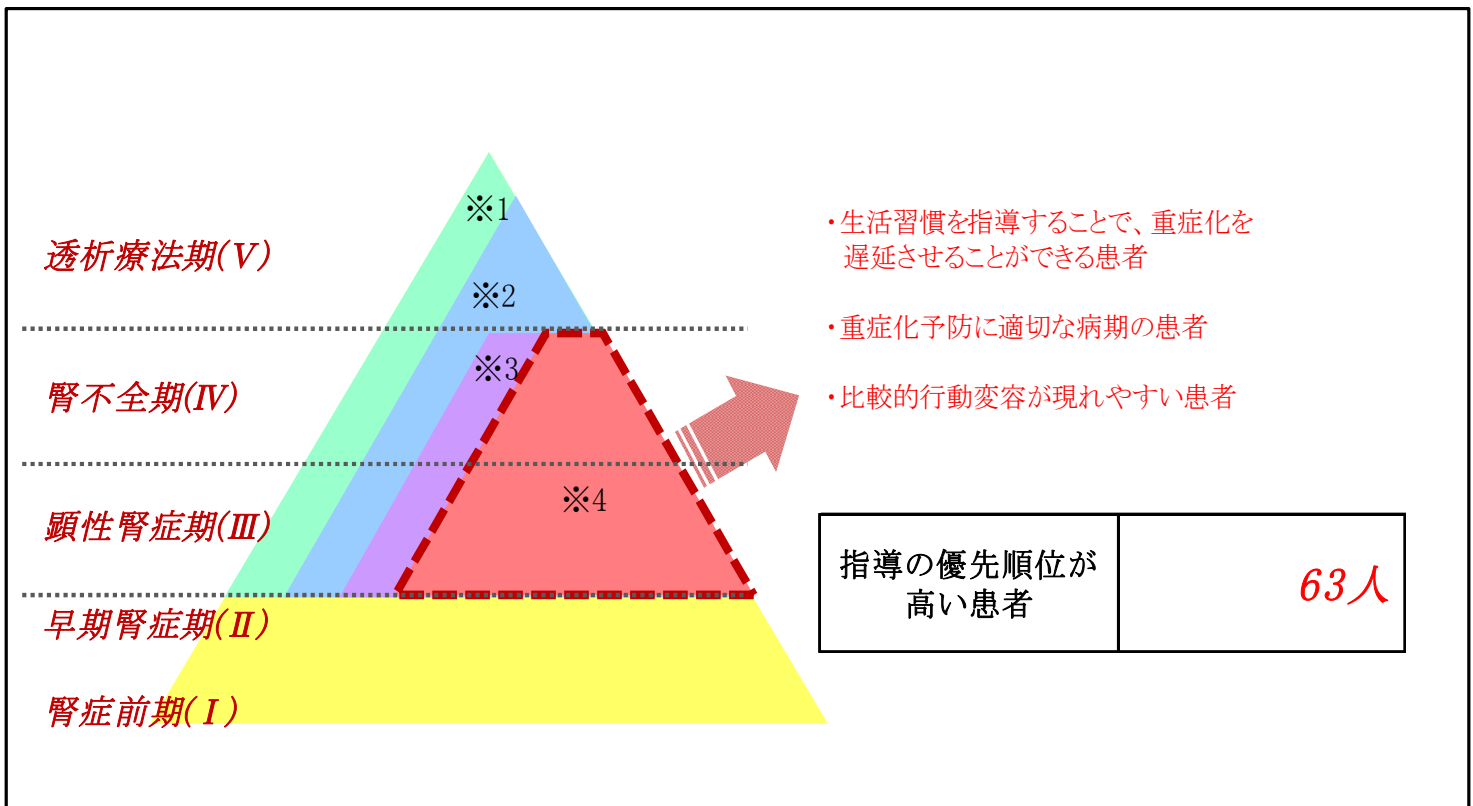
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和7年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、63人となった。この分析の全体像を以下に示す。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和7年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

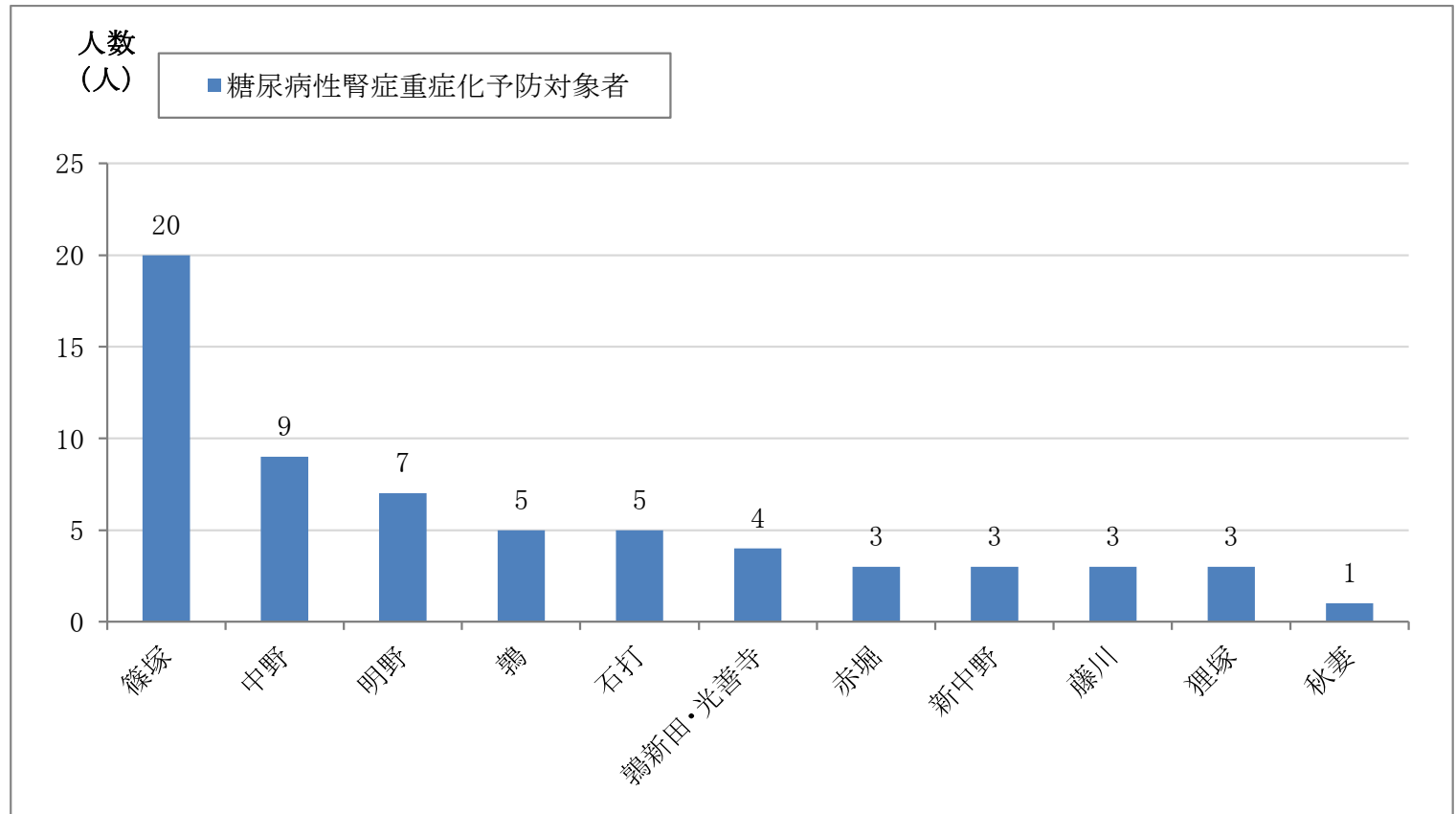
※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

指導の優先順位が高い患者を地区別に示す。

保健指導対象者の地区分布



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和7年3月31日時点。

(3) 適切な指導実施方法の確立

ここでは、データ分析会社及び保健指導実施会社への業者委託を前提とした、他保険者での実施例をひとつの方法として説明する。業者委託のメリットは、準備と人的資源を軽減できること、既に実績を有しており一定の効果が実証されていること等である。

以下に示すのは、指導実施方法のフローである。

まず、保険者はレセプトデータや健康診査データ等、分析に必要なデータをデータ分析会社に提供する。データ分析会社は受領したデータから糖尿病性腎症重症化予防に適切な指導対象者を特定する。その後、データ分析会社は、保健指導実施会社へ指導を委託する。保健指導実施会社の保健師・看護師は、対象者に対し、同意の取得を行い、面談・電話にて指導を行う。保健指導実施会社は指導結果を分析会社に提出し、データ分析会社はこれらデータとレセプト、健康診査データ等を使用し分析を行う。分析結果を保険者へ報告する。

(4) 成果の確認方法

次に、保健指導事業の成果の確認方法について述べる。ここでは、前項に引き続き、データ分析会社及び保健指導実施会社への業者委託を前提とした、実施例を説明する。事業の評価は以下のとおり、客観的な検査値の推移、指導対象者、つまり患者本人の評価、指導を行った保健師・看護師の指導記録により行う。

成果の確認方法(糖尿病性腎症重症化予防)

	評価基準	方法	詳細	頻度
①	検査値の推移	患者から提供される検査値を記録し、数値が維持・改善されているかを確認する。	項目は「収縮期血圧、拡張期血圧、血清クレアチニン、eGFR、HbA1c、空腹時血糖」	3カ月に1回記録 (患者に提供してもらわない場合は記録できない)
②	患者本人の評価	アンケートによる患者本人の評価を集計する。	アンケート項目 ・自己管理に関するもの ・QOL(生活の質)に関するもの	3カ月に1回実施
③	保健師・看護師の指導記録	指導時に生活習慣をヒアリングする。食事・運動に関する問題点を指導、及び目標を設定する。	患者の病期(ステージ)に合った指導を行う。	3カ月に1回報告

5. 高血圧重症化予防事業

高血圧性疾患は疾病中分類における医療費、患者数においていずれも上位にある。自覚症状の低さから軽視される傾向にあるが、高血圧は脳心血管病(脳卒中及び心疾患)の最大の危険因子であり、慢性腎臓病(CKD)、末期腎不全の発症リスクを上昇させ、また各種疾患罹患を通して全死亡リスクも上昇させる(「高血圧治療ガイドライン2019」より)。高血圧による脳心血管病及び腎疾患等の発症・進展・再発を防ぐことが本事業の目的である。

(1) レセプト及び健康診査データによる高血圧症に係る分析

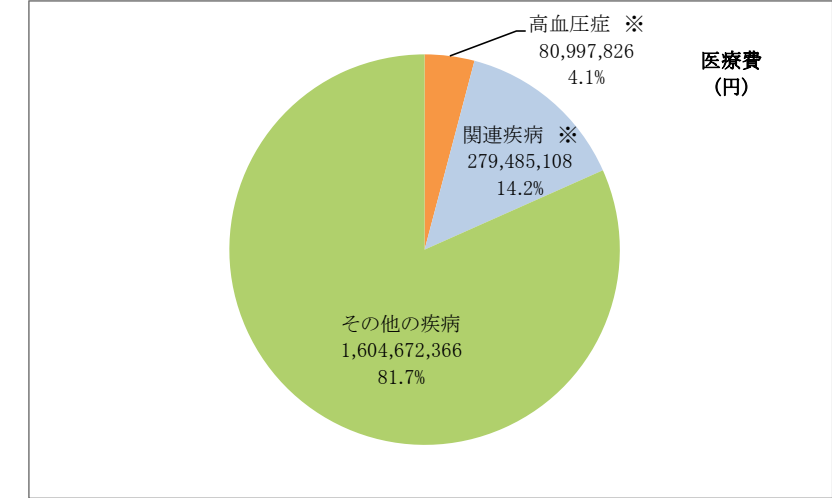
①高血圧症及び関連疾病の医療費等分析

高血圧症、及び高血圧により発症や重症化のリスクが高まる脳心血管病、腎疾患等の重篤な疾病(以下、「関連疾病」という)に係る医療費等の状況について分析を行った。

高血圧症及び関連疾病の医療費等の状況

疾病項目	医療費(円)	構成比(%)	患者数(人)
高血圧症及び関連疾病	360,482,934	18.3%	2,659
高血圧症 ※	80,997,826	4.1%	2,053
関連疾病 ※	279,485,108	14.2%	1,723
脳血管障害	35,701,559	1.8%	461
心疾患	109,923,216	5.6%	1,246
腎疾患	111,712,154	5.7%	332
血管疾患	22,148,179	1.1%	457
その他の疾病	1,604,672,366	81.7%	5,034
合計	1,965,155,300		5,071

医療費全体に占める高血圧症及び関連疾病の医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※高血圧症…ICD10により、次の疾病を対象に集計。I10「本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)」、I15「二次性<続発性>高血圧(症)」

※関連疾病…中分類または、ICD10により、以下の疾病を対象に集計。

脳血管障害…0904「くも膜下出血」、0905「脳内出血」、0906「脳梗塞」、0907「脳動脈硬化(症)」、0908「その他の脳血管疾患」

心疾患…0902「虚血性心疾患」、0903「その他の心疾患」、I11「高血圧性心疾患」、I13「高血圧性心腎疾患」

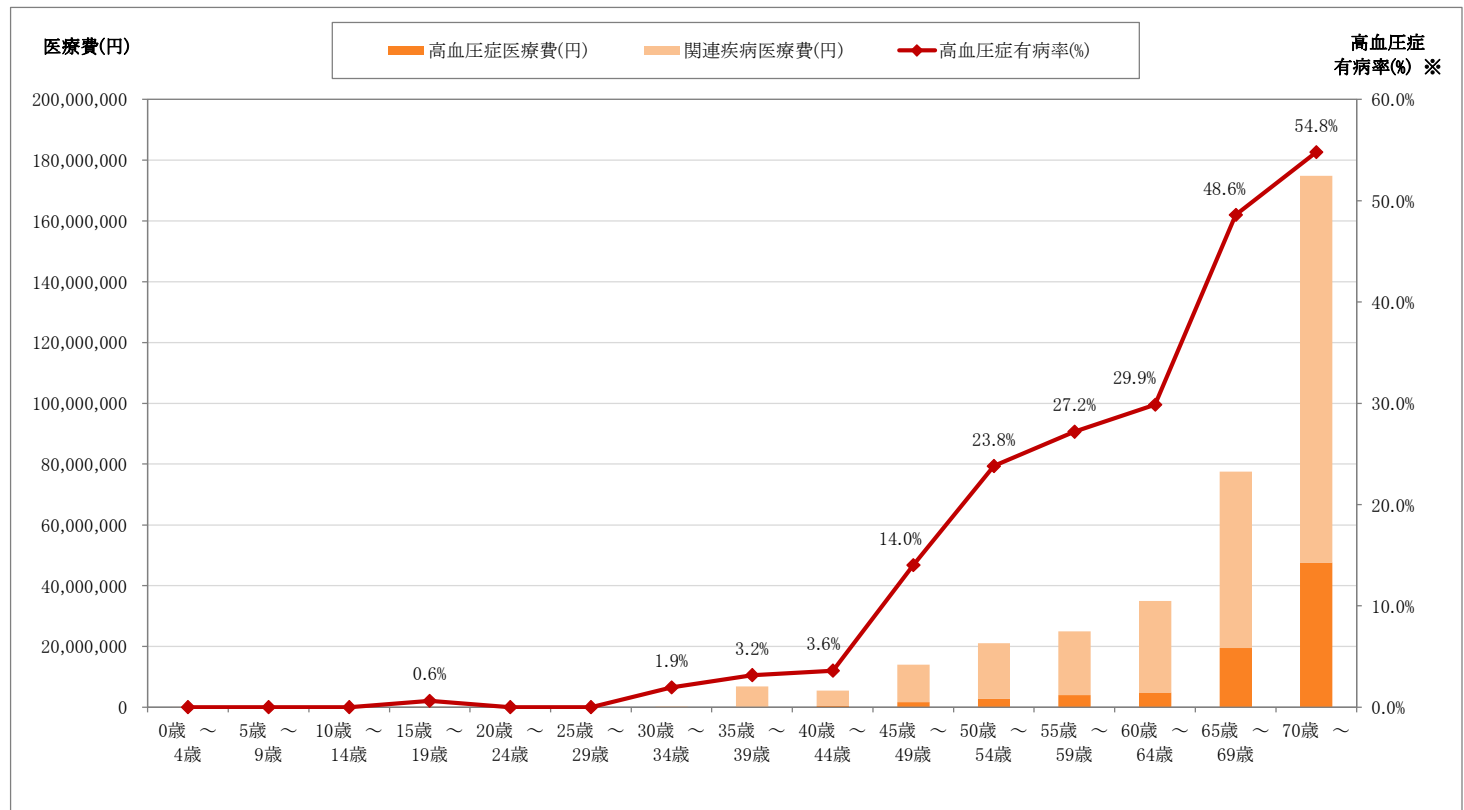
腎疾患…1401「糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患」、1402「腎不全」、I12「高血圧性腎疾患」

血管疾患…0909「動脈硬化(症)」、0912「その他の循環器系の疾患」(一部)

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

年齢階層別の高血圧症及び関連疾病の医療費、高血圧症の有病率を以下に示す。高年齢層において関連疾病の医療費が増大する傾向にある。高血圧症の有病率は加齢に伴って高くなることから、関連疾病の発症や進展に至る前の早めの対策が肝要である。

年齢階層別 高血圧症の医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※高血圧症有病率…被保険者数に占める高血圧症患者数の割合。

※高血圧症…ICD10により、次の疾病を対象に集計。I10「本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)」、I15「二次性<続発性>高血圧(症)」

※関連疾病…中分類または、ICD10により、以下の疾病を対象に集計。

脳血管障害…0904「くも膜下出血」、0905「脳内出血」、0906「脳梗塞」、0907「脳動脈硬化(症)」、0908「その他の脳血管疾患」

心疾患…0902「虚血性心疾患」、0903「その他の心疾患」、I11「高血圧性心疾患」、I13「高血圧性心腎疾患」

腎疾患…1401「糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患」、1402「腎不全」、I12「高血圧性腎疾患」

血管疾患…0909「動脈硬化(症)」、0912「その他の循環器系の疾患」(一部)

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

②健康診査データによる高血圧該当状況分析

40歳以上の被保険者を対象として、特定健康診査受診者における高血圧該当状況及び降圧薬服薬状況を示す。特定健康診査受診者の27.1%に当たる547人が高血圧に該当している。うち260人は高血圧症の投薬レセプトを有しており、233人は高血圧症及び関連疾病のいずれでも医療機関を受診していない。一方、特定健康診査受診者の72.9%に当たる1,474人は高血圧に該当しないが、うち595人が高血圧症の投薬レセプトを有しており、薬物治療による血圧コントロールを受けていると推測できる。

「高血圧治療ガイドライン2019」によると、血圧レベルによって分類される6群のうち、正常血圧以外の全ての人に生活習慣の改善が推奨されている。

健診及びレセプトによる高血圧該当状況

血圧値の分類	検査値範囲			該当者数 (人)	高血圧症 ※ 投薬レセプト有	高血圧症 ※ 投薬レセプト無	高血圧症及び 関連疾病 ※ レセプト無
	収縮期血圧 (mmHg)		拡張期血圧 (mmHg)				
高血圧				547	260	54	233
Ⅲ度高血圧	180～	かつ／または	110～	19	7	3	9
Ⅱ度高血圧	160～179	かつ／または	100～109	113	48	8	57
Ⅰ度高血圧	140～159	かつ／または	90～99	415	205	43	167
その他の血圧分類				1,474	595	159	720
高値血圧	130～139	かつ／または	80～89	520	251	45	224
正常高値血圧	120～129	かつ	～79	432	204	37	191
正常血圧	～119	かつ	～79	522	140	77	305

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和7年3月31日時点。

※高血圧症…ICD10により、次の疾病を対象に集計。I10「本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)」、I15「二次性<続発性>高血圧(症)」

※関連疾病…中分類または、ICD10により、以下の疾病を対象に集計。

脳血管障害…0904「くも膜下出血」、0905「脳内出血」、0906「脳梗塞」、0907「脳動脈硬化(症)」、0908「その他の脳血管疾患」

心疾患…0902「虚血性心疾患」、0903「その他の心疾患」、I11「高血圧性心疾患」、I13「高血圧性心腎疾患」

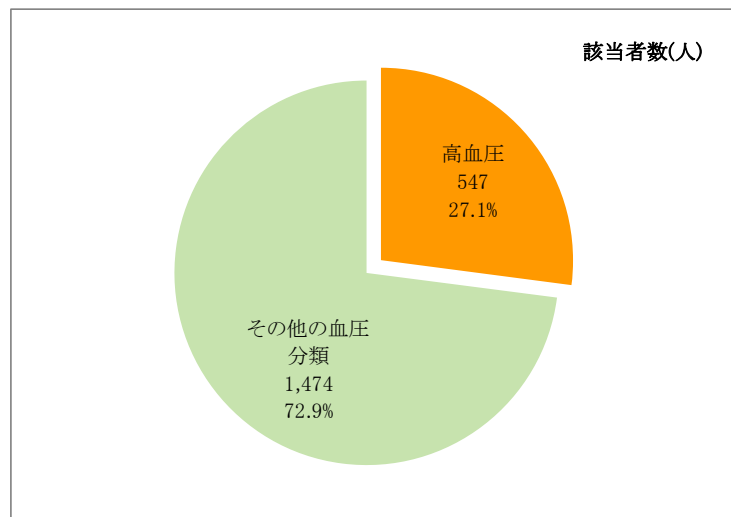
腎疾患…1401「糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患」、1402「腎不全」、I12「高血圧性腎疾患」

血管疾患…0909「動脈硬化(症)」、0912「その他の循環器系の疾患」(一部)

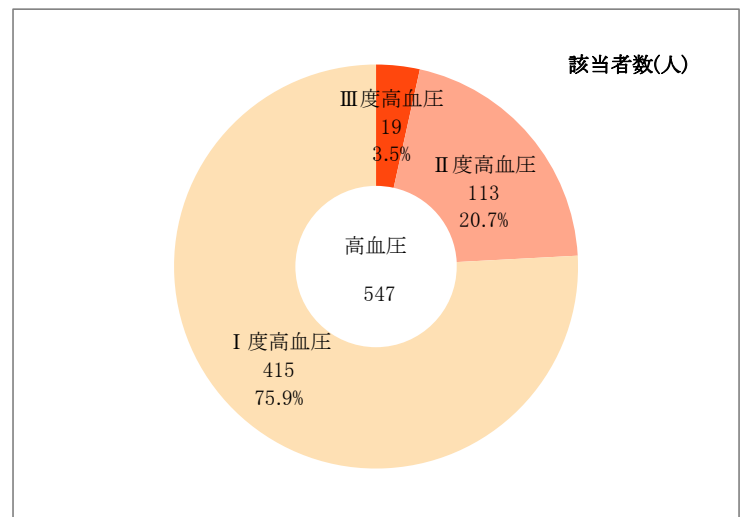
株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

参考資料: 日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会「高血圧治療ガイドライン2019」(ライフサイエンス出版)

健診受診者に占める高血圧該当者の割合



高血圧該当者における血圧値の分類別の割合



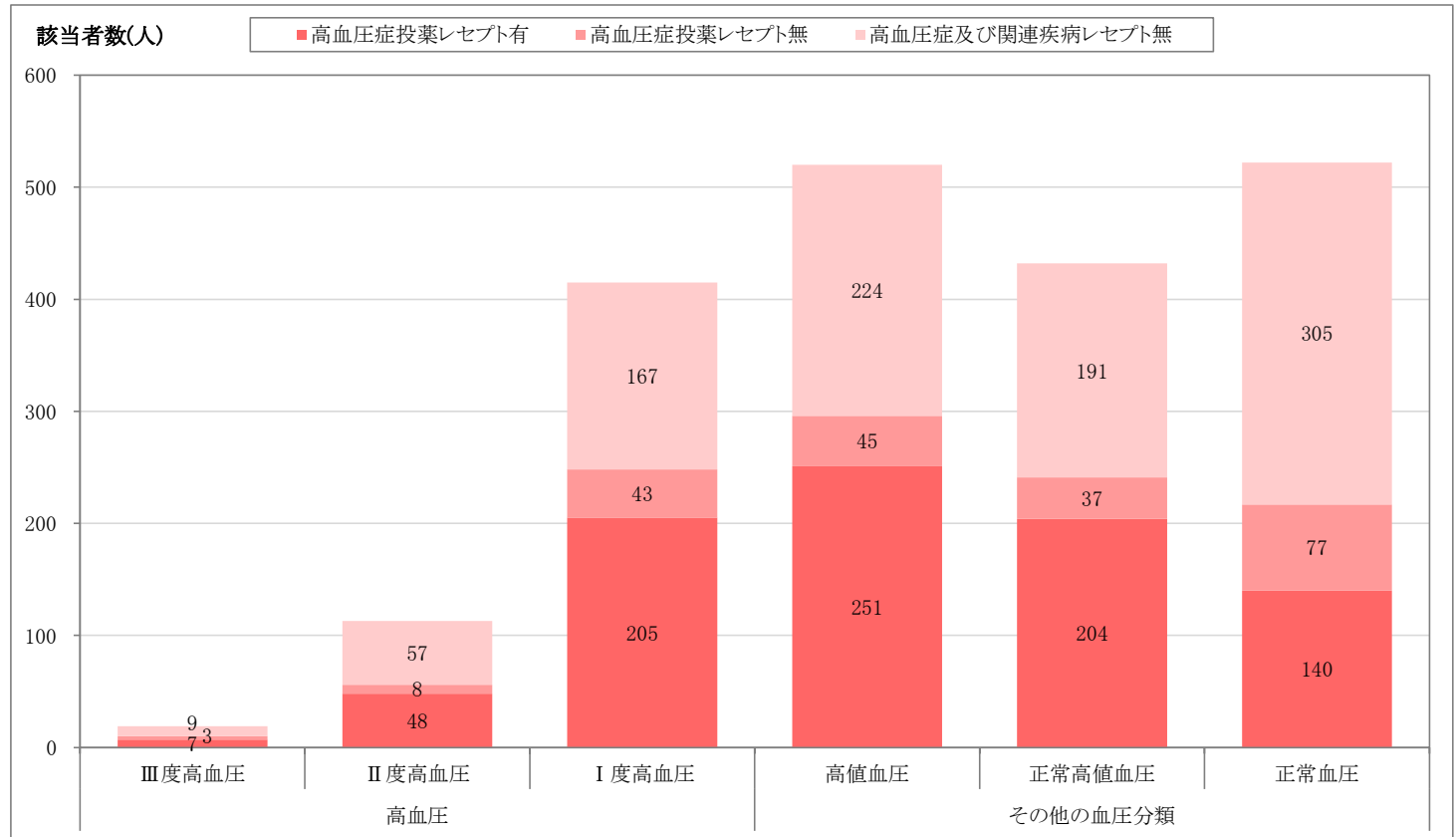
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和7年3月31日時点。

参考資料: 日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会「高血圧治療ガイドライン2019」(ライフサイエンス出版)

前述のとおり、健康診査データとレセプトデータの組み合わせから、高血圧に該当するにもかかわらず高血圧症(関連疾病を含む)で医療機関を受診していない者、高血圧症の治療を受けているがコントロール不良にある者、高血圧症の治療を受けており血圧コントロールが比較的良好である者など、異なる様々な状況にあることがわかる。

健診及びレセプトによる血圧値の分類別該当状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和7年3月31日時点。

※高血圧症…ICD10により、次の疾病を対象に集計。I10「本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)」、I15「二次性<続発性>高血圧(症)」

※関連疾病…中分類または、ICD10により、以下の疾病を対象に集計。

脳血管障害…0904「くも膜下出血」、0905「脳内出血」、0906「脳梗塞」、0907「脳動脈硬化(症)」、0908「その他の脳血管疾患」

心疾患…0902「虚血性心疾患」、0903「その他の心疾患」、I11「高血圧性心疾患」、I13「高血圧性心腎疾患」

腎疾患…1401「糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患」、1402「腎不全」、I12「高血圧性腎疾患」

血管疾患…0909「動脈硬化(症)」、0912「その他の循環器系の疾患」(一部)

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

参考資料:日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会「高血圧治療ガイドライン2019」(ライフサイエンス出版)

グラフの見方

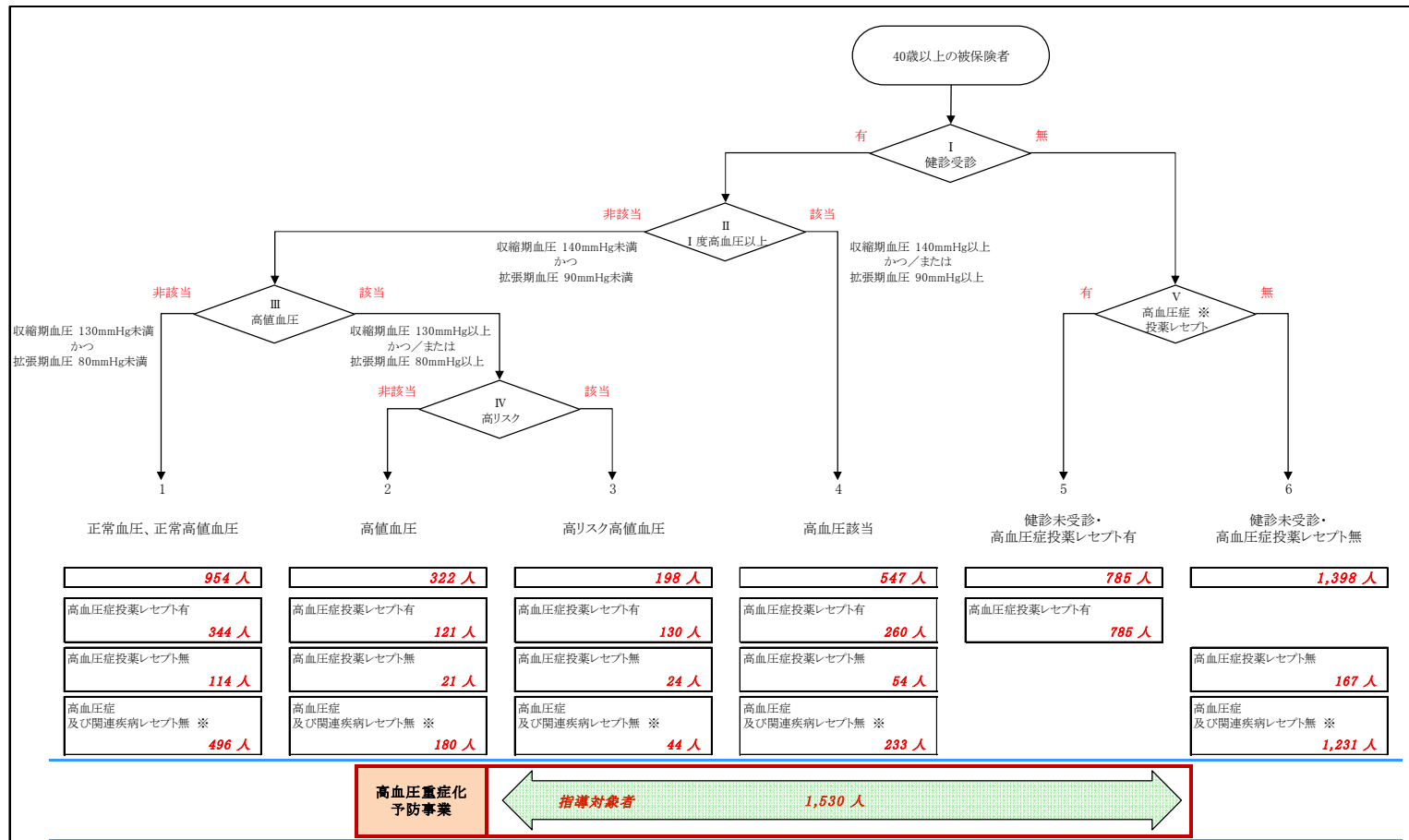
	高血圧該当者	その他の血圧分類該当者
高血圧症及び関連疾病 レセプト無	高血圧に該当するにもかかわらず、高血圧症、関連疾病のいずれでも医療機関を受診していない。	血圧値は高血圧の基準値未満であり、高血圧症、関連疾病のいずれでも医療機関を受診していない。
高血圧症投薬レセプト無	高血圧症または関連疾病で医療機関を受診しているが、高血圧症の薬物治療は行っておらず、血圧値はコントロール不良の状態にある。	高血圧症または関連疾病で医療機関を受診しているが、高血圧症の薬物治療は行っておらず、血圧値は高血圧の基準値未満である。
高血圧症投薬レセプト有	高血圧症の薬物治療を受けているが、血圧値はコントロール不良の状態にある。	高血圧症の薬物治療を受けており、血圧コントロールが比較的良好である。

※ここでは「高血圧該当者」と「その他の血圧分類該当者」に二分しているが、「高血圧治療ガイドライン2019」では正常血圧以外の全ての人に生活習慣の改善を推奨しており、その他の血圧分類該当者に対しても、血圧レベルや高血圧以外の危険因子の有無等の評価に応じて、生活習慣改善の指導の強化や薬物療法の検討等、計画的な介入が必要としている。

(2) 指導対象者集団の特定

40歳以上の被保険者について、健康診査データ及びレセプトデータから6つのグループに分類し、指導対象者を特定する。特定健康診査受診者については、「高血圧治療ガイドライン2019」にて「医療者の関わりの中なかで、計画的に生活習慣に介入」する対象とされている「3 高リスク高値血圧該当」及び「4 高血圧該当」を指導対象者とする。特定健康診査未受診者については血圧検査値による判定ができないことから、高血圧症に係る投薬レセプトを有する「5 健診未受診・高血圧症投薬レセプト有」を指導対象者とする。

健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和7年3月31日時点。

※高血圧症…ICD10により、次の疾病を対象に集計。I10「本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)」、I15「二次性<続発性>高血圧(症)」

※関連疾病…中分類または、ICD10により、以下の疾病を対象に集計。

脳血管障害…0904「くも膜下出血」、0905「脳内出血」、0906「脳梗塞」、0907「脳動脈硬化(症)」、0908「その他の脳血管疾患」

心疾患…0902「虚血性心疾患」、0903「その他の心疾患」、I11「高血圧性心疾患」、I13「高血圧性心腎疾患」

腎疾患…1401「糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患」、1402「腎不全」、I12「高血圧性腎疾患」

血管疾患…0909「動脈硬化(症)」、0912「その他の循環器系の疾患」(一部)

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

参考資料: 日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会「高血圧治療ガイドライン2019」(ライフサイエンス出版)

【フロー説明】

I 健診受診…健診受診の有無を判定。

II 1度高血圧以上…収縮期血圧、拡張期血圧のいずれかが、日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン2019」に定められた血圧値の分類の1度高血圧以上か判定。

III 高値血圧…収縮期血圧、拡張期血圧のいずれかが、日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン2019」に定められた血圧値の分類の高値血圧か判定。

IV 高リスク…日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン2019」の脳心血管病リスク層別化及び高血圧管理計画に基づき高リスクか判定。高血圧管理計画より、降圧目標の緩和対象である、降圧において十分な配慮が必要とされる疾患や病態がレセプトデータから確認できる場合または後期高齢者(75歳以上)に該当する場合は高リスク相当であっても「非該当」と判定。

V 高血圧症投薬レセプト有…高血圧症で投薬治療を受けている医科レセプトの有無を判定。

分類の結果、特定健康診査受診者のうち「3 高リスク高値血圧該当」の198人及び「4 高血圧該当」の547人、特定健康診査未受診者のうち高血圧症に係る投薬レセプトを有する「5 健診未受診・高血圧症投薬レセプト有」の785人を合わせた1,530人が事業対象者となる。

条件設定による指導対象者の特定(高血圧重症化予防事業)

Ⅰ. 条件設定による指導対象者の特定		
指導対象者分析結果	3 高リスク高値血圧該当	198人
	4 高血圧該当	547人
	5 健診未受診・高血圧症投薬レセプト有	785人
条件設定により対象となった候補者数(合計)		1,530人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和7年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。高血圧となった原因が特定されている「二次性高血圧患者」に関しては、その原因となった疾患の治療を通して血圧管理が行われると考えられる。また、「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」「人工透析患者」に関しては、治療を優先すべき疾病を有しており、医学的管理の下にあることが推察される。また、指導が困難な可能性も考えられる。以上の理由から、該当する患者について指導対象者から除外する。

除外設定(高血圧重症化予防事業)

Ⅱ. 除外設定

			実人数
除外1	二次性高血圧 ※	2人	687人
除外2	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	687人	

↓

除外患者を除き、 候補者となった患者数	3 高リスク高値血圧該当	117人
	4 高血圧該当	337人
	5 健診未受診・高血圧症投薬レセプト有	389人
	合計	843人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和7年3月31日時点。

※二次性高血圧…疑い病名を含む。

※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者843人について、脳心血管病、腎疾患等の関連疾病を既に発症している者を三次予防対象者、残る指導対象者を二次予防対象者として分類する。また、特定健康診査受診者は血圧検査値から、特定健康診査未受診者は処方された降圧薬種類数から、対象者の重症度を判定し、分類グループ毎に指導の優先順位が高い候補者を特定した。

これら対象者は全て高血圧重症化予防事業対象者ではあるが、事業方針や規模に応じて指導対象とするグループの範囲を決定し、対象者を選択する。

優先順位(高血圧重症化予防事業)

Ⅲ. 優先順位

3 高リスク高値血圧該当(健診受診者) 、 4 高血圧該当(健診受診者)

↑高
リスク
低↓

血圧値の分類	収縮期血圧 (mmHg)		拡張期血圧 (mmHg)	二次予防 ※	三次予防 ※
Ⅲ度高血圧	180～	かつ／または	110～	候補者2-A 12人	候補者3-A 0人
Ⅱ度高血圧	160～179	かつ／または	100～109	候補者2-B 68人	候補者3-B 10人
Ⅰ度高血圧	140～159	かつ／または	90～99	候補者2-C 190人	候補者3-C 57人
高値血圧	130～139	かつ／または	80～89	候補者2-D 68人	候補者3-D 49人
候補者A～Dの人数				338人	116人

5 健診未受診・高血圧症投薬レセプト有(健診未受診者)

↑高
リスク
低↓

降圧薬種類数 ※	二次予防 ※	三次予防 ※
4種類以上	候補者2-A 3人	候補者3-A 4人
3種類	候補者2-B 25人	候補者3-B 25人
2種類	候補者2-C 97人	候補者3-C 68人
1種類	候補者2-D 107人	候補者3-D 58人
なし	候補者2-E 1人	候補者3-E 1人
候補者A～Eの人数		233人 156人

二次予防対象者、三次予防対象者の分類について

対象者区分	関連疾病の レセプト有無	指導の目的と方向性
二次予防 ※	無	高血圧の改善指導を通して、高血圧を起因とした脳心血管病、腎疾患等の関連疾病の発症を予防する。対象者自身が高血圧のリスクを認識することが重要となる。
三次予防 ※	有	関連疾病のレセプトが発生している対象者に対して、高血圧の改善指導を通して、高血圧を起因とした関連疾病の再発、重症化を予防する。関連疾病の一つである脳梗塞や虚血性心疾患等は特に再発率が高い疾病であるため、適切な治療の継続と生活習慣の改善による慎重な血圧管理が必要となる。

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和7年3月31日時点。

※二次予防…高血圧症及び関連疾病の発症予防対象者。

※三次予防…高血圧症及び関連疾病の重症化予防、再発予防対象者。

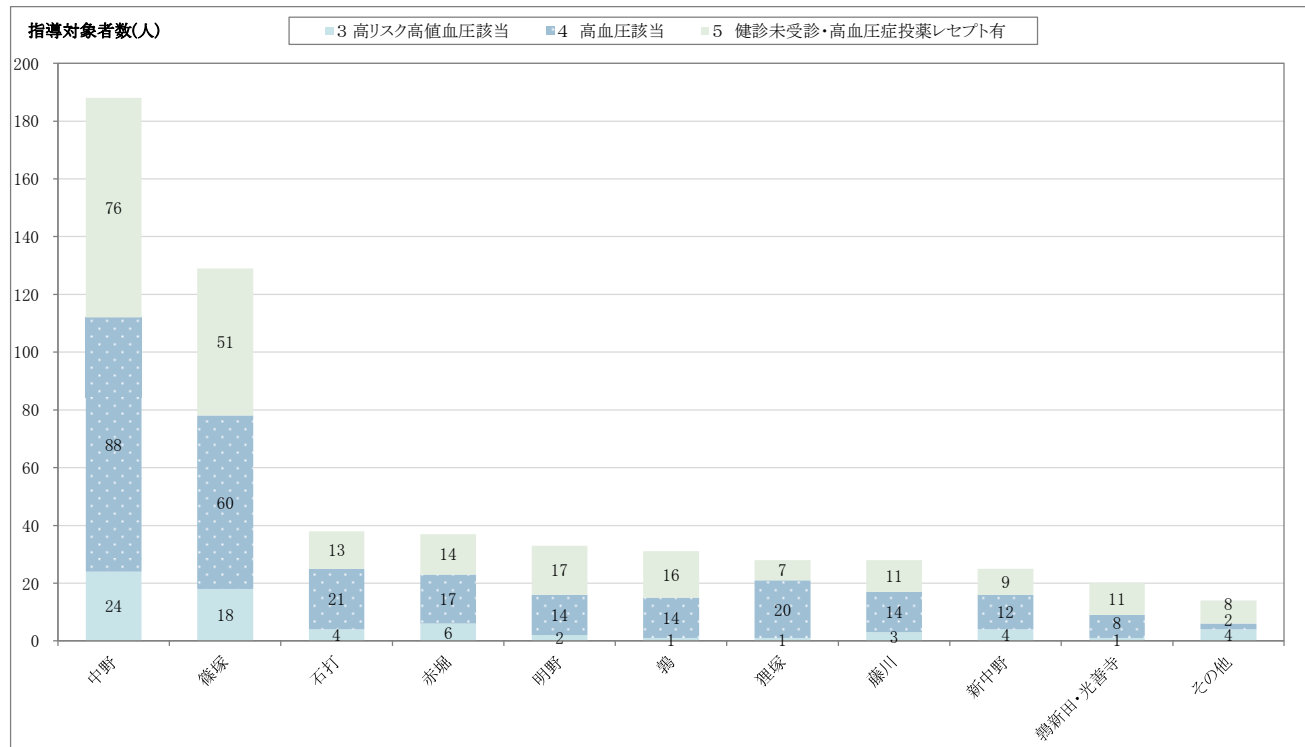
※降圧薬種類数…服薬している降圧薬の薬剤種類数により高血圧の重症度を判定。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

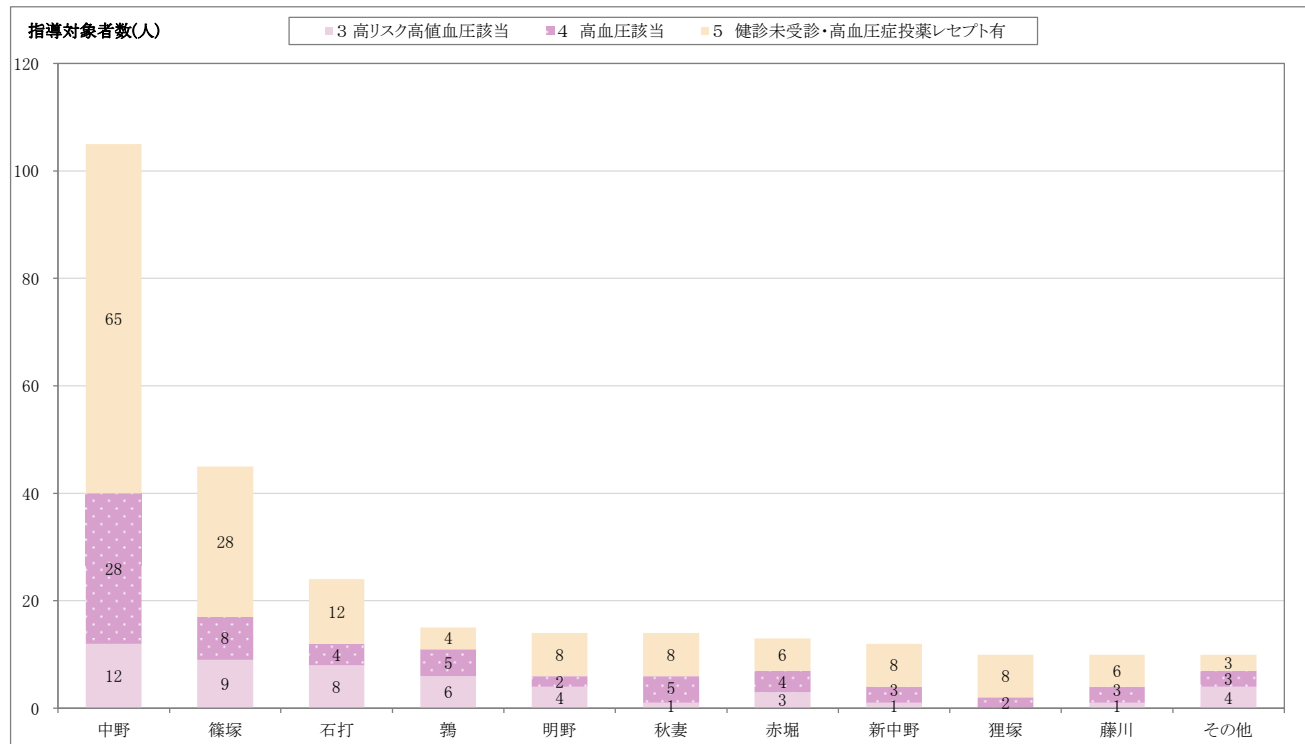
参考資料: 日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会「高血圧治療ガイドライン2019」(ライフサイエンス出版)

以下に、二次予防対象者、三次予防対象者それぞれについて、地区別の分布状況を示す。指導対象者の分類「高リスク高値血圧該当」「高血圧該当」「健診未受診・高血圧症投薬レセプト有」によってグラフの要素を色分けしている。

保健指導対象者の地区分析(二次予防対象者)※



保健指導対象者の地区分析(三次予防対象者)※



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和7年3月31日時点。

※二次予防…高血圧症及び関連疾病の発症予防対象者。

※三次予防…高血圧症及び関連疾病の重症化予防、再発予防対象者。

上位10地区のみ表示。上位10地区以外の対象者数はその他に集約している。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

(3) 適切な指導実施方法の確立

高血圧は生活習慣に関連した疾病であるため、生活習慣を改善する指導を行うことで、その重症化による脳心血管病及び腎疾患等の発症・進行のリスクを減少させることができると考えられる。

ここでは、データ分析会社及び保健指導実施会社への業者委託を前提とした、他保険者での実施例をひとつの方法として説明する。業者委託のメリットは、準備と人的資源を軽減できること、既に実績を有しており一定の効果が実証されていること等である。

以下に示すのは、指導実施方法のフローである。

まず、保険者はレセプトデータや健康診査データ等、分析に必要なデータをデータ分析会社に提供する。データ分析会社は受領したデータから、高血圧重症化予防に適切な事業対象者を特定する。データ分析会社より委託を受けた保健指導実施会社の保健師・看護師が指導対象者に同意を得て、面談・電話にて指導を行う。保健指導実施会社から指導結果の提供を受けたデータ分析会社はこれらデータとレセプトデータ、健康診査データ等を使用し分析を行い、分析結果を保険者へ報告する。

(4) 成果の確認方法

次に事業の成果の確認方法について述べる。ここでは、前項に引き続き、データ分析会社及び保健指導実施会社への業者委託を前提とした実施例を説明する。

成果の確認方法(高血圧重症化予防)

	評価基準	方法	詳細	頻度
①	検査値の推移	患者から提供される検査値を記録し、数値が維持・改善されているかを確認する。	項目は「収縮期血圧、拡張期血圧、BMI、eGFR、HbA1c、空腹時血糖、HDL、LDL」	3カ月に1回記録 (患者に提供してもらわない場合は記録できない)
②	患者本人の評価	アンケートによる患者本人の評価を集計する。	アンケート項目 ・自己管理に関するもの ・QOL(生活の質)に関するもの	3カ月に1回実施
③	保健師・看護師の指導記録	指導時に生活習慣をヒアリングする。服薬・食事・運動に関する問題点を指摘し、指導計画及び目標を設定する。	患者の病期(ステージ)に合った指導を行う。	3カ月に1回報告

6. 脳梗塞の発症予防・再発予防事業

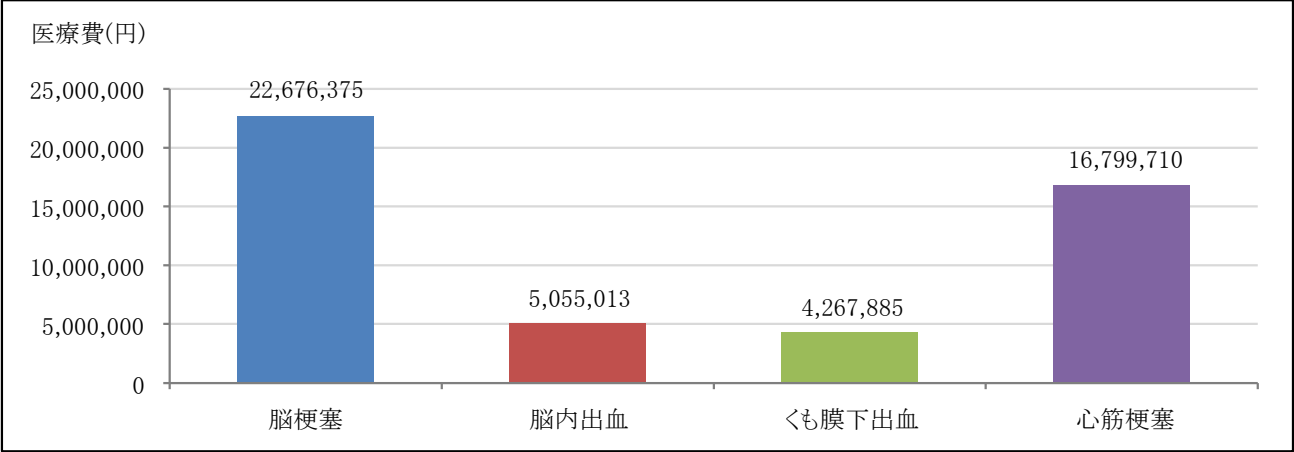
(1) 脳卒中・心筋梗塞の疾病別医療費及び患者数

厚生労働省「令和4年人口動態統計」において死因順位第2位の心疾患、第4位の脳血管疾患に関して分析を行う。脳卒中は後遺症が残るおそれがあり、厚生労働省「2022年国民生活基礎調査」において要介護者となった主な原因の第2位となっている。

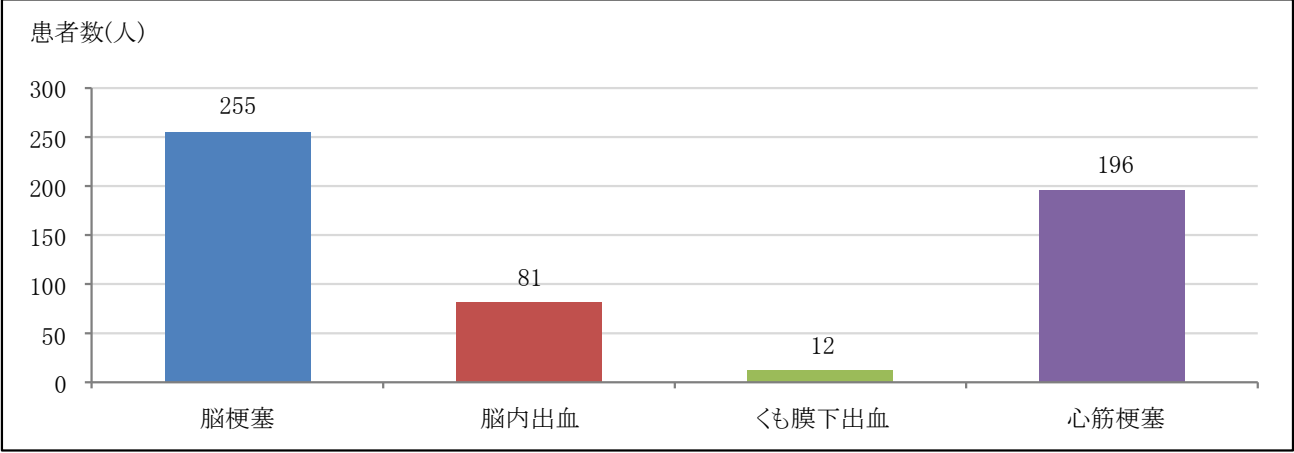
脳卒中・心筋梗塞の医療費、患者数を集計する。生活習慣病から重篤化した疾患のなかでは、脳梗塞の患者数が多く、特に対策が必要な疾病であると考えられる。

脳卒中・心筋梗塞は再発率が高いため、治療完了後の生活習慣の改善が必要となる。

脳卒中(脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血)、心筋梗塞における医療費



脳卒中(脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血)、心筋梗塞における患者数



疾病分類	医療費(円)	患者数(人)	一人当たり医療費(円)
脳梗塞	22,676,375	255	88,927
脳内出血	5,055,013	81	62,408
くも膜下出血	4,267,885	12	355,657
心筋梗塞	16,799,710	196	85,713

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
データ化範囲(分析対象)期間内に「脳卒中」もしくは「心筋梗塞」に関する診療行為がある患者を対象に集計。
株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

(2) 脳梗塞の発症予防・再発予防対象者集団の特定

前項の分析結果より、患者数の多い脳梗塞は特に対策を行う必要のある疾病である。また、生活習慣に関連した疾患との関連性が強いと考えられるため、治療完了後も生活習慣に改善がみられない場合、再発するおそれが高い。再発を防ぐために適切な指導を行う必要がある。

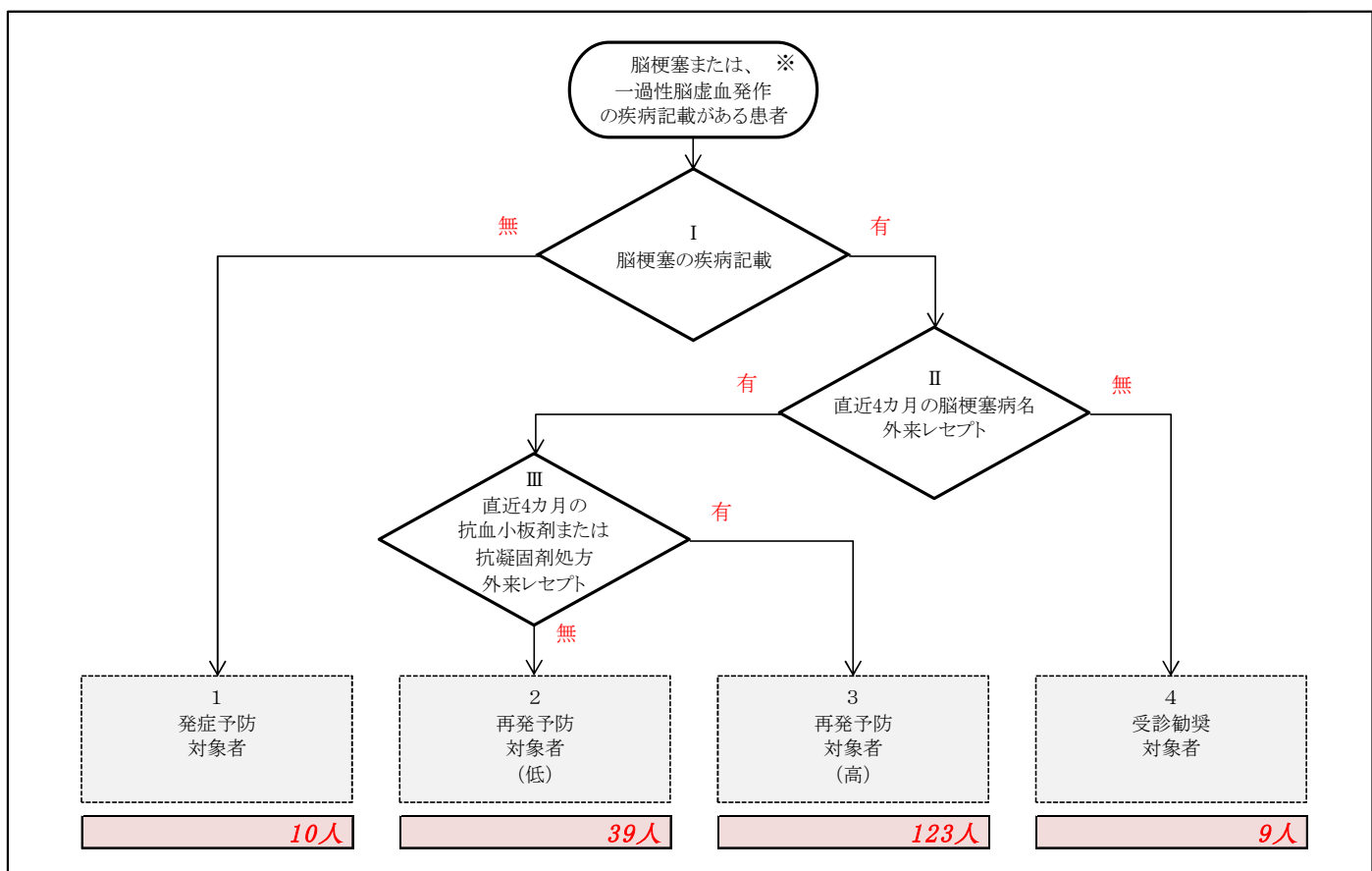
ここでは、レセプトデータより、過去に脳梗塞を発症した患者または一過性脳虚血発作を発症した患者に対し、疾病・処方医薬品・通院傾向を把握し、発症と再発を予防するための対象者分析を行う。

一過性脳虚血発作を発症した患者は、脳梗塞の発症リスクが高いと考えられるため、発症予防の対象者として分類する(1. 発症予防対象者)。

脳梗塞の疾病が確認される患者については、直近4カ月における脳梗塞の外来レセプトの有無を確認する。外来レセプトが有る場合、医療機関への受診は行われているため、再発予防の対象者とする(2. 3. 再発予防対象者)。その際「抗血小板剤または抗凝固剤」処方の有無により、優先度を設定する。

外来レセプトが無い場合、定期的な受診を促す(4. 受診勧奨対象者)。

レセプトによる脳梗塞再発予防指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和7年3月31日時点。

※脳梗塞または、一過性脳虚血発作の疾病記載がある患者…入院中のおそれがあるため、直近4カ月の脳梗塞の入院レセプトがある患者は除く。

一過性脳虚血発作…脳梗塞と同様の症状が一時的に起こって短時間で消失する現象。本格的な脳梗塞を起こす前兆発作といわれている。抗血小板剤または抗凝固剤…凝固因子の活性化や血小板の働きを抑えることにより血液を固まりにくくする薬。心筋梗塞や脳梗塞の予防を目的として処方されることから、ここでは高リスク者の判定材料とした。

(3) 適切な指導実施方法の確立

脳梗塞は生活習慣病に関連した疾病であるため、生活習慣を改善する指導を行うことで、再発のリスクを減少させることができると考えられる。

ここでは、データ分析会社及び保健指導実施会社への業者委託を前提とした、実施例をひとつの方法として説明する。業者委託のメリットは、準備と人的資源を軽減できること、既に実績を有しており一定の効果が実証されていること等である。

以下に示すのは、指導実施方法のフローである。

まず、保険者はレセプトデータや健康診査データ等、分析に必要なデータをデータ分析会社に提供する。データ分析会社は受領したデータから脳梗塞発症予防・再発予防に適切な指導対象者を特定する。その後、データ分析会社は、保健指導実施会社へ指導を委託する。保健指導実施会社の保健師・看護師は、対象者に対し、同意の取得を行い、面談・電話にて指導を行う。保健指導実施会社は指導結果を分析会社に提出し、データ分析会社はこれらデータとレセプト、健診データ等を使用し分析を行う。分析結果を保険者へ報告する。

(4) 成果の確認方法

次に、保健指導成果の確認方法について述べる。ここでは、前項に引き続き、データ分析会社及び保健指導実施会社への業者委託を前提とした、実施例を説明する。事業の評価は以下のとおり、客観的な検査値の推移、指導対象者、つまり患者本人の評価、指導を行った保健師・看護師の指導記録により行う。

成果の確認方法(脳梗塞の発症予防・再発予防事業)

	評価基準	方法	詳細	頻度
①	検査値の推移	患者から提供される検査値を記録し、数値が維持・改善されているかを確認する。	項目は「収縮期血圧、拡張期血圧、HbA1c、空腹時血糖、HDL、LDL」	3カ月に1回記録 (患者に提供してもらわない場合は記録できない)
②	患者本人の評価	アンケートによる患者本人の評価を集計する。	アンケート項目 ・自己管理に関するもの ・QOL(生活の質)に関するもの	3カ月に1回実施
③	保健師・看護師の指導記録	指導時に生活習慣をヒアリングする。食事・運動に関する問題点を指導、及び目標を設定する。	患者に合った指導を行う。	3カ月に1回報告

7. メンタル疾患の発症予防事業

健康寿命の延伸を実現するために、身体健康と共に重要とされるのが、メンタル疾患を予防しこころの健康を維持することである。厚生労働省は健康日本21(第三次)において、基本的な方針に「社会環境の質の向上」を定め、「社会とのつながり・こころの健康の維持及び向上」の観点から、地域の人々とのつながりが強いと思う者の増加、メンタルヘルス対策に取り組む事業場の増加等を具体的な目標として掲げている。

メンタル疾患として代表的な、うつ病を含む気分障害の患者は、厚生労働省の患者調査において近年急速に増加していることが指摘されている。また、うつ病やうつ状態となると、喫煙率が高くなる・肥満になる等健康的な生活習慣が妨げられる傾向があり、その結果、脳卒中・心筋梗塞等の予後が悪化することが明らかとなっている。

ここでは、疾病分類の中分類における「0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」及び「0505 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害」(以下、「神経症、ストレス関連等」という)、うつ病と関係性が高い「睡眠障害」「アルコール使用障害」を“メンタル疾患”とし、分析する。

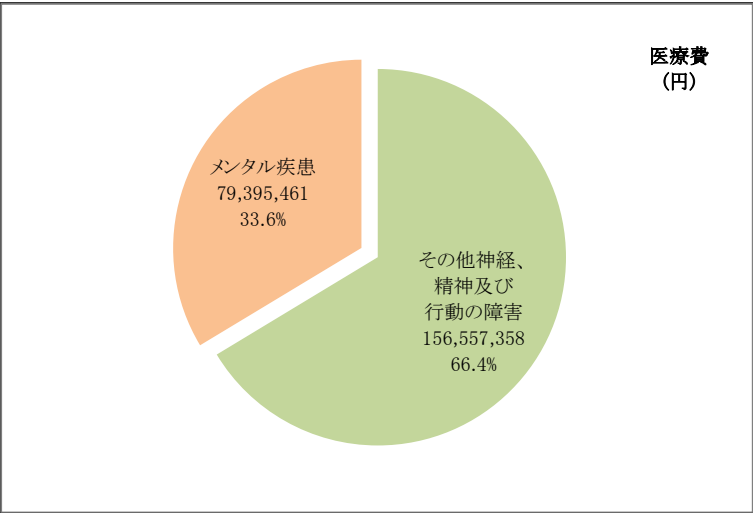
参考資料: 厚生労働省「健康日本21(第三次)の推進のための説明資料」

(1) 医療費全体におけるメンタル疾患の割合

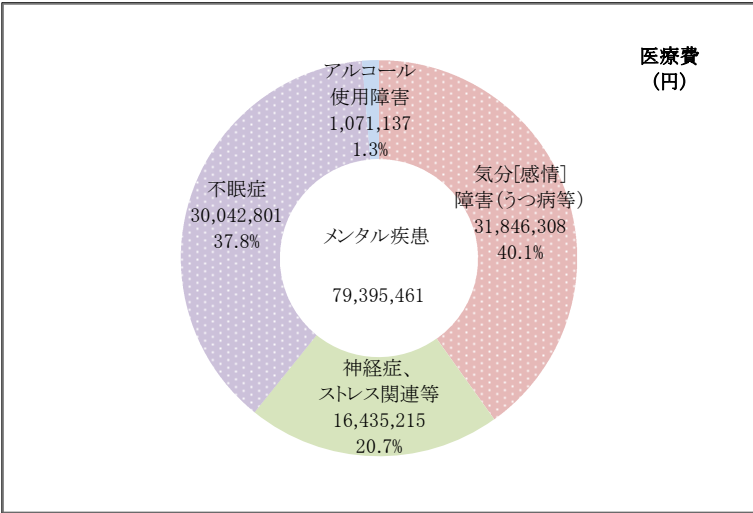
大分類による疾病別医療費をみると、医療費全体における「V. 精神及び行動の障害」「VI. 神経系の疾患」の割合は12. 0%であった。このうち“メンタル疾患”の割合を集計すると33. 6%であった(※)。「気分[感情]障害(うつ病等)」、「不眠症」が多くを占めており、対策が必要な疾病であると考えられる。

※…「V. 精神及び行動の障害」分類には認知症、統合失調症、知的障害等が含まれ、「VI. 神経系の疾患」分類にはパーキンソン病、アルツハイマー病、てんかん等含まれる疾病が多岐にわたる。

神経、精神及び行動の障害におけるメンタル疾患の割合



メンタル疾患の医療費割合

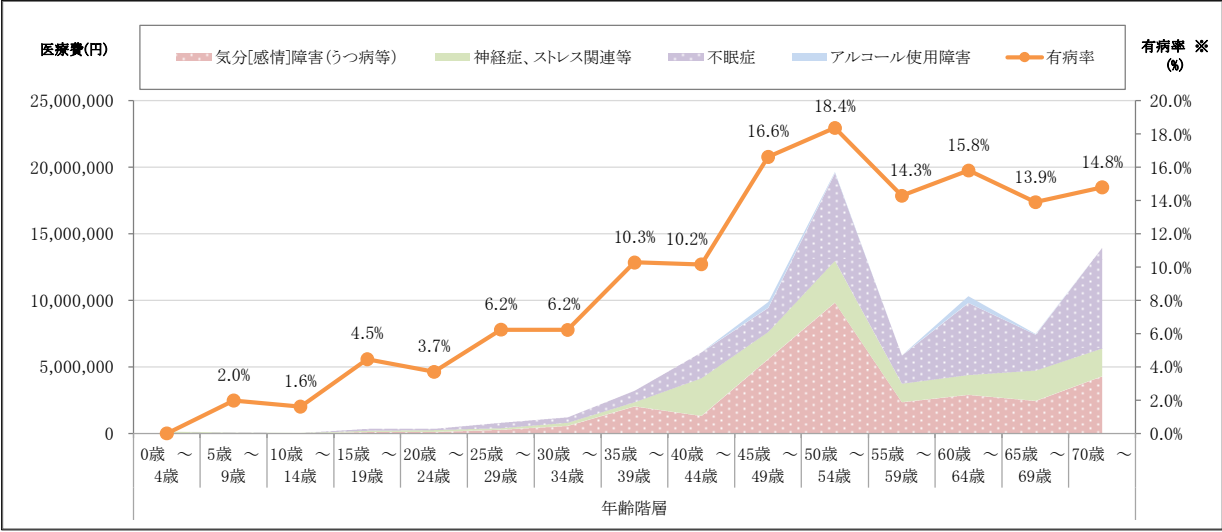


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
データ化範囲(分析対象)期間内に「気分[感情]障害(うつ病等)」もしくは「神経症、ストレス関連等」「不眠症」「アルコール使用障害」に関する診療行為がある患者を対象に集計。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

(2) 年齢階層別の医療費と有病率

次に、年齢階層別のメンタル疾患の医療費及び有病率を以下に示す。

年齢階層別被保険者における“メンタル疾患”疾病別医療費と有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
データ化範囲(分析対象)期間内の「気分[感情]障害(うつ病等)」もしくは「神経症、ストレス関連等」「不眠症」「アルコール使用障害」に関する診療行為がある患者を対象に医療費を集計。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※有病率…データ化範囲(分析対象)期間内に「気分[感情]障害(うつ病等)」もしくは「神経症、ストレス関連等」「不眠症」「アルコール使用障害」に関する投薬がある患者を対象に集計。

患者の地区別内訳

順位	地区名	被保険者(人)		合計(人)
		男性	女性	
1	中野	100	124	224
2	篠塚	55	74	129
3	鶉	22	32	54
4	明野	20	30	50
5	狸塚	16	27	43
6	赤堀	16	24	40
7	石打	12	26	38
8	藤川	16	15	31
9	新中野	9	13	22
10	鶉新田・光善寺	10	12	22
その他		12	18	30
総計		288	395	683

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和7年3月31日時点。
データ化範囲(分析対象)期間内に「気分[感情]障害(うつ病等)」もしくは「神経症、ストレス関連等」「不眠症」「アルコール使用障害」に関する投薬がある患者を対象に集計。
上位10地区のみ表示。上位10地区以外の対象者数はその他に集約している。

(3) 適切な対策実施方法の確立

メンタル疾患において軽度な段階で早期発見、早期治療を行い、深刻な症状への進行を防ぐことが大切である。早期発見するために、住民を対象としたうつ病、抑うつ状態に関する意識調査、メンタルヘルスの相談が行えるように健康相談の体制の充実を図ることが重要である。また、メンタルヘルスについて理解を深めるために、勉強会を企画したり、うつ対策を進めている他都道府県、市区町村へ視察する等して、適切な対策方法を確立することが大切である。

8. 受診行動適正化指導事業

多受診(重複受診・頻回受診・重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。ここでは「多受診患者数とその傾向」を把握し、「指導対象者集団の特定」「適切な指導実施方法の確立」「成果の確認方法」について明確にする。

(1) 多受診(重複受診・頻回受診・重複服薬)患者数とその傾向

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析した。

以下のとおり重複受診者数を集計した。ひと月平均4人程度の重複受診者が確認できる。12カ月間の延べ人数は49人、実人数は38人である。

重複受診者数

	令和6年4月	令和6年5月	令和6年6月	令和6年7月	令和6年8月	令和6年9月	令和6年10月	令和6年11月	令和6年12月	令和7年1月	令和7年2月	令和7年3月
重複受診者数(人) ※	7	7	6	3	0	4	3	6	2	4	4	3
										12カ月間の延べ人数		49人
										12カ月間の実人数		38人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和7年3月31日時点。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※重複受診者数…1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

重複受診の要因となる主な上位疾病は以下のとおりである。

順位	病名	分類	割合(%)
1	クローン病	消化器系の疾患	14.1%
2	慢性胃炎	消化器系の疾患	10.1%
3	アレルギー性鼻炎	呼吸器系の疾患	6.7%
4	気管支喘息	呼吸器系の疾患	6.0%
5	便秘症	消化器系の疾患	5.4%
6	糖尿病	内分泌, 栄養及び代謝疾患	4.0%
7	狭心症	循環器系の疾患	4.0%
8	めまい症	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4.0%
9	COVID-19	特殊目的用コード	4.0%
10	上腕骨近位端骨折	損傷, 中毒及びその他の外因の影響	3.4%

以下のとおり頻回受診者数を集計した。ひと月平均10人程度の頻回受診者が確認できる。
12カ月間の延べ人数は123人、実人数は44人である。

頻回受診者数

	令和6年4月	令和6年5月	令和6年6月	令和6年7月	令和6年8月	令和6年9月	令和6年10月	令和6年11月	令和6年12月	令和7年1月	令和7年2月	令和7年3月
頻回受診者数(人) ※	11	12	9	16	9	12	11	13	8	8	4	10
										12カ月間の延べ人数		123人
										12カ月間の実人数		44人

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和7年3月31日時点。
※頻回受診者数…1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

頻回受診の要因となる主な上位疾病は以下のとおりである。

順位	病名	分類	割合(%)
1	統合失調症	精神及び行動の障害	16.6%
2	変形性膝関節症	筋骨格系及び結合組織の疾患	12.9%
3	頸椎椎間板症	筋骨格系及び結合組織の疾患	9.2%
4	変形性腰椎症	筋骨格系及び結合組織の疾患	6.7%
5	腰椎椎間板ヘルニア	筋骨格系及び結合組織の疾患	6.7%
6	高次脳機能障害	精神及び行動の障害	5.5%
7	腰部脊柱管狭窄症	筋骨格系及び結合組織の疾患	4.9%
8	肩関節周囲炎	筋骨格系及び結合組織の疾患	4.9%
9	骨粗鬆症	筋骨格系及び結合組織の疾患	4.9%
10	慢性胃炎	消化器系の疾患	4.3%

以下のとおり重複服薬者数を集計した。ひと月平均14人程度の重複服薬者が確認できる。12カ月間の延べ人数は163人、実人数は91人である。

重複服薬者数

	令和6年4月	令和6年5月	令和6年6月	令和6年7月	令和6年8月	令和6年9月	令和6年10月	令和6年11月	令和6年12月	令和7年1月	令和7年2月	令和7年3月
重複服薬者数(人) ※	15	15	17	14	14	11	18	11	12	10	11	15
										12カ月間の延べ人数		163人
										12カ月間の実人数		91人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和7年3月31日時点。
※重複服薬者数…1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

重複服薬の要因となる主な上位薬品は以下のとおりである。

順位	医薬品名 ※	薬効分類	割合(%)
1	アムロジピンOD錠5mg「トーワ」	血管拡張剤	6.9%
2	レバミピド錠100mg「オーツカ」	消化性潰瘍用剤	6.7%
3	ロキソプロフェン錠60mg「EMEC」	解熱鎮痛消炎剤	5.7%
4	カンデサルタン錠4mg「日新」	血圧降下剤	5.3%
5	エチゾラム錠0. 5mg「クニヒロ」	精神神経用剤	4.8%
6	ピソプロロールフマル酸塩錠2. 5mg「トーワ」	不整脈用剤	3.4%
7	プロチゾラムOD錠0. 25mg「テバ」	催眠鎮静剤, 抗不安剤	3.0%
8	ドパコール配合錠L100	抗パーキンソン剤	2.3%
9	テルミサルタン錠40mg「日医工」	血圧降下剤	2.3%
10	タケキャブ錠10mg	消化性潰瘍用剤	2.3%

※医薬品名…重複服薬と判定された同系の医薬品の中で、最も多く処方された医薬品名。

(2) 指導対象者集団の特定

分析結果より、12カ月間で重複受診者は38人、頻回受診者は44人、重複服薬者は91人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前項の分析結果より患者数は減少する。

条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I. 条件設定による指導対象者の特定

- ・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者
- ・頻回受診患者 …1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者
- ・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者

条件設定により候補者となった患者数

169人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和7年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」「人工透析患者」に関しては、必要な医療による受診の可能性がある。また、指導が困難な可能性も考えられる。以上の理由から、該当する患者について指導対象者から除外する。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II. 除外設定

		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	120人
除外患者を除き、候補者となった患者数		49人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和7年3月31日時点。
※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者49人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定する。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。効果については、レセプト期間最終月から6カ月間遡ったレセプトのうち、5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先とする。効率については、指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を最優先とし、次に、50歳～59歳を対象とした。以下のとおり、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fは4人となった。

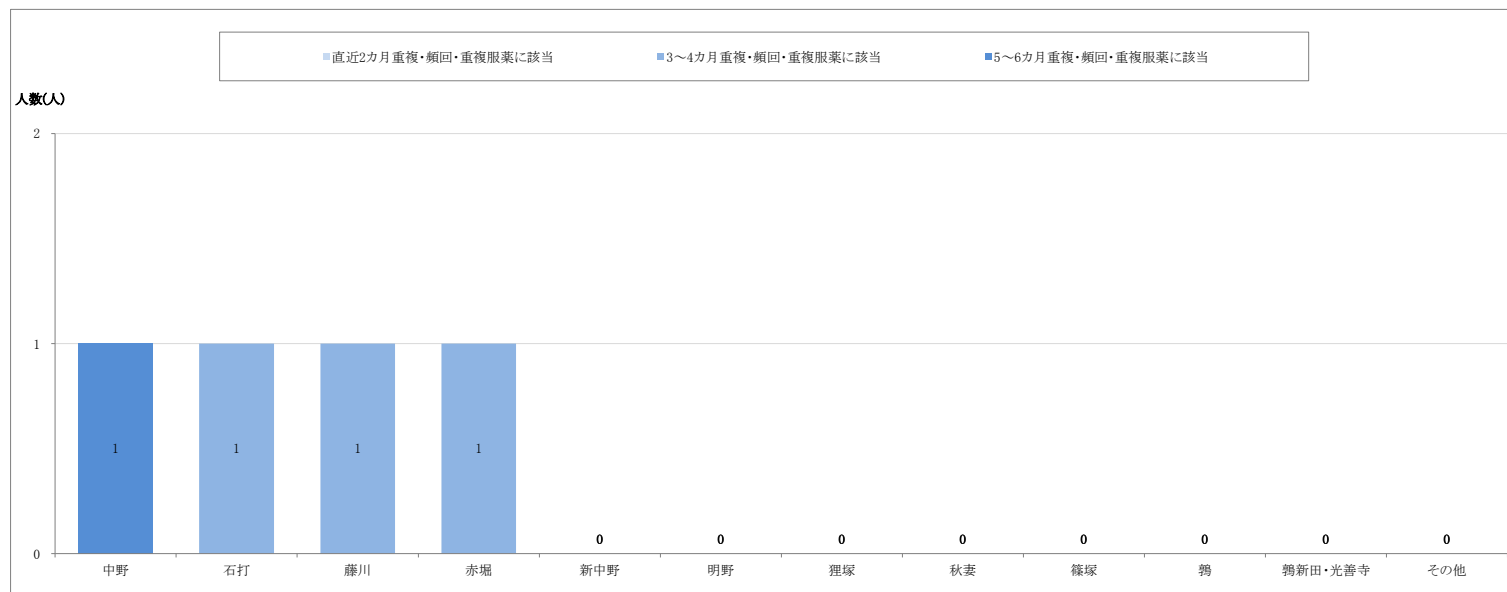
優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ.優先順位			
↑高 効果 低↓	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A 1人	候補者C 0人
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B 2人	候補者D 1人
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当)	候補者E 0人	候補者F 0人
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者	45人	
		60歳以上	50～59歳
←良 効率 悪→			
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数			4人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和7年3月31日時点。

効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数を地区別に示す。

保健指導候補者の地区分布



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和7年3月31日時点。

以上の分析のように「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者を特定し保健事業を実施することが効果的だと考える。

(3) 適切な指導実施方法の確立

ここでは、データ分析会社及び保健指導実施会社への業者委託を前提とした、他保険者での実施例をひとつの方法として説明する。業者委託のメリットは、準備と人的資源を軽減できること、既に実績を有しており一定の効果が実証されていること等である。

以下に示すのは、指導実施方法のフローである。

まず、保険者はレセプトデータや健康診査データ等、分析に必要なデータをデータ分析会社に提供する。データ分析会社は受領したデータから受診行動適正化指導に適切な指導対象者を特定する。その後データ分析会社は、保健指導実施会社へ指導を委託する。保健指導実施会社の保健師・看護師は、対象者に対し、同意の取得を行い、面談・電話にて指導を行う。保健指導実施会社は指導結果を分析会社に提出し、データ分析会社はこれらのデータとレセプトデータ等を使用し分析を行う。分析結果を保険者へ報告する。

(4) 成果の確認方法

成果の確認方法については、保健指導の実施報告書と指導前後のレセプトにより削減効果額を算出する。指導実施前後のレセプトをデータ化していることが前提となる。

9. ジェネリック医薬品差額通知事業

(1) ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。ここでは、令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、金額・数量・患者数においてジェネリック医薬品切り替えポテンシャルを分析した。

薬剤費の内訳を以下に示す。薬剤費総額6億4,966万円(A)のうち、厚生労働省が定めているジェネリック普及率算出対象となる薬剤費総額は5億9,830万円(B)となる。以下、この金額をもとに分析を行う。先発品薬剤費は5億1,428万円(D)で86.0%を占め、このうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲は5,328万円(E)となり、8.9%を占める。さらに株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、1,163万円(E1)がジェネリック医薬品切り替え可能範囲となり、このうち削減可能額は563万円(G)となる。

ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル(金額ベース)

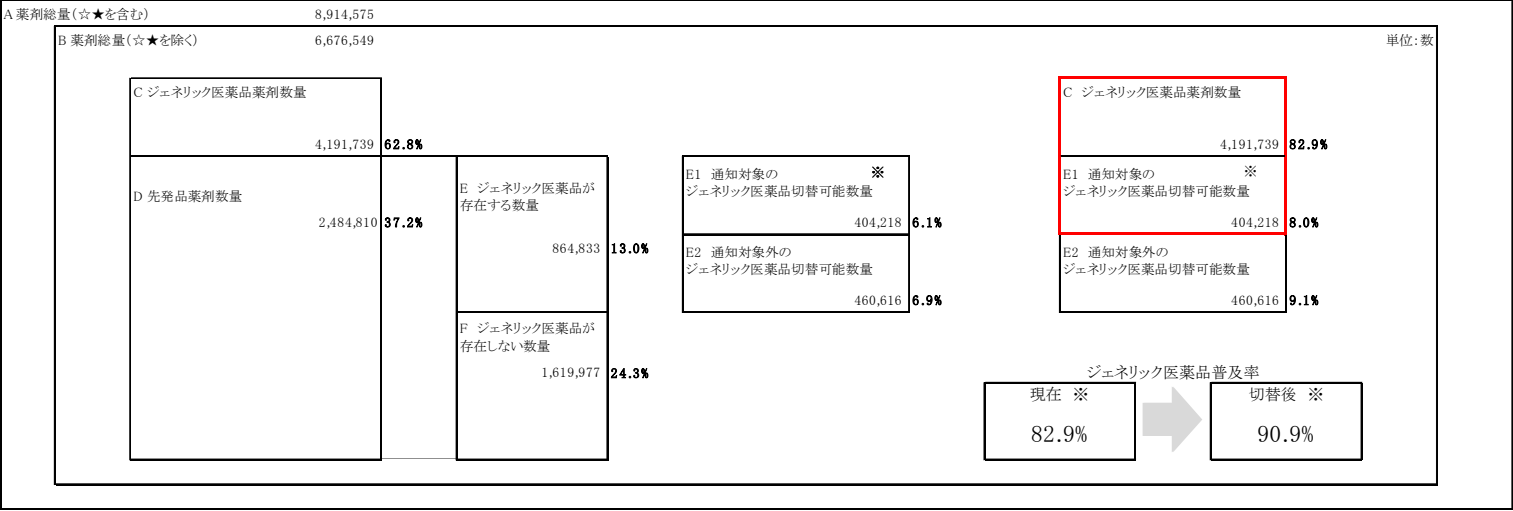
A 薬剤費総額(☆★を含む)		649,659	単位: 千円	
B 薬剤費総額(☆★を除く)		598,297		
C ジェネリック医薬品薬剤費		84,016	14.0%	
D 先発品薬剤費		514,281	86.0%	
E ジェネリック医薬品が存在する金額範囲		53,276	8.9%	
E1 通知対象の ※ジェネリック医薬品範囲		11,630	1.9%	ジェネリック医薬品薬剤費
E2 通知対象外のジェネリック医薬品範囲		41,646	7.0%	G 削減可能額 ※
F ジェネリック医薬品が存在しない金額範囲		461,005	77.1%	5,631

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
☆…厚生労働省指定薬剤のうち、後発医薬品がある先発医薬品で後発医薬品と同額または薬価が低いもの。
★…厚生労働省指定薬剤のうち、後発医薬品で先発医薬品と同額または薬価が高いもの。
※Eのうち通知対象のジェネリック医薬品範囲…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方等、通知対象として不適切な場合は含まない)。
※先発品のうち削減可能額…通知対象のジェネリック医薬品範囲のうち、後発品へ切り替える事により削減可能な金額。

次に、薬剤総量の内訳を以下に示す。薬剤総量891万(A)のうち、厚生労働省が定めているジェネリック普及率算出対象となる薬剤総量は668万(B)となる。以下、この数量をもとに分析を行う。先発品薬剤数量は248万(D)で37.2%を占め、このうちジェネリック医薬品が存在する数量は86万(E)となり、13.0%を占める。さらに株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、40万(E1)がジェネリック医薬品切り替え可能数量となる。現在のジェネリック医薬品普及率(数量ベース)は、82.9%である。ジェネリック医薬品切り替え可能数量(E1)を全てジェネリック医薬品へ切り替えたと仮定すると、ジェネリック医薬品に置き換えられる先発品及びジェネリック医薬品をベースとしたジェネリック医薬品普及率は、現在の82.9%から90.9%となる。

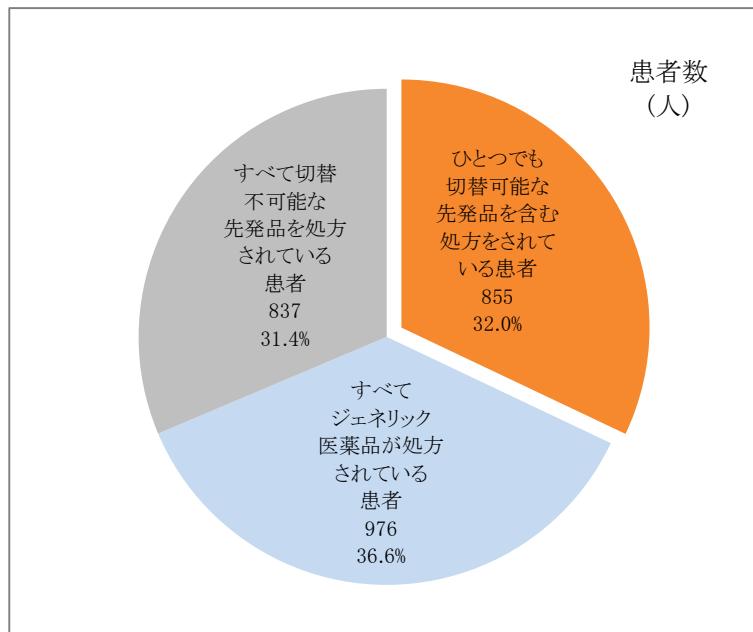
ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル(数量ベース)



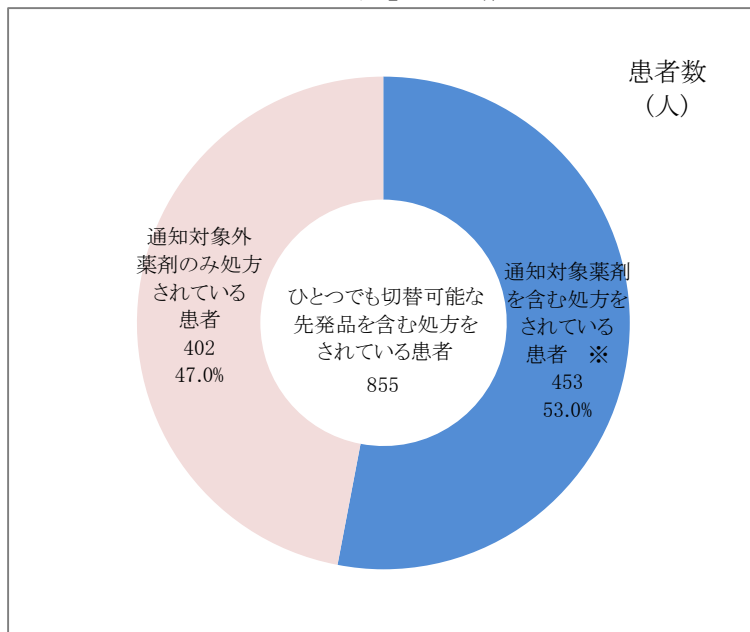
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
☆…厚生労働省指定薬剤のうち、後発医薬品がある先発医薬品で後発医薬品と同額または薬価が低いもの。
★★…厚生労働省指定薬剤のうち、後発医薬品で先発医薬品と同額または薬価が高いもの。
※Eのうち通知対象のジェネリック医薬品切替可能数量…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方等、通知対象として不適切な場合は含まない)。
※現在のジェネリック医薬品普及率…C ジェネリック医薬品薬剤数量/(C ジェネリック医薬品薬剤数量+E 先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)×100
※切替後のジェネリック医薬品普及率…(C ジェネリック医薬品薬剤数量+E1 通知対象のジェネリック医薬品切替可能数量)/(C ジェネリック医薬品薬剤数量+E 先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)×100

令和7年3月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示す。患者数は2,668人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は855人で患者数全体の32.0%を占める。さらにこのうち株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、453人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、ひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者の53.0%を占める。

ジェネリック医薬品への切り替え
ポテンシャル(患者数ベース)



「ひとつでも切替可能な先発品を含む
処方をされている患者」の内訳



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和7年3月診療分(1ヵ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方・ものは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(2) ジェネリック医薬品差額通知事業の実施方法と成果の確認方法

レセプトからジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定し、通知書を発送する。発送後のレセプトを用いて、ジェネリック医薬品の使用率と薬剤費削減状況を確認する。

10. COPD早期発見を目的とする啓発事業

COPD(慢性閉塞性肺疾患)は、主に長期の喫煙によってもたらされる肺の炎症性疾患で咳・痰・息切れ等の症状があり、緩徐に呼吸障害が進行する疾患である。世界的にみると、WHOファクトシート「死亡原因トップ10」において、COPDは2019年の世界死亡原因3位である。厚生労働省「令和4年人口動態統計」によると、日本のCOPDによる死亡数は1万6千人以上、うち男性は1万4千人以上である。

(1)COPDの認知度及びCOPD患者の実態

COPDの認知度は、「どんな病気かよく知っている」人が13.2%、「名前は聞いたことがある」人が19.9%で合計33.1%と低く、また、日本におけるCOPDの治療を行っている患者は約26万1千人、それに対して潜在患者は530万人と推定されている。厚生労働省は健康日本21(第三次)において、認知度の向上を行うことに加え、発症予防、早期発見・介入、重症化予防等の対策を総合的に行うことが重要であるとし、予防・早期発見を通じ、COPDの死亡率の減少を最終目標として定めている。認知度の低さから医療機関にかからないまま重症化する患者が存在すると推測される。医療機関と連携し、ハイリスク者への医療機関受診勧奨を行い、早期発見を促す必要がある。

邑楽町国民健康保険の被保険者を対象に令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)で分析したところ、治療を行っている患者は57人であった。日本における治療患者と潜在患者の比率を参考に、邑楽町国民健康保険被保険者に換算すると、潜在患者は1,140人程度と想定する。

COPDの認知度状況

設問:あなたはCOPDという病気を知っていますか？		
どんな病気かよく知っている	1,318	13.2%
名前は聞いたことがある	1,988	19.9%
知らない	6,694	66.9%

出典:GOLD日本委員会 調査
http://www.gold-jac.jp/copd_facts_in_japan/copd_degree_of_recognition.html(アクセス日:令和6年3月31日)
1万人を対象とした調査。(令和5年12月調査)

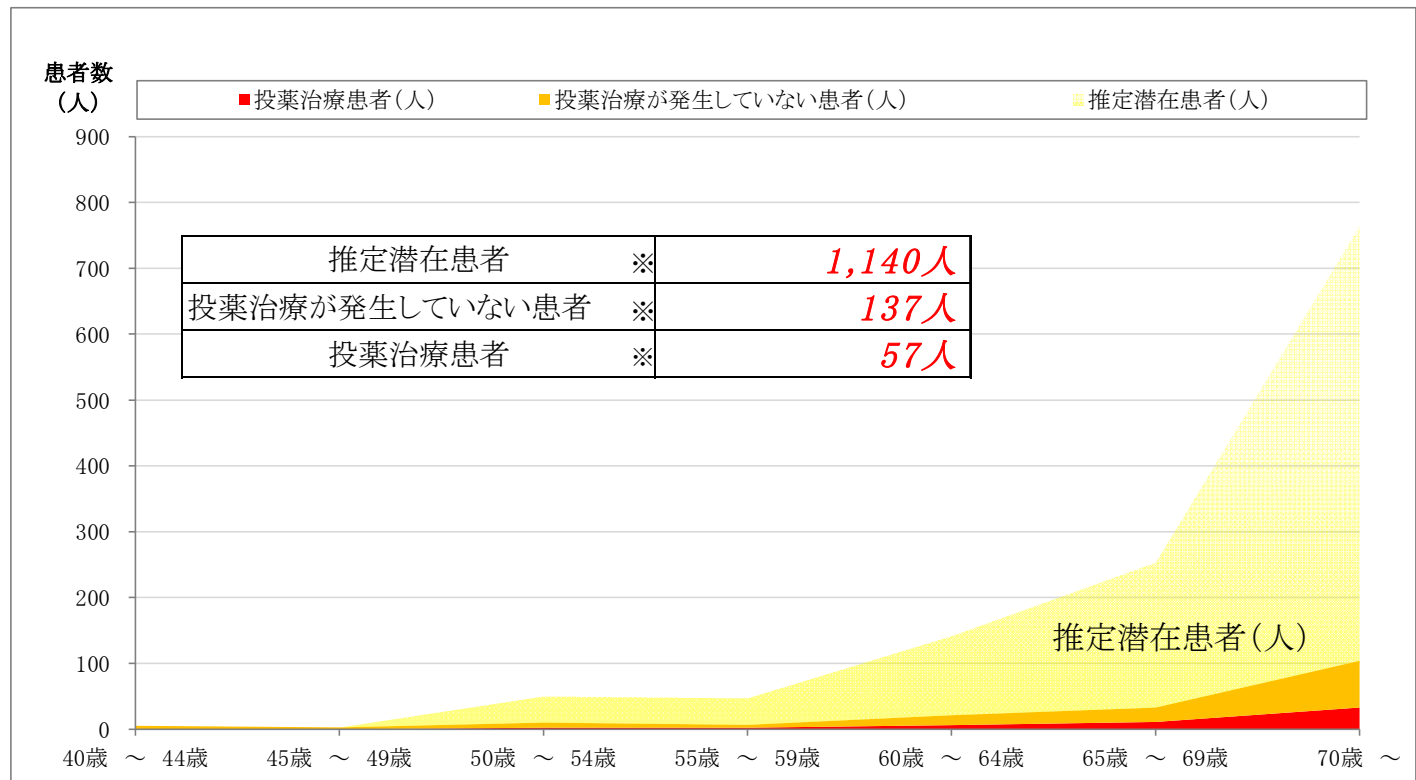
COPD患者の治療状況と潜在患者数

対象範囲	治療患者数	潜在患者数
日本	26万1千人 ※	推定530万人 ※
邑楽町国民健康保険 被保険者	57人 内訳:男性38人 (67%) 女性19人 (33%)	推定1,140人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
薬物療法が発生している患者のみ分析対象とする。
参考資料
※治療患者数…厚生労働省「平成26年患者調査(総患者数,性・年齢階層×傷病小分類別)」
http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020103.do?_toGL08020103_&listID=000001141596(アクセス日:令和6年3月31日)
※潜在患者数…Fukuchi Y, et al, COPD in Japan: the Nippon COPD Epidemiology study, Respiriology.2004Nov;9(4):458-65

以下のとおり、邑楽町国民健康保険におけるCOPD患者の年齢階層別「投薬治療患者」「投薬治療が発生していない患者」「推定潜在患者」を示す。

COPD患者の治療状況と潜在患者数



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※推定潜在患者…投薬治療患者の数に対し、日本の潜在患者数を参考に推定した患者数。

※投薬治療が発生していない患者…データ化範囲内において傷病名に慢性閉塞性肺疾患があるが投薬は確認できない患者数。

※投薬治療患者…データ化範囲内において傷病名に慢性閉塞性肺疾患があり、投薬も確認できる患者数。

(2) COPD患者の医療費と医療機関の現状

投薬治療患者57人と投薬が発生していない患者137人を合わせたCOPD患者全体194人の医療費を分析したところ、以下のとおりとなった。12カ月間での患者一人当たりの医療費平均は116万円程度、このうちCOPD関連の医療費が5万円程度、COPD関連以外の医療費が111万円程度である。COPD関連の医療費自体は高額ではないが、患者毎にみると、生活習慣病である糖尿病・高血圧・脂質異常等を併存している患者が多い。

COPD患者全体の医療費平均

	一人当たり医療費(円)
医療費合計	1,156,021
COPD関連	46,502
COPD関連以外	1,109,519

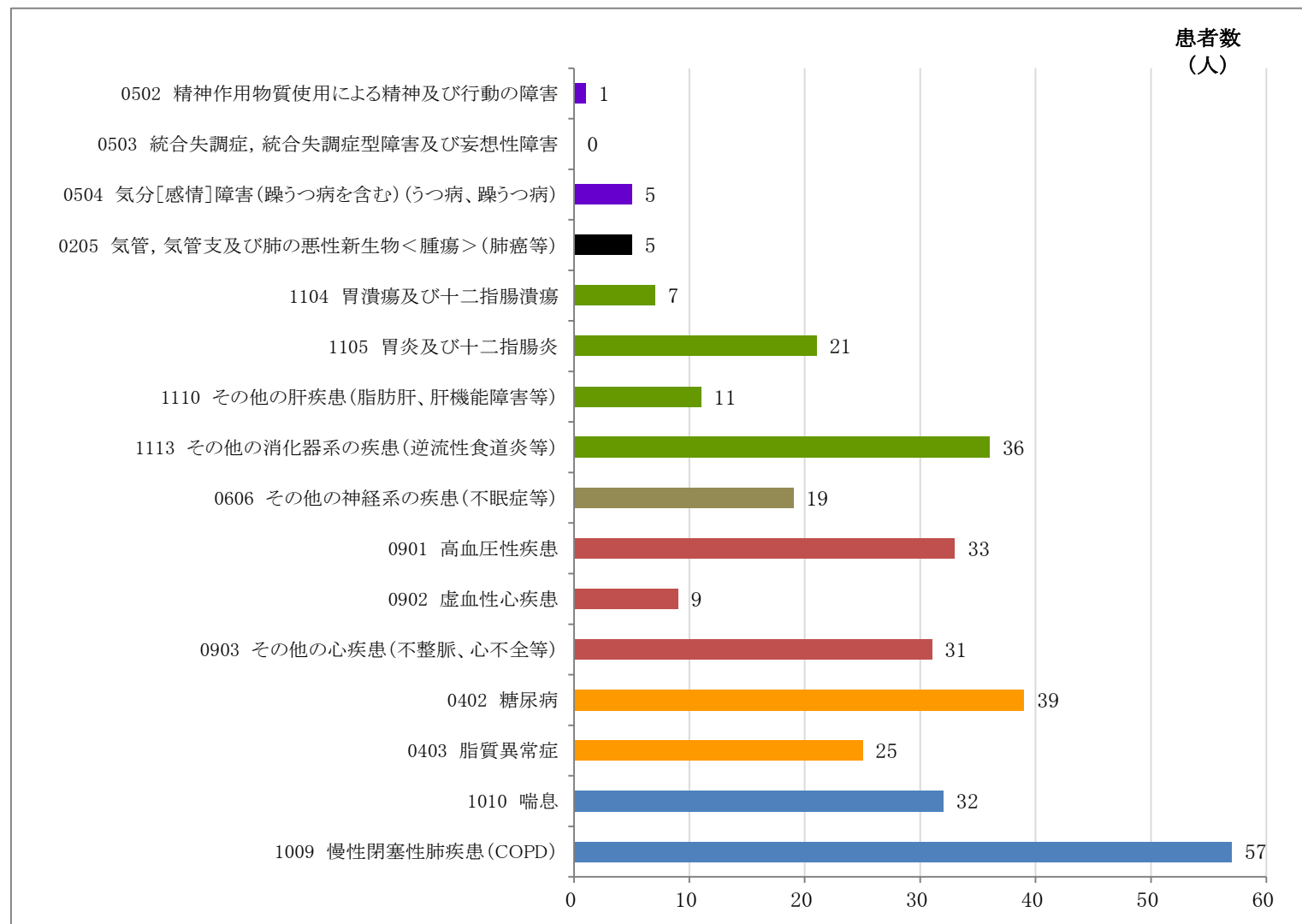
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

COPD患者57人が併存している疾患を以下のとおり示す。COPD患者は高血圧・心疾患等の循環器系疾患や、糖尿病及び脂質異常等の生活習慣病を併存している。また、肺がんは57人のうち8.8%の5人が併存している。肺がん等の悪性新生物、うつ病・躁うつ病、統合失調症については、患者一人当たりの医療費が高額な疾病である。

COPD患者の併存疾患



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

薬物療法が発生している患者のみ分析対象とする。

COPDの全身併存症		肺の合併症
●全身性炎症	●骨粗鬆症	●喘息
●骨格筋機能障害、サルコペニア、フレイル	●心血管疾患	●肺がん
●消化器疾患、GERD、嚥下障害	●不安、抑うつ、認知症	●気腫合併肺線維症
●代謝性疾患	●閉塞性睡眠時無呼吸	
●貧血		

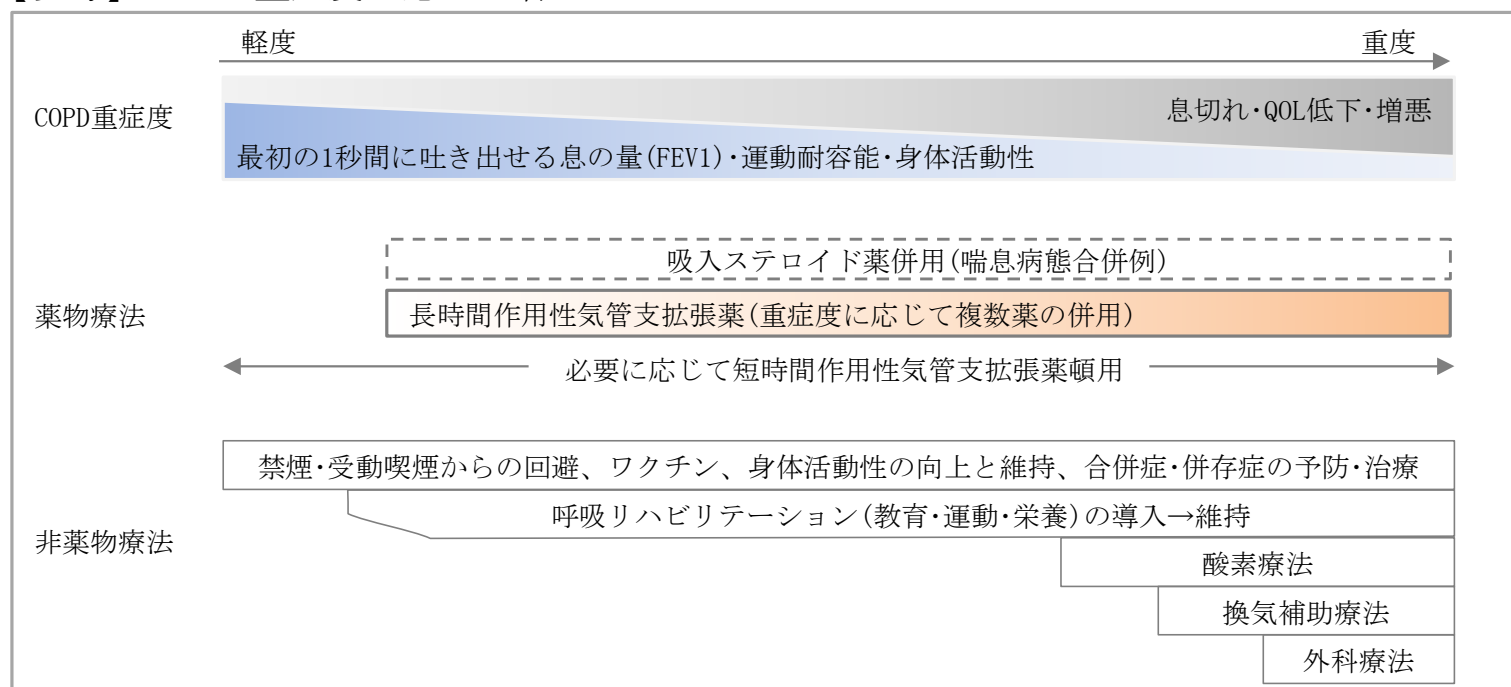
出典：日本呼吸器学会COPDガイドライン第6版作成委員会

「COPD(慢性閉塞性肺疾患)診断と治療のためのガイドライン第6版2022」(メディカルレビュー社)

COPDは徐々に進行していく疾病であり、重症化例では合併症や併存症の発症リスクが高まり、酸素療法や外科療法を必要とする病態への進行、生命予後の低下が懸念される。少しでも早い段階で診断を受け、禁煙を含む適切な治療を開始することで症状の改善及び進行の抑制を図ることが望ましいが、本項冒頭に示したようにCOPDの認知度も低いことから、重症化してから医療機関にかかる患者が存在すると考えられる。

COPDの診断はスパイロメータ(呼吸機能を検査するための医療機器)による検査で行える。しかし、スパイロメータが設置されている医療機関は、呼吸器内科等ある程度限られているのが現状である。令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)のレセプトにおいて、スパイロメータの診療行為が発生している医療機関は25施設存在する。これらの医療機関と連携し、早期発見に向けた医療機関受診勧奨を行う必要がある。

【参考】COPDの重症度に応じた管理



「COPD(慢性閉塞性肺疾患)診断と治療のためのガイドライン第6版2022」(日本呼吸器学会COPDガイドライン第6版作成委員会, メディカルレビュー社)を参照して作成

(3) 早期発見に向けた啓発事業

「COPDの認知度及びCOPD患者の実態」及び「COPD患者の医療費と医療機関の現状」から、COPDの早期発見に向けて、啓発事業を実施することが効果的だと考える。

以下に示すのは、実施方法のフローである。

保険者はレセプトデータ等をデータ分析会社へ提供し、データ分析会社は様々な観点から階層化を行い、COPDを発症している可能性のある対象者、将来発症する可能性の高い対象者を特定する。これら対象者に対し、COPDの啓発につながるリーフレット、医療機関での検査を勧める内容の通知書を送付する。実施後、これらの効果を測定する。

(4) 成果の確認方法

受診勧奨通知書発送後、レセプトデータを確認し通知における効果を測定する。また、アンケートを送付し、現在の認知度調査、今後の事業展開の課題を明確にするアプローチも重要である。

11. 薬剤併用禁忌の防止に向けて

(1) 薬剤併用禁忌分析

特定の薬剤の併用により、病状の悪化、深刻な副作用、効果の減少等の様々なリスクを引き起こす可能性がある。本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、併用禁忌となる薬剤の組み合わせをレセプトデータから分析する。

令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)で発生した併用禁忌は、170件、76人が該当する。主な併用禁忌の組み合わせを以下に示す。

薬剤併用禁忌 医薬品リスト	実人数(人)	76
	件数合計(件)	170

No.	(X) 剤型名	(X) 医薬品 コード	(X) 医薬品名	(Y) 剤型名	(Y) 医薬品 コード	(Y) 医薬品名	件数
1	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	622200701	クエチアピン錠100mg「アメル」	14
2	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	622200801	クエチアピン錠200mg「アメル」	14
3	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	611170743	コントミン糖衣錠50mg	14
4	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	620008158	リスベリドン錠3mg「サワイ」	14
5	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	12
6	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	9
7	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	621498101	カフコデN配合錠	8
8	内服	620004902	アスバラカリウム錠300mg	内服	622910201	ミネプロOD錠2. 5mg	7
9	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	622664001	トアラセット配合錠「JG」	6
10	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	622484101	オランザピンOD錠10mg「杏林」	5
11	内服	622556801	アセトアミノフェン錠200mg「マルイシ」	内服	620160601	サラザック配合顆粒	4
12	内服	622556801	アセトアミノフェン錠200mg「マルイシ」	内服	620161401	ビーエイ配合錠	4
13	内服	621634101	アセトアミノフェン錠200mg「三和」	内服	620161401	ビーエイ配合錠	4
14	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	4
15	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	内服	622650101	トアラセット配合錠「DSEP」	4
16	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	620160501	PL配合顆粒	4
17	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	3
18	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	3
19	内服	621520803	アセトアミノフェン錠200mg「JG」	内服	622081101	トラムセット配合錠	2
20	内服	622658401	エレトリブタン錠20mg「日新」	内服	622541301	リザトリブタンOD錠10mg「TCK」	2
21	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	2
22	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	内服	620160501	PL配合顆粒	2
23	内服	622647501	トアラセット配合錠「ケミファ」	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	2
24	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	621558101	SG配合顆粒	2
25	内服	620007077	フロリードゲル経口用2%	内服	622068301	イクザレルト錠10mg	2
26	内服	620007077	フロリードゲル経口用2%	内服	621499701	クリアミン配合錠S0. 5	2
27	内服	621634101	アセトアミノフェン錠200mg「三和」	内服	621498101	カフコデN配合錠	1
28	内服	622649001	アセトアミノフェン錠500mg「マルイシ」	内服	620160601	サラザック配合顆粒	1
29	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	621558101	SG配合顆粒	1
30	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620160701	セラビナ配合顆粒	1
31	内服	620002022	コロナール細粒20%	内服	620160801	トローワチーム配合顆粒	1
32	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	621558101	SG配合顆粒	1
33	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	622666801	トアラセット配合錠「オーハラ」	1
34	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	622647501	トアラセット配合錠「ケミファ」	1
35	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	622661701	トアラセット配合錠「杏林」	1
36	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	1
37	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	1
38	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	620160601	サラザック配合顆粒	1
39	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	620160701	セラビナ配合顆粒	1
40	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	622660201	トアラセット配合錠「共創未来」	1
41	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	1
42	内服	620160601	サラザック配合顆粒	内服	621558101	SG配合顆粒	1
43	内服	622201001	スマートリブタン錠50mg「アメル」	内服	622418601	ゾルミトリブタンOD錠2. 5mg「アメル」	1
44	内服	622937801	パキロビッドバック600	内服	610453023	エスタゾラム錠2mg「アメル」	1
45	内服	622937801	パキロビッドバック600	内服	620037205	トリアゾラム錠0. 25mg「CH」	1
46	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	620160501	PL配合顆粒	1
47	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	1

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和7年3月31日時点。

(2) 活用方法

患者がお薬手帳を持参しない場合、薬剤併用禁忌が発生しやすく、患者の健康被害につながる可能性がある。薬剤併用禁忌情報は、各医療機関側では把握しにくい情報であり、地域の情報が集まる保険者だからこそ捉えることができる情報といえる。保険者が薬剤併用禁忌情報を定期的に把握し、医療機関に情報提供することで、患者の健康被害防止につながる。また、情報提供を行うことで、地域の医師会・医療機関との連携の強化が期待できる。

12. 服薬情報通知事業

(1) 服薬に係る分析

多剤服薬は、薬の飲み忘れ、飲み間違い等の服薬過誤や、副作用等の薬物有害事象発生につながりやすい。薬物有害事象の発生リスクは6種類以上の服薬で特に高まるとされており、複数疾病を有する高齢者においては特に注意が必要である。高齢者に起こりやすい副作用にはふらつき・転倒、物忘れ、うつ、せん妄、食欲低下、便秘、排尿障害等がある。

本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者の特定を行う。複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されている長期服薬者のうち、基準月(令和7年3月)に6種類以上の内服薬を服用している者は335人である。

薬剤種類数別長期服薬者数

年齢階層		対象者数(人)							
		～ 39歳	40歳 ～ 44歳	45歳 ～ 49歳	50歳 ～ 54歳	55歳 ～ 59歳	60歳 ～ 64歳	65歳 ～ 69歳	70歳 ～
被保険者数(人)		1,009	248	282	340	324	402	949	1,659
薬剤種類数	2種類	1	3	3	5	0	2	16	20
	3種類	15	0	5	5	3	5	10	61
	4種類	1	2	3	4	5	6	22	44
	5種類	4	1	2	5	5	6	29	50
	6種類	5	1	3	7	3	3	21	33
	7種類	1	1	2	5	2	4	16	33
	8種類	0	2	3	2	4	2	10	28
	9種類	0	1	0	2	4	7	6	16
	10種類	1	1	1	3	4	3	8	10
	11種類	0	1	0	4	4	0	2	8
	12種類	0	0	1	1	1	1	5	6
	13種類	0	0	2	2	1	3	2	4
	14種類	0	1	1	0	0	1	3	5
	15種類	0	1	0	1	2	0	0	2
	16種類	0	0	0	0	3	0	0	1
	17種類	0	0	0	0	0	1	2	0
	18種類	0	0	0	0	0	2	0	1
	19種類	0	0	0	0	0	0	0	0
	20種類	0	0	0	0	0	0	0	0
	21種類以上	0	0	0	0	1	1	0	0
	合計	28	15	26	46	42	47	152	322



多剤服薬者数全体(人)※	335
--------------	-----

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年12月～令和7年3月診療分(4カ月分)。
一時的に服用した医薬品を除くため、処方日数が14日以上(14日以上)の医薬品を対象としている。複数医療機関から処方された内服薬のうち、基準月(分析期間最終月)に服用している長期処方薬の種類数を集計する。基準月の服用状況については、基準月に処方された薬剤と基準月以前に処方された長期処方薬を調剤日と処方日数から判定している。
※多剤服薬者数全体…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されており、その長期処方の内服薬が6種類以上の人数。
参考資料: 日本老年医学会「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015」(メジカルビュー社)

長期服薬者における、多剤服薬者及び重複服薬者の年齢階層別の状況を以下に示す。

なお、本分析においては、基準月(令和7年3月)に6種類以上の内服薬の服用が発生している場合に多剤服薬、基準月(令和7年3月)に薬理作用が同じ薬の重複服用が発生している場合に重複服薬、その両方に該当する場合に多剤服薬かつ重複服薬としている。

年齢階層別 多剤服薬者及び重複服薬者の状況

		～ 39歳	40歳 ～ 44歳	45歳 ～ 49歳	50歳 ～ 54歳	55歳 ～ 59歳	60歳 ～ 64歳	65歳 ～ 69歳	70歳 ～	合計
A	被保険者数(人)	1,009	248	282	340	324	402	949	1,659	5,213
B	長期服薬者数(人)※	28	15	26	46	42	47	152	322	678
C	多剤服薬者数(人)※	6	7	13	25	24	24	65	131	295
C/A	被保険者数に占める 多剤服薬者割合(%)	0.6%	2.8%	4.6%	7.4%	7.4%	6.0%	6.8%	7.9%	5.7%
C/B	長期服薬者数に占める 多剤服薬者割合(%)	21.4%	46.7%	50.0%	54.3%	57.1%	51.1%	42.8%	40.7%	43.5%
D	多剤服薬かつ 重複服薬者数(人)※	1	2	0	2	5	4	10	16	40
D/A	被保険者数に占める 多剤服薬かつ重複服薬者割合(%)	0.1%	0.8%	0.0%	0.6%	1.5%	1.0%	1.1%	1.0%	0.8%
D/B	長期服薬者数に占める 多剤服薬かつ重複服薬者割合(%)	3.6%	13.3%	0.0%	4.3%	11.9%	8.5%	6.6%	5.0%	5.9%
(C+D)	多剤服薬者数全体(人)※	7	9	13	27	29	28	75	147	335
(C+D)/A	被保険者数に占める 多剤服薬者数全体の割合(%)	0.7%	3.6%	4.6%	7.9%	9.0%	7.0%	7.9%	8.9%	6.4%
(C+D)/B	長期服薬者数に占める 多剤服薬者数全体の割合(%)	25.0%	60.0%	50.0%	58.7%	69.0%	59.6%	49.3%	45.7%	49.4%
E	重複服薬者数(人)※	4	1	2	1	0	1	3	9	21
E/A	被保険者数に占める 重複服薬者割合(%)	0.4%	0.4%	0.7%	0.3%	0.0%	0.2%	0.3%	0.5%	0.4%
E/B	長期服薬者数に占める 重複服薬者割合(%)	14.3%	6.7%	7.7%	2.2%	0.0%	2.1%	2.0%	2.8%	3.1%
(D+E)	重複服薬者数全体(人)※	5	3	2	3	5	5	13	25	61
(D+E)/A	被保険者数に占める 重複服薬者数全体の割合(%)	0.5%	1.2%	0.7%	0.9%	1.5%	1.2%	1.4%	1.5%	1.2%
(D+E)/B	長期服薬者数に占める 重複服薬者数全体の割合(%)	17.9%	20.0%	7.7%	6.5%	11.9%	10.6%	8.6%	7.8%	9.0%

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年12月～令和7年3月診療分(4カ月分)。

一時的に服用した医薬品を除くため、処方日数が14日以上医薬品を対象としている。複数医療機関から処方された内服薬のうち、基準月(分析期間最終月)に服用している長期処方薬の種類数を集計する。基準月の服用状況については、基準月に処方された薬剤と基準月以前に処方された長期処方薬を調剤日と処方日数から判定している。

※長期服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されている人数。

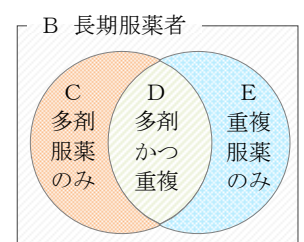
※多剤服薬者数…長期服薬者のうち、長期処方の内服薬が6種類以上で、重複服薬のない人数。

※多剤服薬かつ重複服薬者数…長期服薬者のうち、長期処方の内服薬が6種類以上で、重複服薬のある人数。

※多剤服薬者数全体…長期服薬者のうち、長期処方の内服薬が6種類以上的人数。

※重複服薬者数…長期服薬者のうち、長期処方の内服薬が2種類以上6種類未満で、重複服薬がある人数。

※重複服薬者数全体…長期服薬者のうち、長期処方の内服薬が2種類以上で、重複服薬がある人数。



(2) 服薬情報通知事業の実施方法と成果の確認方法

レセプトから服薬状況を確認し、多剤服薬や重複服薬が発生している対象者を特定し通知書を送付する。送付後のレセプトを用いて、通知送付者の服薬状況から効果を確認する。

13. ロコモティブシンドローム対策事業

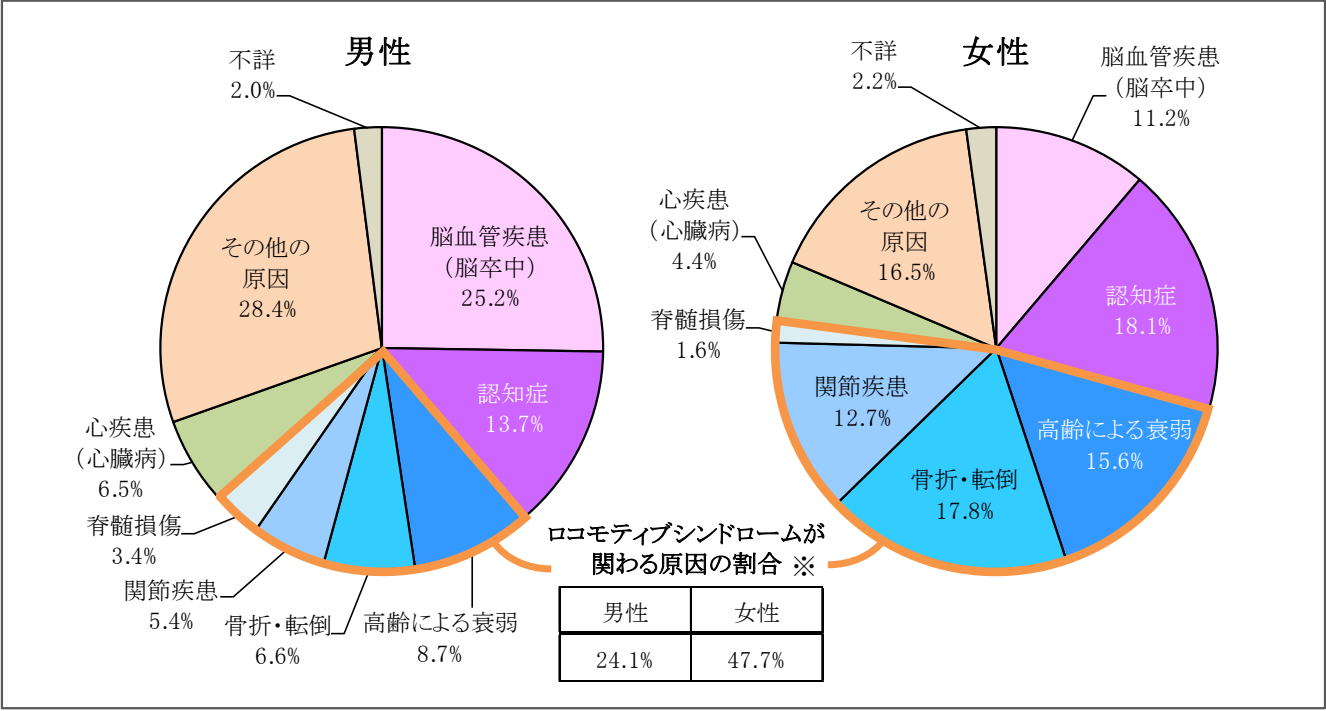
ロコモティブシンドロームは日本整形外科学会が平成19年に提唱した概念で、運動器（骨、関節、筋肉など）の障害によって、立つ、歩くといった移動機能の低下をきたした状態を指し、進行すると要介護のリスクが高くなるとされる（「ロコモティブシンドローム診療ガイド2021」より）。

要介護状態への移行を予防し、健康寿命の延伸を目指すためにも、ロコモティブシンドローム対策の必要性は極めて高い。ここでは全国における「ロコモティブシンドロームの現状」を示し、続いて邑楽町国民健康保険の「ロコモティブシンドロームの原因疾患と患者の実態」「適切な指導実施方法の確立」「成果の確認方法」について明確にする。

(1) ロコモティブシンドロームの現状

厚生労働省「2022年国民生活基礎調査」によると、介護が必要となった主な原因において、ロコモティブシンドロームが関わる原因が多くを占めている。

[全国] 性別にみた介護が必要となった主な原因の構成



出典：厚生労働省「2022年国民生活基礎調査」
※「高齢による衰弱」は、ロコモティブシンドローム原因疾患であるサルコペニアが原因のひとつであり、運動器障害との関連があることからロコモティブシンドロームが関わる原因に加えている。

[全国] 要介護度別にみた介護が必要となった主な原因(上位3位)

要介護度	第1位		第2位		第3位	
総 数	認知症	16.6	脳血管疾患(脳卒中)	16.1	骨折・転倒	13.9
要支援者	関節疾患	19.3	高齢による衰弱	17.4	骨折・転倒	16.1
要支援1	高齢による衰弱	19.5	関節疾患	18.7	骨折・転倒	12.2
要支援2	関節疾患	19.8	骨折・転倒	19.6	高齢による衰弱	15.5
要介護者	認知症	23.6	脳血管疾患(脳卒中)	19.0	骨折・転倒	13.0
要介護1	認知症	26.4	脳血管疾患(脳卒中)	14.5	骨折・転倒	13.1
要介護2	認知症	23.6	脳血管疾患(脳卒中)	17.5	骨折・転倒	11.0
要介護3	認知症	25.3	脳血管疾患(脳卒中)	19.6	骨折・転倒	12.8
要介護4	脳血管疾患(脳卒中)	28.0	骨折・転倒	18.7	認知症	14.4
要介護5	脳血管疾患(脳卒中)	26.3	認知症	23.1	骨折・転倒	11.3

出典：厚生労働省「2022年国民生活基礎調査」

(2) ロコモティブシンドロームの原因疾患と患者の実態

邑楽町国民健康保険におけるロコモティブシンドローム原因疾患のレセプトが存在する患者数及びロコモティブシンドローム原因疾患医療費を示す。40歳以上の男女が対象者である。

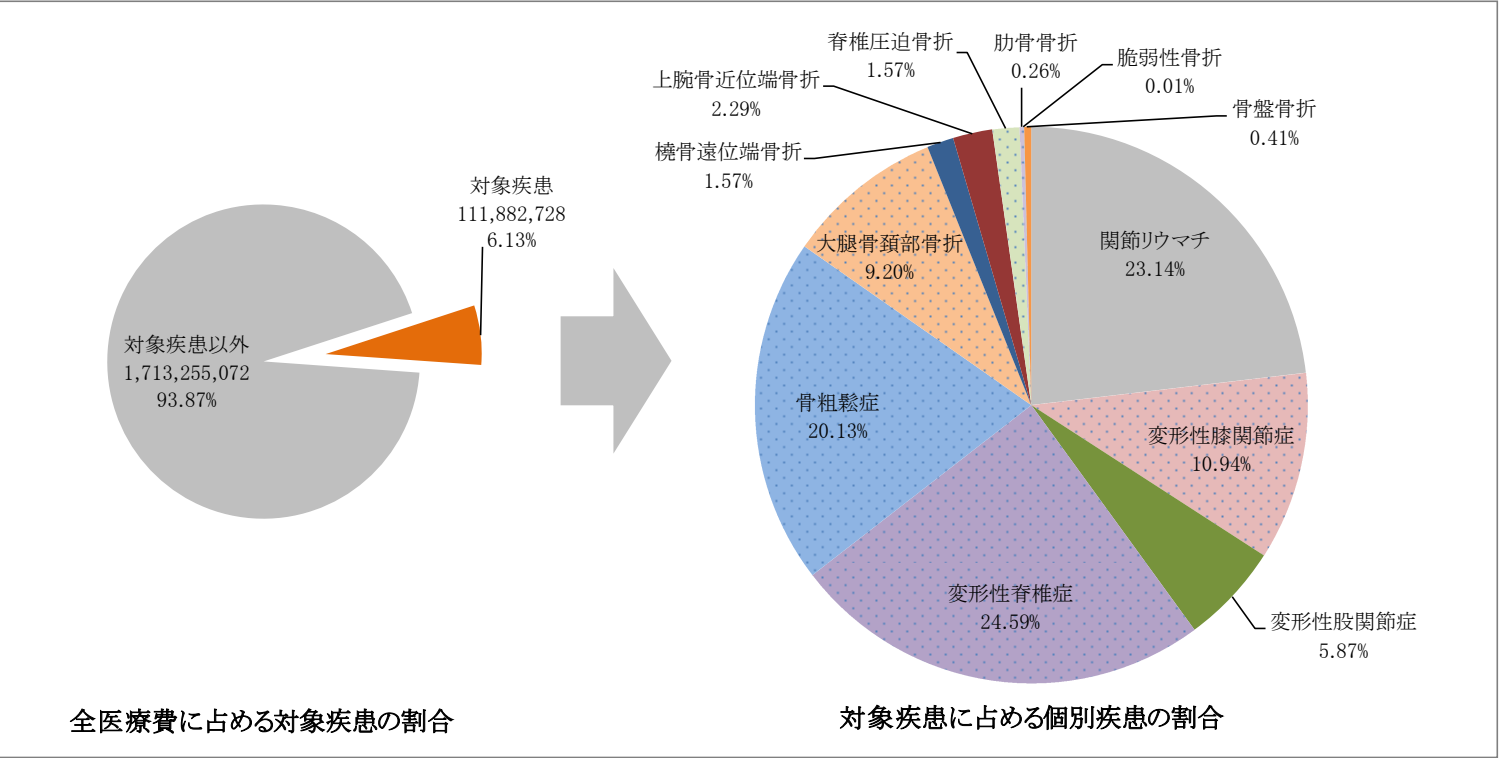
ロコモティブシンドローム原因疾患患者数及び医療費

ロコモティブシンドローム原因疾患のレセプトが存在する患者数(人)	1,149
ロコモティブシンドローム原因疾患医療費(円)	111,882,728

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※ロコモティブシンドローム原因疾患…「ロコモティブシンドローム診療ガイド2021」等を参照し、株式会社データホライズンにて選定した以下の疾病。
関節リウマチ、変形性膝関節症、変形性股関節症、変形性脊椎症、骨粗鬆症、骨折(大腿骨頸部骨折、橈骨遠位端骨折、上腕骨近位端骨折、脊椎圧迫骨折、肋骨骨折、脆弱性骨折、骨盤骨折)、サルコペニア(筋肉量が低下し、筋力または身体能力が低下した状態)。
参考資料:日本整形外科学会、日本運動器科学会「ロコモティブシンドローム診療ガイド2021」(文光堂)

次に、ロコモティブシンドローム原因疾患別医療費をグラフにて示す。医療費総計の約6.13%をロコモティブシンドローム原因疾患が占め、中には要支援及び要介護の主な原因である「関節疾患」「骨折・転倒」に関連する疾病が多く含まれる。

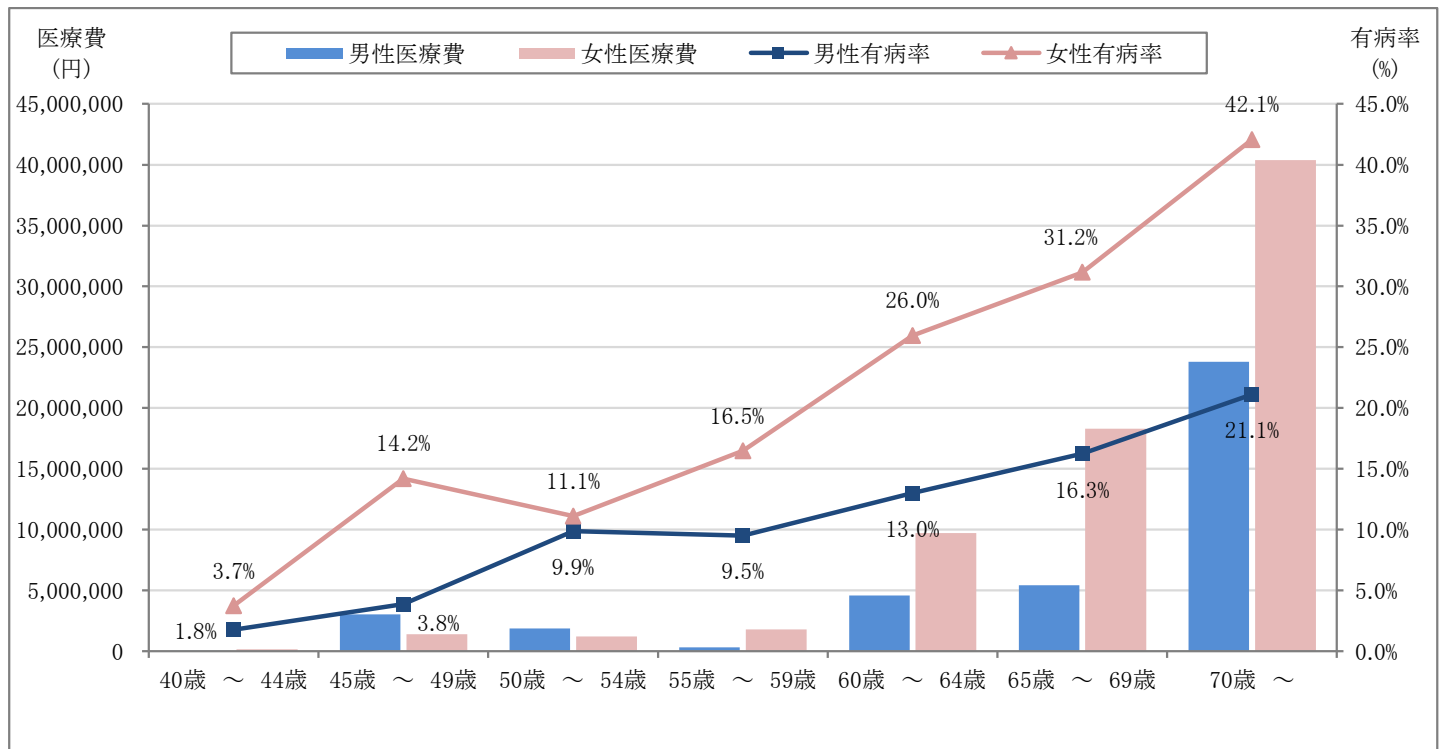
ロコモティブシンドローム原因疾患別医療費の状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

年齢階層別・男女別のロコモティブシンドローム原因疾患有病率と原因疾患医療費を以下に示す。加齢が進むにつれて患者数が増え医療費が急速に増大する傾向にある。

年齢階層別・男女別 ロコモティブシンドローム原因疾患 有病率と医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

(3) 適切な指導実施方法の確立

データ分析会社への業者委託を前提とした実施例を、ひとつの方法として説明する。

指導実施方法のフローは以下のとおりである。

保険者はレセプトデータ等をデータ分析会社へ提供し、データ分析会社は受領したデータからロコモティブシンドローム対策事業に適切な対象者を特定する。保険者はこれら対象者に対し、本事業の案内及び運動機能測定会への参加を促す通知を行い、測定会を実施する。測定会参加者は自宅にて3カ月間、ロコモティブシンドローム対策の簡易な運動を実施する。運動期間終了後、保険者は終了測定会を実施し、その結果を分析会社に提出する。データ分析会社はこれらのデータとレセプトデータ等を使用し分析を行い、分析結果を保険者へ報告する。

(4) 成果の確認方法

成果の確認方法については、測定会の参加者数より測定会参加率を算出する。また、自宅での運動実施者について、測定会における数値を基に運動機能改善率を算出する。さらに、レセプトを使用し、自宅での運動実施者と非実施者の翌年度における原因疾患医療費を確認する。

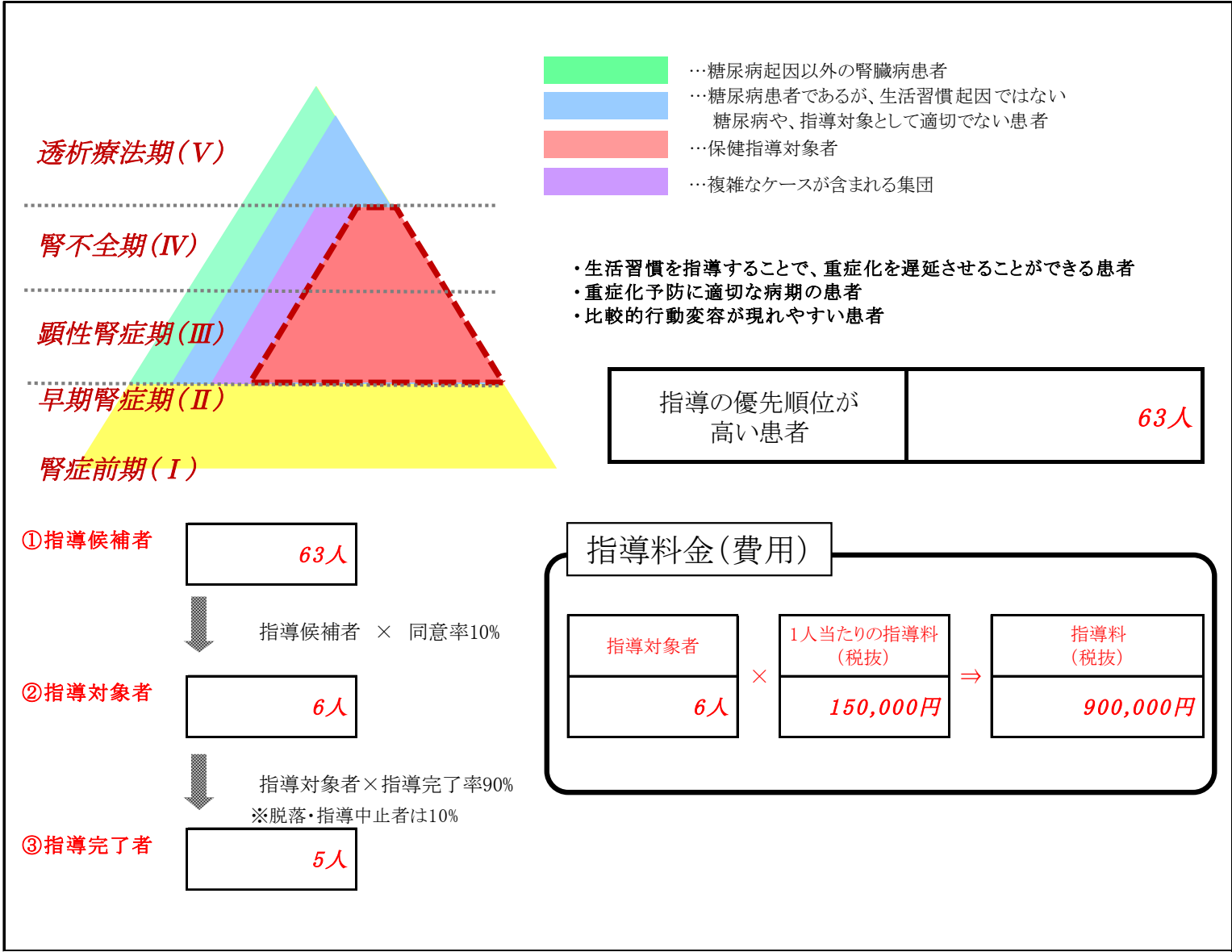
第3章 保健事業の費用対効果

1. 糖尿病性腎症重症化予防事業

「第2章4. 糖尿病性腎症重症化予防事業」について、費用と効果金額を算出する。
費用はデータ分析会社で事業を実施することを前提とし、効果はデータ分析会社の実績の数値を使うものとする。

費用について以下のとおり示す。分析結果から、邑楽町国民健康保険の被保険者における糖尿病性腎症重症化予防の適切な指導対象者は、6人となった。一人当たりの指導料は15万円のため、6人に対して指導を行うと指導料金(費用)は90万円となる。

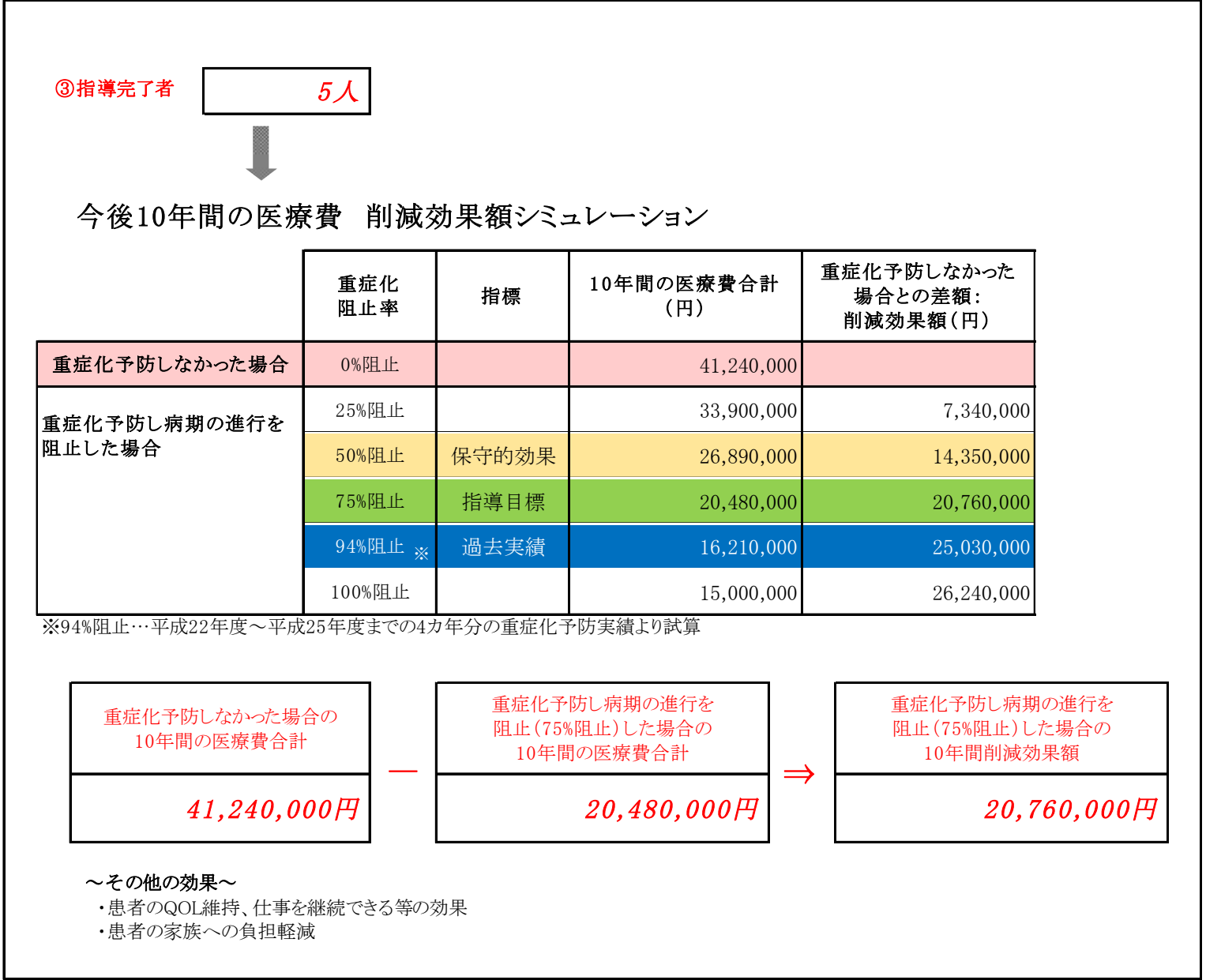
費用(糖尿病性腎症重症化予防)



※記載の金額は、外部委託業者に当該保健事業を委託した際の平均的な金額である。
※「対象者の特定」「効果測定」等は別途費用が必要となる。
※レセプトはデータベース化の必要がある。レセプトデータベース化を行う場合、別途費用が必要となる。

次に、効果について以下のとおり示す。1年間で重症化する患者数割合を用い、重症化予防をした場合としなかった場合の今後10年間の医療費をシミュレーションをすると、重症化予防をしない場合、10年間の医療費合計は4,124万円となる。指導目標(75%阻止)を達成した場合2,048万円の医療費合計となり、この事業の削減効果額は、2,076万円となる。

効果(糖尿病性腎症重症化予防)



また、その他の効果として、指導対象者のQOL維持や、対象者家族への負担軽減もある。

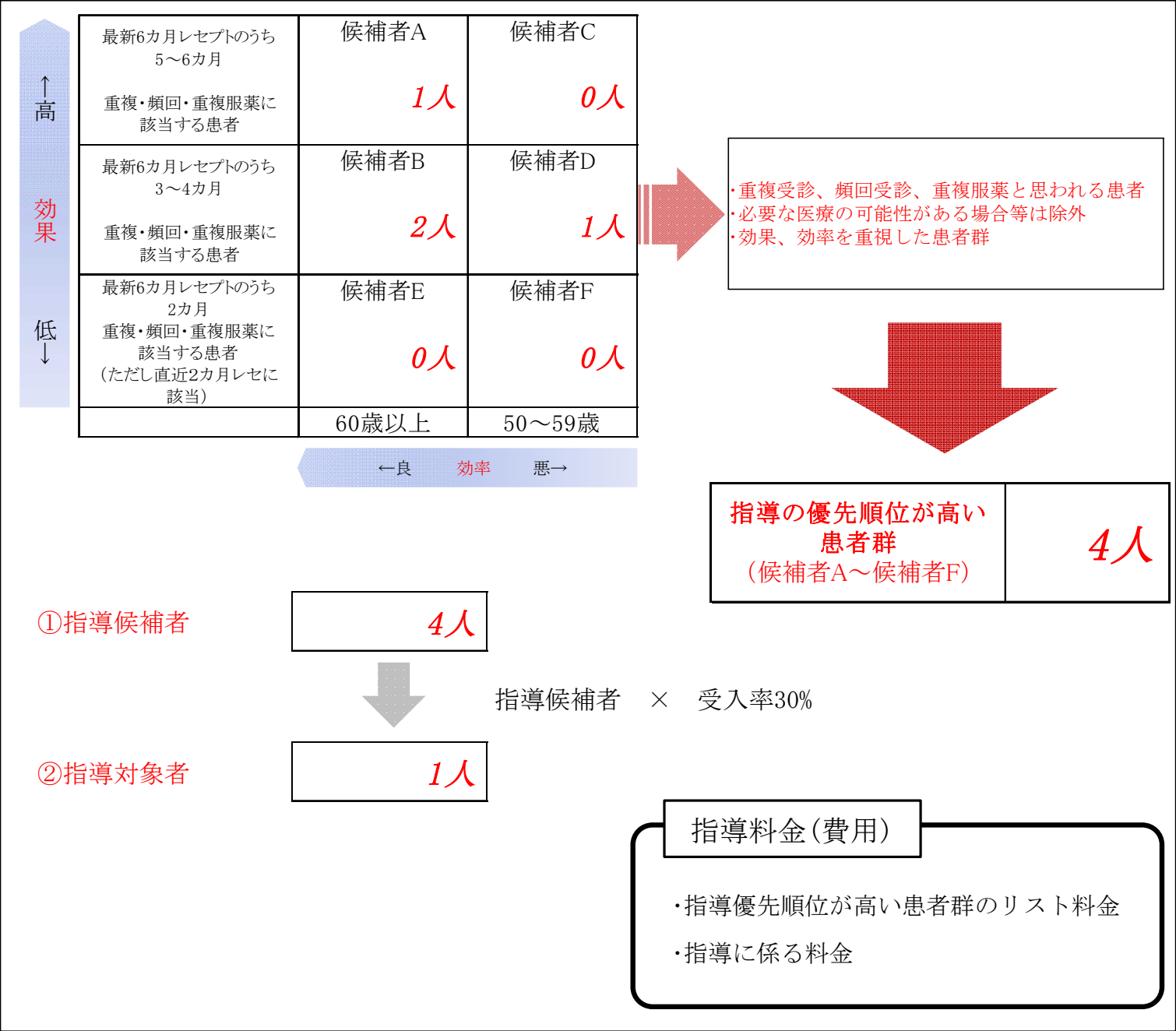
2. 受診行動適正化指導事業

「第2章8. 受診行動適正化指導事業」について、費用対効果を算出する。

費用はデータ分析会社で事業を実施することを前提とし、効果はデータ分析会社の実績の数値を使うものとする。

費用について以下のとおり示す。分析結果から、邑楽町国民健康保険の被保険者における、受診行動適正化指導の適切な指導候補者は4人となった(①)。指導同意率の実績は30%であり、実際に訪問指導できる指導対象者は1人(②)と予測する。費用は1人に対する指導料となる。

費用(受診行動適正化)

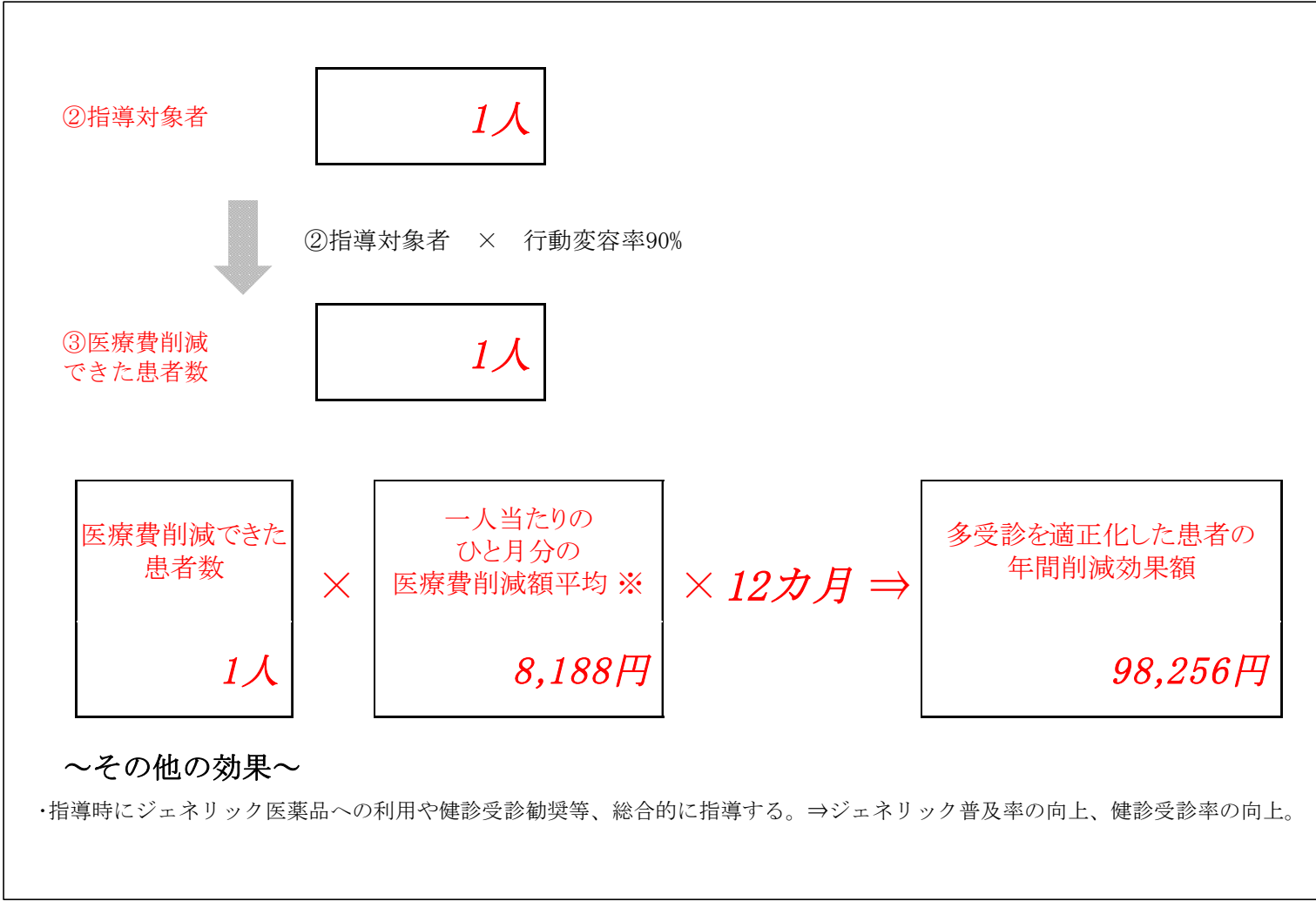


※「効果測定」等は別途費用が必要となる。
※レセプトはデータベース化の必要がある。レセプトデータベース化を行う場合、別途費用が必要となる。

次に、効果について以下のとおり示す。指導対象者の多受診傾向が緩和する行動変容率の実績は90%であり、指導対象者1人(②)のうち医療費が削減できる患者は1人(③)と予測する。

よって、この事業の効果金額は、医療費が削減できる患者数1人(③)に、「一人当たりのひと月分の医療費削減額平均」の8,188円と、1年間分としての12を乗じた10万円程度となる。

効果(受診行動適正化)



※一人当たりのひと月分の医療費削減額平均…実績から算出した、外部委託業者に当該保健事業を委託した際の平均的な削減額。

また、その他の効果として、訪問指導時にはジェネリック医薬品についての情報提供や健康診査受診の勧奨等、総合的な指導を行うため、ジェネリック医薬品普及率の向上や健診受診率の向上も期待できる。

第4章 医療費等統計

1. 基礎統計

当医療費統計は、令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下のとおりである。被保険者数は平均5,486人、レセプト件数は平均7,156件、患者数は平均2,954人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均55,497円となった。

基礎統計

			令和6年4月	令和6年5月	令和6年6月	令和6年7月	令和6年8月	令和6年9月	令和6年10月
A	被保険者数(人)		5,712	5,635	5,595	5,592	5,513	5,503	5,494
B	レセプト件数(件)	入院外	4,448	4,353	4,259	4,453	4,233	4,130	4,270
		入院	89	106	81	98	111	106	115
		調剤	2,935	2,868	2,814	2,881	2,780	2,811	2,916
		合計	7,472	7,327	7,154	7,432	7,124	7,047	7,301
C	医療費(円) ※		162,696,360	168,460,730	157,712,780	178,249,010	167,015,250	171,776,790	183,134,040
D	患者数(人) ※		3,124	3,024	3,005	3,070	2,956	2,900	2,952
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)		28,483	29,895	28,188	31,876	30,295	31,215	33,333
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)		21,774	22,992	22,045	23,984	23,444	24,376	25,083
C/D	患者一人当たりの医療費(円)		52,080	55,708	52,483	58,062	56,500	59,233	62,037
D/A	有病率(%)		54.7%	53.7%	53.7%	54.9%	53.6%	52.7%	53.7%
三要素	受診率(件/人・月) ※		0.79	0.79	0.78	0.81	0.79	0.77	0.80
	一件当たりの日数(日) ※		1.69	1.70	1.65	1.73	1.67	1.73	1.78
	一日当たりの医療費(円) ※		21,173	22,271	22,018	22,678	22,970	23,377	23,419

			令和6年11月	令和6年12月	令和7年1月	令和7年2月	令和7年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	被保険者数(人)		5,424	5,381	5,334	5,322	5,322	5,486	
B	レセプト件数(件)	入院外	4,133	4,263	4,082	3,815	4,112	4,213	50,551
		入院	90	90	81	77	73	93	1,117
		調剤	2,842	2,978	2,817	2,662	2,902	2,851	34,206
		合計	7,065	7,331	6,980	6,554	7,087	7,156	85,874
C	医療費(円) ※		163,133,160	162,607,650	167,972,140	139,547,710	144,793,020	163,924,887	1,967,098,640
D	患者数(人) ※		2,928	2,971	2,856	2,740	2,919	2,954	35,445
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)		30,076	30,219	31,491	26,221	27,207	29,883	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)		23,090	22,181	24,065	21,292	20,431	22,907	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)		55,715	54,732	58,814	50,930	49,604	55,497	
D/A	有病率(%)		54.0%	55.2%	53.5%	51.5%	54.8%	53.8%	
三要素	受診率(件/人・月) ※		0.78	0.81	0.78	0.73	0.79		
	一件当たりの日数(日) ※		1.67	1.65	1.64	1.60	1.60		
	一日当たりの医療費(円) ※		23,077	22,628	24,640	22,363	21,575		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。
※患者数…同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。
※受診率…被保険者一人当たり、一月当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。一月当たりのレセプト件数のため、他
帳票の受診率とは一致しない。
※一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。
※一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)について、被保険者一人当たりの医療費及びその構成要素である受診率、一件当たりの日数、一日当たりの医療費を入院・入院外別に以下に示す。

受診率は被保険者一人当たりのレセプト件数である。受診動向や感染症の流行に影響を受けやすく医療機関を受診する人が多いと受診率が高くなる。一件当たりの日数はレセプト一件当たりの診療実日数であり、通院頻度や入院日数等の影響を受ける。一日当たりの医療費は医療費の単価(一回の診療または一日の入院にかかる医療費)を表す。

被保険者一人当たりの医療費及び医療費の三要素

		入院	入院外	全体
被保険者一人当たりの医療費(円)		106,260	194,704	300,964
三要素	受診率(件/人) ※	0.17	7.73	7.91
	一件当たりの日数(日) ※	14.58	1.39	1.68
	一日当たりの医療費(円) ※	42,653	18,064	22,680

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
本分析における被保険者一人当たりの医療費は、分析期間内の被保険者数を用いて算出している。そのため、月単位の被保険者数を用いて算出している他帳票とは一致しない。
※受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。
※一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。
※一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

以下のとおり年齢階層別に被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等を示す。

年齢階層別基礎統計

年齢階層	A	B				C	D
	被保険者数(人)	レセプト件数(件)				医療費(円) ※	患者数(人) ※
		入院外	入院	調剤	合計		
0歳 ～ 4歳	101	684	17	461	1,162	26,388,420	89
5歳 ～ 9歳	101	573	0	361	934	6,038,290	87
10歳 ～ 14歳	124	529	2	333	864	6,434,780	100
15歳 ～ 19歳	157	592	3	392	987	14,408,440	116
20歳 ～ 24歳	270	403	18	250	671	17,555,610	108
25歳 ～ 29歳	273	435	7	234	676	10,139,370	116
30歳 ～ 34歳	257	704	25	419	1,148	23,611,030	123
35歳 ～ 39歳	253	926	22	623	1,571	35,706,770	166
40歳 ～ 44歳	305	1,238	21	749	2,008	33,752,330	193
45歳 ～ 49歳	349	1,900	63	1,250	3,213	99,731,100	228
50歳 ～ 54歳	403	2,659	114	1,800	4,573	136,433,620	298
55歳 ～ 59歳	364	2,726	58	1,963	4,747	112,567,470	282
60歳 ～ 64歳	462	3,617	104	2,545	6,266	195,394,280	374
65歳 ～ 69歳	1,000	10,127	149	7,062	17,338	357,410,030	874
70歳 ～	2,117	23,438	514	15,764	39,716	891,527,100	1,932
合計	6,536	50,551	1,117	34,206	85,874	1,967,098,640	5,086

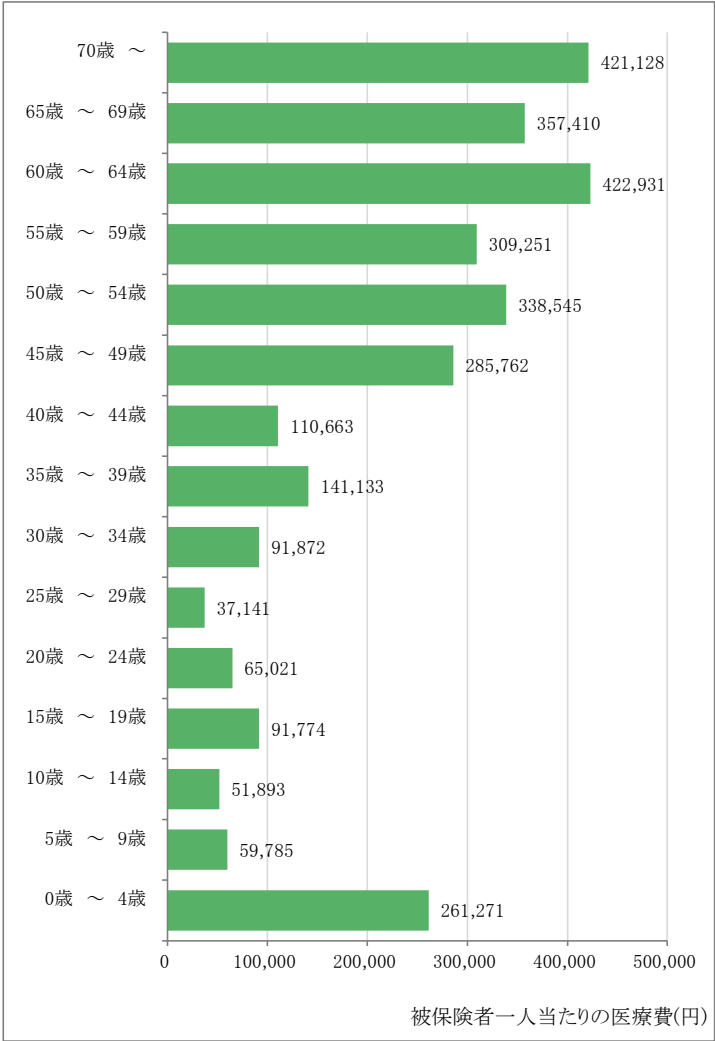
年齢階層	C/A	C/B	C/D	D/A	医療費の三要素		
	被保険者一人当たりの医療費(円)	レセプト一件当たりの医療費(円)	患者一人当たりの医療費(円)	有病率(%)	受診率(件/人) ※	一件当たりの日数(日) ※	一日当たりの医療費(円) ※
0歳 ～ 4歳	261,271	22,709	296,499	88.1%	6.94	1.67	22,535
5歳 ～ 9歳	59,785	6,465	69,406	86.1%	5.67	1.24	8,481
10歳 ～ 14歳	51,893	7,448	64,348	80.6%	4.28	1.31	9,232
15歳 ～ 19歳	91,774	14,598	124,211	73.9%	3.79	1.28	18,958
20歳 ～ 24歳	65,021	26,163	162,552	40.0%	1.56	2.15	19,377
25歳 ～ 29歳	37,141	14,999	87,408	42.5%	1.62	1.35	17,012
30歳 ～ 34歳	91,872	20,567	191,960	47.9%	2.84	1.75	18,489
35歳 ～ 39歳	141,133	22,729	215,101	65.6%	3.75	1.67	22,599
40歳 ～ 44歳	110,663	16,809	174,883	63.3%	4.13	1.86	14,424
45歳 ～ 49歳	285,762	31,040	437,417	65.3%	5.62	2.11	24,037
50歳 ～ 54歳	338,545	29,835	457,831	73.9%	6.88	2.23	22,048
55歳 ～ 59歳	309,251	23,713	399,175	77.5%	7.65	1.76	23,001
60歳 ～ 64歳	422,931	31,183	522,445	81.0%	8.05	1.98	26,494
65歳 ～ 69歳	357,410	20,614	408,936	87.4%	10.28	1.47	23,584
70歳 ～	421,128	22,448	461,453	91.3%	11.31	1.63	22,899
合計	300,964	22,907	386,767	77.8%	7.91	1.68	22,680

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

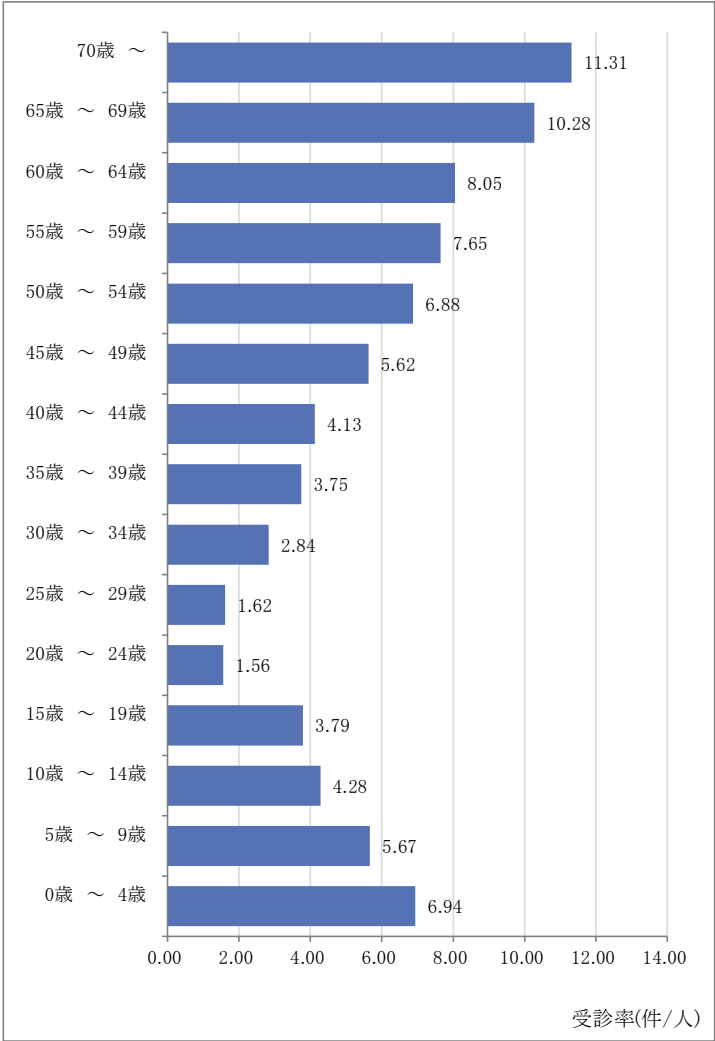
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
年齢階層別基礎統計は分析期間内の被保険者数、患者数を算出している。他基礎統計では被保険者数、患者数を月単位で算出しており、本統計とは一致しない。
※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。
※患者数…分析期間中に一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。
※受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。
※一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。
※一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

被保険者一人当たりの医療費、受診率、一件当たりの日数、一日当たりの医療費の年齢階層別の状況をグラフにて示す。

年齢階層別 被保険者一人当たりの医療費

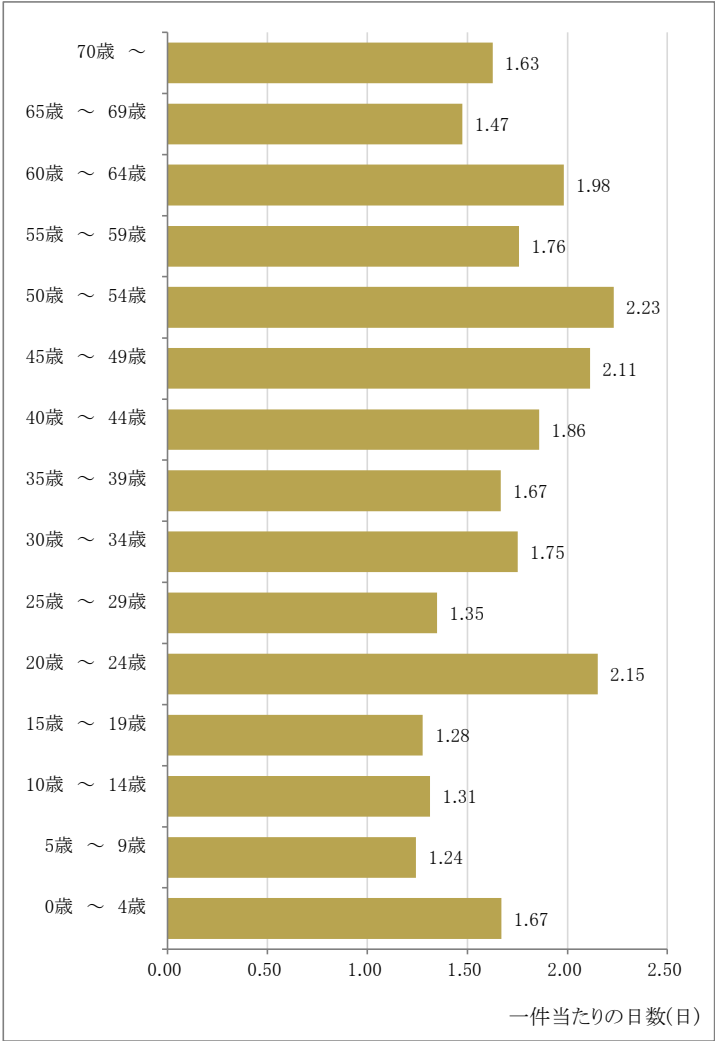


年齢階層別 受診率

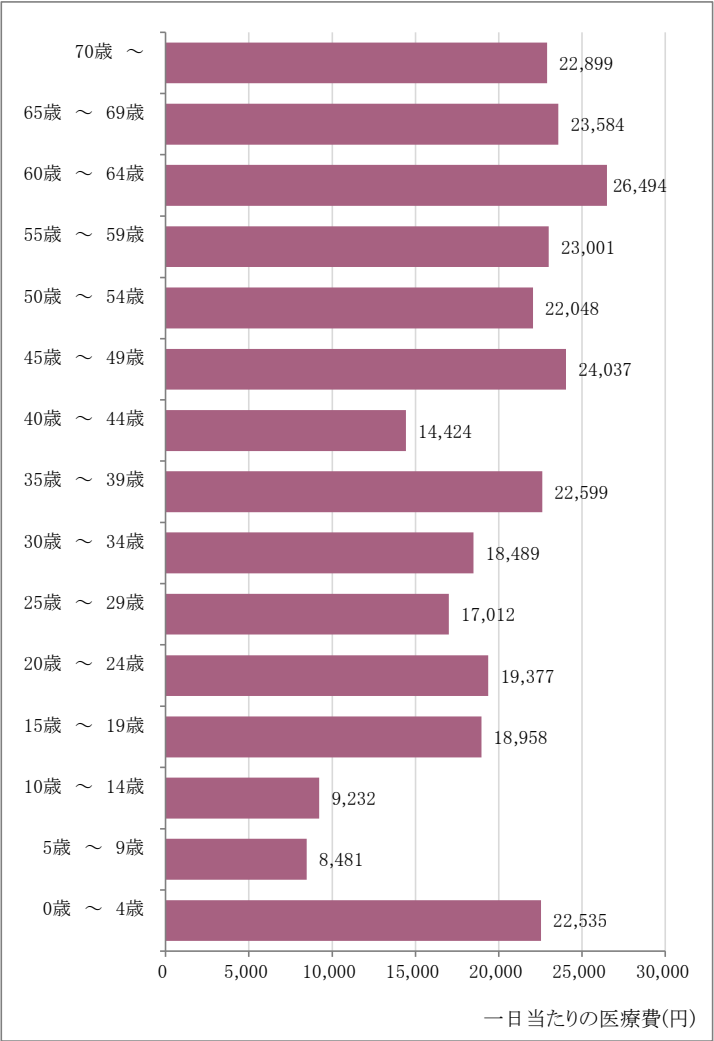


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。

年齢階層別 一件当たりの日数



年齢階層別 一日当たりの医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。
一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

2. 高額レセプトの件数及び医療費

(1) 高額レセプトの件数及び割合

令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下のとおり集計した。高額レセプトは月間平均62件発生しており、レセプト件数全体の0.87%を占める。高額レセプトの医療費は月間平均6,056万円程度となり、医療費全体の36.9%を占める。

高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		令和6年4月	令和6年5月	令和6年6月	令和6年7月	令和6年8月	令和6年9月	令和6年10月
A	レセプト件数(件)	7,472	7,327	7,154	7,432	7,124	7,047	7,301
B	高額レセプト件数(件)	54	58	52	69	65	69	79
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.72%	0.79%	0.73%	0.93%	0.91%	0.98%	1.08%
C	医療費全体(円) ※	162,696,360	168,460,730	157,712,780	178,249,010	167,015,250	171,776,790	183,134,040
D	高額レセプトの医療費(円) ※	54,938,360	59,707,970	57,366,090	69,947,620	60,311,320	67,497,640	74,176,060
E	その他レセプトの医療費(円) ※	107,758,000	108,752,760	100,346,690	108,301,390	106,703,930	104,279,150	108,957,980
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	33.8%	35.4%	36.4%	39.2%	36.1%	39.3%	40.5%

		令和6年11月	令和6年12月	令和7年1月	令和7年2月	令和7年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	7,065	7,331	6,980	6,554	7,087	7,156	85,874
B	高額レセプト件数(件)	69	63	63	52	51	62	744
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.98%	0.86%	0.90%	0.79%	0.72%	0.87%	
C	医療費全体(円) ※	163,133,160	162,607,650	167,972,140	139,547,710	144,793,020	163,924,887	1,967,098,640
D	高額レセプトの医療費(円) ※	64,008,260	59,726,170	67,373,110	46,457,480	45,168,520	60,556,550	726,678,600
E	その他レセプトの医療費(円) ※	99,124,900	102,881,480	100,599,030	93,090,230	99,624,500	103,368,337	1,240,420,040
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	39.2%	36.7%	40.1%	33.3%	31.2%	36.9%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。
※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。
※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

(2) 高額レセプトの年齢階層別統計

令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)における高額レセプトの年齢階層別医療費、年齢階層別患者数、年齢階層別レセプト件数を以下に示す。

高額(5万点以上)レセプトの年齢階層別医療費

年齢階層	入院外(円)	入院(円)	総計(円)	構成比(%)
0歳 ～ 4歳	1,828,920	14,287,580	16,116,500	2.2%
5歳 ～ 9歳	0	0	0	0.0%
10歳 ～ 14歳	0	0	0	0.0%
15歳 ～ 19歳	6,525,570	503,410	7,028,980	1.0%
20歳 ～ 24歳	0	8,593,820	8,593,820	1.2%
25歳 ～ 29歳	534,800	670,340	1,205,140	0.2%
30歳 ～ 34歳	0	9,668,950	9,668,950	1.3%
35歳 ～ 39歳	0	14,063,050	14,063,050	1.9%
40歳 ～ 44歳	1,564,490	2,322,990	3,887,480	0.5%
45歳 ～ 49歳	10,156,530	34,061,770	44,218,300	6.1%
50歳 ～ 54歳	10,548,120	30,864,790	41,412,910	5.7%
55歳 ～ 59歳	7,508,750	28,892,140	36,400,890	5.0%
60歳 ～ 64歳	35,408,170	54,348,250	89,756,420	12.4%
65歳 ～ 69歳	47,506,820	87,248,230	134,755,050	18.5%
70歳 ～	82,198,550	237,372,560	319,571,110	44.0%
合計	203,780,720	522,897,880	726,678,600	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

高額(5万点以上)レセプトの年齢階層別患者数

年齢階層	入院外(人)	入院(人)	入院外および入院(人)	構成比(%)
0歳 ～ 4歳	1	2	3	1.0%
5歳 ～ 9歳	0	0	0	0.0%
10歳 ～ 14歳	0	0	0	0.0%
15歳 ～ 19歳	1	1	2	0.7%
20歳 ～ 24歳	0	2	2	0.7%
25歳 ～ 29歳	1	1	2	0.7%
30歳 ～ 34歳	0	3	3	1.0%
35歳 ～ 39歳	0	5	5	1.7%
40歳 ～ 44歳	1	3	4	1.3%
45歳 ～ 49歳	4	16	19	6.3%
50歳 ～ 54歳	3	18	20	6.6%
55歳 ～ 59歳	2	16	18	6.0%
60歳 ～ 64歳	8	25	33	11.0%
65歳 ～ 69歳	15	46	54	17.9%
70歳 ～	33	114	136	45.2%
合計	69	252	301	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
入院外と入院で重複する患者がいるので総計は一致しない。

高額(5万点以上)レセプトの年齢階層別レセプト件数

年齢階層	入院外(件)	入院(件)	入院外および入院(件)	構成比(%)
0歳 ～ 4歳	1	9	10	1.3%
5歳 ～ 9歳	0	0	0	0.0%
10歳 ～ 14歳	0	0	0	0.0%
15歳 ～ 19歳	5	1	6	0.8%
20歳 ～ 24歳	0	13	13	1.7%
25歳 ～ 29歳	1	1	2	0.3%
30歳 ～ 34歳	0	10	10	1.3%
35歳 ～ 39歳	0	11	11	1.5%
40歳 ～ 44歳	3	4	7	0.9%
45歳 ～ 49歳	14	36	50	6.7%
50歳 ～ 54歳	13	34	47	6.3%
55歳 ～ 59歳	11	33	44	5.9%
60歳 ～ 64歳	38	49	87	11.7%
65歳 ～ 69歳	58	70	128	17.2%
70歳 ～	103	226	329	44.2%
合計	247	497	744	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

(3) 高額レセプト発生患者の疾病傾向

令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を以下のとおり示す。高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に分類した結果、高額レセプト発生患者の一人当たり医療費が高額な疾病分類は「悪性リンパ腫」「その他の感染症及び寄生虫症」「脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群」等である。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0208	悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	2	12,281,560	10,162,980	22,444,540	11,222,270
2	0109	その他の感染症及び寄生虫症	非結核性抗酸菌症, 敗血症性ショック	3	4,468,630	22,402,470	26,871,100	8,957,033
3	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	1	7,920,300	0	7,920,300	7,920,300
4	0912	その他の循環器系の疾患	急性大動脈解離StanfordA, 上行胸部大動脈瘤, 肺血栓塞栓症	4	22,102,420	2,135,310	24,237,730	6,059,433
5	1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	結節性硬化症, 神経線維腫症1型, 動脈管閉存症	3	6,272,100	10,011,990	16,284,090	5,428,030
6	1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝硬変, アルコール性肝硬変に伴う食道静脈瘤	2	9,687,860	800,450	10,488,310	5,244,155
7	0209	白血病	慢性骨髄性白血病, 慢性リンパ性白血病, 骨髄異形成関連変化を伴う急性骨髄性白血病	4	5,725,350	15,238,550	20,963,900	5,240,975
8	1402	腎不全	慢性腎不全, 腎性貧血	6	2,584,390	27,292,810	29,877,200	4,979,533
9	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺扁平上皮癌, 下葉肺腺癌, 肺癌	10	15,237,870	33,484,870	48,722,740	4,872,274
10	1011	その他の呼吸器系の疾患	間質性肺炎, 呼吸不全, インフルエンザ肺炎	12	33,474,370	20,355,090	53,829,460	4,485,788
11	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 膵頭部癌	34	60,908,740	83,763,470	144,672,210	4,255,065
12	0909	動脈硬化(症)	下肢閉塞性動脈硬化症	1	3,811,440	347,980	4,159,420	4,159,420
13	0601	パーキンソン病	パーキンソン病, 若年性パーキンソン病Yahr4	3	10,700,030	1,425,770	12,125,800	4,041,933
14	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 胃癌, 胃前庭部癌	8	7,719,680	22,722,740	30,442,420	3,805,303
15	0606	その他の神経系の疾患	重症筋無力症, 低酸素性脳症, 顔面神経麻痺	5	15,590,850	2,842,800	18,433,650	3,686,730
16	0904	くも膜下出血	中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血	1	3,585,400	61,750	3,647,150	3,647,150
17	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	頰椎症性脊髄症, 腰部脊柱管狭窄症, 化膿性椎間板炎	10	33,193,260	2,363,830	35,557,090	3,555,709
18	0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝細胞癌	7	17,961,580	6,579,860	24,541,440	3,505,920
19	1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	1	2,563,270	824,680	3,387,950	3,387,950
20	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎	1	2,121,670	1,249,360	3,371,030	3,371,030

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。
※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計した。
※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。
※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)の高額レセプト発生患者の疾病傾向を患者数順に示す。高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に分類した結果、高額レセプト発生患者数が多い疾病分類は「その他の悪性新生物＜腫瘍＞」「統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害」「虚血性心疾患」等である。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	前立腺癌，多発性骨髄腫，膵頭部癌	34	60,908,740	83,763,470	144,672,210	4,255,065
2	0503	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症，幻覚妄想状態，妄想型統合失調症	18	44,900,550	8,352,850	53,253,400	2,958,522
3	0902	虚血性心疾患	狭心症，不安定狭心症，心室瘤	14	29,878,370	7,528,830	37,407,200	2,671,943
3	1901	骨折	大腿骨頸部骨折，大腿骨転子部骨折，腰椎破裂骨折	14	24,381,800	3,133,720	27,515,520	1,965,394
5	1011	その他の呼吸器系の疾患	間質性肺炎，呼吸不全，インフルエンザ肺炎	12	33,474,370	20,355,090	53,829,460	4,485,788
6	0205	気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	上葉肺扁平上皮癌，下葉肺腺癌，肺癌	10	15,237,870	33,484,870	48,722,740	4,872,274
6	0206	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	乳房上外側部乳癌，乳房下内側部乳癌，乳癌	10	6,955,310	24,031,640	30,986,950	3,098,695
6	1113	その他の消化器系の疾患	直腸脱，潰瘍性大腸炎・全大腸炎型，クローン病	10	8,330,740	15,775,360	24,106,100	2,410,610
6	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	頸椎症性脊髄症，腰部脊柱管狭窄症，化膿性椎間板炎	10	33,193,260	2,363,830	35,557,090	3,555,709
10	0201	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	胃体部癌，胃癌，胃前庭部癌	8	7,719,680	22,722,740	30,442,420	3,805,303
10	0903	その他の心疾患	心房細動，心室細動，発作性心房細動	8	22,328,770	3,577,280	25,906,050	3,238,256
10	0906	脳梗塞	アテローム血栓性脳梗塞，心原性脳塞栓症，ラクナ梗塞	8	16,144,360	3,178,430	19,322,790	2,415,349
10	1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症，胆石性胆のう炎，総胆管結石	8	8,557,680	3,207,120	11,764,800	1,470,600
14	0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	肝細胞癌	7	17,961,580	6,579,860	24,541,440	3,505,920
14	1302	関節症	変形性膝関節症，変形性股関節症，一側性続発性股関節症	7	18,886,290	2,860,230	21,746,520	3,106,646
16	0202	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	盲腸癌，上行結腸癌，S状結腸癌	6	7,495,990	10,950,240	18,446,230	3,074,372
16	0402	糖尿病	2型糖尿病性腎症，2型糖尿病性ケトーシス，糖尿病網膜症	6	10,624,040	1,743,040	12,367,080	2,061,180
16	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	ステロイド性大腿骨頭壊死，外反母趾，大腿骨頭壊死	6	9,919,700	4,412,670	14,332,370	2,388,728
16	1402	腎不全	慢性腎不全，腎性貧血	6	2,584,390	27,292,810	29,877,200	4,979,533
20	0106	その他のウイルス性疾患	後天性免疫不全症候群，ウイルス性髄膜炎，HIV感染症	5	7,951,350	7,286,220	15,237,570	3,047,514

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

3. 大分類による疾病別医療費統計

(1) 邑楽町国民健康保険全体

令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「新生物＜腫瘍＞」が医療費合計の20.4%を占めている。「循環器系の疾患」は医療費合計の13.0%、「内分泌，栄養及び代謝疾患」は医療費合計の9.5%と高い割合を占めている。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「新生物＜腫瘍＞」「先天奇形，変形及び染色体異常」「精神及び行動の障害」等である。

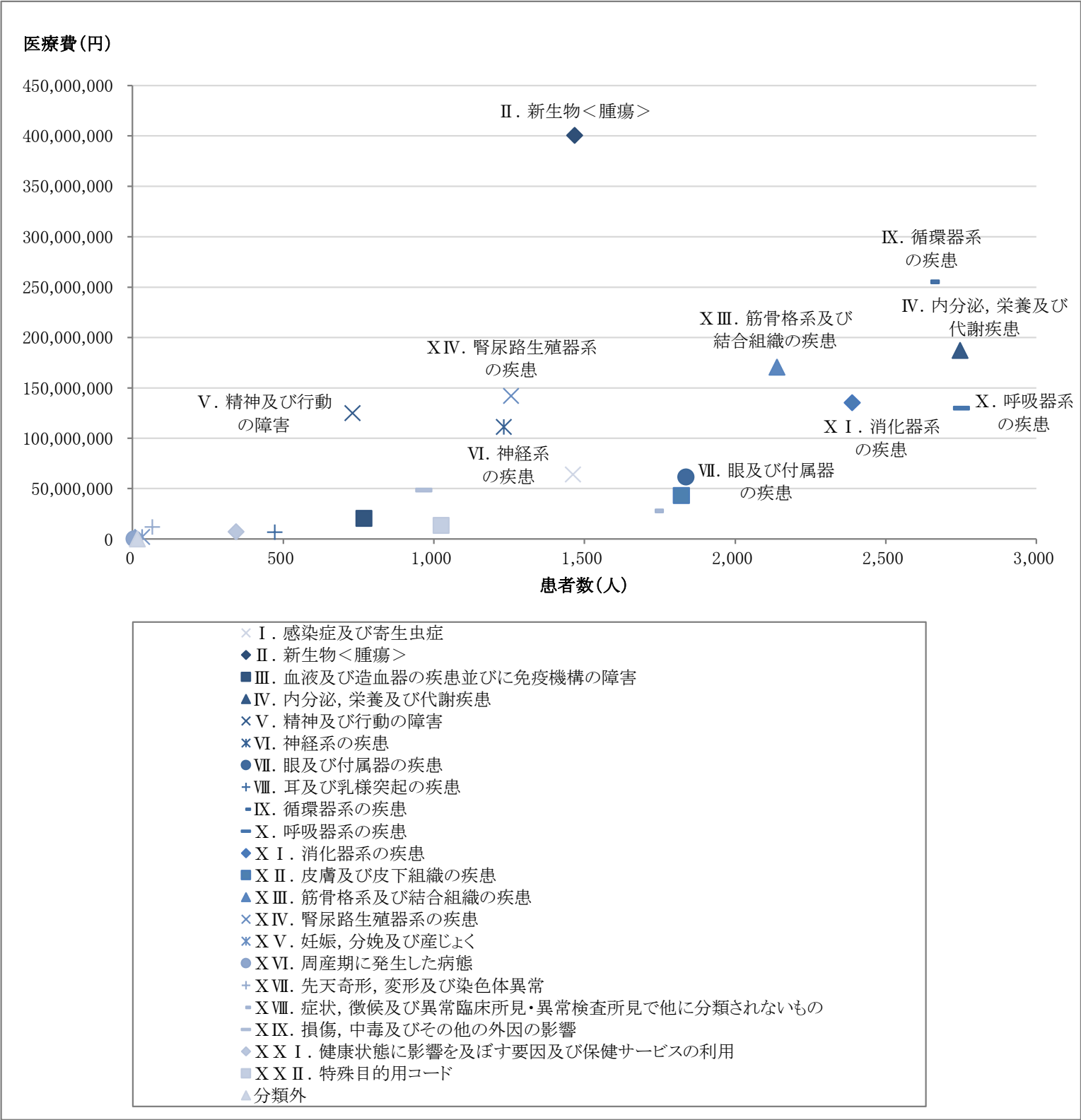
大分類による疾病別医療費統計 ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	64,033,965	3.3%	10	5,501	13	1,462	10	43,799	14
II. 新生物＜腫瘍＞	400,393,222	20.4%	1	6,264	12	1,467	9	272,933	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	20,680,283	1.1%	15	3,256	14	768	15	26,927	16
IV. 内分泌，栄養及び代謝疾患	187,387,442	9.5%	3	31,101	2	2,746	2	68,240	8
V. 精神及び行動の障害	124,899,487	6.4%	8	8,477	9	730	16	171,095	3
VI. 神経系の疾患	111,053,332	5.7%	9	13,584	6	1,232	12	90,141	6
VII. 眼及び付属器の疾患	61,670,811	3.1%	11	8,264	10	1,836	6	33,590	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	7,032,154	0.4%	19	1,605	18	472	17	14,899	20
IX. 循環器系の疾患	255,201,625	13.0%	2	33,424	1	2,651	3	96,266	5
X. 呼吸器系の疾患	129,811,017	6.6%	7	15,492	5	2,751	1	47,187	13
X I. 消化器系の疾患 ※	135,433,439	6.9%	6	22,045	3	2,388	4	56,714	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	43,338,248	2.2%	13	9,575	7	1,821	7	23,799	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	170,573,942	8.7%	4	17,479	4	2,139	5	79,745	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	141,874,882	7.2%	5	7,815	11	1,256	11	112,958	4
X V. 妊娠，分娩及び産じょく ※	1,986,875	0.1%	20	63	20	32	20	62,090	9
X VI. 周産期に発生した病態 ※	284,613	0.0%	21	7	22	5	22	56,923	10
X VII. 先天奇形，変形及び染色体異常	11,925,539	0.6%	17	307	19	65	19	183,470	2
X VIII. 症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	27,899,774	1.4%	14	8,798	8	1,735	8	16,081	19
X IX. 損傷，中毒及びその他の外因の影響	48,650,401	2.5%	12	3,174	15	966	14	50,363	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7,306,567	0.4%	18	1,898	17	343	18	21,302	18
X X II. 特殊目的用コード	13,530,985	0.7%	16	2,205	16	1,024	13	13,214	21
分類外	186,697	0.0%	22	40	21	16	21	11,669	22
合計	1,965,155,300			85,525		5,071		387,528	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠，分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため，“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…AB0因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

以下のとおり疾病項目毎の医療費、及び患者数を示す。

大分類による疾病別医療費統計 グラフ



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

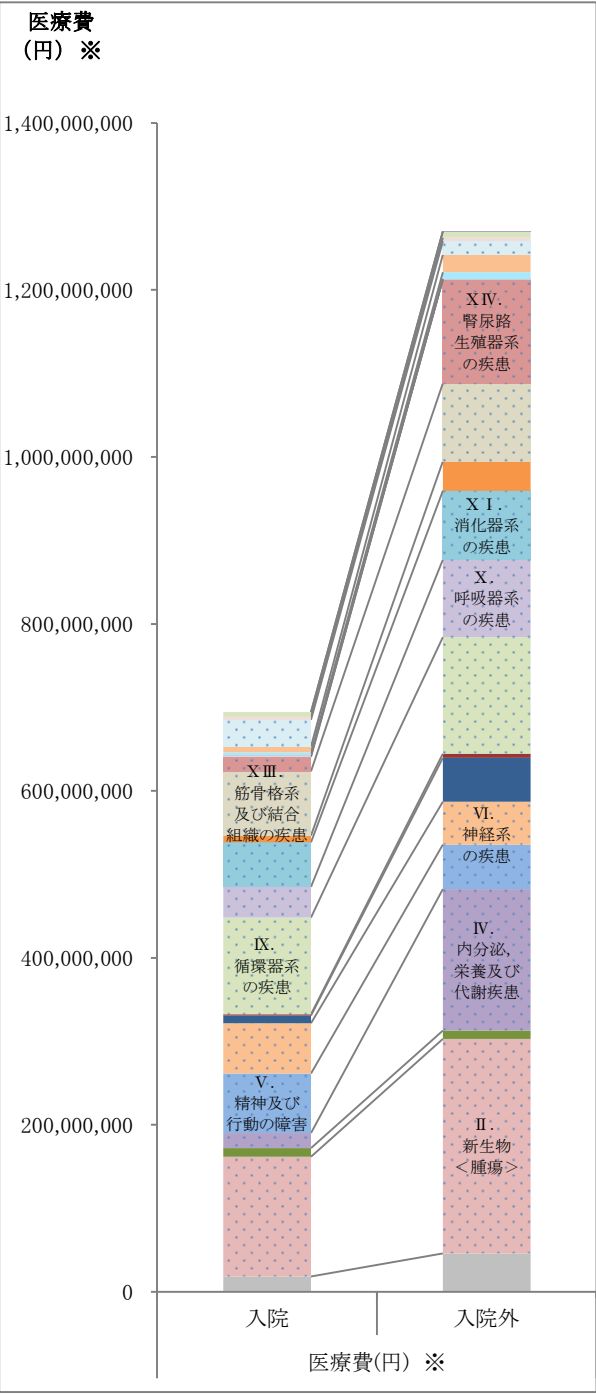
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

(2) 入院・入院外比較

令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、邑楽町国民健康保険における、疾病別医療費統計を入院・入院外別に示す。

大分類による疾病別医療費統計 ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	医療費(円) ※	
	入院	入院外
I. 感染症及び寄生虫症	18,283,274	45,750,691
II. 新生物<腫瘍>	143,283,352	257,109,870
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	10,704,233	9,976,050
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	17,947,911	169,439,531
V. 精神及び行動の障害	71,427,391	53,472,096
VI. 神経系の疾患	59,928,571	51,124,761
VII. 眼及び付属器の疾患	9,059,502	52,611,309
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,836,202	5,195,952
IX. 循環器系の疾患	115,692,677	139,508,948
X. 呼吸器系の疾患	36,724,081	93,086,936
X I. 消化器系の疾患 ※	53,477,542	81,955,897
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	8,006,637	35,331,611
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	77,009,526	93,564,416
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	17,428,247	124,446,635
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,610,165	376,710
X VI. 周産期に発生した病態 ※	268,675	15,938
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	3,623,207	8,302,332
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,569,218	21,330,556
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	32,581,393	16,069,008
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,100,915	4,205,652
X X II. 特殊目的用コード	5,951,351	7,579,634
分類外	0	186,697
合計	694,514,070	1,270,641,230

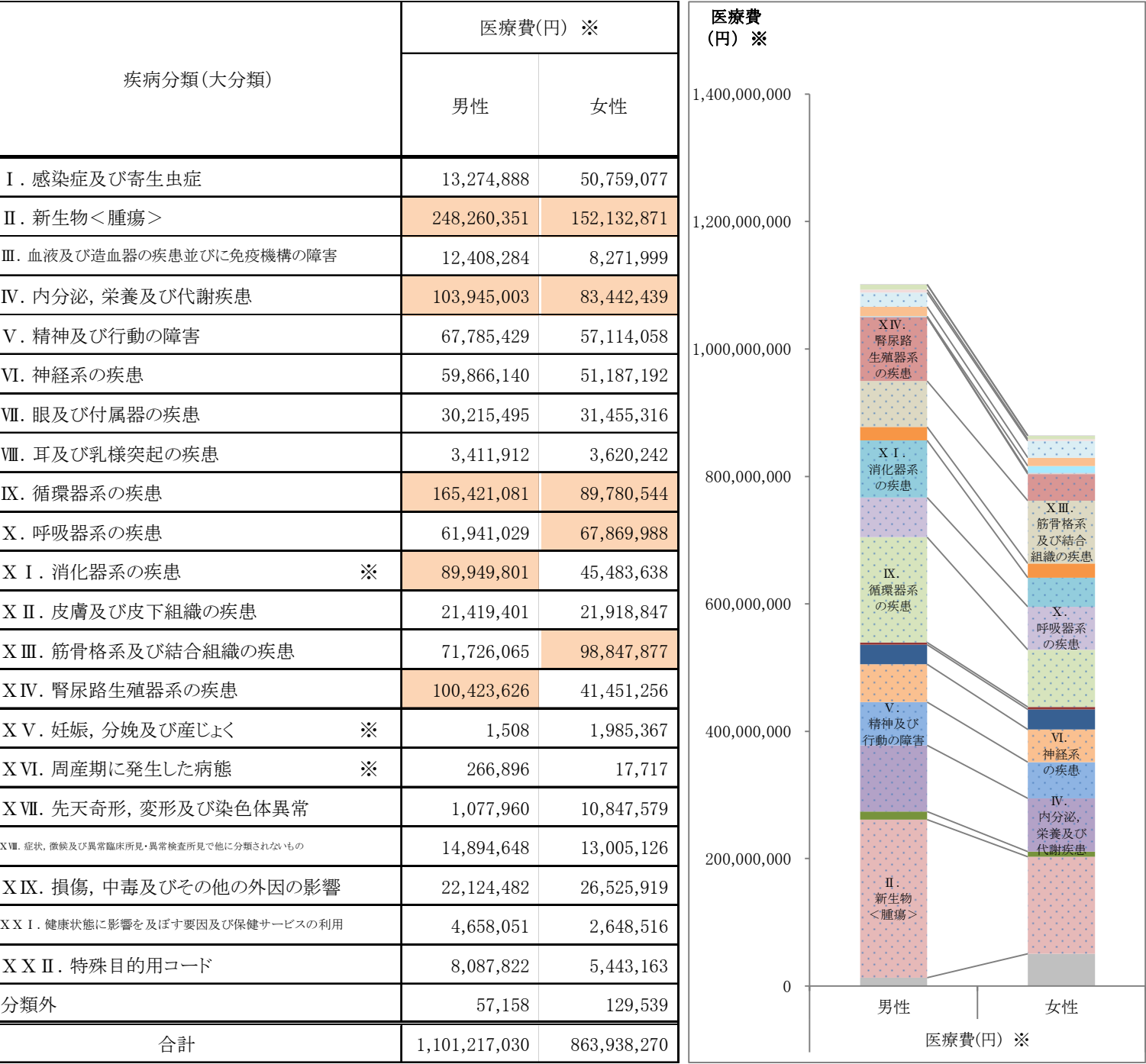


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

(3) 男性・女性比較

令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、邑楽町国民健康保険における、疾病別医療費統計を男女別に示す。

大分類による疾病別医療費統計 ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

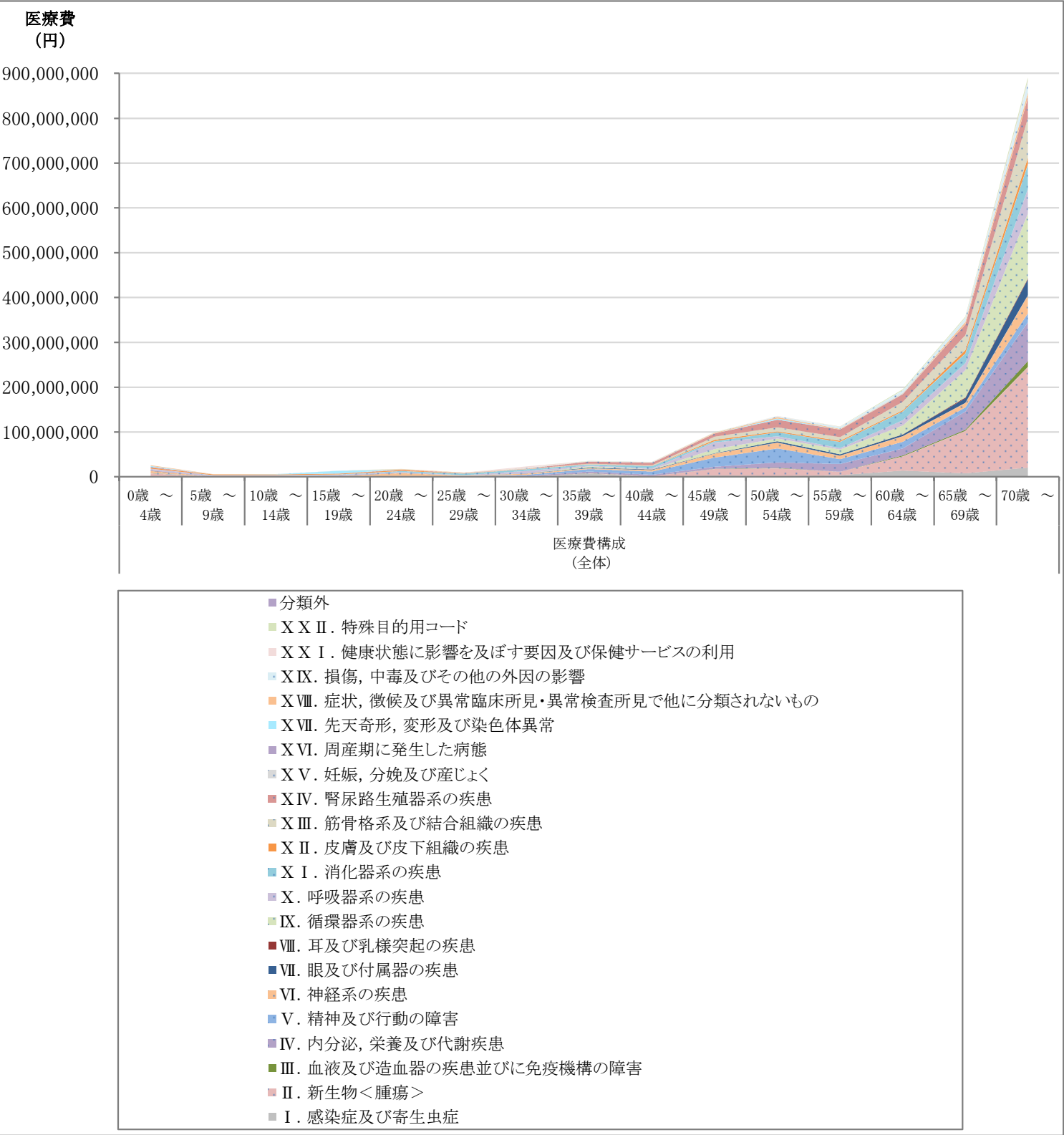


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

(4) 年齢階層別比較

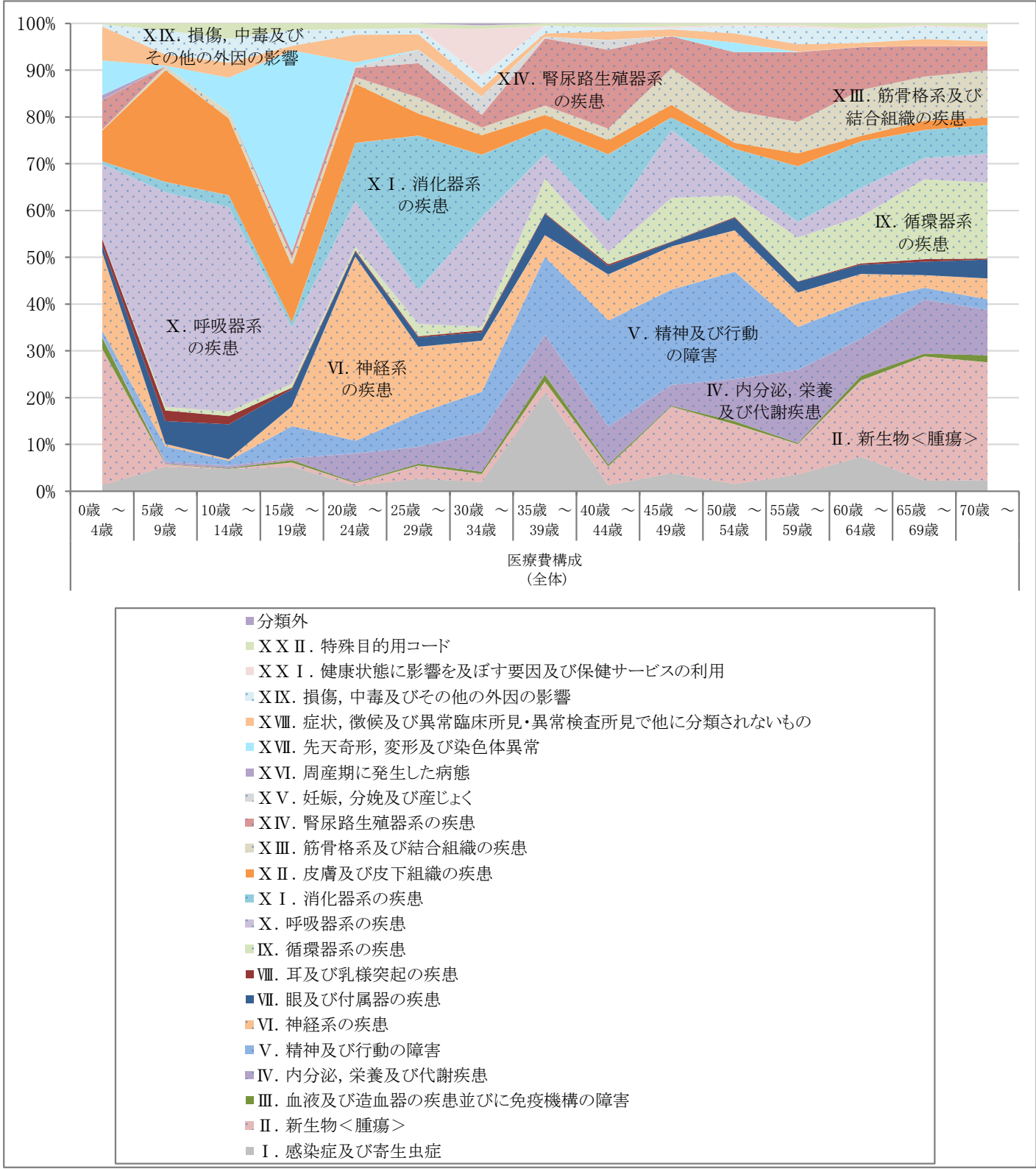
令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、邑楽町国民健康保険における、疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。

年齢階層別医療費(全体)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

年齢階層別医療費構成(全体)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

邑楽町国民健康保険における、疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。
 若年層では「呼吸器系の疾患」、中年層では「精神及び行動の障害」、高年層では「循環器系の疾患」「新生物＜腫瘍＞」が上位を占める。

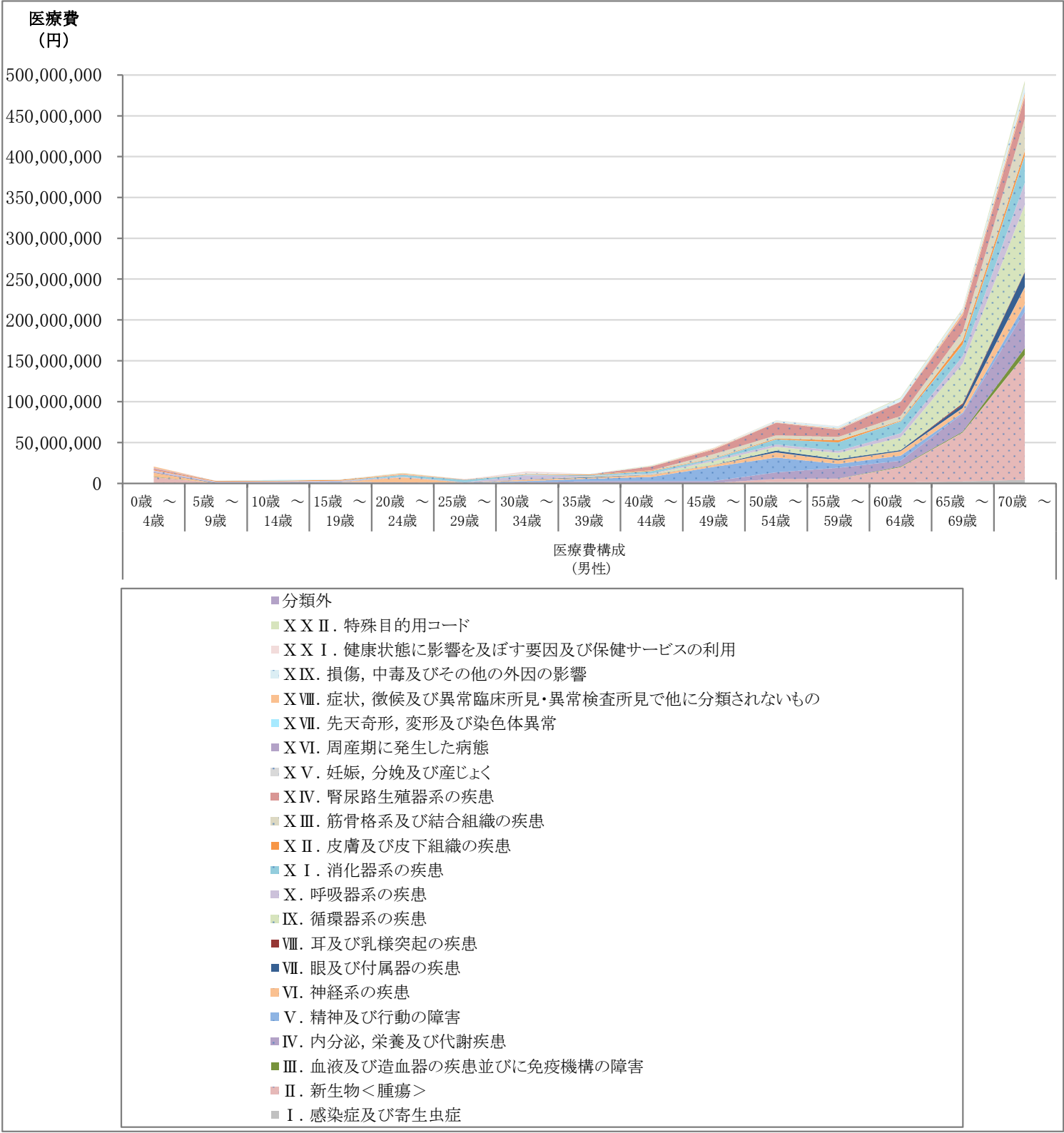
年齢階層別医療費　大分類上位5疾病(全体)

年齢階層	1	2	3	4	5
0歳　～　4歳	Ⅱ. 新生物＜腫瘍＞	Ⅵ. 神経系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	XⅦ. 先天奇形, 変形及び染色体異常	XⅧ. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
5歳　～　9歳	X. 呼吸器系の疾患	XⅡ. 皮膚及び皮下組織の疾患	I. 感染症及び寄生虫症	XⅨ. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	Ⅶ. 眼及び付属器の疾患
10歳　～　14歳	X. 呼吸器系の疾患	XⅡ. 皮膚及び皮下組織の疾患	Ⅶ. 眼及び付属器の疾患	XⅦ. 先天奇形, 変形及び染色体異常	XⅨ. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響
15歳　～　19歳	XⅦ. 先天奇形, 変形及び染色体異常	XⅡ. 皮膚及び皮下組織の疾患	X. 呼吸器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	I. 感染症及び寄生虫症
20歳　～　24歳	Ⅵ. 神経系の疾患	XⅡ. 皮膚及び皮下組織の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	Ⅳ. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
25歳　～　29歳	XⅠ. 消化器系の疾患	Ⅵ. 神経系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	V. 精神及び行動の障害
30歳　～　34歳	X. 呼吸器系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患	Ⅵ. 神経系の疾患	XⅩⅠ. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	V. 精神及び行動の障害
35歳　～　39歳	I. 感染症及び寄生虫症	V. 精神及び行動の障害	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	Ⅳ. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	Ⅸ. 循環器系の疾患
40歳　～　44歳	V. 精神及び行動の障害	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患	Ⅵ. 神経系の疾患	Ⅳ. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
45歳　～　49歳	V. 精神及び行動の障害	X. 呼吸器系の疾患	Ⅱ. 新生物＜腫瘍＞	Ⅸ. 循環器系の疾患	Ⅵ. 神経系の疾患
50歳　～　54歳	V. 精神及び行動の障害	Ⅱ. 新生物＜腫瘍＞	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	Ⅳ. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	Ⅵ. 神経系の疾患
55歳　～　59歳	Ⅳ. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患	Ⅸ. 循環器系の疾患	V. 精神及び行動の障害
60歳　～　64歳	Ⅱ. 新生物＜腫瘍＞	Ⅸ. 循環器系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患
65歳　～　69歳	Ⅱ. 新生物＜腫瘍＞	Ⅸ. 循環器系の疾患	Ⅳ. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患
70歳　～	Ⅱ. 新生物＜腫瘍＞	Ⅸ. 循環器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	Ⅳ. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X. 呼吸器系の疾患

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 株式会社データホライゾン　医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

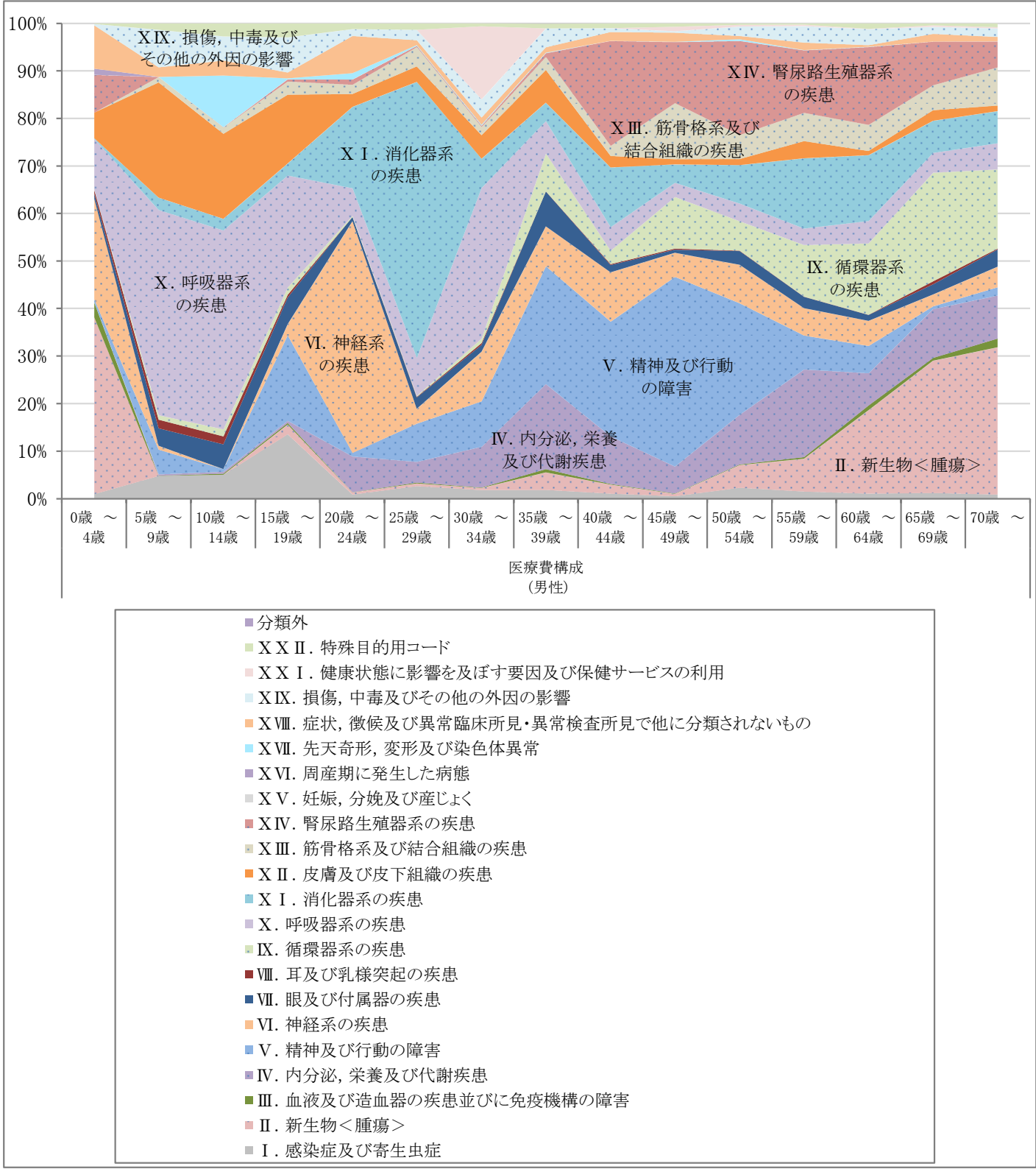
邑楽町国民健康保険の男性における、疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。

年齢階層別医療費(男性)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

年齢階層別医療費構成(男性)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

邑楽町国民健康保険における、疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。
 若年層では「呼吸器系の疾患」、中年層では「精神及び行動の障害」、高年層では「循環器系の疾患」「新生物＜腫瘍＞」が上位を占める。

年齢階層別医療費　大分類上位5疾病(男性)

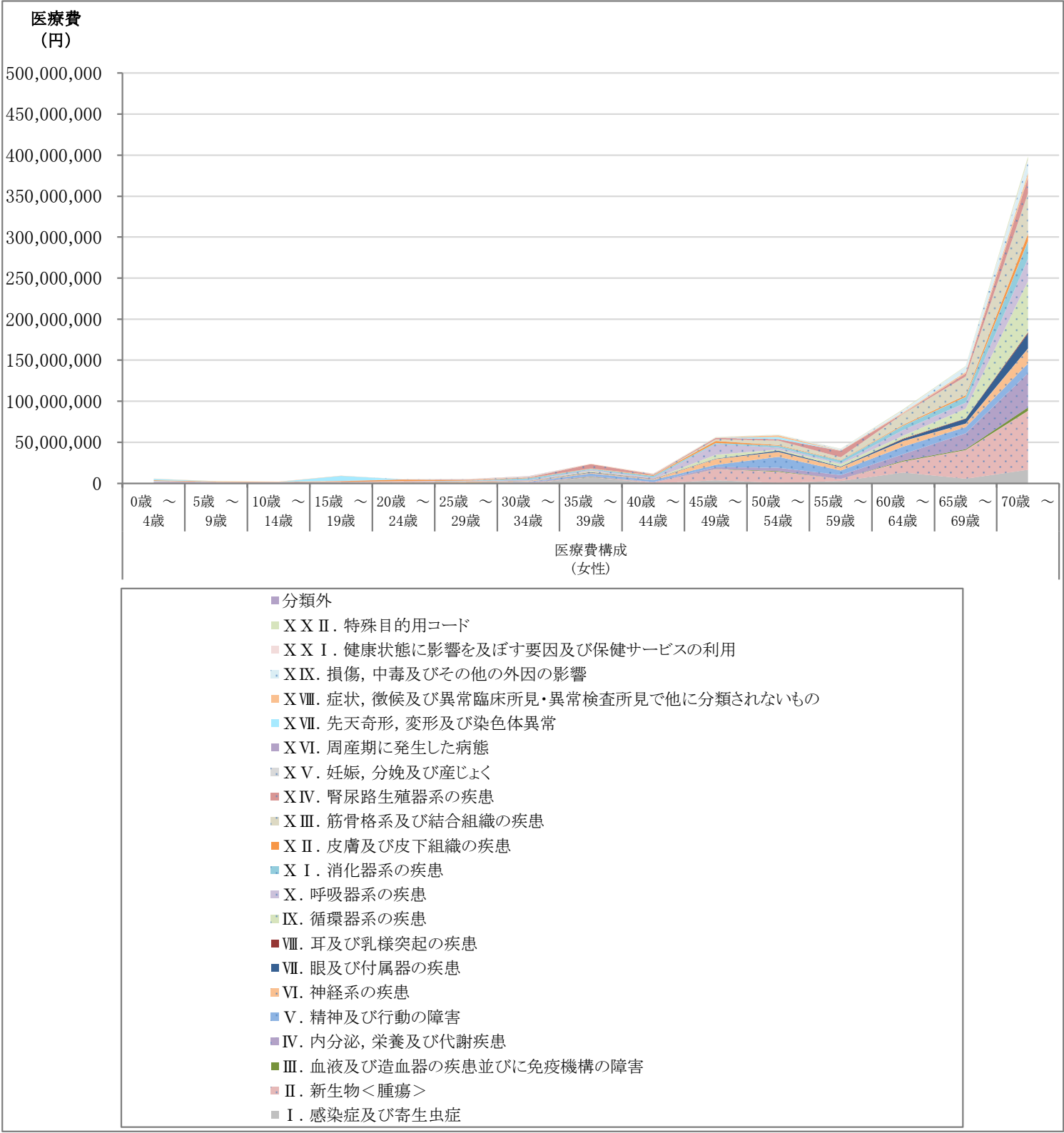
年齢階層	1	2	3	4	5
0歳　～　4歳	Ⅱ. 新生物＜腫瘍＞	Ⅵ. 神経系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	XⅧ. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患
5歳　～　9歳	X. 呼吸器系の疾患	XⅡ. 皮膚及び皮下組織の疾患	XⅨ. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	V. 精神及び行動の障害	I. 感染症及び寄生虫症
10歳　～　14歳	X. 呼吸器系の疾患	XⅡ. 皮膚及び皮下組織の疾患	XⅦ. 先天奇形、変形及び染色体異常	Ⅶ. 眼及び付属器の疾患	XⅨ. 損傷、中毒及びその他の外因の影響
15歳　～　19歳	X. 呼吸器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	XⅡ. 皮膚及び皮下組織の疾患	I. 感染症及び寄生虫症	XⅨ. 損傷、中毒及びその他の外因の影響
20歳　～　24歳	Ⅵ. 神経系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患	XⅧ. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患	X. 呼吸器系の疾患
25歳　～　29歳	XⅠ. 消化器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	X. 呼吸器系の疾患	Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患
30歳　～　34歳	X. 呼吸器系の疾患	XⅩⅠ. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	Ⅵ. 神経系の疾患	V. 精神及び行動の障害	Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患
35歳　～　39歳	V. 精神及び行動の障害	Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患	Ⅵ. 神経系の疾患	Ⅸ. 循環器系の疾患	Ⅶ. 眼及び付属器の疾患
40歳　～　44歳	V. 精神及び行動の障害	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患	Ⅵ. 神経系の疾患	Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患
45歳　～　49歳	V. 精神及び行動の障害	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	Ⅸ. 循環器系の疾患	Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患
50歳　～　54歳	V. 精神及び行動の障害	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患	Ⅵ. 神経系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患
55歳　～　59歳	Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患	XⅠ. 消化器系の疾患	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	Ⅸ. 循環器系の疾患	V. 精神及び行動の障害
60歳　～　64歳	Ⅱ. 新生物＜腫瘍＞	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	Ⅸ. 循環器系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患	Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患
65歳　～　69歳	Ⅱ. 新生物＜腫瘍＞	Ⅸ. 循環器系の疾患	Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患
70歳　～	Ⅱ. 新生物＜腫瘍＞	Ⅸ. 循環器系の疾患	Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 株式会社データホライゾン　医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

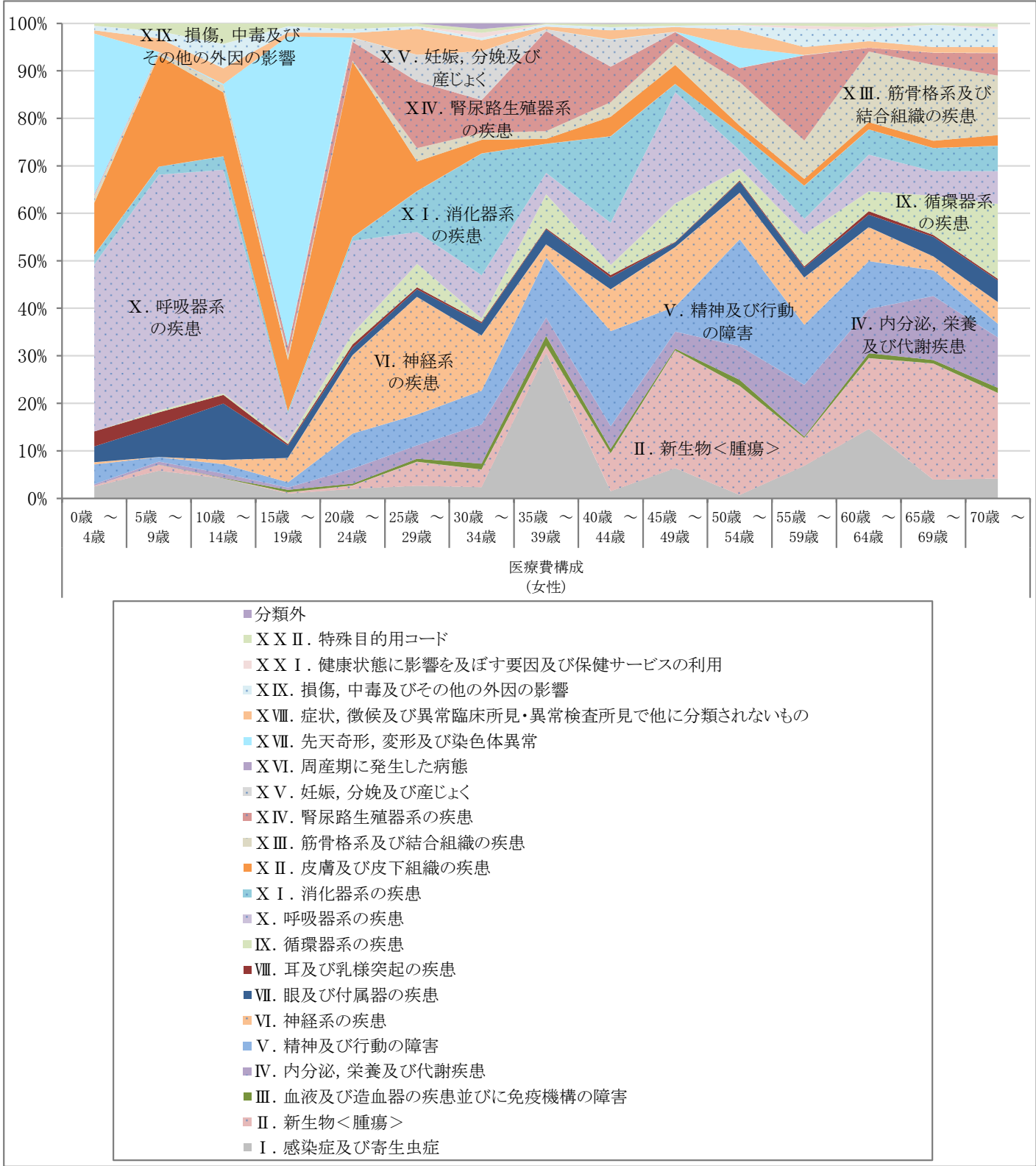
邑楽町国民健康保険の女性における、疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。

年齢階層別医療費(女性)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

年齢階層別医療費構成(女性)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

邑楽町国民健康保険における、疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。
 若年層では「呼吸器系の疾患」、中年層では「新生物＜腫瘍＞」、高年層では「筋骨格系及び結合組織の疾患」「新生物＜腫瘍＞」が上位を占める。

年齢階層別医療費　大分類上位5疾病(女性)

年齢階層	1	2	3	4	5
0歳　～　4歳	X. 呼吸器系の疾患	X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	V. 精神及び行動の障害	VII. 眼及び付属器の疾患
5歳　～　9歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	VII. 眼及び付属器の疾患	I. 感染症及び寄生虫症	VIII. 耳及び乳様突起の疾患
10歳　～　14歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	VII. 眼及び付属器の疾患	X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	X X II. 特殊目的用コード
15歳　～　19歳	X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	X. 呼吸器系の疾患	VI. 神経系の疾患	VII. 眼及び付属器の疾患
20歳　～　24歳	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	X. 呼吸器系の疾患	VI. 神経系の疾患	V. 精神及び行動の障害	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患
25歳　～　29歳	VI. 神経系の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	X I. 消化器系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	V. 精神及び行動の障害
30歳　～　34歳	X I. 消化器系の疾患	VI. 神経系の疾患	X V. 妊娠, 分娩及び産じょく	X. 呼吸器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
35歳　～　39歳	I. 感染症及び寄生虫症	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	IX. 循環器系の疾患	X I. 消化器系の疾患
40歳　～　44歳	V. 精神及び行動の障害	X I. 消化器系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	VI. 神経系の疾患	II. 新生物＜腫瘍＞
45歳　～　49歳	II. 新生物＜腫瘍＞	X. 呼吸器系の疾患	VI. 神経系の疾患	IX. 循環器系の疾患	I. 感染症及び寄生虫症
50歳　～　54歳	II. 新生物＜腫瘍＞	V. 精神及び行動の障害	VI. 神経系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
55歳　～　59歳	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	VI. 神経系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患
60歳　～　64歳	II. 新生物＜腫瘍＞	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	I. 感染症及び寄生虫症	V. 精神及び行動の障害	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
65歳　～　69歳	II. 新生物＜腫瘍＞	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	IX. 循環器系の疾患	V. 精神及び行動の障害
70歳　～	II. 新生物＜腫瘍＞	IX. 循環器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X. 呼吸器系の疾患

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 株式会社データホライゾン　医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

(5) 地区比較

令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、地区毎に集計した。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【中野】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	29,281,650	4.3%	8	1,773	13	512	10	57,191	9
II. 新生物<腫瘍>	162,975,440	23.8%	1	2,244	12	514	9	317,073	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4,382,736	0.6%	17	1,055	15	285	15	15,378	16
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	54,993,937	8.0%	5	10,340	2	963	2	57,107	10
V. 精神及び行動の障害	46,670,955	6.8%	6	2,865	9	268	16	174,145	3
VI. 神経系の疾患	28,122,931	4.1%	9	4,366	6	401	12	70,132	6
VII. 眼及び付属器の疾患	16,581,906	2.4%	11	2,596	10	605	8	27,408	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,156,481	0.3%	18	507	17	171	17	12,611	18
IX. 循環器系の疾患	102,807,765	15.0%	2	11,528	1	924	3	111,264	4
X. 呼吸器系の疾患	58,083,526	8.5%	3	5,469	5	993	1	58,493	8
X I. 消化器系の疾患 ※	42,578,759	6.2%	7	7,312	3	839	4	50,749	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	11,931,817	1.7%	13	3,025	8	642	6	18,585	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	56,640,637	8.3%	4	5,913	4	736	5	76,957	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	27,963,954	4.1%	10	2,295	11	446	11	62,699	7
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	158,292	0.0%	20	21	20	11	20	14,390	17
X VI. 周産期に発生した病態 ※	2,030	0.0%	22	1	22	1	22	2,030	22
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	9,038,609	1.3%	15	73	19	24	19	376,609	1
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,459,315	1.5%	14	3,081	7	625	7	16,735	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	14,833,871	2.2%	12	1,084	14	335	14	44,280	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,062,403	0.2%	19	506	18	97	18	10,953	20
X X II. 特殊目的用コード	4,520,150	0.7%	16	751	16	361	13	12,521	19
分類外	32,436	0.0%	21	14	21	7	21	4,634	21
合計	685,279,600			29,479		1,796		381,559	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【鶉】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数(件) ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	690,514	1.1%	15	188	13	66	11	10,462	15
II. 新生物＜腫瘍＞	5,179,859	7.9%	7	253	12	70	10	73,998	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	324,139	0.5%	16	182	14	40	15	8,103	18
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	14,001,775	21.4%	1	1,585	2	138	1	101,462	2
V. 精神及び行動の障害	5,726,377	8.7%	5	549	7	40	15	143,159	1
VI. 神経系の疾患	4,134,362	6.3%	8	943	5	72	9	57,422	6
VII. 眼及び付属器の疾患	1,982,728	3.0%	10	463	8	95	6	20,871	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	185,692	0.3%	18	52	18	17	17	10,923	14
IX. 循環器系の疾患	7,991,181	12.2%	2	1,619	1	132	2	60,539	4
X. 呼吸器系の疾患	5,687,856	8.7%	6	800	6	132	2	43,090	9
X I. 消化器系の疾患 ※	6,140,435	9.4%	4	1,229	3	127	4	48,350	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,475,530	2.3%	11	444	10	75	8	19,674	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	6,508,209	9.9%	3	1,004	4	108	5	60,261	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	2,397,829	3.7%	9	403	11	59	12	40,641	10
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	2,918	0.0%	20	2	20	1	20	2,918	20
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	37,633	0.1%	19	25	19	4	19	9,408	17
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	878,824	1.3%	13	463	8	92	7	9,552	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1,102,084	1.7%	12	159	15	49	13	22,492	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	740,866	1.1%	14	84	17	13	18	56,990	7
X X II. 特殊目的用コード	300,319	0.5%	17	99	16	42	14	7,150	19
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	65,489,130			4,279		242		270,616	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【鶉新田・光善寺】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,230,369	2.1%	14	184	12	49	8	25,110	14
II. 新生物＜腫瘍＞	4,138,136	7.0%	7	110	13	32	12	129,317	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,526,401	4.3%	11	67	17	22	15	114,836	5
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	5,929,221	10.0%	4	1,144	1	72	3	82,350	8
V. 精神及び行動の障害	2,606,896	4.4%	10	309	8	22	15	118,495	4
VI. 神経系の疾患	7,377,258	12.5%	3	475	6	36	11	204,924	1
VII. 眼及び付属器の疾患	4,419,987	7.5%	6	240	10	57	7	77,544	9
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	189,228	0.3%	17	52	18	19	17	9,959	18
IX. 循環器系の疾患	7,571,852	12.8%	2	1,117	2	74	2	102,322	6
X. 呼吸器系の疾患	2,786,621	4.7%	8	479	5	77	1	36,190	12
X I. 消化器系の疾患 ※	2,662,901	4.5%	9	687	3	65	4	40,968	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,063,743	3.5%	12	306	9	61	5	33,832	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	5,396,174	9.1%	5	617	4	61	5	88,462	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	7,673,283	13.0%	1	354	7	42	10	182,697	2
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	34,585	0.1%	19	5	20	3	19	11,528	16
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	30,835	0.1%	20	25	19	3	19	10,278	17
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,822,381	3.1%	13	213	11	44	9	41,418	10
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	322,773	0.5%	15	81	15	26	14	12,414	15
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	84,166	0.1%	18	90	14	18	18	4,676	20
X X II. 特殊目的用コード	231,270	0.4%	16	72	16	31	13	7,460	19
分類外	3,080	0.0%	21	1	21	1	21	3,080	21
合計	59,101,160			2,844		142		416,205	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【新中野】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,598,192	1.9%	13	196	13	64	9	24,972	13
II. 新生物＜腫瘍＞	18,974,438	22.8%	1	212	12	53	11	358,008	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	406,693	0.5%	17	137	15	31	15	13,119	19
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	8,793,572	10.5%	3	1,176	2	100	3	87,936	5
V. 精神及び行動の障害	3,371,707	4.0%	8	349	9	28	16	120,418	3
VI. 神経系の疾患	2,743,658	3.3%	9	528	5	58	10	47,304	9
VII. 眼及び付属器の疾患	1,740,449	2.1%	12	321	10	77	6	22,603	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	264,051	0.3%	18	73	18	19	17	13,897	17
IX. 循環器系の疾患	8,433,506	10.1%	4	1,300	1	108	1	78,088	7
X. 呼吸器系の疾患	2,346,346	2.8%	10	481	6	104	2	22,561	15
X I. 消化器系の疾患 ※	5,449,387	6.5%	6	880	3	93	4	58,596	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,135,516	2.6%	11	427	7	75	7	28,474	12
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	8,298,233	10.0%	5	594	4	86	5	96,491	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	12,434,344	14.9%	2	288	11	45	13	276,319	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	41,836	0.1%	19	2	20	1	20	41,836	10
X VI. 周産期に発生した病態 ※	14,799	0.0%	21	1	21	1	20	14,799	16
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	16,347	0.0%	20	6	19	4	19	4,087	21
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	967,883	1.2%	14	377	8	73	8	13,259	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	4,167,890	5.0%	7	162	14	49	12	85,059	6
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	686,227	0.8%	15	112	16	17	18	40,366	11
X X II. 特殊目的用コード	501,046	0.6%	16	92	17	41	14	12,221	20
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	83,386,120			3,390		215		387,842	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【明野】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数(件) ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	2,408,509	1.7%	13	427	13	102	10	23,613	18
II. 新生物＜腫瘍＞	34,965,702	25.1%	1	563	11	118	8	296,320	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,494,445	1.1%	16	235	15	48	15	31,134	16
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	11,865,466	8.5%	4	2,153	2	182	2	65,195	6
V. 精神及び行動の障害	3,983,778	2.9%	11	439	12	39	16	102,148	3
VI. 神経系の疾患	4,030,408	2.9%	10	886	6	83	13	48,559	10
VII. 眼及び付属器の疾患	4,411,613	3.2%	9	642	8	123	6	35,867	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,250,732	0.9%	17	114	17	34	17	36,786	13
IX. 循環器系の疾患	15,738,887	11.3%	2	2,364	1	179	3	87,927	4
X. 呼吸器系の疾患	11,705,901	8.4%	5	1,221	4	208	1	56,278	8
X I. 消化器系の疾患 ※	6,842,840	4.9%	8	1,433	3	162	4	42,240	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	7,008,193	5.0%	7	599	10	120	7	58,402	7
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	10,238,145	7.3%	6	1,051	5	133	5	76,979	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	14,741,298	10.6%	3	635	9	88	12	167,515	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	123,675	0.1%	19	7	19	3	19	41,225	12
X VI. 周産期に発生した病態 ※	9,830	0.0%	20	1	20	1	20	9,830	20
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	5,153	0.0%	22	1	20	1	20	5,153	22
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,305,263	1.7%	14	682	7	113	9	20,401	19
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	3,153,884	2.3%	12	193	16	61	14	51,703	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	767,203	0.6%	18	99	18	22	18	34,873	15
X X II. 特殊目的用コード	2,269,244	1.6%	15	237	14	93	11	24,400	17
分類外	8,181	0.0%	21	1	20	1	20	8,181	21
合計	139,328,350			5,892		330		422,207	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【藤川】 大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	2,407,300	2.9%	8	208	13	63	8	38,211	13
II. 新生物＜腫瘍＞	11,232,717	13.8%	3	245	12	68	7	165,187	4
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	130,935	0.2%	19	133	15	23	16	5,693	21
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	8,524,582	10.4%	4	1,539	2	120	2	71,038	9
V. 精神及び行動の障害	1,831,524	2.2%	11	285	11	27	15	67,834	11
VI. 神経系の疾患	7,492,876	9.2%	6	549	6	48	12	156,102	5
VII. 眼及び付属器の疾患	2,086,501	2.6%	9	401	7	91	5	22,929	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	249,404	0.3%	18	98	17	15	18	16,627	18
IX. 循環器系の疾患	12,975,568	15.9%	1	1,783	1	123	1	105,492	6
X. 呼吸器系の疾患	2,065,390	2.5%	10	589	5	97	4	21,293	15
X I. 消化器系の疾患 ※	6,971,361	8.5%	7	1,104	3	100	3	69,714	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,106,252	1.4%	13	338	9	60	9	18,438	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	8,320,281	10.2%	5	850	4	85	6	97,886	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	12,327,473	15.1%	2	394	8	55	11	224,136	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	775,447	0.9%	14	10	20	3	19	258,482	1
X VI. 周産期に発生した病態 ※	255,036	0.3%	17	2	22	1	21	255,036	2
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	40,184	0.0%	22	20	19	3	19	13,395	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	558,723	0.7%	16	294	10	57	10	9,802	20
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1,496,695	1.8%	12	139	14	37	13	40,451	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	59,807	0.1%	21	114	16	19	17	3,148	22
X X II. 特殊目的用コード	649,267	0.8%	15	65	18	35	14	18,550	16
分類外	104,447	0.1%	20	4	21	1	21	104,447	7
合計	81,661,770			3,705		196		416,642	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【秋妻】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	577,966	1.1%	12	189	11	43	9	13,441	15
II. 新生物＜腫瘍＞	10,324,427	19.2%	1	190	10	40	10	258,111	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	301,439	0.6%	15	81	16	19	15	15,865	13
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	7,378,052	13.7%	2	1,003	2	92	1	80,196	5
V. 精神及び行動の障害	1,325,746	2.5%	11	186	12	16	17	82,859	3
VI. 神経系の疾患	2,471,181	4.6%	9	384	6	39	11	63,364	8
VII. 眼及び付属器の疾患	3,867,141	7.2%	7	314	8	59	7	65,545	7
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	208,341	0.4%	17	63	17	18	16	11,575	16
IX. 循環器系の疾患	7,129,921	13.3%	3	1,112	1	92	1	77,499	6
X. 呼吸器系の疾患	4,257,657	7.9%	5	372	7	84	3	50,686	10
X I. 消化器系の疾患 ※	4,120,891	7.7%	6	766	3	80	4	51,511	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,995,051	3.7%	10	386	5	63	6	31,667	11
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	5,792,224	10.8%	4	560	4	72	5	80,448	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	2,520,685	4.7%	8	169	13	30	13	84,023	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	31,540	0.1%	19	25	19	4	19	7,885	18
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	540,321	1.0%	13	216	9	50	8	10,806	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	490,511	0.9%	14	103	14	31	12	15,823	14
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	224,947	0.4%	16	96	15	14	18	16,068	12
X X II. 特殊目的用コード	115,219	0.2%	18	52	18	25	14	4,609	19
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	53,673,260			2,496		156		344,059	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【石打】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数(件) ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	999,085	0.9%	15	343	13	78	11	12,809	15
II. 新生物＜腫瘍＞	35,467,994	32.0%	1	356	12	87	8	407,678	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3,152,012	2.8%	11	208	14	40	15	78,800	5
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	11,207,160	10.1%	3	1,972	2	167	1	67,109	7
V. 精神及び行動の障害	4,931,659	4.5%	8	450	11	38	16	129,781	2
VI. 神経系の疾患	4,215,998	3.8%	9	727	6	66	12	63,879	8
VII. 眼及び付属器の疾患	6,567,637	5.9%	6	491	8	115	6	57,110	9
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	328,075	0.3%	17	101	18	30	17	10,936	16
IX. 循環器系の疾患	12,655,340	11.4%	2	2,200	1	166	2	76,237	6
X. 呼吸器系の疾患	3,349,302	3.0%	10	886	5	160	3	20,933	12
X I. 消化器系の疾患 ※	7,558,843	6.8%	5	1,465	3	146	4	51,773	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,184,399	1.1%	14	455	10	85	9	13,934	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	9,639,631	8.7%	4	1,053	4	120	5	80,330	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	1,921,833	1.7%	12	456	9	80	10	24,023	11
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	5,720	0.0%	20	1	20	1	20	5,720	18
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	16,627	0.0%	19	10	19	4	19	4,157	19
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,551,184	1.4%	13	532	7	98	7	15,828	13
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	5,515,223	5.0%	7	194	15	51	14	108,142	3
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	31,508	0.0%	18	104	17	21	18	1,500	20
X X II. 特殊目的用コード	500,610	0.5%	16	136	16	64	13	7,822	17
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	110,799,840			5,133		295		375,593	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【篠塚】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	22,499,910	5.2%	10	1,248	13	303	10	74,257	8
II. 新生物＜腫瘍＞	80,410,306	18.6%	1	1,280	12	306	9	262,779	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	6,538,928	1.5%	14	751	14	172	15	38,017	13
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	42,803,697	9.9%	3	6,419	2	587	1	72,919	9
V. 精神及び行動の障害	34,232,091	7.9%	5	1,741	9	149	16	229,746	2
VI. 神経系の疾患	32,203,362	7.5%	6	2,845	6	260	12	123,859	4
VII. 眼及び付属器の疾患	12,449,116	2.9%	11	1,695	11	391	7	31,839	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,283,170	0.3%	19	352	18	88	17	14,581	18
IX. 循環器系の疾患	50,052,669	11.6%	2	6,575	1	546	3	91,672	6
X. 呼吸器系の疾患	26,630,748	6.2%	8	3,402	5	575	2	46,314	12
X I. 消化器系の疾患 ※	25,017,749	5.8%	9	4,258	3	482	4	51,904	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	10,094,347	2.3%	13	2,374	7	403	6	25,048	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	34,257,686	7.9%	4	3,515	4	457	5	74,962	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	30,069,071	7.0%	7	1,741	9	262	11	114,767	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	128,872	0.0%	20	10	21	5	20	25,774	16
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	2,642,138	0.6%	17	88	19	13	19	203,241	3
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,485,719	1.0%	15	1,755	8	353	8	12,707	19
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	11,325,030	2.6%	12	621	15	200	14	56,625	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,834,296	0.7%	16	452	16	83	18	34,148	14
X X II. 特殊目的用コード	1,914,319	0.4%	18	414	17	203	13	9,430	20
分類外	30,796	0.0%	21	17	20	4	21	7,699	21
合計	431,904,020			17,783		1,074		402,145	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【赤堀】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,078,815	0.9%	15	361	13	89	10	12,122	19
II. 新生物＜腫瘍＞	19,229,226	16.2%	2	465	12	91	9	211,310	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	908,228	0.8%	16	240	14	48	15	18,921	15
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	10,449,497	8.8%	5	1,845	2	162	1	64,503	9
V. 精神及び行動の障害	4,446,495	3.8%	10	552	9	42	16	105,869	5
VI. 神経系の疾患	4,600,295	3.9%	9	862	6	82	11	56,101	10
VII. 眼及び付属器の疾患	3,580,779	3.0%	11	495	11	103	8	34,765	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	477,105	0.4%	19	104	18	35	17	13,632	18
IX. 循環器系の疾患	11,466,130	9.7%	4	1,893	1	151	3	75,935	8
X. 呼吸器系の疾患	7,570,284	6.4%	6	921	5	156	2	48,527	11
X I. 消化器系の疾患 ※	20,340,682	17.2%	1	1,444	3	148	4	137,437	3
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,691,382	1.4%	13	576	7	119	6	14,213	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	15,684,483	13.2%	3	1,155	4	139	5	112,838	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	6,740,848	5.7%	7	544	10	71	12	94,942	6
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	718,448	0.6%	17	7	19	5	19	143,690	2
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	508	0.0%	21	1	21	1	21	508	21
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,570,236	1.3%	14	571	8	115	7	13,654	17
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	5,273,708	4.5%	8	234	15	65	13	81,134	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	679,134	0.6%	18	123	17	19	18	35,744	12
X X II. 特殊目的用コード	1,983,830	1.7%	12	141	16	60	14	33,064	14
分類外	7,757	0.0%	20	3	20	2	20	3,879	20
合計	118,497,870			5,135		298		397,644	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【狸塚】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数(件) ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,239,749	1.0%	13	377	12	90	9	13,775	16
II. 新生物＜腫瘍＞	17,494,977	14.6%	3	346	13	88	10	198,807	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	495,865	0.4%	15	143	15	39	16	12,714	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	10,171,516	8.5%	5	1,794	2	154	2	66,049	7
V. 精神及び行動の障害	10,780,650	9.0%	4	608	7	51	15	211,385	2
VI. 神経系の疾患	7,041,527	5.9%	8	815	6	76	11	92,652	5
VII. 眼及び付属器の疾患	3,929,666	3.3%	10	585	8	117	6	33,587	9
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	416,624	0.3%	17	64	18	23	17	18,114	13
IX. 循環器系の疾患	17,843,418	14.9%	2	1,813	1	149	3	119,754	4
X. 呼吸器系の疾患	5,171,246	4.3%	9	827	5	155	1	33,363	10
X I. 消化器系の疾患 ※	7,237,432	6.0%	7	1,306	3	136	5	53,216	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,503,716	2.1%	11	572	10	111	7	22,556	12
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	9,519,584	7.9%	6	1,131	4	138	4	68,982	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	22,960,429	19.1%	1	502	11	73	12	314,526	1
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	59,497	0.0%	19	28	19	2	19	29,749	11
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,845,608	1.5%	12	584	9	110	8	16,778	14
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	913,908	0.8%	14	194	14	60	14	15,232	15
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	64,698	0.1%	18	94	17	19	18	3,405	19
X X II. 特殊目的用コード	423,400	0.4%	16	133	16	63	13	6,721	18
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	120,113,510			5,021		311		386,217	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【その他】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数(件) ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	21,906	0.1%	16	7	17	3	12	7,302	17
II. 新生物＜腫瘍＞	0	0.0%		0		0		0	
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	18,462	0.1%	17	24	12	1	17	18,462	13
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	1,268,967	8.0%	3	131	4	9	5	140,996	4
V. 精神及び行動の障害	4,991,609	31.4%	2	144	3	10	2	499,161	2
VI. 神経系の疾患	6,619,476	41.6%	1	204	1	11	1	601,771	1
VII. 眼及び付属器の疾患	53,288	0.3%	14	21	14	3	12	17,763	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	23,251	0.1%	15	25	11	3	12	7,750	16
IX. 循環器系の疾患	535,388	3.4%	5	120	5	7	6	76,484	5
X. 呼吸器系の疾患	156,140	1.0%	8	45	7	10	2	15,614	15
X I. 消化器系の疾患 ※	512,159	3.2%	6	161	2	10	2	51,216	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	148,302	0.9%	9	73	6	7	6	21,186	11
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	278,655	1.8%	7	36	8	4	11	69,664	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	123,835	0.8%	10	34	9	5	9	24,767	10
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	6,468	0.0%	18	5	18	2	15	3,234	18
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	914,317	5.7%	4	30	10	5	9	182,863	3
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	54,824	0.3%	13	10	16	2	15	27,412	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	71,312	0.4%	12	24	12	1	17	71,312	6
X X II. 特殊目的用コード	122,311	0.8%	11	13	15	6	8	20,385	12
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	15,920,670			368		16		995,042	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため, “男性” においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため, 周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため, データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

4. 中分類による疾病別医療費統計

(1) 邑楽町国民健康保険全体

令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病分類表における中分類単位で集計し、以下に示す。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	157,969,530	8.0%	708
2	0402	糖尿病	119,039,399	6.1%	2,020
3	1402	腎不全	105,106,213	5.3%	207
4	0901	高血圧性疾患	81,175,992	4.1%	2,053
5	1113	その他の消化器系の疾患	79,213,394	4.0%	1,625
6	0606	その他の神経系の疾患	68,140,862	3.5%	1,120
7	0903	その他の心疾患	66,699,417	3.4%	917
8	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	63,361,434	3.2%	260
9	1011	その他の呼吸器系の疾患	53,992,869	2.7%	1,140
10	0403	脂質異常症	45,717,923	2.3%	1,530

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	81,175,992	2,053	40.5%
2	0402	糖尿病	119,039,399	2,020	39.8%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	27,899,774	1,735	34.2%
4	1113	その他の消化器系の疾患	79,213,394	1,625	32.0%
5	0403	脂質異常症	45,717,923	1,530	30.2%
6	1006	アレルギー性鼻炎	13,262,833	1,338	26.4%
7	1202	皮膚炎及び湿疹	19,681,038	1,324	26.1%
8	0703	屈折及び調節の障害	4,682,960	1,320	26.0%
9	0704	その他の眼及び付属器の疾患	33,734,275	1,228	24.2%
10	1105	胃炎及び十二指腸炎	15,060,195	1,142	22.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの 医療費(円)
1	0209	白血病	21,732,517	20	1,086,626
2	0208	悪性リンパ腫	22,651,964	43	526,790
3	1402	腎不全	105,106,213	207	507,759
4	1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	1,670,621	4	417,655
5	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	16,161,623	41	394,186
6	1107	アルコール性肝疾患	8,442,642	22	383,756
7	0904	くも膜下出血	4,267,885	12	355,657
8	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	5,457,698	18	303,205
9	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	43,897,994	176	249,420
10	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	63,361,434	260	243,698

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別医療費統計

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数(件) ※			患者数(人) ※		
	1,965,155,300			85,525			5,071		

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 (件) ※	構成比 (%)	順位	患者数(人) ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
Ⅰ. 感染症及び寄生虫症		64,033,965	3.3%		5,501	6.4%		1,462	28.8%		43,799	
0101	腸管感染症	3,575,839	0.2%	81	1,523	1.8%	48	475	9.4%	38	7,528	104
0102	結核	760,993	0.0%	102	145	0.2%	102	49	1.0%	95	15,530	81
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	667,372	0.0%	104	346	0.4%	85	196	3.9%	64	3,405	118
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	3,515,093	0.2%	82	937	1.1%	58	287	5.7%	48	12,248	91
0105	ウイルス性肝炎	6,926,593	0.4%	59	817	1.0%	62	281	5.5%	49	24,650	64
0106	その他のウイルス性疾患	13,476,410	0.7%	45	261	0.3%	90	136	2.7%	73	99,091	24
0107	真菌症	7,050,716	0.4%	58	1,391	1.6%	53	390	7.7%	42	18,079	75
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	17,818	0.0%	118	4	0.0%	118	2	0.0%	117	8,909	99
0109	その他の感染症及び寄生虫症	28,043,131	1.4%	20	991	1.2%	56	270	5.3%	51	103,863	23
Ⅱ. 新生物<腫瘍>		400,393,222	20.4%		6,264	7.3%		1,467	28.9%		272,933	
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	33,288,904	1.7%	16	672	0.8%	68	246	4.9%	56	135,321	17
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	24,020,175	1.2%	25	849	1.0%	61	273	5.4%	50	87,986	26
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	16,161,623	0.8%	39	250	0.3%	91	41	0.8%	98	394,186	5
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	16,681,897	0.8%	37	315	0.4%	86	81	1.6%	88	205,949	14
0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	43,897,994	2.2%	11	555	0.6%	76	176	3.5%	66	249,420	9
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	40,219,686	2.0%	13	691	0.8%	67	167	3.3%	69	240,836	11
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	6,706,409	0.3%	61	215	0.3%	95	104	2.1%	81	64,485	37
0208	悪性リンパ腫	22,651,964	1.2%	29	192	0.2%	98	43	0.8%	97	526,790	2
0209	白血病	21,732,517	1.1%	30	116	0.1%	106	20	0.4%	107	1,086,626	1
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	157,969,530	8.0%	1	2,925	3.4%	30	708	14.0%	23	223,121	13
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	17,062,523	0.9%	34	1,426	1.7%	52	583	11.5%	30	29,267	58
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害		20,680,283	1.1%		3,256	3.8%		768	15.1%		26,927	
0301	貧血	5,019,825	0.3%	72	1,819	2.1%	41	423	8.3%	40	11,867	92
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	15,660,458	0.8%	40	1,719	2.0%	42	494	9.7%	35	31,701	56
Ⅳ. 内分泌, 栄養及び代謝疾患		187,387,442	9.5%		31,101	36.4%		2,746	54.2%		68,240	
0401	甲状腺障害	9,363,224	0.5%	50	2,383	2.8%	34	488	9.6%	37	19,187	72
0402	糖尿病	119,039,399	6.1%	2	16,469	19.3%	3	2,020	39.8%	2	58,930	41
0403	脂質異常症	45,717,923	2.3%	10	19,524	22.8%	2	1,530	30.2%	5	29,881	57
0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	13,266,896	0.7%	46	5,647	6.6%	12	791	15.6%	20	16,772	76
Ⅴ. 精神及び行動の障害		124,899,487	6.4%		8,477	9.9%		730	14.4%		171,095	
0501	血管性及び詳細不明の認知症	3,351,466	0.2%	85	145	0.2%	102	27	0.5%	103	124,128	20
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	1,088,646	0.1%	97	123	0.1%	104	15	0.3%	110	72,576	32
0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	63,361,434	3.2%	8	3,865	4.5%	22	260	5.1%	53	243,698	10

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数(件) ※			患者数(人) ※		
	1,965,155,300			85,525			5,071		

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 (件) ※	構成比 (%)	順位	患者数(人) ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	31,846,308	1.6%	17	4,998	5.8%	16	372	7.3%	43	85,608	27
0505	神経症性障害, ストレス関連障害 及び身体表現性障害	16,435,215	0.8%	38	5,375	6.3%	14	497	9.8%	34	33,069	55
0506	知的障害<精神遅滞>	3,234,958	0.2%	86	515	0.6%	77	39	0.8%	101	82,948	28
0507	その他の精神及び行動の障害	5,581,460	0.3%	66	789	0.9%	63	95	1.9%	86	58,752	42
VI. 神経系の疾患		111,053,332	5.7%		13,584	15.9%		1,232	24.3%		90,141	
0601	パーキンソン病	12,312,693	0.6%	48	642	0.8%	69	53	1.0%	93	232,315	12
0602	アルツハイマー病	7,582,320	0.4%	55	449	0.5%	82	41	0.8%	98	184,935	16
0603	てんかん	16,899,373	0.9%	35	1,668	2.0%	44	135	2.7%	74	125,181	18
0604	脳性麻痺及びその他の 麻痺性症候群	5,457,698	0.3%	68	122	0.1%	105	18	0.4%	108	303,205	8
0605	自律神経系の障害	660,386	0.0%	105	177	0.2%	100	28	0.6%	102	23,585	67
0606	その他の神経系の疾患	68,140,862	3.5%	6	12,143	14.2%	5	1,120	22.1%	12	60,840	40
VII. 眼及び付属器の疾患		61,670,811	3.1%		8,264	9.7%		1,836	36.2%		33,590	
0701	結膜炎	5,602,211	0.3%	65	3,826	4.5%	23	880	17.4%	18	6,366	108
0702	白内障	17,651,365	0.9%	33	2,413	2.8%	33	494	9.7%	35	35,732	54
0703	屈折及び調節の障害	4,682,960	0.2%	74	5,388	6.3%	13	1,320	26.0%	8	3,548	117
0704	その他の眼及び付属器の疾患	33,734,275	1.7%	15	5,883	6.9%	11	1,228	24.2%	9	27,471	61
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		7,032,154	0.4%		1,605	1.9%		472	9.3%		14,899	
0801	外耳炎	641,096	0.0%	106	390	0.5%	83	145	2.9%	72	4,421	113
0802	その他の外耳疾患	438,497	0.0%	109	227	0.3%	94	114	2.2%	78	3,846	115
0803	中耳炎	845,236	0.0%	100	353	0.4%	84	100	2.0%	84	8,452	101
0804	その他の中耳及び 乳様突起の疾患	543,111	0.0%	108	239	0.3%	92	109	2.1%	79	4,983	112
0805	メニエール病	1,426,128	0.1%	93	497	0.6%	78	99	2.0%	85	14,405	85
0806	その他の内耳疾患	1,217,841	0.1%	96	161	0.2%	101	49	1.0%	95	24,854	63
0807	その他の耳疾患	1,920,245	0.1%	90	559	0.7%	75	214	4.2%	60	8,973	98
IX. 循環器系の疾患		255,201,625	13.0%		33,424	39.1%		2,651	52.3%		96,266	
0901	高血圧性疾患	81,175,992	4.1%	4	28,470	33.3%	1	2,053	40.5%	1	39,540	48
0902	虚血性心疾患	43,045,633	2.2%	12	4,723	5.5%	18	587	11.6%	29	73,332	30
0903	その他の心疾患	66,699,417	3.4%	7	6,058	7.1%	10	917	18.1%	17	72,737	31
0904	くも膜下出血	4,267,885	0.2%	78	33	0.0%	112	12	0.2%	111	355,657	7
0905	脳内出血	5,055,013	0.3%	70	190	0.2%	99	81	1.6%	88	62,408	39
0906	脳梗塞	22,676,375	1.2%	28	2,433	2.8%	32	255	5.0%	54	88,927	25
0907	脳動脈硬化(症)	39,634	0.0%	117	22	0.0%	113	2	0.0%	117	19,817	71
0908	その他の脳血管疾患	3,662,652	0.2%	80	586	0.7%	72	201	4.0%	63	18,222	74
0909	動脈硬化(症)	5,039,444	0.3%	71	1,548	1.8%	46	342	6.7%	45	14,735	84
0911	低血圧(症)	746,498	0.0%	103	71	0.1%	108	10	0.2%	113	74,650	29
0912	その他の循環器系の疾患	22,793,082	1.2%	27	1,627	1.9%	45	334	6.6%	47	68,243	35
X. 呼吸器系の疾患		129,811,017	6.6%		15,492	18.1%		2,751	54.2%		47,187	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	773,581	0.0%	101	604	0.7%	70	248	4.9%	55	3,119	119
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	2,934,815	0.1%	87	1,960	2.3%	39	754	14.9%	21	3,892	114
1003	その他の急性上気道感染症	7,479,495	0.4%	56	3,191	3.7%	28	1,001	19.7%	15	7,472	105

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数(件) ※			患者数(人) ※		
	1,965,155,300			85,525			5,071		

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 (件) ※	構成比 (%)	順位	患者数(人) ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
1004	肺炎	6,640,033	0.3%	62	570	0.7%	73	232	4.6%	57	28,621	60
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	5,923,283	0.3%	64	3,246	3.8%	27	994	19.6%	16	5,959	110
1006	アレルギー性鼻炎	13,262,833	0.7%	47	6,883	8.0%	8	1,338	26.4%	6	9,912	97
1007	慢性副鼻腔炎	4,640,829	0.2%	75	1,538	1.8%	47	419	8.3%	41	11,076	96
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	617,108	0.0%	107	296	0.3%	87	103	2.0%	82	5,991	109
1009	慢性閉塞性肺疾患	9,021,382	0.5%	52	1,445	1.7%	51	194	3.8%	65	46,502	46
1010	喘息	24,524,789	1.2%	24	4,192	4.9%	20	662	13.1%	25	37,047	51
1011	その他の呼吸器系の疾患	53,992,869	2.7%	9	3,420	4.0%	25	1,140	22.5%	11	47,362	45
X I . 消化器系の疾患		135,433,439	6.9%		22,045	25.8%		2,388	47.1%		56,714	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	1,670,621	0.1%	92	10	0.0%	116	4	0.1%	115	417,655	4
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	4,275,546	0.2%	77	1,085	1.3%	55	168	3.3%	68	25,450	62
1105	胃炎及び十二指腸炎	15,060,195	0.8%	41	7,701	9.0%	7	1,142	22.5%	10	13,188	88
1106	痔核	1,241,464	0.1%	95	468	0.5%	80	108	2.1%	80	11,495	95
1107	アルコール性肝疾患	8,442,642	0.4%	53	232	0.3%	93	22	0.4%	105	383,756	6
1108	慢性肝炎 (アルコール性のものを除く)	1,028,940	0.1%	98	570	0.7%	73	72	1.4%	91	14,291	86
1109	肝硬変 (アルコール性のものを除く)	1,242,631	0.1%	94	455	0.5%	81	81	1.6%	88	15,341	82
1110	その他の肝疾患	5,161,381	0.3%	69	2,324	2.7%	35	597	11.8%	28	8,646	100
1111	胆石症及び胆のう炎	14,596,387	0.7%	42	710	0.8%	64	130	2.6%	75	112,280	22
1112	膵疾患	3,500,238	0.2%	83	479	0.6%	79	121	2.4%	77	28,928	59
1113	その他の消化器系の疾患	79,213,394	4.0%	5	16,053	18.8%	4	1,625	32.0%	4	48,747	44
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		43,338,248	2.2%		9,575	11.2%		1,821	35.9%		23,799	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	6,797,693	0.3%	60	1,480	1.7%	49	525	10.4%	32	12,948	89
1202	皮膚炎及び湿疹	19,681,038	1.0%	31	6,492	7.6%	9	1,324	26.1%	7	14,865	83
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	16,859,517	0.9%	36	5,012	5.9%	15	1,037	20.4%	13	16,258	77
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		170,573,942	8.7%		17,479	20.4%		2,139	42.2%		79,745	
1301	炎症性多発性関節障害	29,414,790	1.5%	19	3,402	4.0%	26	435	8.6%	39	67,620	36
1302	関節症	25,300,642	1.3%	22	4,827	5.6%	17	687	13.5%	24	36,828	52
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	37,695,020	1.9%	14	3,105	3.6%	29	527	10.4%	31	71,528	33
1304	椎間板障害	4,228,141	0.2%	79	1,464	1.7%	50	267	5.3%	52	15,836	80
1305	頸腕症候群	1,022,965	0.1%	99	919	1.1%	59	149	2.9%	71	6,866	107
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	7,642,590	0.4%	54	3,573	4.2%	24	605	11.9%	27	12,632	90
1307	その他の脊柱障害	9,313,721	0.5%	51	592	0.7%	71	160	3.2%	70	58,211	43
1308	肩の傷害<損傷>	2,712,380	0.1%	88	1,287	1.5%	54	230	4.5%	58	11,793	93
1309	骨の密度及び構造の障害	23,096,779	1.2%	26	4,407	5.2%	19	522	10.3%	33	44,247	47
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	30,146,914	1.5%	18	4,145	4.8%	21	834	16.4%	19	36,147	53

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数(件) ※	患者数(人) ※
	1,965,155,300	85,525	5,071

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 (件) ※	構成比 (%)	順位	患者数(人) ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	141,874,882	7.2%		7,815	9.1%		1,256	24.8%		112,958	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	6,605,941	0.3%	63	704	0.8%	65	169	3.3%	67	39,088	49
1402 腎不全	105,106,213	5.3%	3	2,104	2.5%	38	207	4.1%	62	507,759	3
1403 尿路結石症	3,366,695	0.2%	84	291	0.3%	89	88	1.7%	87	38,258	50
1404 その他の腎尿路系の疾患	14,049,875	0.7%	43	2,839	3.3%	31	611	12.0%	26	22,995	68
1405 前立腺肥大(症)	4,537,112	0.2%	76	1,670	2.0%	43	208	4.1%	61	21,813	69
1406 その他の男性生殖器の疾患	371,875	0.0%	111	205	0.2%	96	51	1.0%	94	7,292	106
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	2,373,761	0.1%	89	698	0.8%	66	125	2.5%	76	18,990	73
1408 乳房及びその他の女性生殖器の疾患	5,463,410	0.3%	67	855	1.0%	60	345	6.8%	44	15,836	79
XV. 妊娠、分娩及び産じょく	1,986,875	0.1%		63	0.1%		32	0.6%		62,090	
1501 流産	261,124	0.0%	113	16	0.0%	115	11	0.2%	112	23,739	66
1502 妊娠高血圧症候群	2,941	0.0%	121	1	0.0%	121	1	0.0%	121	2,941	120
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠、分娩及び産じょく	1,722,810	0.1%	91	52	0.1%	109	27	0.5%	103	63,808	38
XVI. 周産期に発生した病態	284,613	0.0%		7	0.0%		5	0.1%		56,923	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	3,486	0.0%	120	3	0.0%	119	2	0.0%	117	1,743	121
1602 その他の周産期に発生した病態	281,127	0.0%	112	6	0.0%	117	4	0.1%	115	70,282	34
XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常	11,925,539	0.6%		307	0.4%		65	1.3%		183,470	
1701 心臓の先天奇形	66,288	0.0%	116	17	0.0%	114	8	0.2%	114	8,286	102
1702 その他の先天奇形、変形及び染色体異常	11,859,251	0.6%	49	295	0.3%	88	60	1.2%	92	197,654	15
XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	27,899,774	1.4%		8,798	10.3%		1,735	34.2%		16,081	
1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	27,899,774	1.4%	21	8,798	10.3%	6	1,735	34.2%	3	16,081	78
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	48,650,401	2.5%		3,174	3.7%		966	19.0%		50,363	
1901 骨折	25,024,096	1.3%	23	974	1.1%	57	219	4.3%	59	114,265	21
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	4,984,626	0.3%	73	99	0.1%	107	40	0.8%	100	124,616	19
1903 熱傷及び腐食	165,613	0.0%	115	50	0.1%	110	21	0.4%	106	7,886	103
1904 中毒	375,320	0.0%	110	200	0.2%	97	103	2.0%	82	3,644	116
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	18,100,746	0.9%	32	2,148	2.5%	37	745	14.7%	22	24,296	65
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7,306,567	0.4%		1,898	2.2%		343	6.8%		21,302	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	10,751	0.0%	119	3	0.0%	119	2	0.0%	117	5,376	111
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数(件) ※	患者数(人) ※
	1,965,155,300	85,525	5,071

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 (件) ※	構成比 (%)	順位	患者数(人) ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを 除く)及び保健ケアのための保健 サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	7,295,816	0.4%	57	1,895	2.2%	40	341	6.7%	46	21,395	70
X X II. 特殊目的用コード		13,530,985	0.7%		2,205	2.6%		1,024	20.2%		13,214	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	13,530,985	0.7%	44	2,205	2.6%	36	1,024	20.2%	14	13,214	87
分類外		186,697	0.0%		40	0.0%		16	0.3%		11,669	
9999	分類外	186,697	0.0%	114	40	0.0%	111	16	0.3%	109	11,669	94

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
 ※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
 そのため他統計と一致しない。
 ※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
 ※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。
 ※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

(2) 地区比較

令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費上位10疾病を以下に示す。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【中野】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	71,326,068	10.4%	252
2	0402	糖尿病	30,660,666	4.5%	706
3	0901	高血圧性疾患	28,666,901	4.2%	719
4	1011	その他の呼吸器系の疾患	28,058,076	4.1%	416
5	1113	その他の消化器系の疾患	25,735,162	3.8%	554
6	0903	その他の心疾患	22,737,202	3.3%	307
7	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	22,643,737	3.3%	88
8	0902	虚血性心疾患	20,990,024	3.1%	192
9	0606	その他の神経系の疾患	20,561,630	3.0%	370
10	1402	腎不全	17,443,777	2.5%	69

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

【鶉】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0402	糖尿病	11,134,990	17.0%	95
2	1113	その他の消化器系の疾患	4,742,553	7.2%	80
3	0606	その他の神経系の疾患	3,969,857	6.1%	70
4	0901	高血圧性疾患	3,592,091	5.5%	101
5	1011	その他の呼吸器系の疾患	3,138,036	4.8%	53
6	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	2,475,662	3.8%	20
7	0903	その他の心疾患	2,407,491	3.7%	39
8	0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	2,264,896	3.5%	31
9	0403	脂質異常症	2,236,633	3.4%	79
10	1301	炎症性多発性関節障害	2,019,946	3.1%	26

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【鶉新田・光善寺】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0606	その他の神経系の疾患	6,095,324	10.3%	33
2	1402	腎不全	4,850,415	8.2%	6
3	0402	糖尿病	4,102,976	6.9%	57
4	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	3,457,375	5.8%	5
5	0704	その他の眼及び付属器の疾患	2,902,456	4.9%	42
6	0901	高血圧性疾患	2,774,290	4.7%	63
7	0902	虚血性心疾患	2,539,209	4.3%	16
8	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,466,289	4.2%	14
9	1404	その他の腎尿路系の疾患	2,241,161	3.8%	25
10	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	2,076,354	3.5%	19

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【新中野】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	10,176,082	12.2%	10
2	1402	腎不全	9,016,627	10.8%	8
3	0402	糖尿病	5,258,535	6.3%	80
4	1113	その他の消化器系の疾患	4,238,119	5.1%	70
5	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	3,925,013	4.7%	25
6	0901	高血圧性疾患	3,575,353	4.3%	82
7	0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	3,070,304	3.7%	5
8	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	2,934,385	3.5%	39
9	0403	脂質異常症	2,649,837	3.2%	55
10	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	2,237,100	2.7%	35

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【明野】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	11,889,578	8.5%	21
2	1402	腎不全	10,395,614	7.5%	11
3	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	9,049,702	6.5%	69
4	0402	糖尿病	7,720,618	5.5%	130
5	1011	その他の呼吸器系の疾患	7,423,887	5.3%	87
6	0901	高血圧性疾患	5,966,321	4.3%	138
7	1113	その他の消化器系の疾患	4,771,327	3.4%	107
8	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	3,879,083	2.8%	18
9	0903	その他の心疾患	3,783,883	2.7%	67
10	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	3,713,717	2.7%	7

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【藤川】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402	腎不全	11,363,532	13.9%	9
2	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	10,211,917	12.5%	11
3	0606	その他の神経系の疾患	6,983,346	8.6%	45
4	0402	糖尿病	6,034,927	7.4%	95
5	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	4,101,123	5.0%	30
6	0901	高血圧性疾患	3,979,202	4.9%	99
7	1113	その他の消化器系の疾患	3,534,673	4.3%	70
8	0902	虚血性心疾患	2,550,966	3.1%	28
9	0903	その他の心疾患	2,301,284	2.8%	37
10	0909	動脈硬化(症)	2,290,007	2.8%	19

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【秋妻】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	7,721,844	14.4%	12
2	0402	糖尿病	4,552,211	8.5%	56
3	1113	その他の消化器系の疾患	3,051,566	5.7%	62
4	0901	高血圧性疾患	2,989,695	5.6%	71
5	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	2,718,370	5.1%	21
6	0704	その他の眼及び付属器の疾患	2,494,061	4.6%	47
7	0403	脂質異常症	2,259,251	4.2%	57
8	1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	1,822,118	3.4%	6
9	0606	その他の神経系の疾患	1,748,869	3.3%	36
10	1010	喘息	1,550,928	2.9%	15

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【石打】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0206	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	13,630,238	12.3%	11
2	0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	8,600,022	7.8%	43
3	0402	糖尿病	6,950,512	6.3%	127
4	0901	高血圧性疾患	5,215,115	4.7%	128
5	1901	骨折	5,072,895	4.6%	11
6	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	4,838,325	4.4%	21
7	0202	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	4,430,982	4.0%	16
8	0201	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	3,335,486	3.0%	15
9	0704	その他の眼及び付属器の疾患	3,302,247	3.0%	73
10	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3,049,640	2.8%	30

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【篠塚】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0402	糖尿病	28,764,410	6.7%	437
2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	28,667,147	6.6%	142
3	1402	腎不全	24,512,203	5.7%	48
4	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	22,181,501	5.1%	53
5	0903	その他の心疾患	20,238,657	4.7%	212
6	0109	その他の感染症及び寄生虫症	16,165,163	3.7%	65
7	0901	高血圧性疾患	16,046,242	3.7%	421
8	1113	その他の消化器系の疾患	15,742,672	3.6%	324
9	0208	悪性リンパ腫	14,321,916	3.3%	9
10	0606	その他の神経系の疾患	13,114,712	3.0%	230

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【赤堀】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	14,856,041	12.5%	43
2	1113	その他の消化器系の疾患	9,089,335	7.7%	109
3	1107	アルコール性肝疾患	6,604,935	5.6%	5
4	0402	糖尿病	6,483,542	5.5%	109
5	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	6,109,798	5.2%	37
6	0903	その他の心疾患	4,461,917	3.8%	66
7	0901	高血圧性疾患	4,354,237	3.7%	117
8	1402	腎不全	4,263,533	3.6%	13
9	1011	その他の呼吸器系の疾患	4,121,419	3.5%	65
10	1901	骨折	3,710,736	3.1%	19

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【狸塚】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402	腎不全	21,830,471	18.2%	17
2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	10,935,818	9.1%	41
3	0402	糖尿病	7,296,455	6.1%	121
4	0912	その他の循環器系の疾患	6,162,084	5.1%	24
5	0606	その他の神経系の疾患	5,072,120	4.2%	69
6	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	4,220,647	3.5%	22
7	0901	高血圧性疾患	3,933,446	3.3%	109
8	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	3,864,439	3.2%	30
9	1113	その他の消化器系の疾患	3,477,134	2.9%	97
10	0903	その他の心疾患	3,106,559	2.6%	53

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【その他】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	4,709,495	29.6%	1
2	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	2,413,435	15.2%	7
3	0603	てんかん	1,434,253	9.0%	7
4	0505	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	1,268,609	8.0%	6
5	0506	知的障害<精神遅滞>	1,185,361	7.4%	7
6	1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	914,317	5.7%	5
7	0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	835,618	5.2%	4
8	1113	その他の消化器系の疾患	459,682	2.9%	9
9	0606	その他の神経系の疾患	431,850	2.7%	5
10	0903	その他の心疾患	337,372	2.1%	3

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数上位10疾病を以下に示す。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【中野】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	28,666,901	719	40.0%
2	0402	糖尿病	30,660,666	706	39.3%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,459,315	625	34.8%
4	1113	その他の消化器系の疾患	25,735,162	554	30.8%
5	0403	脂質異常症	16,359,173	528	29.4%
6	1006	アレルギー性鼻炎	4,625,402	485	27.0%
7	1202	皮膚炎及び湿疹	6,100,606	470	26.2%
8	0703	屈折及び調節の障害	1,343,816	422	23.5%
9	1011	その他の呼吸器系の疾患	28,058,076	416	23.2%
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	8,284,957	405	22.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【鶉】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	3,592,091	101	41.7%
2	0402	糖尿病	11,134,990	95	39.3%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	878,824	92	38.0%
4	1113	その他の消化器系の疾患	4,742,553	80	33.1%
5	0403	脂質異常症	2,236,633	79	32.6%
6	0606	その他の神経系の疾患	3,969,857	70	28.9%
7	1006	アレルギー性鼻炎	700,676	69	28.5%
8	0703	屈折及び調節の障害	233,285	66	27.3%
9	1105	胃炎及び十二指腸炎	692,769	63	26.0%
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	1,317,913	62	25.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【鶉新田・光善寺】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	2,774,290	63	44.4%
2	0402	糖尿病	4,102,976	57	40.1%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,822,381	44	31.0%
3	1202	皮膚炎及び湿疹	1,701,909	44	31.0%
3	1113	その他の消化器系の疾患	1,436,660	44	31.0%
3	0703	屈折及び調節の障害	173,416	44	31.0%
7	0403	脂質異常症	1,501,083	43	30.3%
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	2,902,456	42	29.6%
9	1105	胃炎及び十二指腸炎	872,220	41	28.9%
10	1011	その他の呼吸器系の疾患	578,889	38	26.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【新中野】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	3,575,353	82	38.1%
2	0402	糖尿病	5,258,535	80	37.2%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	967,883	73	34.0%
4	1113	その他の消化器系の疾患	4,238,119	70	32.6%
5	0703	屈折及び調節の障害	212,544	62	28.8%
6	1202	皮膚炎及び湿疹	751,912	58	27.0%
7	0403	脂質異常症	2,649,837	55	25.6%
8	0606	その他の神経系の疾患	1,552,178	53	24.7%
9	0704	その他の眼及び付属器の疾患	1,052,892	52	24.2%
10	1011	その他の呼吸器系の疾患	305,190	46	21.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【明野】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	5,966,321	138	41.8%
2	0402	糖尿病	7,720,618	130	39.4%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,305,263	113	34.2%
4	1113	その他の消化器系の疾患	4,771,327	107	32.4%
5	1006	アレルギー性鼻炎	1,077,891	104	31.5%
6	0403	脂質異常症	2,583,897	98	29.7%
7	2220	その他の特殊目的用コード	2,269,244	93	28.2%
8	1202	皮膚炎及び湿疹	3,002,184	90	27.3%
9	1011	その他の呼吸器系の疾患	7,423,887	87	26.4%
10	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	541,882	82	24.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【藤川】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	3,979,202	99	50.5%
2	0402	糖尿病	6,034,927	95	48.5%
3	0703	屈折及び調節の障害	265,490	73	37.2%
4	1113	その他の消化器系の疾患	3,534,673	70	35.7%
5	0403	脂質異常症	1,717,508	66	33.7%
6	0704	その他の眼及び付属器の疾患	1,125,497	59	30.1%
7	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	558,723	57	29.1%
8	1105	胃炎及び十二指腸炎	538,508	48	24.5%
9	0606	その他の神経系の疾患	6,983,346	45	23.0%
10	1006	アレルギー性鼻炎	388,574	43	21.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【秋妻】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	2,989,695	71	45.5%
2	1113	その他の消化器系の疾患	3,051,566	62	39.7%
3	0403	脂質異常症	2,259,251	57	36.5%
4	0402	糖尿病	4,552,211	56	35.9%
5	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	540,321	50	32.1%
6	0704	その他の眼及び付属器の疾患	2,494,061	47	30.1%
7	0703	屈折及び調節の障害	162,113	45	28.8%
8	1202	皮膚炎及び湿疹	861,798	43	27.6%
9	1006	アレルギー性鼻炎	451,883	41	26.3%
10	0606	その他の神経系の疾患	1,748,869	36	23.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【石打】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	5,215,115	128	43.4%
2	0402	糖尿病	6,950,512	127	43.1%
3	0403	脂質異常症	2,800,807	103	34.9%
4	1113	その他の消化器系の疾患	2,934,511	99	33.6%
5	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,551,184	98	33.2%
6	1006	アレルギー性鼻炎	758,099	91	30.8%
7	0703	屈折及び調節の障害	286,035	81	27.5%
8	1105	胃炎及び十二指腸炎	1,063,549	74	25.1%
9	0704	その他の眼及び付属器の疾患	3,302,247	73	24.7%
10	1003	その他の急性上気道感染症	437,518	71	24.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【篠塚】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	28,764,410	437	40.7%
2	0901	高血圧性疾患	16,046,242	421	39.2%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,485,719	353	32.9%
4	1113	その他の消化器系の疾患	15,742,672	324	30.2%
4	0403	脂質異常症	8,916,501	324	30.2%
6	1202	皮膚炎及び湿疹	3,392,400	285	26.5%
7	0703	屈折及び調節の障害	1,048,006	282	26.3%
8	1006	アレルギー性鼻炎	2,784,046	278	25.9%
9	0704	その他の眼及び付属器の疾患	6,598,974	253	23.6%
10	1105	胃炎及び十二指腸炎	2,652,230	235	21.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【赤堀】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	4,354,237	117	39.3%
2	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,570,236	115	38.6%
3	1113	その他の消化器系の疾患	9,089,335	109	36.6%
3	0402	糖尿病	6,483,542	109	36.6%
5	0403	脂質異常症	2,387,134	95	31.9%
6	1202	皮膚炎及び湿疹	969,632	88	29.5%
7	1006	アレルギー性鼻炎	961,438	77	25.8%
8	0606	その他の神経系の疾患	2,884,014	75	25.2%
9	0703	屈折及び調節の障害	262,966	69	23.2%
10	1105	胃炎及び十二指腸炎	731,183	68	22.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【狸塚】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	7,296,455	121	38.9%
2	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,845,608	110	35.4%
3	0901	高血圧性疾患	3,933,446	109	35.0%
4	1113	その他の消化器系の疾患	3,477,134	97	31.2%
5	0703	屈折及び調節の障害	372,006	96	30.9%
6	0704	その他の眼及び付属器の疾患	2,182,133	85	27.3%
7	1202	皮膚炎及び湿疹	1,042,526	84	27.0%
8	0403	脂質異常症	1,969,508	77	24.8%
8	1105	胃炎及び十二指腸炎	1,503,386	77	24.8%
10	0606	その他の神経系の疾患	5,072,120	69	22.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【その他】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1113	その他の消化器系の疾患	459,682	9	56.3%
2	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	2,413,435	7	43.8%
2	0603	てんかん	1,434,253	7	43.8%
2	0506	知的障害<精神遅滞>	1,185,361	7	43.8%
2	0402	糖尿病	79,557	7	43.8%
2	1202	皮膚炎及び湿疹	78,275	7	43.8%
7	0505	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	1,268,609	6	37.5%
7	2220	その他の特殊目的用コード	122,311	6	37.5%
7	1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	54,311	6	37.5%
7	1011	その他の呼吸器系の疾患	28,019	6	37.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

5. 生活習慣病に係る医療費等の状況

(1) 生活習慣病と生活習慣病以外の医療費と患者数

令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)のレセプトより、疾病分類表における中分類単位で生活習慣病と生活習慣病以外の医療費を集計した結果を示す。ここでは、生活習慣病の基礎疾患(糖尿病、脂質異常症、高血圧性疾患)及び生活習慣病に係る重症化疾患を生活習慣病とし集計した。生活習慣病の医療費は4億3,116万円で医療費全体に占める割合は21.9%である。

生活習慣病と生活習慣病以外の医療費

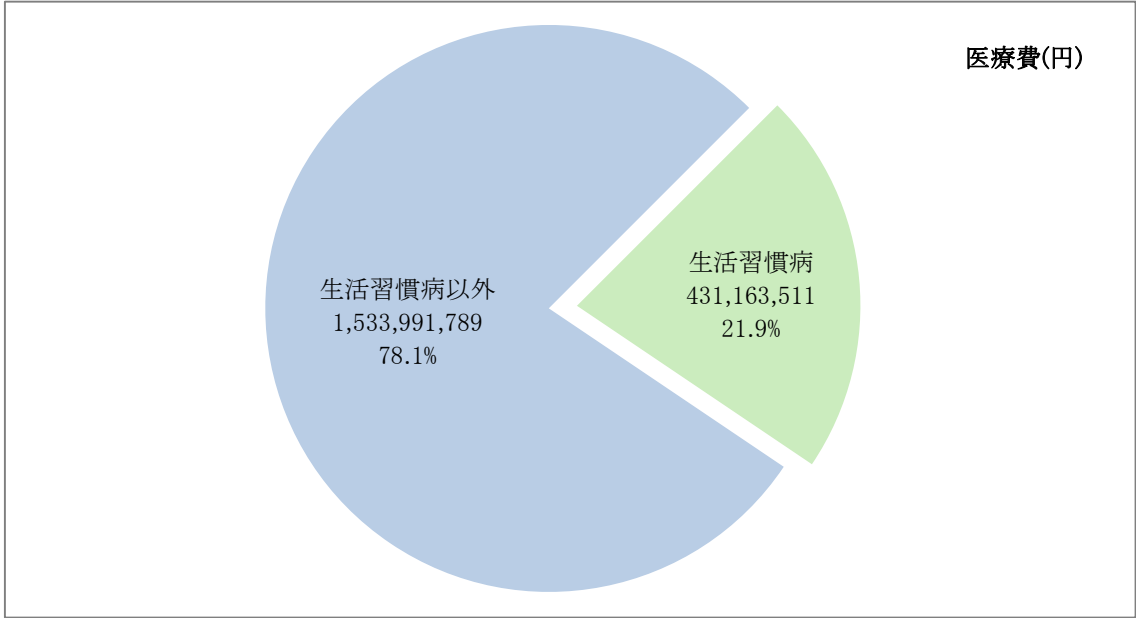
	入院(円)	構成比(%)	入院外(円)	構成比(%)	合計(円)	構成比(%)
生活習慣病	81,704,648	11.8%	349,458,863	27.5%	431,163,511	21.9%
生活習慣病以外	612,809,422	88.2%	921,182,367	72.5%	1,533,991,789	78.1%
合計(円)	694,514,070		1,270,641,230		1,965,155,300	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。
0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費全体に占める生活習慣病医療費の割合

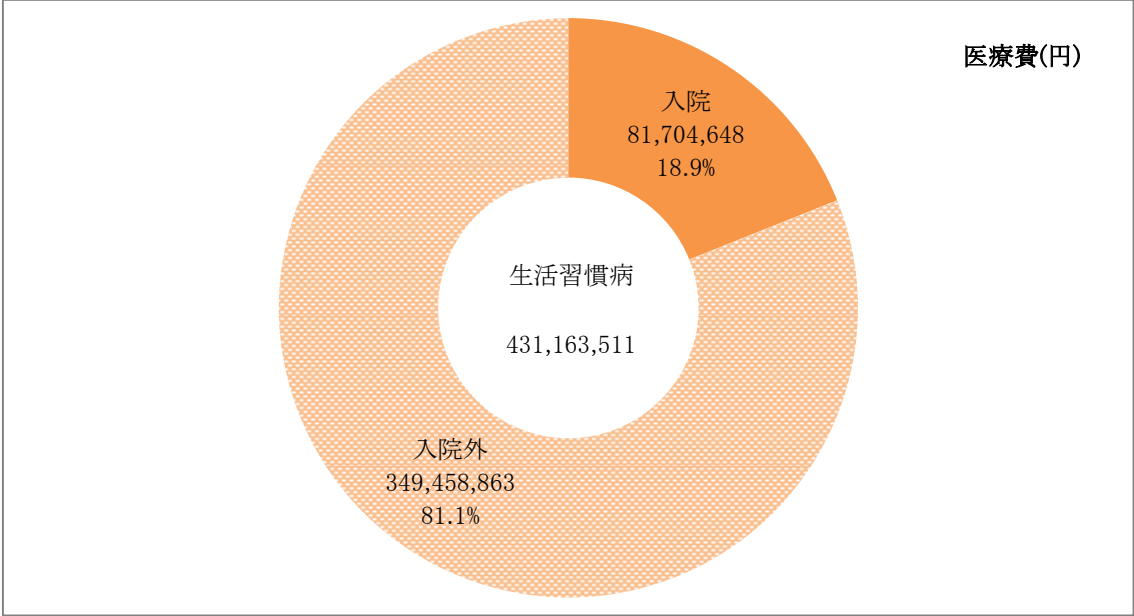


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。
0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病医療費に占める入院、入院外医療費の割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。
0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

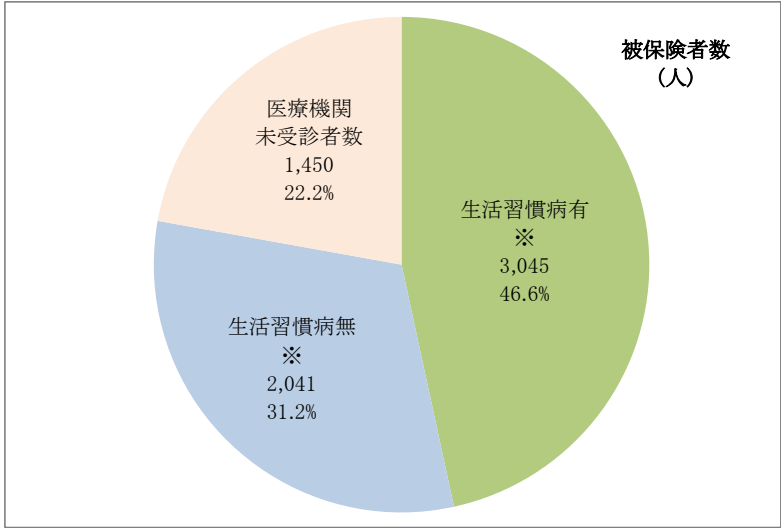
生活習慣病で医療機関を受診している患者数は3,045人で、被保険者全体に占めるその割合は46.6%である。

医療機関受診状況及び生活習慣病罹患状況

		人数(人)	割合(%)
A	被保険者数	6,536	
B	医療機関受診者数(患者数)	5,086	77.8%
C	生活習慣病有 ※	3,045	46.6%
B-C	生活習慣病無 ※	2,041	31.2%
A-B	医療機関未受診者数	1,450	22.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※生活習慣病有…分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がある患者を対象に集計している。
※生活習慣病無…レセプトが発生している患者のうち、分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がない患者を対象に集計している。
生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。
0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

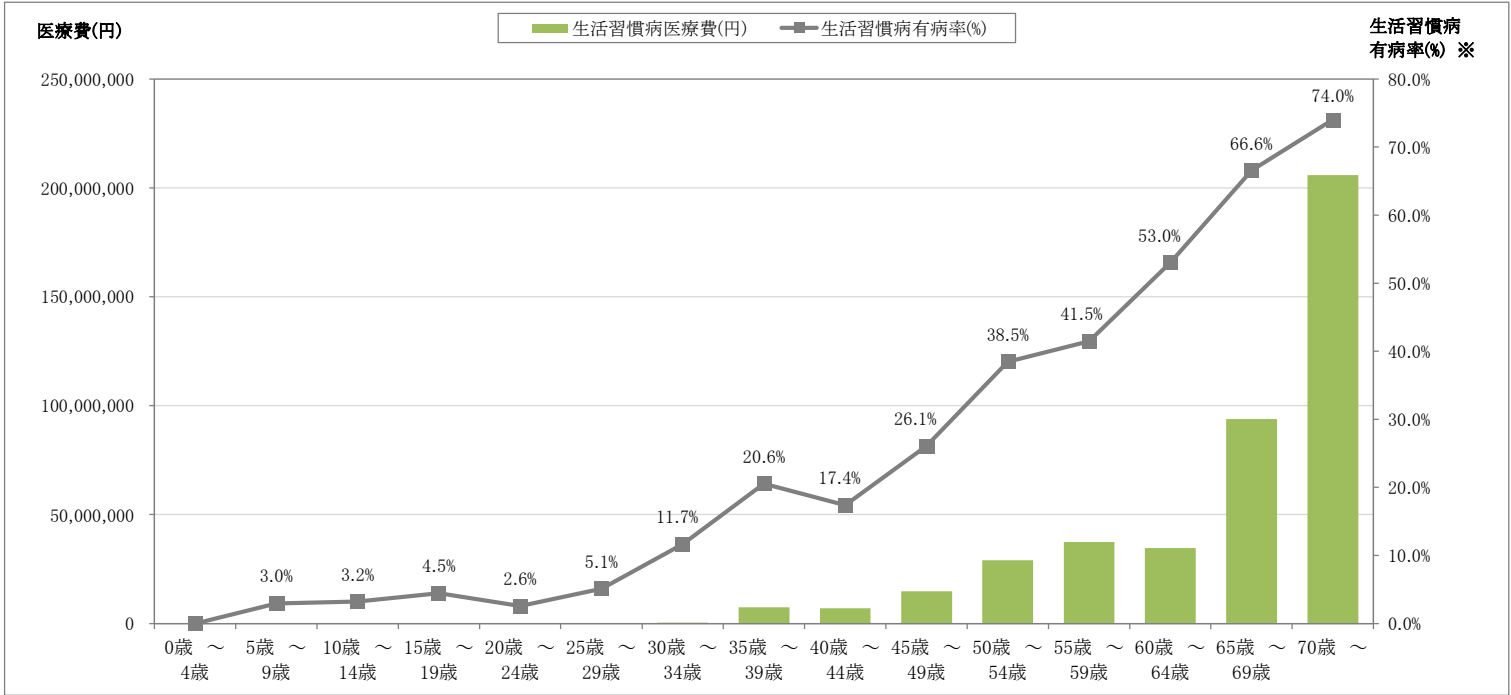
被保険者全体に占める生活習慣病患者の状況



データ化範囲 (分析対象) …入院 (DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分 (12カ月分)。
資格確認日 …1日でも資格があれば分析対象としている。
※生活習慣病有 …分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がある患者を対象に集計している。
※生活習慣病無 …レセプトが発生している患者のうち、分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がない患者を対象に集計している。
生活習慣病 …厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き (第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き (第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。
0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化 (症)、0909 動脈硬化 (症)、1402 腎不全
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

年齢階層別の生活習慣病医療費と有病率を以下に示す。年齢階層が上がるにつれて患者数が増え医療費が増大する傾向にある。

年齢階層別 生活習慣病医療費と有病率



データ化範囲 (分析対象) …入院 (DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分 (12カ月分)。
資格確認日 …1日でも資格があれば分析対象としている。
※生活習慣病有病率 …被保険者数に占める生活習慣病患者数の割合。
生活習慣病 …厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き (第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き (第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。
0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化 (症)、0909 動脈硬化 (症)、1402 腎不全
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

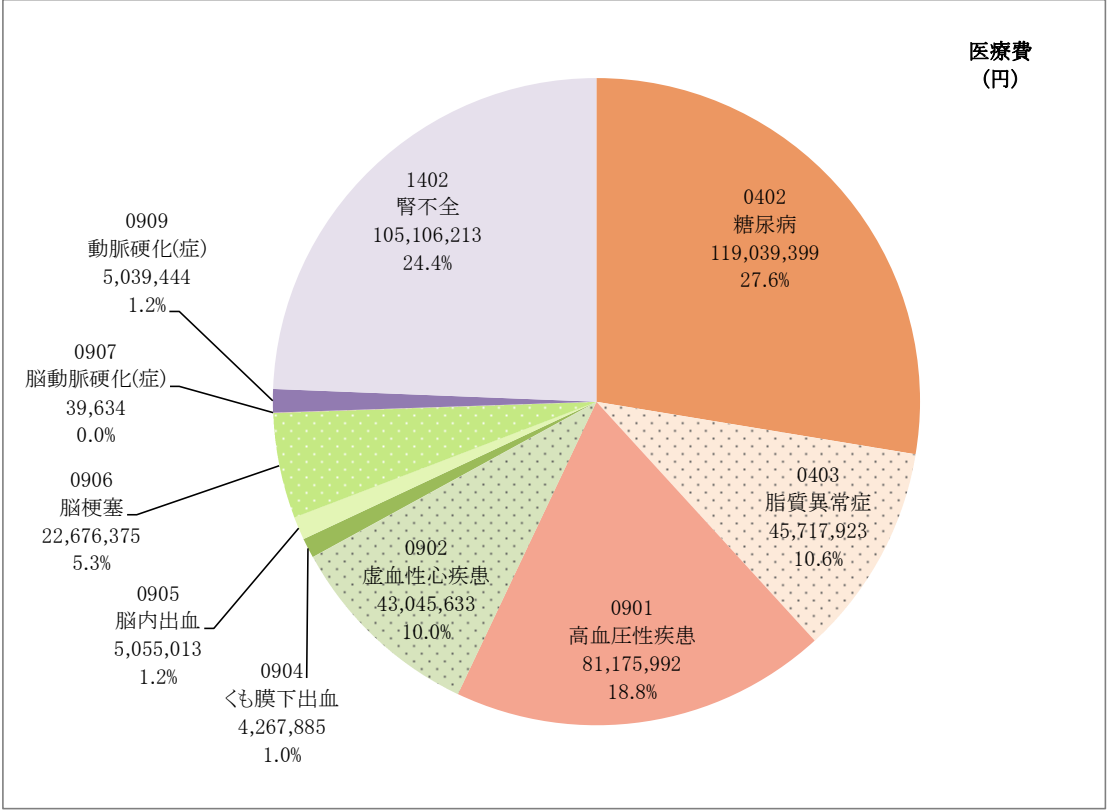
(2) 生活習慣病疾病別医療費等の状況

令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)における、生活習慣病疾病別の医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、有病率は以下のとおりである。

生活習慣病疾病別 医療費統計

疾病分類(中分類)	医療費(円)	構成比(%)	順位	患者数(人)	有病率(%) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0402 糖尿病	119,039,399	27.6%	1	2,020	30.9%	2	58,930	6
0403 脂質異常症	45,717,923	10.6%	4	1,530	23.4%	3	29,881	8
0901 高血圧性疾患	81,175,992	18.8%	3	2,053	31.4%	1	39,540	7
0902 虚血性心疾患	43,045,633	10.0%	5	587	9.0%	4	73,332	4
0904 くも膜下出血	4,267,885	1.0%	9	12	0.2%	9	355,657	2
0905 脳内出血	5,055,013	1.2%	7	81	1.2%	8	62,408	5
0906 脳梗塞	22,676,375	5.3%	6	255	3.9%	6	88,927	3
0907 脳動脈硬化(症)	39,634	0.0%	10	2	0.0%	10	19,817	9
0909 動脈硬化(症)	5,039,444	1.2%	8	342	5.2%	5	14,735	10
1402 腎不全	105,106,213	24.4%	2	207	3.2%	7	507,759	1
合計	431,163,511			3,045	46.6%		141,597	

生活習慣病疾病別 医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

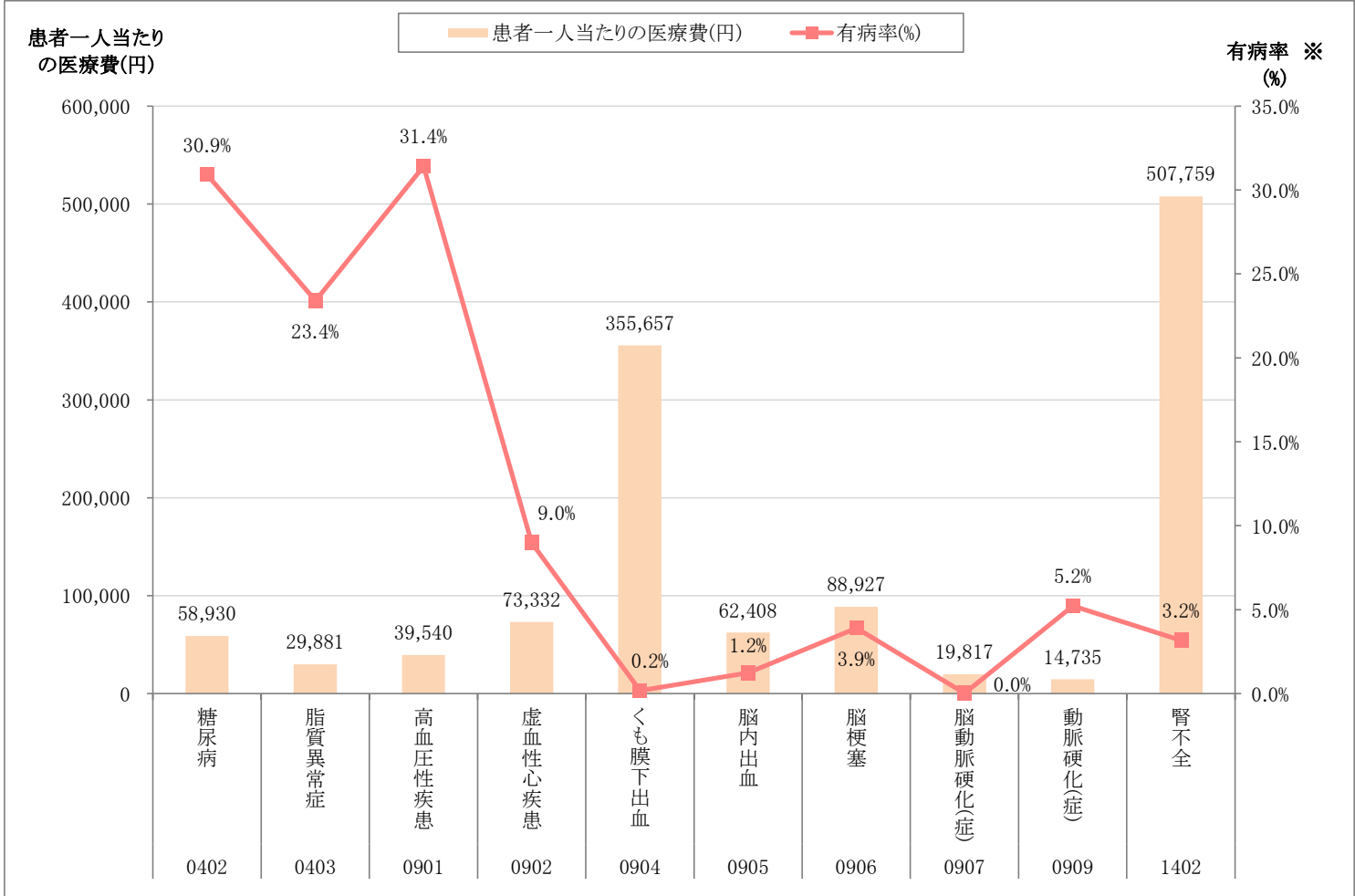
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※有病率…被保険者数に占める患者数の割合。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病疾病別 患者一人当たりの医療費と有病率



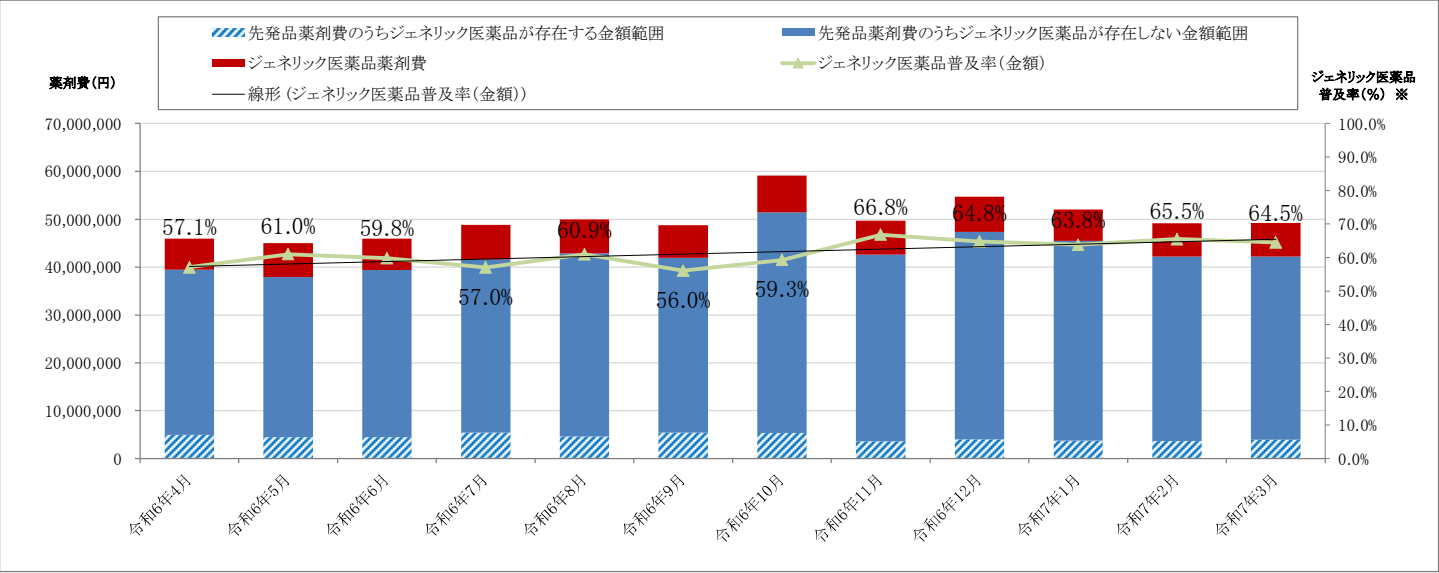
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※有病率…被保険者数に占める患者数の割合。
生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

6. ジェネリック医薬品普及率

(1) ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

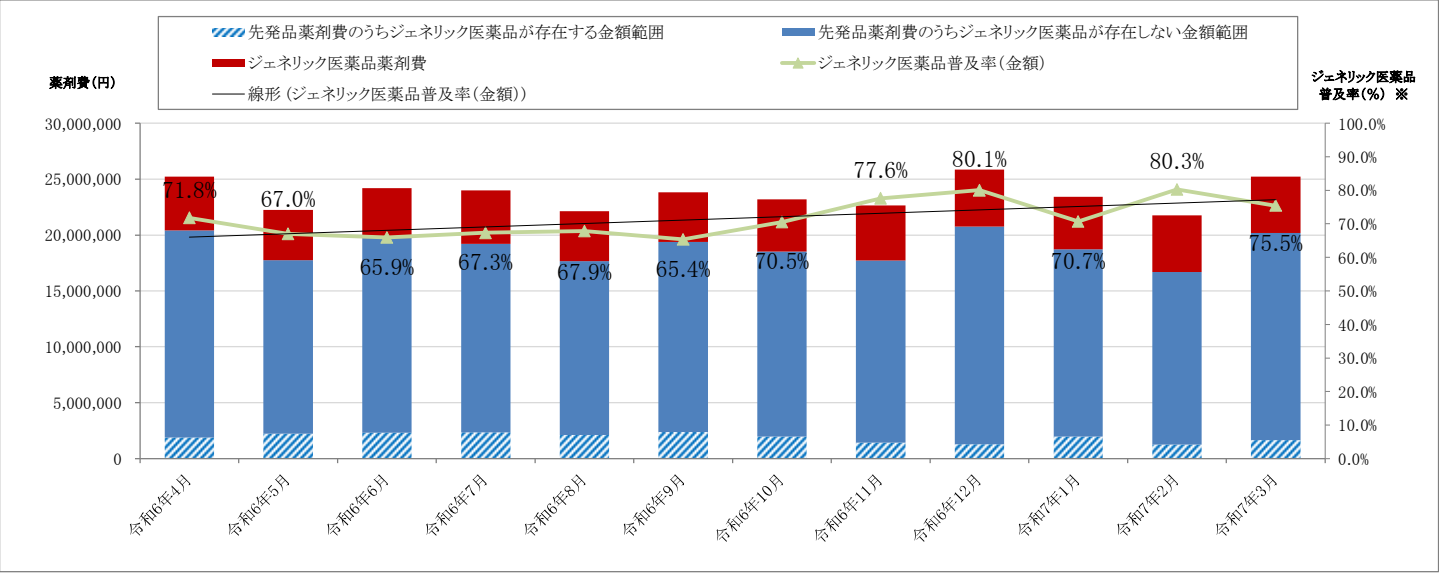
以下のとおり、診療年月毎の先発品薬剤費、ジェネリック医薬品薬剤費、全体の薬剤費総額に対するジェネリック医薬品薬剤費の割合を示す。令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)での平均ジェネリック医薬品普及率(医科調剤レセプト)は61.2%である。

ジェネリック医薬品月別普及率(医科調剤レセプト、金額ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)×100

ジェネリック医薬品月別普及率(調剤レセプト、金額ベース)

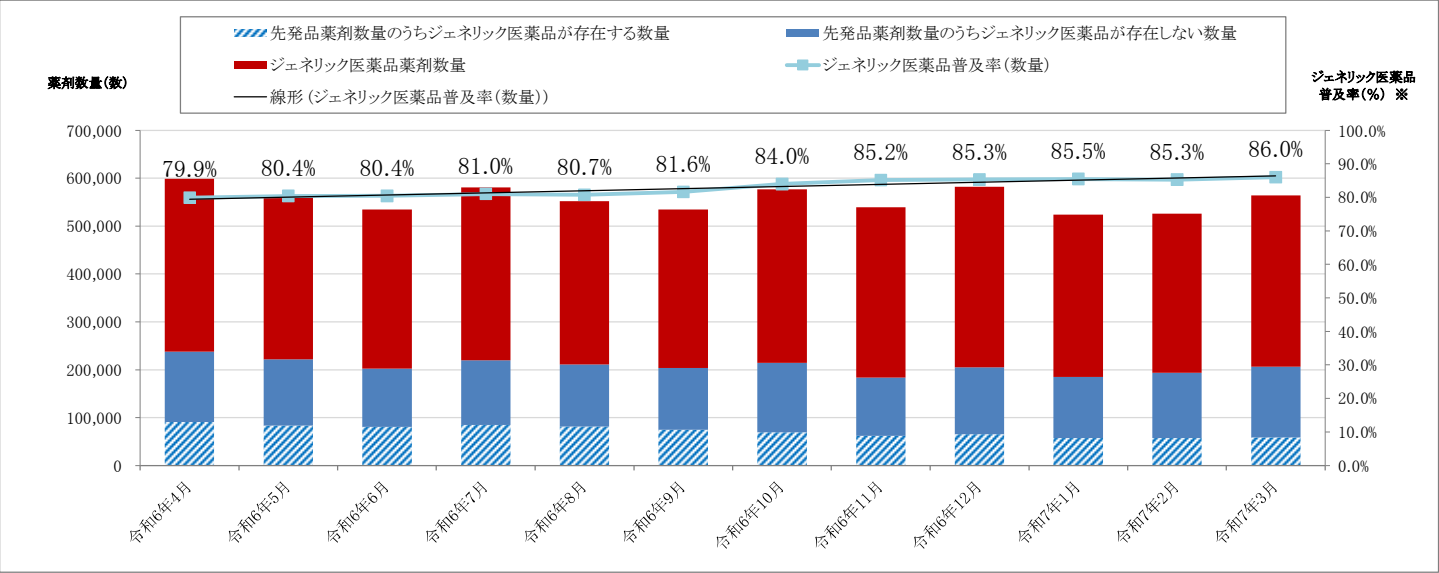


データ化範囲(分析対象)…調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)×100

(2) ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)

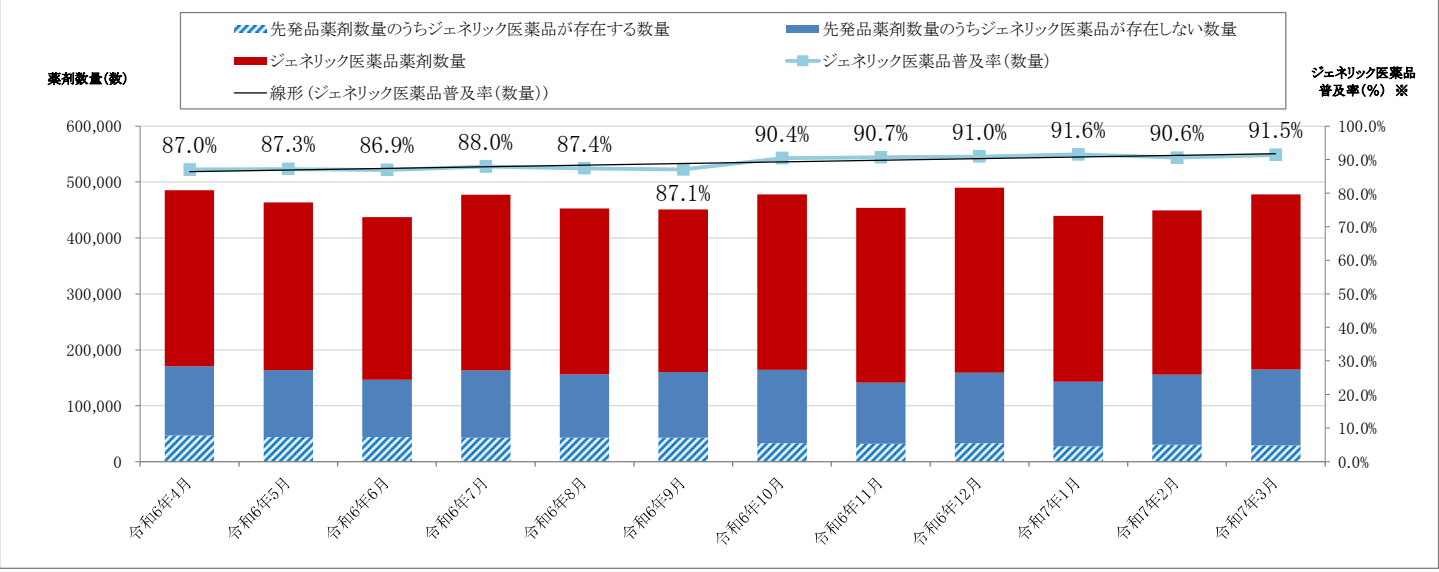
以下のとおり、診療年月毎の先発品薬剤数量、ジェネリック医薬品薬剤数量、全体の薬剤数量に対するジェネリック医薬品薬剤数の割合を示す。令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)での平均ジェネリック医薬品普及率(医科調剤レセプト)は82.9%である。

ジェネリック医薬品月別普及率(医科調剤レセプト、数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)×100

ジェネリック医薬品月別普及率(調剤レセプト、数量ベース)

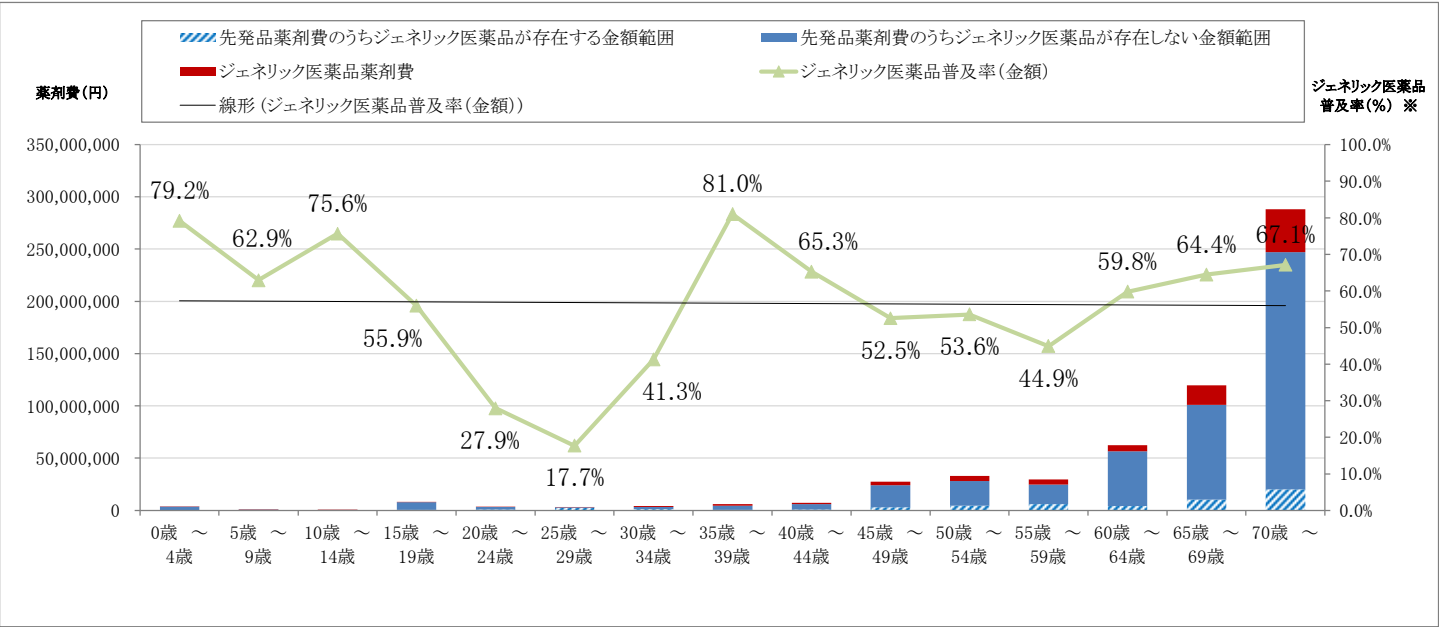


データ化範囲(分析対象)…調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)×100

(3) 年齢階層別普及率

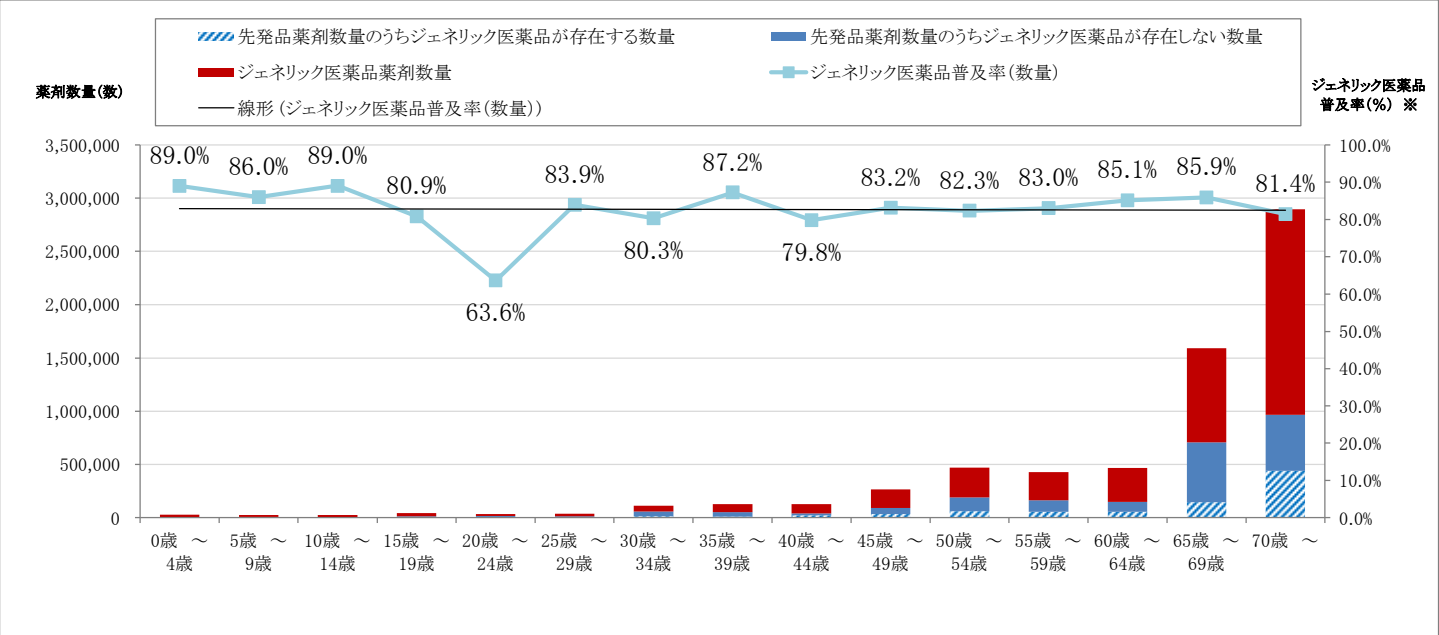
令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)における、ジェネリック医薬品普及率(医科調剤レセプト、金額ベース・数量ベース)を年齢階層別に示す。

ジェネリック医薬品年齢階層別普及率(医科調剤レセプト、金額ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)×100

ジェネリック医薬品年齢階層別普及率(医科調剤レセプト、数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)×100

7. 特定健康診査結果分析

(1) 有所見者割合

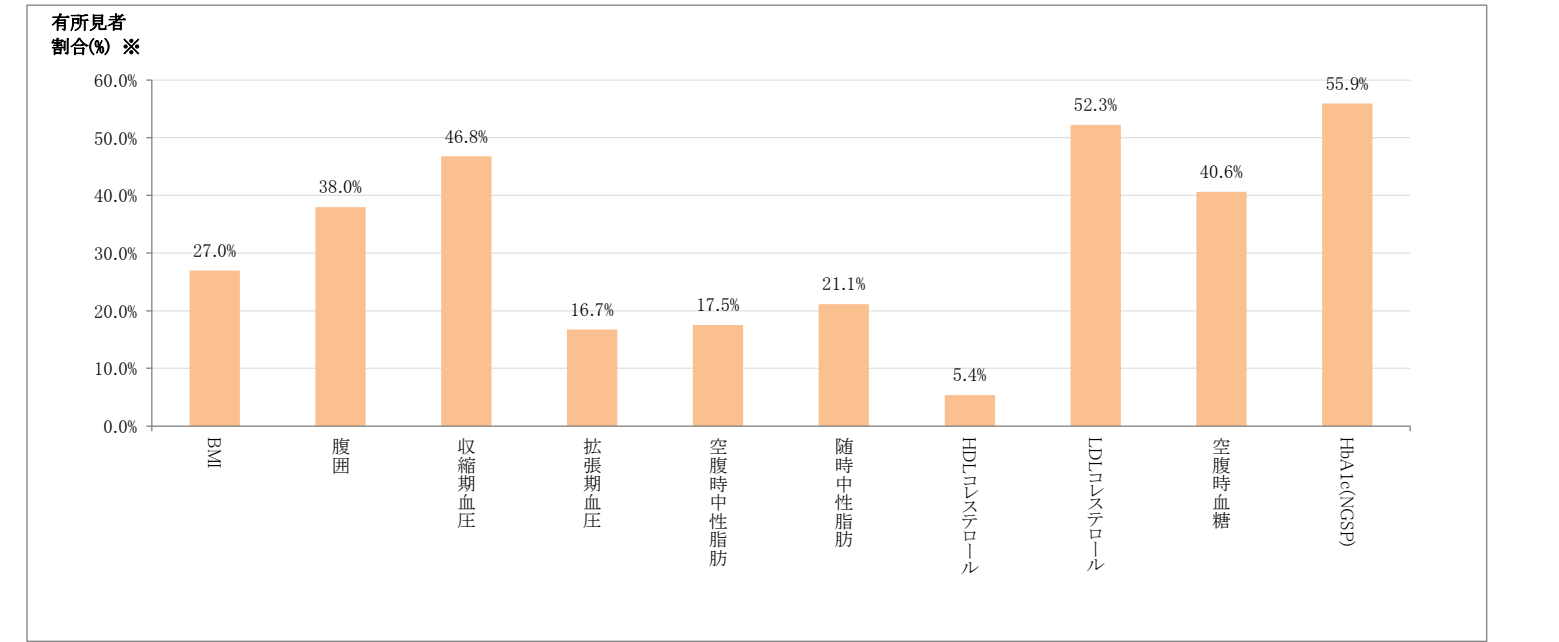
令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者の有所見者割合は以下のとおりである。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧	空腹時中性脂肪
対象者数(人) ※	2,020	2,021	2,016	2,016	1,472
有所見者数(人) ※	545	767	943	337	258
有所見者割合(%) ※	27.0%	38.0%	46.8%	16.7%	17.5%

	随時中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c(NGSP)
対象者数(人) ※	549	2,019	2,019	1,471	2,015
有所見者数(人) ※	116	109	1,055	597	1,127
有所見者割合(%) ※	21.1%	5.4%	52.3%	40.6%	55.9%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和7年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25kg/m²以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、
空腹時中性脂肪:150mg/dl以上、 随時中性脂肪:175mg/dl以上、HDLコレステロール:40mg/dl未満、
LDLコレステロール:120mg/dl以上、 空腹時血糖:100mg/dl以上、 HbA1c(NGSP):5.6%以上

(2) 質問別回答状況

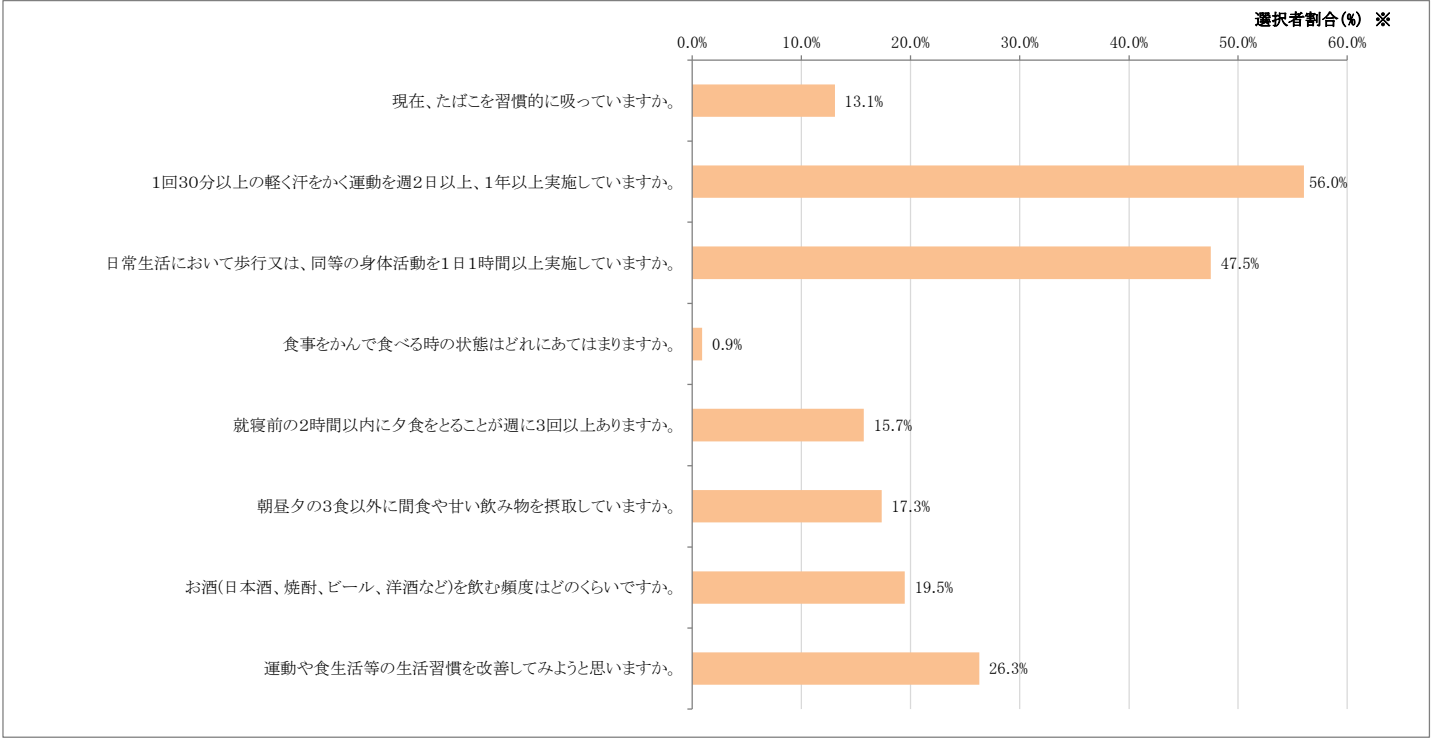
令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査の喫煙・運動・口腔機能・食習慣・飲酒・生活習慣の改善に関する各質問において、対応の考慮が必要な選択肢を選択した者の割合は以下のとおりである。

対応の考慮が必要な選択肢の選択状況

	喫煙	運動		口腔機能
	現在、たばこを習慣的に吸っていますか。	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。	日常生活において歩行又は、同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか。	食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。
質問の選択肢	「はい」	「いいえ」	「いいえ」	「ほとんどかめない」
質問回答者数(人) ※	2,021	2,020	2,017	2,007
選択者数(人) ※	264	1,132	958	18
選択者割合(%) ※	13.1%	56.0%	47.5%	0.9%

	食習慣		飲酒	生活習慣の改善
	就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ありますか。	朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。	お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。	運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。
質問の選択肢	「はい」	「毎日」	「毎日」	「改善するつもりはない」
質問回答者数(人) ※	2,005	2,006	2,018	2,019
選択者数(人) ※	315	348	393	531
選択者割合(%) ※	15.7%	17.3%	19.5%	26.3%

対応の考慮が必要な選択肢の選択者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和7年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数 …該当の選択肢を選択した人数。

※選択者割合 …質問回答者のうち、該当の選択肢を選択した人の割合。

8. 健康診査データによるメタボリックシンドローム該当状況

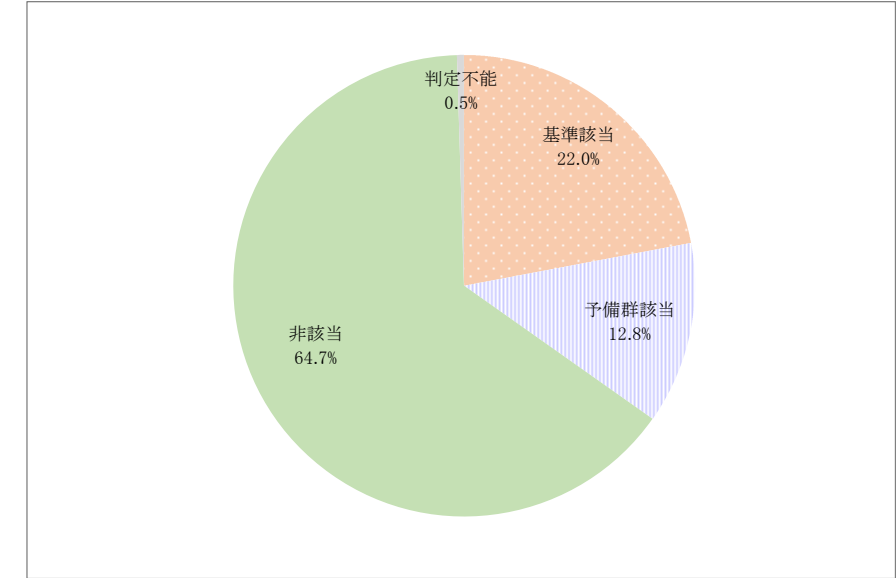
令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況は以下のとおりである。基準該当は22.0%、予備群該当は12.8%である。

メタボリックシンドローム該当状況

	健診受診者数	基準該当	予備群該当	非該当	判定不能
該当者数(人)	2,021	445	258	1,308	10
割合(%) ※	－	22.0%	12.8%	64.7%	0.5%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和7年3月31日時点。
※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

メタボリックシンドローム該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和7年3月31日時点。
※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

※メタボリックシンドローム判定について
本分析は、健康診査データにおける医師の判断によるメタボリックシンドローム判定の項目から集計した結果を示したもので、厚生労働省が規定するメタボリックシンドローム判定基準による分類結果とは必ずしも一致しない。

【参考】メタボリックシンドローム判定基準

腹囲	追加リスク (①血糖 ②脂質 ③血圧)	該当状況
≥85cm (男性)	2つ以上該当	メタボリックシンドローム基準該当者
≥90cm (女性)	1つ該当	メタボリックシンドローム予備群該当者

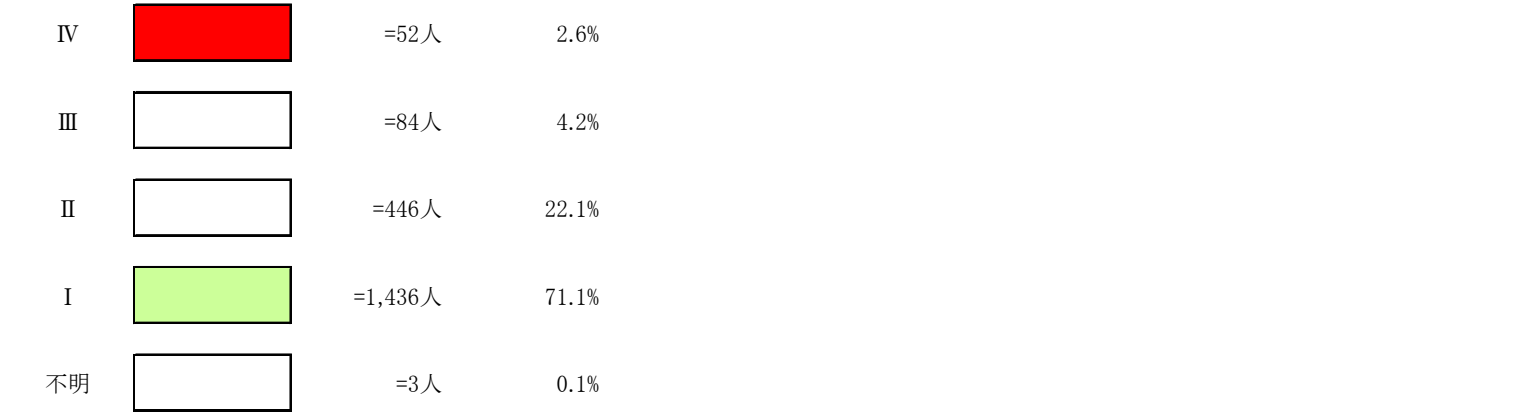
※追加リスクの基準値は以下のとおりである。
①血糖:空腹時血糖が110mg/dl以上、またはHbA1c(NGSP)6.0%以上、または血糖を下げる薬を服用・インスリン注射を使用(空腹時血糖とHbA1c(NGSP)の両方を測定している場合は、空腹時血糖を優先し判定に用いる)
②脂質:空腹時中性脂肪(やむを得ない場合は随時中性脂肪)150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、またはコレステロールや中性脂肪を下げる薬を服用
③血圧:収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、または血圧を下げる薬を服用

9. 健康診査データによるCKD重症度分類

健康診査項目の「尿蛋白」及び「クレアチニン」から算出したeGFR値を用いて、以下のとおり「エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2023」の基準に基づき健診受診者を分類した。末期腎不全・心血管死亡発症リスクの上昇に合わせてステージ分けを行い該当するステージの健診受診者数を示す。

健康診査項目からステージに該当する人数(尿蛋白×クレアチニン) 健診受診者数:人

				尿蛋白区分						計
				A1	A2	A3			未測定	
						(－)	(±)	(1＋)		
GFR区分 (mL/分/ 1.73m²)	G1	正常または 高値	≥ 90	108	4	1	0	0	0	113
	G2	正常または 軽度低下	60 ～ 89	1,328	47	21	2	0	0	1,398
	G3a	軽度～ 中等度低下	45 ～ 59	395	21	18	4	3	0	441
	G3b	中等度～ 高度低下	30 ～ 44	39	3	4	3	2	0	51
	G4	高度低下	15 ～ 29	5	3	1	1	0	0	10
	G5	高度低下～ 末期腎不全	< 15	2	0	0	1	2	1	6
	未測定			2	0	0	0	0	0	2
計				1,879	78	45	11	7	1	2,021



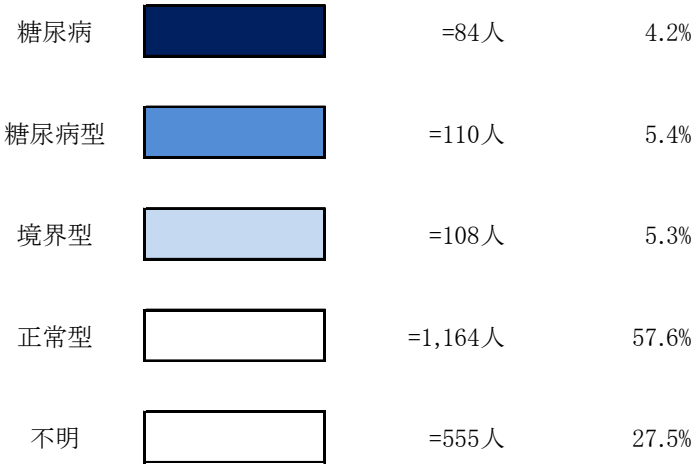
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和7年3月31日時点。
参考資料:日本腎臓学会「エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2023」(東京医学社)
※上記資料を用いて、株式会社データホライゾンが作成した。
CKDの重症度は死亡・末期腎不全・CVD死亡発症のリスクを を基準に の順に
ステージが上昇するほどリスクは上昇する。

10. 健康診査データによる糖尿病診断

健康診査項目の「空腹時血糖」及び「HbA1c」の値を用いて、以下のとおり日本糖尿病学会の判定区分に基づき色分けした。

健康診査項目からステージに該当する人数 (HbA1c×空腹時血糖) 健診受診者数: 人

			HbA1c (NGSP) (ヘモグロビンA1c)				計	
			正常			糖尿病型		未測定
			～ 5.5%	5.6% ～	6.0% ～	6.5% ～		
空腹時血糖	正常	～ 99mg/dl	525	283	50	12	4	874
	正常高値	100mg/dl ～	97	148	61	12	0	318
	空腹時血糖異常	110mg/dl ～	15	33	60	49	0	157
	糖尿病型	126mg/dl ～	1	6	30	84	1	122
	未測定		250	177	64	58	1	550
計			888	647	265	215	6	2,021



データ化範囲 (分析対象) …健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分 (12カ月分)。
資格確認日 …令和7年3月31日時点。
参考資料: 日本糖尿病学会「糖尿病診療ガイドライン2024」(南江堂)

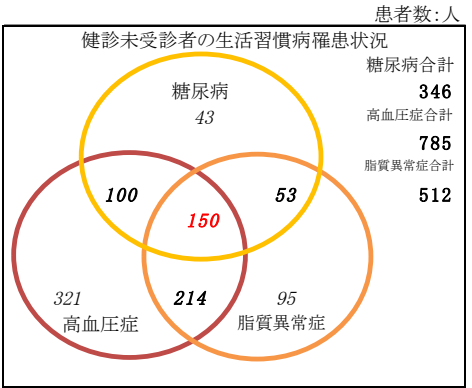
11. 生活習慣病患者の健康診査受診状況別罹患状況と医療費

●生活習慣病患者のうち健診未受診者の罹患状況と医療費

生活習慣病患者のうち健診未受診者の罹患状況と医療費

罹患状況 (投薬のある患者)		患者数(人) ※	医療費(円) ※		医療費合計 (円)	一人当たり 医療費(円)
			入院	入院外		
3疾病併存患者	合計	150	54,404,800	90,507,420	144,912,220	966,081
2疾病併存患者	糖尿病・高血圧症	100	39,488,850	69,345,590	108,834,440	1,088,344
	糖尿病・脂質異常症	53	27,196,850	19,442,200	46,639,050	879,982
	高血圧症・脂質異常症	214	54,531,700	108,751,890	163,283,590	763,007
	合計	367	121,217,400	197,539,680	318,757,080	868,548
1疾病患者	糖尿病	43	18,362,420	22,096,300	40,458,720	940,900
	高血圧症	321	67,179,580	132,501,010	199,680,590	622,058
	脂質異常症	95	11,183,970	32,538,390	43,722,360	460,235
	合計	459	96,725,970	187,135,700	283,861,670	618,435

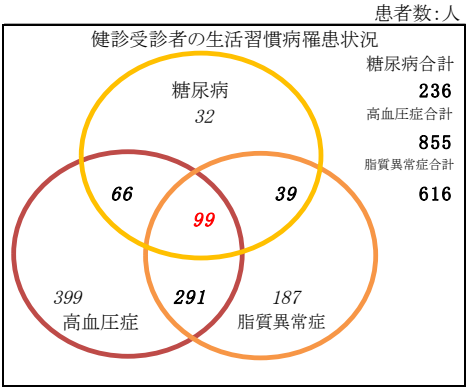
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和7年3月31日時点。
※患者数…該当傷病名で投薬のある患者のみ集計する。
※医療費…データ化範囲内における該当患者の医療費全体。生活習慣病に関する医療費に限らない。



●生活習慣病患者のうち健診受診者の罹患状況と医療費

生活習慣病患者のうち健診受診者の罹患状況と医療費

罹患状況 (投薬のある患者)		患者数(人) ※	医療費(円) ※		医療費合計 (円)	一人当たり 医療費(円)
			入院	入院外		
3疾病併存患者	合計	99	10,887,160	37,251,000	48,138,160	486,244
2疾病併存患者	糖尿病・高血圧症	66	4,740,620	20,905,020	25,645,640	388,570
	糖尿病・脂質異常症	39	3,154,610	26,673,620	29,828,230	764,826
	高血圧症・脂質異常症	291	17,156,870	88,399,490	105,556,360	362,737
	合計	396	25,052,100	135,978,130	161,030,230	406,642
1疾病患者	糖尿病	32	3,376,510	11,296,090	14,672,600	458,519
	高血圧症	399	20,301,490	103,387,910	123,689,400	309,998
	脂質異常症	187	6,186,550	35,409,040	41,595,590	222,436
	合計	618	29,864,550	150,093,040	179,957,590	291,194



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和7年3月31日時点。
※患者数…該当傷病名で投薬のある患者のみ集計する。
※医療費…データ化範囲内における該当患者の医療費全体。生活習慣病に関する医療費に限らない。

12. 特定健診の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況

特定健康診査受診状況別に、生活習慣病の医療機関受診状況を分析した結果を以下に示す。特定健康診査受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査受診者全体の55.1%である。特定健康診査未受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査未受診者全体の44.7%である。

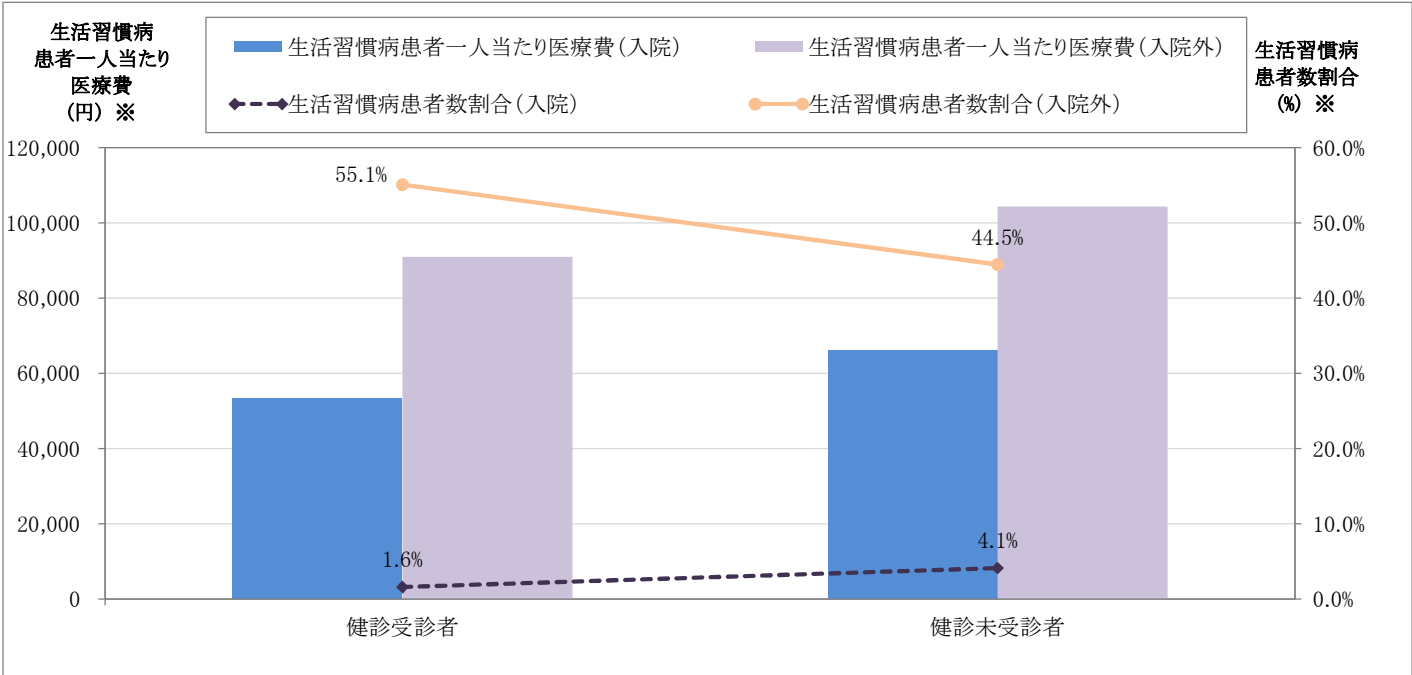
特定健診受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況

	人数(人)	構成比(%)	生活習慣病医療費(円) ※		
			入院	入院外	合計
健診受診者	2,021	48.1%	1,706,075	101,226,898	102,932,973
健診未受診者	2,183	51.9%	5,953,002	101,371,018	107,324,020
合計	4,204		7,659,077	202,597,916	210,256,993

	生活習慣病患者数 ※						生活習慣病患者一人当たり医療費(円) ※		
	入院		入院外		合計 ※		入院	入院外	合計
	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)			
健診受診者	32	1.6%	1,113	55.1%	1,113	55.1%	53,315	90,950	92,482
健診未受診者	90	4.1%	971	44.5%	976	44.7%	66,144	104,399	109,963
合計	122	2.9%	2,084	49.6%	2,089	49.7%	62,779	97,216	100,650

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和7年3月31日時点。
※生活習慣病医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者の生活習慣病医療費。
※生活習慣病患者数…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者数。合計人数は、入院、入院外の区別なく集計した実人数。
※生活習慣病患者一人当たり医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの生活習慣病医療費。

特定健診受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和7年3月31日時点。
※生活習慣病患者一人当たり医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの生活習慣病医療費。
※生活習慣病患者数割合…健診受診者、健診未受診者それぞれに占める、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者数の割合。

13. 特定保健指導対象者・非対象者の生活習慣病医療費比較

令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)の積極的支援及び動機付け支援該当者を「対象者」とし、情報提供の該当者を「非対象者」とする。ただし、情報提供の該当者には質問票で服薬有と回答した者が含まれるため、「非対象者」を「非対象者(服薬有)」と「非対象者(服薬無)」に分ける。特定保健指導により「対象者」の生活習慣改善を促し、服薬開始を防ぐことが重要である。

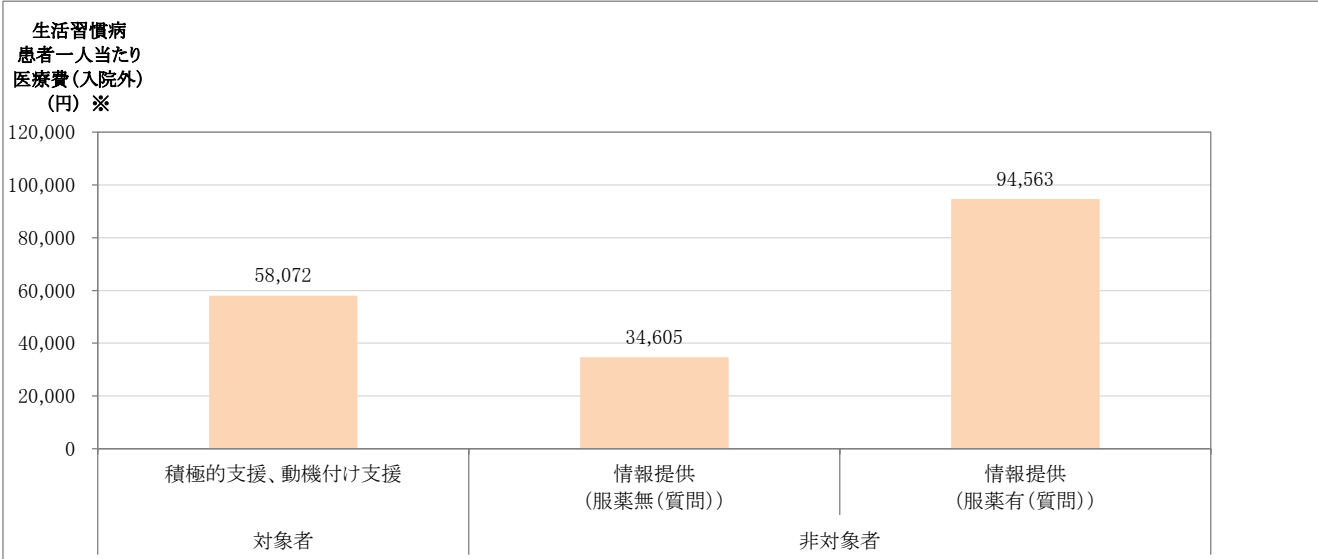
特定保健指導対象者・非対象者別 生活習慣病医療費

		人数(人)	生活習慣病医療費(円) ※			生活習慣病患者数(人) ※		
			入院	入院外	合計	入院	入院外	合計 ※
対象者	積極的支援、動機付け支援	234	0	1,219,502	1,219,502	0	21	21
非対象者	情報提供 (服薬無(質問))	740	356,507	1,972,474	2,328,981	2	57	57
	情報提供 (服薬有(質問))	1,034	1,349,568	97,021,786	98,371,354	30	1,026	1,026

		人数(人)	生活習慣病患者一人当たり医療費(円) ※		
			入院	入院外	合計
対象者	積極的支援、動機付け支援	234	0	58,072	58,072
非対象者	情報提供 (服薬無(質問))	740	178,254	34,605	40,859
	情報提供 (服薬有(質問))	1,034	44,986	94,563	95,879

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和7年3月31日時点。
非対象者…健康診査受診における質問表の服薬の項目にて一項目でも「はい」と回答した健康診査受診者は「服薬有」、服薬の全項目「なし」と回答した健康診査受診者は「服薬無」で表記。
※生活習慣病医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者の生活習慣病医療費。
※生活習慣病患者数…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者数。合計人数は、入院、入院外の区分けなく集計した実人数。
※生活習慣病患者一人当たり医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの生活習慣病医療費。

特定保健指導対象者・非対象者別 生活習慣病患者一人当たり医療費(入院外)



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和6年4月～令和7年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和7年3月31日時点。
※生活習慣病患者一人当たり医療費(入院外)…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの入院外生活習慣病医療費。

14. 骨折予防・骨粗鬆症重症化予防に係る分析

厚生労働省「2022年国民生活基礎調査」によると、「骨折・転倒」は要介護になった主な要因において「認知症」「脳血管疾患(脳卒中)」に次ぐ第3位であり、全体の13.9%を占めている。骨折及び骨折のリスクを高める要因となる骨粗鬆症は健康寿命を阻害する危険因子の一つである。ここでは骨折予防・骨粗鬆症重症化予防の取り組みに向けての基礎調査として、骨折及び骨粗鬆症の医療費等の状況について分析し、現状把握する。

(1) 骨折及び骨粗鬆症医療費の状況

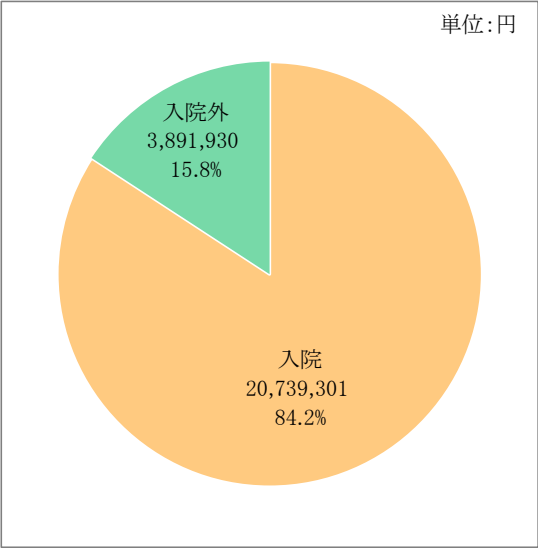
40歳以上の被保険者を対象として、骨折医療費の状況について以下に示す。骨折医療費は2,463万円で、医療費総計の1.3%を占めている。骨折医療費のうち、入院医療費は2,074万円、入院外医療費は389万円であり、入院の患者一人当たりの骨折医療費は74万円と高額である。

骨折医療費の状況

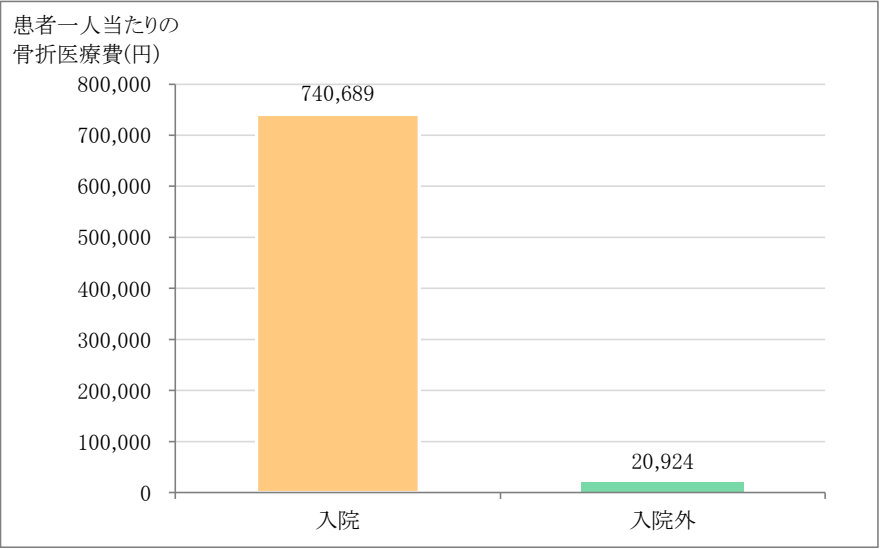
	A	B	B/A 医療費総計に 占める骨折医療費 の割合(%)	C 骨折患者数(人)	B/C 患者一人当たりの 骨折医療費(円)
	医療費総計(円)	骨折医療費(円)			
合計	1,825,137,800	24,631,231	1.3%	194	126,965
入院	636,873,060	20,739,301	3.3%	28	740,689
入院外	1,188,264,740	3,891,930	0.3%	186	20,924

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

骨折医療費の内訳(入院・入院外)



患者一人当たりの骨折医療費の比較(入院・入院外)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

次に男女別の状況について示す。

骨折医療費2,463万円のうち、男性の医療費は875万円、女性の医療費は1,588万円であり、その構成比は男性35.5%、女性64.5%である。また、骨折の有病率(40歳以上の被保険者に占める割合)は、男女計では3.9%、男性3.4%、女性4.3%である。

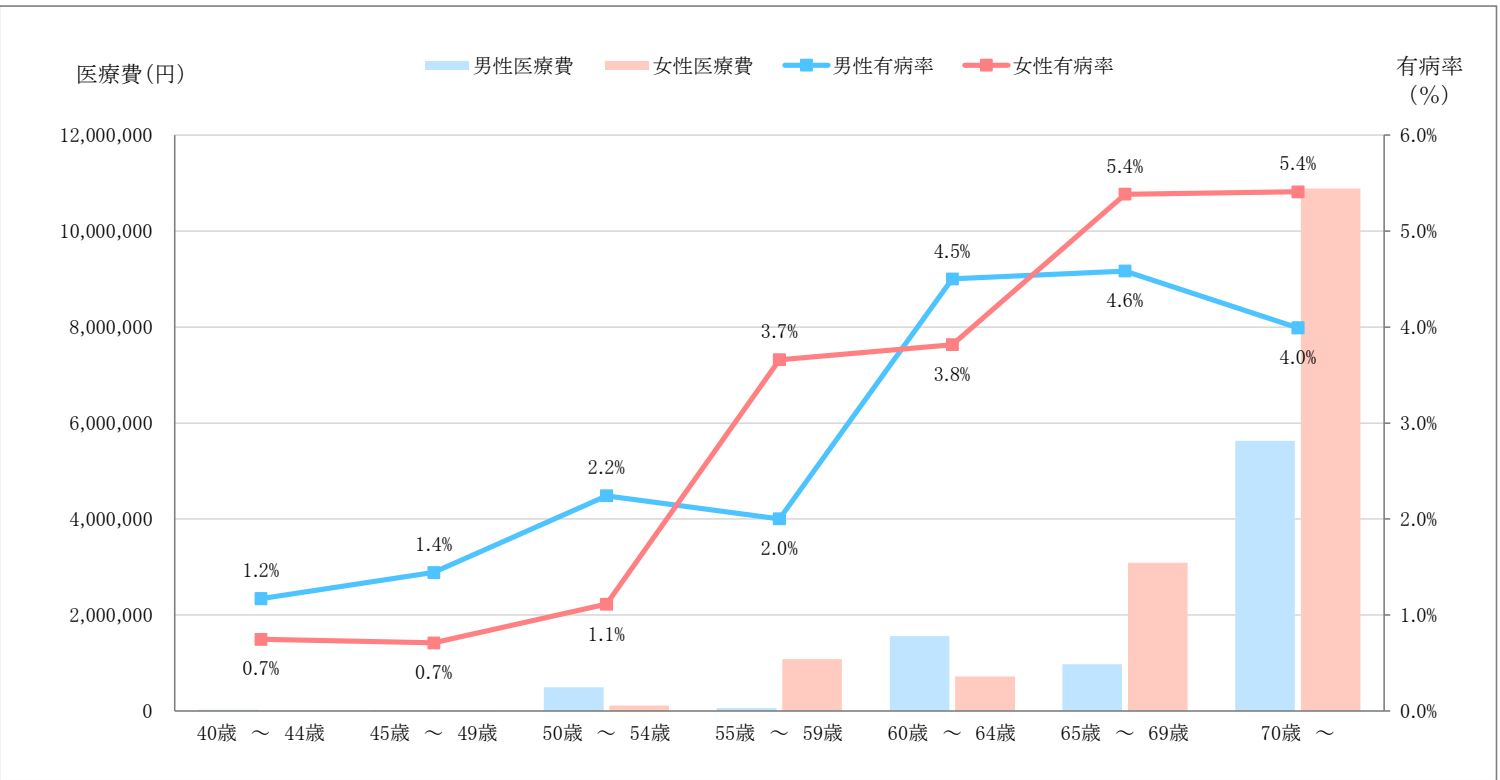
男女別 骨折医療費の状況

	医療費(円)		患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)	有病率(%)
		構成比(%)			
合計	24,631,231		194	126,965	3.9%
男性	8,749,380	35.5%	83	105,414	3.4%
女性	15,881,851	64.5%	111	143,080	4.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

男女年齢階層別の状況は以下のとおりである。

男女年齢階層別 骨折の医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

高齢者に骨折が多い理由は、運動機能・筋力の低下で転倒しやすいことに加えて、骨粗鬆症による骨の脆弱化により軽微な外力であっても骨折しやすいことによるとされる。骨粗鬆症は「骨折の最大の危険因子」(「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版」)である。

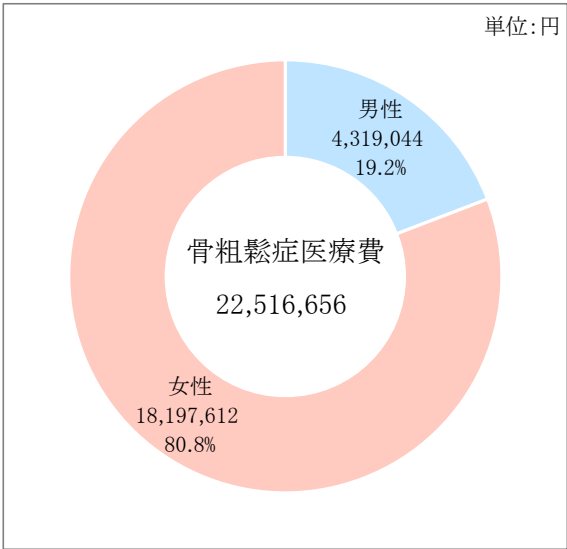
骨粗鬆症の医療費の状況について以下に示す。骨粗鬆症医療費は男女計で2,252万円、男性432万円、女性1,820万円であり、その構成比は男性19.2%、女性80.8%である。また、骨粗鬆症の有病率(40歳以上の被保険者に占める割合)は、男女計では10.2%、男性2.7%、女性17.3%である。

男女別 骨粗鬆症医療費の状況

	医療費(円)		患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)	有病率(%)
		構成比(%)			
合計	22,516,656		511	44,064	10.2%
男性	4,319,044	19.2%	66	65,440	2.7%
女性	18,197,612	80.8%	445	40,894	17.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

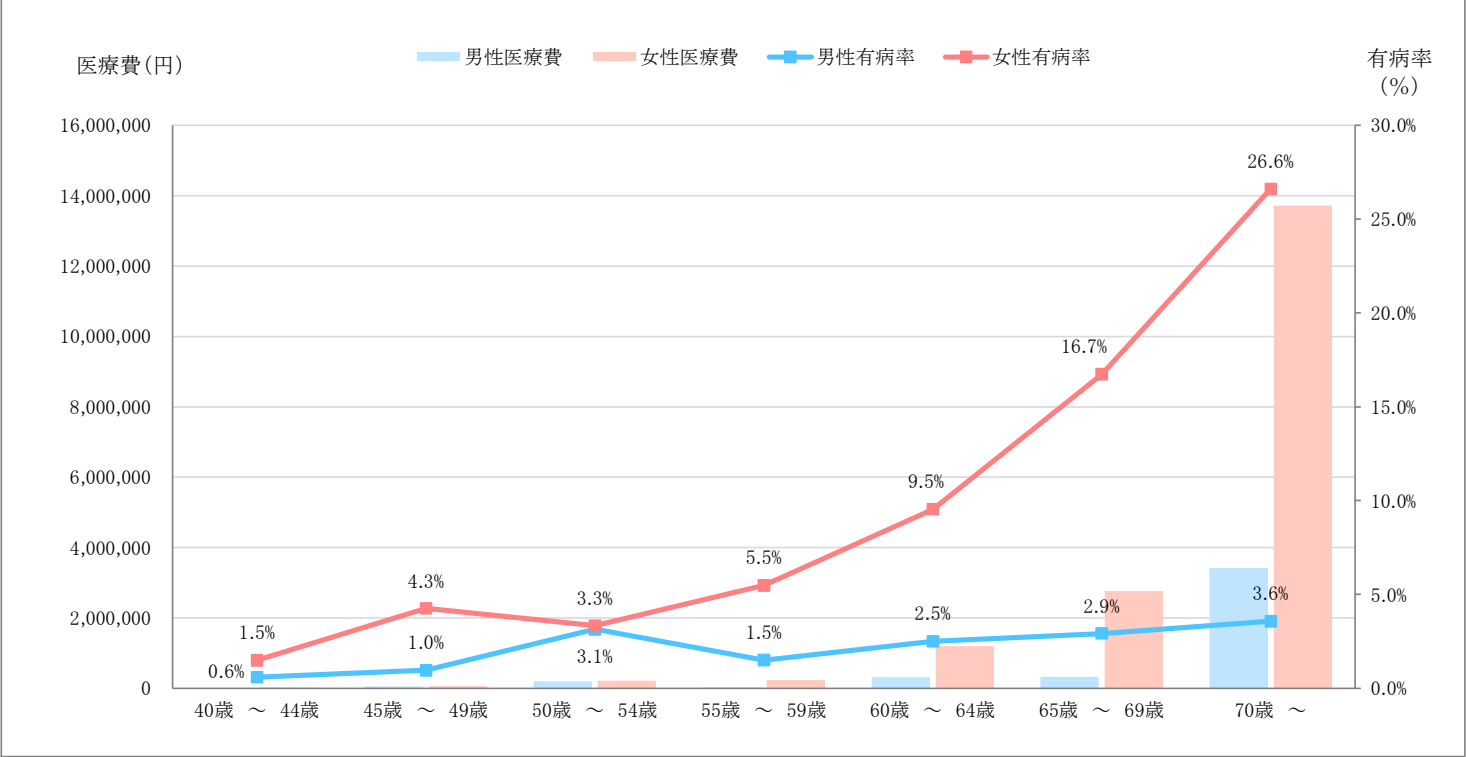
骨粗鬆症医療費の内訳(男性・女性)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

男女年齢階層別の状況は以下のとおりである。

男女年齢階層別 骨粗鬆症の医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

脆弱性骨折(骨の強度が低下し、軽微な外力によって生じる非外傷性骨折)は、椎体(背骨を構成する骨(椎骨)の円柱状の部分)、大腿骨近位部(足の付け根)、下腿骨(膝と足首の間の骨)、上腕骨近位部(腕の付け根)、橈骨遠位端(手首)、肋骨等において発生頻度が高い。骨粗鬆症患者がこれらの部位に骨折を生じた場合、骨折の要因として骨粗鬆症の影響が強く疑われる。骨粗鬆症患者において脆弱性骨折の好発部位に生じた骨折をここでは骨粗鬆症関連骨折と定義して、その発生状況をレセプトデータから確認する。

骨粗鬆症患者のうち、分析期間に骨粗鬆症関連骨折が発生している患者数は78人であり、患者全体の15.3%を占めている。

骨粗鬆症患者における骨粗鬆症関連骨折発生状況

	患者数(人)	構成比(%)
骨粗鬆症患者全体	511	
骨粗鬆症関連骨折あり	78	15.3%
骨粗鬆症関連骨折なし	433	84.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨粗鬆症関連骨折…「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版」(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会, ライフサイエンス出版)に基づき、株式会社データホライゾンにて選定した、骨粗鬆症に関連性が高い骨折(椎体骨折、上腕骨近位部骨折、骨盤骨折、肋骨骨折、橈骨遠位端骨折、大腿骨近位部骨折、下腿骨骨折、脆弱性骨折)の総称。

骨粗鬆症患者における骨粗鬆症関連骨折の医療費の状況について以下に示す。医療費が最も高いのは「大腿骨近位部骨折」、患者数が最も多いのは「椎体骨折」、患者一人当たりの医療費が最も高いのは「大腿骨近位部骨折」である。

骨粗鬆症患者における骨粗鬆症関連骨折の医療費の状況

	医療費(円)		患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
		構成比(%)		
骨粗鬆症関連骨折	15,484,954		78	198,525
椎体骨折	3,845,487	24.8%	43	89,430
上腕骨近位部骨折	874,452	5.6%	4	218,613
骨盤骨折	46,400	0.3%	6	7,733
肋骨骨折	71,089	0.5%	6	11,848
橈骨遠位端骨折	222,962	1.4%	9	24,774
大腿骨近位部骨折	10,286,098	66.4%	14	734,721
下腿骨骨折	122,183	0.8%	7	17,455
脆弱性骨折	16,283	0.1%	1	16,283

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
 対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 骨粗鬆症関連骨折…「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版」(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会, ライフサイエンス出版)に基づき、株式会社データホライゾンにて選定した、骨粗鬆症に関連性が高い骨折(椎体骨折、上腕骨近位部骨折、骨盤骨折、肋骨骨折、橈骨遠位端骨折、大腿骨近位部骨折、下腿骨骨折、脆弱性骨折)の総称。
 集計対象範囲を骨粗鬆症患者に限定しているため、他統計と一致しない。

(2) 骨粗鬆症患者の治療継続状況

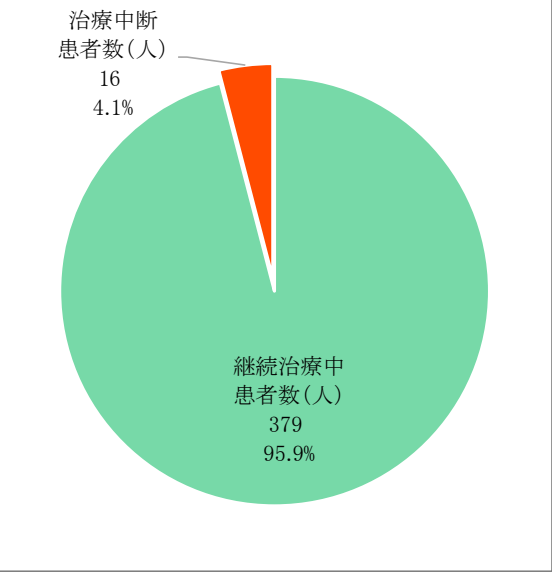
骨粗鬆症の治療と予防の目的は、骨折を予防し、生活機能及びQOLの維持・改善を図ることである。骨粗鬆症の薬物治療は長期的な継続が必要であるが、一般的に服薬継続率が低く、それに伴う骨折の抑制率の低下が問題となっている。ここでは令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータから、骨粗鬆症患者の治療状況について分析した。分析期間に骨粗鬆症治療薬の処方がある患者(治療薬服用中患者)のうち、男女計では4.1%、男性5.6%、女性3.9%が、治療薬の適切な服用間隔を超えて処方が確認できない治療中断患者に該当している。

骨粗鬆症患者の治療状況

	A	B	B1	B2	B2/B
	骨粗鬆症患者数(人)	治療薬服用中患者数(人)			治療薬服用中患者に占める治療中断患者の割合(%)
			継続治療中患者数(人)	治療中断患者数(人)	
合計	511	395	379	16	4.1%
男性	66	36	34	2	5.6%
女性	445	359	345	14	3.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
治療薬服用中患者…骨粗鬆症患者のうち、1種類以上の骨粗鬆症治療薬の処方がある患者。骨粗鬆症治療薬は、「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版」(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会, ライフサイエンス出版)に基づき、株式会社データホライゾンにて選定した。

骨粗鬆症治療薬服用中患者の治療継続状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
治療薬服用中患者…骨粗鬆症患者のうち、1種類以上の骨粗鬆症治療薬の処方がある患者。骨粗鬆症治療薬は、「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版」(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会, ライフサイエンス出版)に基づき、株式会社データホライゾンにて選定した。

治療中断患者の判定について

治療薬の適切な服用間隔を超えて処方が確認できない場合に当該治療薬について中断とする。分析期間内に複数の骨粗鬆症治療薬の処方がある患者については、処方されている全ての骨粗鬆症治療薬について中断に該当する場合のみ、治療中断患者として判定している。

大分類要素別集計

大分類による疾病別医療費統計(入院のみ) ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数(件) ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	18,283,274	2.6%	9	120	14	69	13	264,975	10
II. 新生物<腫瘍>	143,283,352	20.6%	1	279	6	145	5	988,161	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	10,704,233	1.5%	12	127	13	80	12	133,803	18
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	17,947,911	2.6%	10	332	4	173	4	103,745	19
V. 精神及び行動の障害	71,427,391	10.3%	4	292	5	68	14	1,050,403	1
VI. 神経系の疾患	59,928,571	8.6%	5	416	2	141	6	425,025	6
VII. 眼及び付属器の疾患	9,059,502	1.3%	13	48	16	32	16	283,109	9
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,836,202	0.3%	19	11	18	11	18	166,927	15
IX. 循環器系の疾患	115,692,677	16.7%	2	365	3	190	3	608,909	3
X. 呼吸器系の疾患	36,724,081	5.3%	7	238	9	124	8	296,162	8
X I. 消化器系の疾患 ※	53,477,542	7.7%	6	454	1	244	1	219,170	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	8,006,637	1.2%	14	96	15	45	15	177,925	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	77,009,526	11.1%	3	267	7	131	7	587,859	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	17,428,247	2.5%	11	142	11	87	11	200,325	12
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,610,165	0.2%	20	10	20	10	19	161,017	16
X VI. 周産期に発生した病態 ※	268,675	0.0%	21	2	21	2	21	134,338	17
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	3,623,207	0.5%	17	11	18	8	20	452,901	5
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,569,218	0.9%	15	212	10	119	9	55,204	20
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	32,581,393	4.7%	8	137	12	95	10	342,962	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,100,915	0.4%	18	33	17	17	17	182,407	13
X X II. 特殊目的用コード	5,951,351	0.9%	16	258	8	193	2	30,836	21
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	694,514,070			1,116		465		1,493,579	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数(件) ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	45,750,691	3.6%	11	5,381	13	1,430	10	31,993	11
II. 新生物＜腫瘍＞	257,109,870	20.2%	1	5,985	12	1,449	9	177,440	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	9,976,050	0.8%	15	3,129	14	733	15	13,610	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	169,439,531	13.3%	2	30,769	2	2,723	1	62,225	5
V. 精神及び行動の障害	53,472,096	4.2%	8	8,185	10	711	16	75,207	4
VI. 神経系の疾患	51,124,761	4.0%	10	13,168	6	1,194	12	42,818	8
VII. 眼及び付属器の疾患	52,611,309	4.1%	9	8,216	9	1,831	6	28,734	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	5,195,952	0.4%	18	1,594	18	467	17	11,126	20
IX. 循環器系の疾患	139,508,948	11.0%	3	33,059	1	2,626	3	53,126	6
X. 呼吸器系の疾患	93,086,936	7.3%	6	15,254	5	2,720	2	34,223	10
X I. 消化器系の疾患 ※	81,955,897	6.4%	7	21,591	3	2,348	4	34,905	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	35,331,611	2.8%	12	9,479	7	1,809	7	19,531	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	93,564,416	7.4%	5	17,212	4	2,100	5	44,554	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	124,446,635	9.8%	4	7,673	11	1,231	11	101,094	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	376,710	0.0%	20	53	20	28	20	13,454	16
X VI. 周産期に発生した病態 ※	15,938	0.0%	22	5	22	4	22	3,985	22
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	8,302,332	0.7%	16	296	19	61	19	136,104	2
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	21,330,556	1.7%	13	8,586	8	1,694	8	12,592	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	16,069,008	1.3%	14	3,037	15	925	13	17,372	14
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4,205,652	0.3%	19	1,865	17	337	18	12,480	18
X X II. 特殊目的用コード	7,579,634	0.6%	17	1,947	16	893	14	8,488	21
分類外	186,697	0.0%	21	40	21	16	21	11,669	19
合計	1,270,641,230			84,409		5,046		251,812	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	13,274,888	1.2%	14	2,645	13	701	9	18,937	17
II. 新生物<腫瘍>	248,260,351	22.5%	1	3,240	11	669	10	371,092	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	12,408,284	1.1%	15	1,578	14	395	15	31,413	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	103,945,003	9.4%	3	15,291	2	1,307	2	79,529	7
V. 精神及び行動の障害	67,785,429	6.2%	7	4,062	10	322	16	210,514	2
VI. 神経系の疾患	59,866,140	5.4%	9	6,697	6	573	11	104,478	5
VII. 眼及び付属器の疾患	30,215,495	2.7%	10	3,230	12	766	8	39,446	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	3,411,912	0.3%	18	558	18	190	17	17,957	19
IX. 循環器系の疾患	165,421,081	15.0%	2	17,441	1	1,324	1	124,940	4
X. 呼吸器系の疾患	61,941,029	5.6%	8	7,257	4	1,286	3	48,166	11
X I. 消化器系の疾患	※89,949,801	8.2%	5	11,438	3	1,144	4	78,627	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	21,419,401	1.9%	12	4,347	7	787	7	27,217	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	71,726,065	6.5%	6	7,019	5	909	5	78,907	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	100,423,626	9.1%	4	4,083	9	520	12	193,122	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく	※1,508	0.0%	22	1	22	1	22	1,508	22
X VI. 周産期に発生した病態	※266,896	0.0%	20	4	21	3	21	88,965	6
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,077,960	0.1%	19	136	19	34	19	31,705	13
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	14,894,648	1.4%	13	4,216	8	793	6	18,783	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	22,124,482	2.0%	11	1,375	15	449	14	49,275	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4,658,051	0.4%	17	1,022	17	167	18	27,893	15
X X II. 特殊目的用コード	8,087,822	0.7%	16	1,102	16	511	13	15,827	20
分類外	57,158	0.0%	21	22	20	13	20	4,397	21
合計	1,101,217,030			39,728		2,392		460,375	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数(件) ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	50,759,077	5.9%	8	2,856	13	761	10	66,700	7
II. 新生物＜腫瘍＞	152,132,871	17.6%	1	3,024	12	798	9	190,643	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	8,271,999	1.0%	16	1,678	15	373	16	22,177	16
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	83,442,439	9.7%	4	15,810	2	1,439	2	57,986	9
V. 精神及び行動の障害	57,114,058	6.6%	6	4,415	10	408	15	139,985	3
VI. 神経系の疾患	51,187,192	5.9%	7	6,887	6	659	12	77,674	5
VII. 眼及び付属器の疾患	31,455,316	3.6%	11	5,034	8	1,070	6	29,397	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	3,620,242	0.4%	18	1,047	17	282	17	12,838	20
IX. 循環器系の疾患	89,780,544	10.4%	3	15,983	1	1,327	3	67,657	6
X. 呼吸器系の疾患	67,869,988	7.9%	5	8,235	5	1,465	1	46,328	12
X I. 消化器系の疾患 ※	45,483,638	5.3%	9	10,607	3	1,244	4	36,562	14
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	21,918,847	2.5%	13	5,228	7	1,034	7	21,198	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	98,847,877	11.4%	2	10,460	4	1,230	5	80,364	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	41,451,256	4.8%	10	3,732	11	736	11	56,320	10
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,985,367	0.2%	20	62	20	31	19	64,044	8
X VI. 周産期に発生した病態 ※	17,717	0.0%	22	3	22	2	22	8,859	22
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	10,847,579	1.3%	15	171	19	31	19	349,922	1
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	13,005,126	1.5%	14	4,582	9	942	8	13,806	19
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	26,525,919	3.1%	12	1,799	14	517	13	51,307	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,648,516	0.3%	19	876	18	176	18	15,048	18
X X II. 特殊目的用コード	5,443,163	0.6%	17	1,103	16	513	14	10,610	21
分類外	129,539	0.0%	21	18	21	3	21	43,180	13
合計	863,938,270			45,797		2,679		322,485	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	344,994	1.3%	12	127	4	41	3	8,414	15
II. 新生物＜腫瘍＞	7,657,564	29.1%	1	17	12	5	11	1,531,513	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	642,523	2.4%	8	12	13	4	15	160,631	5
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	22,683	0.1%	18	9	15	5	11	4,537	18
V. 精神及び行動の障害	371,032	1.4%	10	21	11	7	9	53,005	9
VI. 神経系の疾患	4,374,284	16.6%	2	6	17	3	16	1,458,095	3
VII. 眼及び付属器の疾患	411,919	1.6%	9	118	5	36	4	11,442	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	349,951	1.3%	11	118	5	26	6	13,460	12
IX. 循環器系の疾患	6,850	0.0%	19	2	19	2	17	3,425	19
X. 呼吸器系の疾患	4,211,941	16.0%	3	741	1	75	1	56,159	8
X I. 消化器系の疾患 ※	148,933	0.6%	14	39	7	13	8	11,456	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,743,778	6.6%	6	391	2	56	2	31,139	11
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	77,581	0.3%	16	3	18	2	17	38,791	10
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	1,633,529	6.2%	7	10	14	5	11	326,706	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	284,613	1.1%	13	7	16	5	11	56,923	6
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,938,068	7.4%	4	22	9	1	19	1,938,068	1
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,912,409	7.3%	5	139	3	34	5	56,247	7
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	117,093	0.4%	15	34	8	16	7	7,318	17
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0	0.0%		0		0		0	
X X II. 特殊目的用コード	56,375	0.2%	17	22	9	7	9	8,054	16
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	26,306,120			1,157		89		295,574	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	315,676	5.2%	3	103	4	40	3	7,892	12
II. 新生物＜腫瘍＞	31,465	0.5%	13	5	14	1	17	31,465	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4,037	0.1%	17	10	11	5	10	807	18
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	27,555	0.5%	15	4	16	2	14	13,778	6
V. 精神及び行動の障害	202,902	3.4%	6	24	10	5	10	40,580	1
VI. 神経系の疾患	28,139	0.5%	14	9	12	2	14	14,070	5
VII. 眼及び付属器の疾患	295,187	4.9%	5	97	5	36	4	8,200	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	138,833	2.3%	8	57	6	19	7	7,307	13
IX. 循環器系の疾患	43,358	0.7%	12	5	14	4	12	10,840	9
X. 呼吸器系の疾患	2,770,472	45.9%	1	606	1	78	1	35,519	2
X I. 消化器系の疾患 ※	133,345	2.2%	9	52	7	15	9	8,890	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,440,045	23.9%	2	270	2	51	2	28,236	4
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	52,733	0.9%	11	9	12	4	12	13,183	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	4,110	0.1%	16	2	17	1	17	4,110	16
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	2,532	0.0%	18	2	17	2	14	1,266	17
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	145,392	2.4%	7	106	3	35	5	4,154	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	311,226	5.2%	4	49	8	24	6	12,968	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0	0.0%		0		0		0	
X X II. 特殊目的用コード	88,623	1.5%	10	45	9	19	7	4,664	14
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	6,035,630			933		86		70,182	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	305,178	4.7%	6	118	4	34	4	8,976	8
II. 新生物＜腫瘍＞	1,486	0.0%	17	2	18	1	18	1,486	17
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	13,250	0.2%	16	10	13	5	12	2,650	16
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	35,964	0.6%	14	8	14	5	12	7,193	10
V. 精神及び行動の障害	65,774	1.0%	13	13	12	6	11	10,962	6
VI. 神経系の疾患	18,237	0.3%	15	8	14	3	16	6,079	14
VII. 眼及び付属器の疾患	478,403	7.4%	3	133	3	56	2	8,543	9
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	113,786	1.8%	10	44	9	21	9	5,418	15
IX. 循環器系の疾患	67,223	1.0%	12	21	11	4	14	16,806	4
X. 呼吸器系の疾患	2,808,626	43.7%	1	547	1	84	1	33,436	2
X I. 消化器系の疾患 ※	164,195	2.6%	9	89	6	23	8	7,139	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,052,791	16.4%	2	178	2	48	3	21,933	3
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	91,879	1.4%	11	24	10	10	10	9,188	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	1,362	0.0%	18	3	17	2	17	681	18
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	468,443	7.3%	4	6	16	4	14	117,111	1
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	206,276	3.2%	8	99	5	32	6	6,446	12
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	328,896	5.1%	5	47	8	24	7	13,704	5
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0	0.0%		0		0		0	
X X II. 特殊目的用コード	210,091	3.3%	7	83	7	33	5	6,366	13
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	6,431,860			863		100		64,319	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	763,834	5.3%	5	92	5	29	6	26,339	5
II. 新生物<腫瘍>	119,699	0.8%	15	20	16	10	14	11,970	11
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	70,142	0.5%	16	26	14	12	10	5,845	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	68,370	0.5%	17	21	15	8	16	8,546	13
V. 精神及び行動の障害	982,186	6.8%	4	99	4	10	14	98,219	2
VI. 神経系の疾患	604,611	4.2%	6	80	8	12	10	50,384	3
VII. 眼及び付属器の疾患	523,913	3.6%	7	142	3	48	3	10,915	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	55,170	0.4%	18	16	17	11	13	5,015	17
IX. 循環器系の疾患	122,554	0.9%	14	10	18	7	17	17,508	8
X. 呼吸器系の疾患	1,716,109	11.9%	3	345	2	85	1	20,190	6
X I. 消化器系の疾患 ※	170,504	1.2%	12	68	9	28	7	6,089	14
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,737,416	12.1%	2	352	1	64	2	27,147	4
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	226,109	1.6%	9	28	12	15	9	15,074	10
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	198,905	1.4%	11	27	13	12	10	16,575	9
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	6,202,172	43.1%	1	32	11	4	18	1,550,543	1
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	138,607	1.0%	13	82	7	36	5	3,850	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	483,375	3.4%	8	63	10	26	8	18,591	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,000	0.0%	19	1	19	1	19	2,000	19
X X II. 特殊目的用コード	203,214	1.4%	10	92	5	40	4	5,080	16
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	14,388,890			982		116		124,042	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数(件) ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	207,788	1.2%	12	72	6	29	4	7,165	15
II. 新生物＜腫瘍＞	93,543	0.5%	16	10	17	6	17	15,591	13
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	28,700	0.2%	19	12	16	7	14	4,100	19
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	1,095,943	6.2%	5	57	9	16	10	68,496	3
V. 精神及び行動の障害	473,160	2.7%	7	68	7	14	12	33,797	6
VI. 神経系の疾患	6,905,084	39.4%	1	87	4	10	13	690,508	1
VII. 眼及び付属器の疾患	185,206	1.1%	13	48	11	27	5	6,859	16
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	45,085	0.3%	17	14	15	7	14	6,441	17
IX. 循環器系の疾患	149,646	0.9%	15	21	14	7	14	21,378	9
X. 呼吸器系の疾患	1,714,095	9.8%	4	223	1	71	1	24,142	8
X I. 消化器系の疾患 ※	2,165,233	12.3%	3	103	3	26	6	83,278	2
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,222,027	12.7%	2	153	2	44	2	50,501	5
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	250,063	1.4%	9	28	12	15	11	16,671	12
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	337,055	1.9%	8	56	10	19	8	17,740	11
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	41,723	0.2%	18	4	19	2	19	20,862	10
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	161,250	0.9%	14	9	18	6	17	26,875	7
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,036,444	5.9%	6	58	8	20	7	51,822	4
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	216,742	1.2%	10	28	12	17	9	12,750	14
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0	0.0%		0		0		0	
X X II. 特殊目的用コード	210,963	1.2%	11	79	5	38	3	5,552	18
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	17,539,750			668		107		163,923	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数(件) ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	267,499	2.7%	12	77	9	32	3	8,359	14
II. 新生物＜腫瘍＞	287,609	2.9%	10	19	15	12	14	23,967	7
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	39,045	0.4%	17	16	16	9	15	4,338	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	364,042	3.6%	7	83	8	21	11	17,335	8
V. 精神及び行動の障害	728,889	7.2%	5	127	4	23	8	31,691	5
VI. 神経系の疾患	1,424,743	14.1%	2	135	2	17	12	83,808	2
VII. 眼及び付属器の疾患	201,377	2.0%	14	61	11	24	6	8,391	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	24,674	0.2%	18	11	18	7	18	3,525	18
IX. 循環器系の疾患	265,869	2.6%	13	23	14	8	16	33,234	4
X. 呼吸器系の疾患	737,134	7.3%	3	143	1	51	1	14,454	11
X I. 消化器系の疾患 ※	3,316,957	32.9%	1	132	3	33	2	100,514	1
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	478,716	4.8%	6	94	6	32	3	14,960	10
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	347,989	3.5%	8	71	10	22	9	15,818	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	735,521	7.3%	4	93	7	24	6	30,647	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	285,734	2.8%	11	13	17	8	16	35,717	3
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	3,635	0.0%	19	3	19	2	19	1,818	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	334,283	3.3%	9	98	5	26	5	12,857	12
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	133,195	1.3%	15	27	13	16	13	8,325	15
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0	0.0%		0		0		0	
X X II. 特殊目的用コード	99,569	1.0%	16	39	12	22	9	4,526	16
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	10,076,480			666		114		88,390	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数(件) ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	472,971	2.0%	11	99	10	34	6	13,911	15
II. 新生物＜腫瘍＞	390,566	1.7%	14	72	12	22	13	17,753	13
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	125,278	0.5%	18	67	13	20	15	6,264	20
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	1,997,695	8.5%	6	185	6	38	4	52,571	8
V. 精神及び行動の障害	2,037,228	8.6%	5	240	4	23	12	88,575	4
VI. 神経系の疾患	2,566,298	10.9%	3	285	2	32	7	80,197	6
VII. 眼及び付属器の疾患	434,477	1.8%	13	117	8	29	8	14,982	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	84,967	0.4%	20	23	18	11	17	7,724	19
IX. 循環器系の疾患	201,974	0.9%	16	47	16	18	16	11,221	18
X. 呼吸器系の疾患	5,495,046	23.3%	1	298	1	65	1	84,539	5
X I. 消化器系の疾患 ※	3,157,666	13.4%	2	246	3	50	2	63,153	7
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	990,561	4.2%	7	192	5	42	3	23,585	12
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	383,451	1.6%	15	99	10	29	8	13,222	16
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	642,207	2.7%	9	106	9	25	11	25,688	10
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	900,106	3.8%	8	22	19	8	18	112,513	2
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	24,547	0.1%	21	13	20	1	20	24,547	11
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	437,016	1.9%	12	134	7	37	5	11,811	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	606,200	2.6%	10	58	15	21	14	28,867	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,365,251	10.0%	4	27	17	3	19	788,417	1
X X II. 特殊目的用コード	165,078	0.7%	17	62	14	29	8	5,692	21
分類外	104,447	0.4%	19	4	21	1	20	104,447	3
合計	23,583,030			1,139		122		193,304	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数(件) ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	7,516,590	21.1%	1	140	12	45	6	167,035	2
II. 新生物＜腫瘍＞	817,695	2.3%	11	68	14	31	13	26,377	9
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	560,230	1.6%	14	83	13	26	16	21,547	10
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	3,041,737	8.5%	4	317	4	53	4	57,391	5
V. 精神及び行動の障害	5,926,734	16.6%	2	298	5	32	12	185,210	1
VI. 神経系の疾患	1,656,936	4.6%	8	361	3	36	10	46,026	6
VII. 眼及び付属器の疾患	1,617,151	4.5%	9	199	8	42	7	38,504	7
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	73,683	0.2%	18	24	17	10	17	7,368	16
IX. 循環器系の疾患	2,619,471	7.3%	5	199	8	33	11	79,378	4
X. 呼吸器系の疾患	1,889,648	5.3%	7	430	2	88	1	21,473	11
X I. 消化器系の疾患 ※	1,917,813	5.4%	6	450	1	66	2	29,058	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,049,202	2.9%	10	213	7	54	3	19,430	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	717,428	2.0%	12	219	6	42	7	17,082	14
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	5,129,521	14.4%	3	159	10	37	9	138,636	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	77,859	0.2%	17	11	19	6	18	12,977	15
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	16,377	0.0%	19	23	18	5	19	3,275	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	272,090	0.8%	15	154	11	46	5	5,915	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	579,002	1.6%	13	65	15	27	15	21,445	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,050	0.0%	21	1	20	1	20	1,050	21
X X II. 特殊目的用コード	172,084	0.5%	16	62	16	31	13	5,551	18
分類外	3,439	0.0%	20	1	20	1	20	3,439	19
合計	35,655,740			1,565		166		214,794	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	424,057	1.3%	14	134	13	57	6	7,440	19
II. 新生物＜腫瘍＞	1,351,086	4.0%	7	147	12	51	8	26,492	7
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	148,589	0.4%	17	122	14	26	15	5,715	20
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	2,743,670	8.1%	5	365	5	59	4	46,503	6
V. 精神及び行動の障害	7,632,328	22.7%	1	469	3	41	12	186,154	2
VI. 神経系の疾患	3,301,216	9.8%	4	391	4	44	11	75,028	4
VII. 眼及び付属器の疾患	627,841	1.9%	12	153	11	56	7	11,211	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	113,868	0.3%	18	33	17	15	17	7,591	18
IX. 循環器系の疾患	871,908	2.6%	9	213	10	36	14	24,220	8
X. 呼吸器系の疾患	2,128,164	6.3%	6	492	1	99	1	21,497	9
X I. 消化器系の疾患	※4,909,794	14.6%	3	482	2	73	2	67,257	5
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,018,298	3.0%	8	310	6	59	4	17,259	11
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	829,859	2.5%	10	240	8	46	10	18,040	10
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	5,691,794	16.9%	2	229	9	48	9	118,579	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく	※667,026	2.0%	11	7	18	3	18	222,342	1
X VI. 周産期に発生した病態	※0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	14,130	0.0%	19	5	19	1	20	14,130	12
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	625,427	1.9%	13	276	7	66	3	9,476	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	263,313	0.8%	16	63	16	21	16	12,539	14
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	893	0.0%	21	5	19	2	19	447	21
X X II. 特殊目的用コード	297,384	0.9%	15	73	15	37	13	8,037	17
分類外	12,545	0.0%	20	4	21	1	20	12,545	13
合計	33,673,190			1,992		192		175,381	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数(件) ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	3,855,399	3.9%	9	222	11	58	12	66,472	9
II. 新生物＜腫瘍＞	14,149,051	14.2%	3	217	12	56	13	252,662	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	232,444	0.2%	17	177	14	31	15	7,498	18
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	4,508,151	4.5%	8	689	5	86	3	52,420	10
V. 精神及び行動の障害	20,249,784	20.3%	1	959	1	66	8	306,815	1
VI. 神経系の疾患	9,215,268	9.2%	5	901	2	64	9	143,989	3
VII. 眼及び付属器の疾患	835,238	0.8%	13	192	13	61	10	13,692	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	216,705	0.2%	18	60	17	17	17	12,747	16
IX. 循環器系の疾患	9,255,350	9.3%	4	772	3	73	5	126,786	4
X. 呼吸器系の疾患	14,488,186	14.5%	2	601	6	121	1	119,737	5
X I. 消化器系の疾患 ※	2,648,100	2.7%	11	749	4	96	2	27,584	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,707,550	2.7%	10	430	8	69	6	39,240	11
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	7,769,693	7.8%	6	555	7	82	4	94,752	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	6,850,326	6.9%	7	356	9	59	11	116,107	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	5,960	0.0%	20	2	20	1	20	5,960	19
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	18,895	0.0%	19	5	19	4	19	4,724	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,423,870	1.4%	12	341	10	67	7	21,252	13
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	252,665	0.3%	16	62	16	30	16	8,422	17
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	409,163	0.4%	15	27	18	5	18	81,833	8
X X II. 特殊目的用コード	605,662	0.6%	14	100	15	46	14	13,167	15
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	99,697,460			3,199		227		439,196	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数(件) ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	2,160,773	1.6%	13	303	13	87	10	24,836	14
II. 新生物＜腫瘍＞	17,297,436	12.7%	2	318	12	75	12	230,632	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	934,139	0.7%	16	259	14	55	15	16,984	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	12,236,198	9.0%	4	1,270	2	141	2	86,782	6
V. 精神及び行動の障害	31,420,228	23.0%	1	1,109	5	74	13	424,598	2
VI. 神経系の疾患	12,047,855	8.8%	5	1,207	3	95	7	126,820	5
VII. 眼及び付属器の疾患	3,608,491	2.6%	10	397	11	97	6	37,201	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	229,075	0.2%	19	73	18	20	17	11,454	18
IX. 循環器系の疾患	6,258,723	4.6%	8	1,202	4	128	4	48,896	10
X. 呼吸器系の疾患	5,108,811	3.7%	9	709	7	147	1	34,754	12
X I. 消化器系の疾患 ※	8,445,228	6.2%	7	1,316	1	137	3	61,644	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,864,100	1.4%	15	500	10	92	9	20,262	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	9,314,669	6.8%	6	897	6	115	5	80,997	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	17,006,963	12.5%	3	529	9	81	11	209,963	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	2,782	0.0%	20	1	20	1	20	2,782	20
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	2,816,022	2.1%	11	15	19	3	19	938,674	1
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,725,903	2.0%	12	544	8	93	8	29,311	13
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	2,117,965	1.6%	14	149	15	42	16	50,428	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	272,885	0.2%	18	79	17	14	18	19,492	16
X X II. 特殊目的用コード	474,074	0.3%	17	137	16	60	14	7,901	19
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	136,342,320			4,551		295		462,177	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	3,983,898	3.5%	10	264	12	67	12	59,461	10
II. 新生物＜腫瘍＞	7,296,093	6.5%	8	228	14	70	10	104,230	6
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	340,422	0.3%	17	184	15	40	16	8,511	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	17,575,339	15.6%	1	1,665	1	138	2	127,358	3
V. 精神及び行動の障害	10,319,518	9.2%	5	771	7	50	15	206,390	2
VI. 神経系の疾患	8,174,136	7.3%	6	1,179	4	78	9	104,797	5
VII. 眼及び付属器の疾患	2,607,289	2.3%	13	362	11	82	7	31,796	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	166,588	0.1%	18	66	18	22	17	7,572	18
IX. 循環器系の疾患	10,428,229	9.3%	4	1,570	2	125	3	83,426	7
X. 呼吸器系の疾患	3,838,118	3.4%	11	787	6	143	1	26,840	14
X I. 消化器系の疾患	※13,277,694	11.8%	3	1,382	3	119	4	111,577	4
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	3,104,477	2.8%	12	489	9	94	6	33,026	11
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	7,637,009	6.8%	7	892	5	103	5	74,146	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	16,750,176	14.9%	2	447	10	68	11	246,326	1
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく	※0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態	※0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	60,252	0.1%	19	28	19	4	19	15,063	16
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,801,826	1.6%	14	572	8	79	8	22,808	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	4,083,101	3.6%	9	237	13	63	14	64,811	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	457,793	0.4%	15	111	17	14	18	32,700	12
X X II. 特殊目的用コード	425,642	0.4%	16	141	16	64	13	6,651	19
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	112,327,600			4,726		279		402,608	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	14,294,561	7.3%	8	352	13	97	11	147,367	4
II. 新生物<腫瘍>	31,890,562	16.3%	1	468	12	104	10	306,640	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,963,464	1.0%	15	239	15	56	16	35,062	12
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	15,574,965	8.0%	6	2,417	1	222	1	70,158	10
V. 精神及び行動の障害	15,121,911	7.7%	7	705	8	61	15	247,900	2
VI. 神経系の疾患	11,918,146	6.1%	9	1,282	4	108	9	110,353	6
VII. 眼及び付属器の疾患	3,707,979	1.9%	12	621	9	129	7	28,744	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	741,727	0.4%	17	178	16	38	17	19,519	16
IX. 循環器系の疾患	19,611,639	10.0%	2	2,197	2	198	2	99,049	8
X. 呼吸器系の疾患	11,880,868	6.1%	10	1,131	6	198	2	60,004	11
X I. 消化器系の疾患	※19,324,636	9.9%	3	1,673	3	183	4	105,599	7
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,257,897	1.2%	13	613	10	124	8	18,209	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	19,298,587	9.9%	4	1,252	5	167	5	115,560	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	17,836,898	9.1%	5	558	11	89	12	200,415	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく	※0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態	※0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	40,173	0.0%	19	30	19	4	19	10,043	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,664,598	0.9%	16	730	7	133	6	12,516	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	5,691,413	2.9%	11	252	14	70	13	81,306	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	483,240	0.2%	18	111	18	19	18	25,434	15
X X II. 特殊目的用コード	1,970,150	1.0%	14	145	17	69	14	28,553	14
分類外	20,146	0.0%	20	13	20	3	20	6,715	20
合計	195,293,560			6,247		374		522,175	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数(件) ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	8,172,662	2.3%	12	1,042	13	264	10	30,957	12
II. 新生物＜腫瘍＞	94,572,233	26.5%	1	1,401	11	299	8	316,295	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,273,111	0.6%	15	558	15	129	15	17,621	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	41,408,461	11.6%	3	7,515	2	588	1	70,423	6
V. 精神及び行動の障害	8,943,491	2.5%	11	1,272	12	103	16	86,830	4
VI. 神経系の疾患	9,431,663	2.6%	10	2,659	6	228	11	41,367	9
VII. 眼及び付属器の疾患	10,453,648	2.9%	8	1,474	10	320	6	32,668	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,000,332	0.6%	16	254	18	77	17	25,978	13
IX. 循環器系の疾患	60,720,881	17.0%	2	8,151	1	584	2	103,974	3
X. 呼吸器系の疾患	16,265,882	4.6%	7	2,898	5	473	3	34,389	10
X I. 消化器系の疾患 ※	21,401,927	6.0%	6	4,382	3	450	4	47,560	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	6,961,574	1.9%	13	1,790	7	290	9	24,005	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	34,017,975	9.5%	4	3,714	4	429	5	79,296	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	23,340,936	6.5%	5	1,547	9	223	12	104,668	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,555	0.0%	21	1	20	1	20	1,555	21
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	40,601	0.0%	19	25	19	6	19	6,767	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,162,731	1.4%	14	1,679	8	320	6	16,134	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	9,770,882	2.7%	9	664	14	199	13	49,100	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	685,712	0.2%	18	410	16	69	18	9,938	17
X X II. 特殊目的用コード	1,395,112	0.4%	17	363	17	164	14	8,507	18
分類外	4,521	0.0%	20	1	20	1	20	4,521	20
合計	357,025,890			17,264		874		408,496	

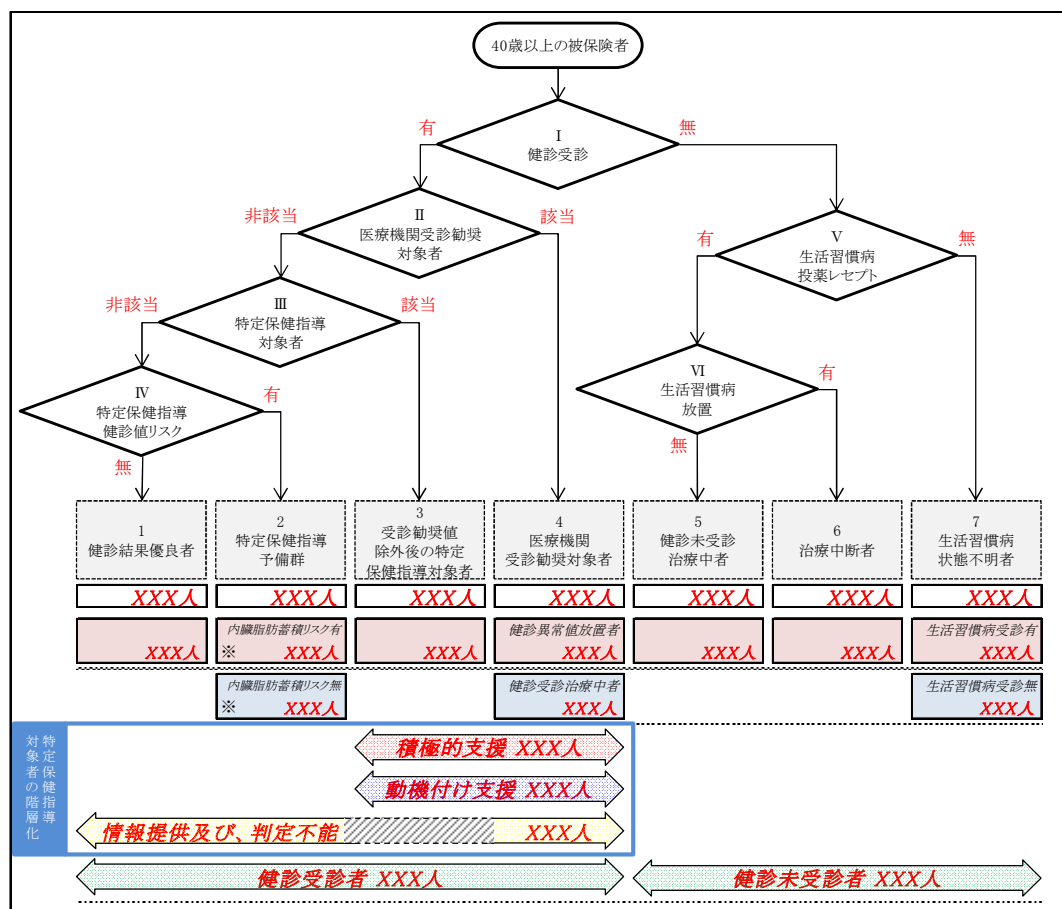
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数(件) ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	20,948,085	2.4%	11	2,356	12	548	11	38,226	13
II. 新生物＜腫瘍＞	224,437,134	25.2%	1	3,272	11	724	7	309,996	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	13,304,909	1.5%	14	1,481	14	343	15	38,790	12
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	86,686,669	9.7%	4	16,496	2	1,364	2	63,553	8
V. 精神及び行動の障害	20,424,322	2.3%	12	2,302	13	215	16	94,997	3
VI. 神経系の疾患	39,386,716	4.4%	8	4,994	6	500	12	78,773	6
VII. 眼及び付属器の疾患	35,682,692	4.0%	9	4,150	7	793	6	44,997	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,677,710	0.3%	17	634	18	171	18	15,659	16
IX. 循環器系の疾患	144,577,950	16.2%	2	18,991	1	1,424	1	101,529	2
X. 呼吸器系の疾患	54,757,917	6.1%	5	5,541	5	973	5	56,277	9
X I. 消化器系の疾患 ※	54,251,414	6.1%	6	10,882	3	1,076	3	50,420	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	14,709,816	1.7%	13	3,600	10	702	9	20,954	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	89,558,917	10.1%	3	9,448	4	1,058	4	84,649	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	45,715,579	5.1%	7	3,693	9	563	10	81,200	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	4,130	0.0%	21	2	21	2	21	2,065	21
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	118,442	0.0%	19	89	19	18	19	6,580	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,012,902	1.1%	15	3,786	8	711	8	14,083	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	23,695,333	2.7%	10	1,376	15	370	13	64,041	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,628,580	0.3%	18	1,126	16	215	16	12,226	18
X X II. 特殊目的用コード	7,156,964	0.8%	16	762	17	365	14	19,608	15
分類外	41,599	0.0%	20	17	20	9	20	4,622	20
合計	890,777,780			39,573		1,930		461,543	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和6年4月～令和7年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

1.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診 …健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 …厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク …厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

- 健診受診あり
 - 1. 健診結果優良者 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
 - 2. 特定保健指導予備群 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 - …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
 - 4. 医療機関受診勧奨対象者
 - …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
 - …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
 - …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため医療機関受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
 - 健診異常値放置者
 - 健診受診治療中者
- 健診受診なし
 - 5. 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
 - 6. 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
 - 7. 生活習慣病状態不明者 …生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 - 生活習慣病受診有 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 - 生活習慣病受診無 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

2. 疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
Ⅰ．感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	急性腸炎
0102	結核	肺結核	結核	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	クラミジア子宮頸管炎
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	B型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	流行性角結膜炎	アデノウイルス感染症	サイトメガロウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	爪白癬	白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
Ⅱ．新生物＜腫瘍＞				
0201	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	直腸癌	直腸カルチノイド	直腸S状部癌
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	肝癌	肝細胞癌	肝内胆管癌
0205	気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳房上内側部乳癌
0207	子宮の悪性新生物＜腫瘍＞	子宮頸癌	子宮体癌	子宮内膜癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	慢性骨髄性白血病	急性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物＜腫瘍＞及びその他の新生物＜腫瘍＞	子宮筋腫	卵巣腫瘍	甲状腺腫瘍
Ⅲ．血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	血液凝固異常	播種性血管内凝固	出血傾向
Ⅳ．内分泌，栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	慢性甲状腺炎
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高コレステロール血症	脂質異常症	高脂血症
0404	その他の内分泌，栄養及び代謝疾患	高尿酸血症	脱水症	卵巣機能不全
Ⅴ．精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年期認知症
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	アルコール依存症	ニコチン依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	統合失調感情障害
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	双極性感情障害
0505	神経症性障害，ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害＜精神遅滞＞	知的障害	軽度知的障害	中等度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	注意欠陥多動障害	器質性精神障害	自閉症スペクトラム障害

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Y a h r 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー型老年認知症	アルツハイマー病
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	片麻痺	痙性麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	多系統萎縮症
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	末梢神経障害	神経障害性疼痛
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	急性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	核性白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	近視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	複雑耳垢	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	慢性中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	鼓膜炎	耳管機能低下
0805	メニエール病	メニエール病	内リンパ水腫	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	末梢性めまい症	耳性めまい	良性発作性頭位めまい症
0807	その他の耳疾患	感音難聴	耳鳴症	難聴
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	虚血性心疾患	急性心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	心房細動
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	被殻出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳動脈瘤
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	下肢静脈血栓症	末梢循環障害
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎〔かぜ〕＜感冒＞	感冒	急性鼻咽頭炎	急性鼻炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	細菌性肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	ウイルス性気管支炎	急性気管気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	アレルギー性鼻結膜炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	カタル性気管支炎	気管気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	間質性肺炎	慢性咽喉頭炎
X I．消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	う蝕第2度	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯肉炎	歯周炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	胃びらん
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	萎縮性胃炎
1106	痔核	痔核	内痔核	嵌頓痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝硬変	アルコール性肝炎
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	原発性胆汁性胆管炎
1110	その他の肝疾患	脂肪肝	肝機能障害	肝のう胞
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	胆石性胆のう炎
1112	膵疾患	急性膵炎	慢性膵炎	膵のう胞
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	大腸ポリープ
X II．皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿疱疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	接触皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏性湿疹	皮脂欠乏症	じんま疹
X III．筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性股関節症	変形性関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板ヘルニア	腰椎椎間板症	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	殿部痛
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害＜損傷＞	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	肩こり	関節痛
X IV．腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	水腎症	腎盂腎炎	慢性糸球体腎炎
1402	腎不全	慢性腎不全	慢性腎臓病	腎性貧血

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	尿路感染症	膀胱炎	過活動膀胱
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	乳腺症	細菌性膣炎
X V．妊娠，分娩及び産じょく				
1501	流産	異所性妊娠	稽留流産	胎状奇胎
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症
1503	単胎自然分娩	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩
1504	その他の妊娠，分娩及び産じょく	切迫流産	切迫早産	子宮内感染症
X VI．周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	低出生体重児	早産児	極低出生体重児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	新生児低血糖	新生児呼吸障害
X VII．先天奇形，変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形，変形及び染色体異常	足底角化症	毛孔性苔癬	尋常性魚鱗癬
X VIII．症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	めまい症	嘔吐症
X IX．損傷，中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	橈骨遠位端骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性頭蓋内出血	外傷性脳出血
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	前腕第2度熱傷
1904	中毒	虫刺性皮膚炎	刺虫症	蜂刺症
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	挫創
X X I．健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	早期胃癌E S D後	早期胃癌術後	早期胃癌E M R 後
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	高齢妊娠	正常妊娠
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	腎移植ドナー	胃瘻開口部に対する手当て	気管切開口に対する手当て
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	眼内レンズ挿入眼	冠動脈ステント植え込み状態	人工股関節置換術後
X X II．特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群〔SARS〕	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード	C O V I D－1 9	C O V I D－1 9肺炎	C O V I D－1 9後遺症
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		